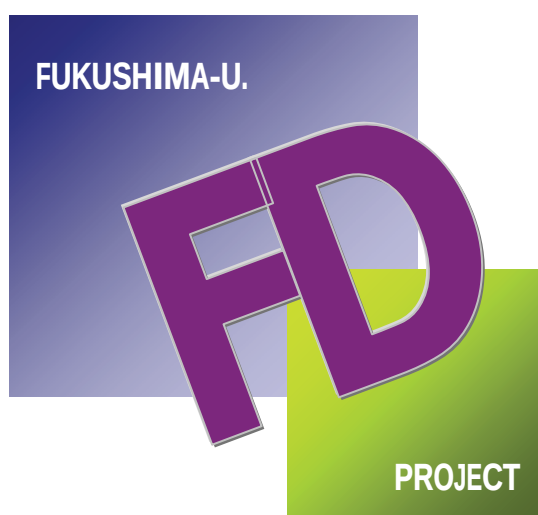


平成18年度（2006年度）
福島大学FDプロジェクト活動報告書
～授業改善の追求～



2007年3月
福島大学FDプロジェクト

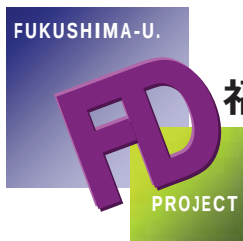
今期より、FD プロジェクト責任者が学務担当から教育担当副学長になった。プロジェクトの委員経験がなく戸惑うこともあったが、なんとか一年目を終わろうとしている。大学教育をめぐる昨今の状況の変化は大きい。それについていくだけでも骨が折れるが、それらの情報を取捨選択して、具体化を図る仕事も大変である。この役について最初に感じたのは、FD という言葉に対する違和感が、まだ相当に教員の意識に残っていることだった。

一つは、授業アンケートに対する不評である。形骸化を指摘する意見が会議でも出され、これはなんとしても改善すべき課題と思った。私自身も、改善意見を提出したこともあり、実のある改善策を考えることにして、実際にも、ワーキングチームで検討を行い、若干の改善と課題整理をおこなった。ただ、「改善」そのものをも疑問視する考えがあることも承知している。授業アンケートとは何のためにするのか、という原点に立ち戻って課題を整理し直す必要があると感じた。

その二は、授業改善の公開授業と検討会を今期は「専攻」単位での開催目標を立て、結果としては9回開催できたが、授業公開を引き受けてもらう過程がけっこう大変だった。また、せっかく引き受けてもらったのに、毎週のように開催されたこともあり、参加者が少なく検討会が盛り上がり欠けた点が残念だったことである。これは別に記事があるので参照したいが、授業や検討会の中身はたいそう濃密で有益だっただけに、授業改善に向けての研修会の持ち方に対する工夫が求められていると感じた。

授業改善や学生アンケートに関する全国的な動向も、本学の事情と類似していることが参加した研究会などを通じて理解できた。新聞記事でも、大学全入時代を目前にして、多くの大学で授業改善が取り組まれているが、成果のほどはイマイチだ、などという若干ステレオタイプの記事が目につく。しかし、大規模大学では大学改革センターを設置し、専任スタッフを何名も置き、FD 推進の体制を強化している。さらに、授業進行に支障が出るような状況の大学では、懇切丁寧な指導を「売り」にして様々な取り組みを強化している。大学4年間の成果を出せない大学は生き残れない、という危機意識の表れである。教育の「成果」は簡単に出せるものではないが、こうした現実を見ないわけにはいかない。

大学政策上でも、18年度に大学院設置基準が改正され、「研修の義務化」がはいった。19年度には大学設置基準も同様に改正される。本学の、13年度から始まったFDプロジェクトを「第1期」とするなら、次年度あたりからが「第2期」となるだろう。努力規定から義務規定へという変化は、FD とは何かの再定義を求めている。授業の改善の質も問われるし、個々の授業をこえた教育課程（学部・大学院カリキュラム）、さらには教育目標とそれを実現する「教養教育」「専門教育」「学習スキル」などを、どう提供できるか、そういう次元で教育改善を志向していく時期に入っていくことになるだろう。この報告書がその役割の一部を担えれば幸いである。



平成18年度 福島大学FDプロジェクト活動報告書 ～授業改善の追求～

目 次

1. はじめに・・・・・・・・・・副学長（FDプロジェクト責任者） 森田 道雄	
2. FD ワークショップ 授業公開&検討会	
教員向け実施案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
第1回授業公開&検討会	
ファシリテーターからの報告・・・・・・・・・・ 佐野 敦至	4
第2回授業公開&検討会	
ファシリテーターからの報告・・・・・・・・・・ 金谷 昌治	5
今年度の実践を省みて・・・・・・・・・・ 初澤 敏生	6
第3回授業公開&検討会	
ファシリテーターからの報告・・・・・・・・・・ 菅家 礼子	9
第4回授業公開&検討会	
ファシリテーターからの報告・・・・・・・・・・ 近藤 雄大	12
FDに期待するもの・・・・・・・・・・ 塩谷 弘康	13
第5回授業公開&検討会	
ファシリテーターからの報告・・・・・・・・・・ 金谷 昌治	15
授業公開アンケート・・・・・・・・・・ 杉浦 弘一	16
第6回授業公開&検討会	
授業公開の感想・・・・・・・・・・ 柴崎 直明	18
第7回授業公開&検討会	
ファシリテーターからの報告・・・・・・・・・・ 真田 哲也	20
第8回授業公開&検討会	
授業公開検討会に参加して・・・・・・・・・・ 田中 明	21
第9回授業公開&検討会	
授業公開を終えて・・・・・・・・・・ 石田 葉月	23
授業公開&検討会について・・まとめとして・・・・・・・・ 森田 道雄	24

授業公開&検討会配付資料	
FD ワークショップ授業公開&検討会	
ー授業者と参観者の皆さんへー・・・・・・・・・・・・・・・・	26
FD ワークショップ授業公開&検討会 授業観察カード・・・・・・・・	27
3. 新任教員 FD 研修	
FD 研修資料 大学教員の授業改善・・・・・・・・・・・・・・・・	29
新任教員による授業参観の観察カード・・・・・・・・・・・・・・・・	30
4. 全学教育研究集会議事録・・・・・・・・・・・・・・・・	33
5. 他大学 FD 研究集会等参加報告	
第 6 回山形大学教養教育 FD 合宿セミナー参加報告・・・岡田 努	53
山形大学 FD シンポジウム	
「FD の義務化と FD 拠点地域の形成」参加録	森田 道雄 56
6. 学習ガイドブック作成への提案・・・・・・・・・・・・・・・・	59
7. 「教育改善のための学生アンケート」集計結果	
❧ 前 期 開 講 科 目（平成 18 年 7 月実施）	69
共通教育科目・・・・・・・・・・・・・・・・	74
専門教育科目・・・・・・・・・・・・・・・・	104
相関係数表・・・・・・・・・・・・・・・・	118
❧ 後期・通年開講科目（平成 19 年 1 月実施）	121
共通教育科目・・・・・・・・・・・・・・・・	128
専門教育科目・・・・・・・・・・・・・・・・	154
相関係数表・・・・・・・・・・・・・・・・	176
8. 福島大学 FD プロジェクト要項・・・・・・・・・・・・・・・・	178
9. 福島大学 FD プロジェクトメンバー・・・・・・・・・・・・・・・・	179
10. あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・副学長（学務） 中井 勝己	180

FD ワークショップ 授業公開 & 検討会





教 員 各 位

福島大学FDプロジェクト

FDワークショップ授業公開&検討会の実施について

1. 目的と意味

今年度のFDプロジェクトとして、一昨年度より実施しております「授業公開&検討会」を、さらに専攻単位にまで拡大する年度計画をもとに、実施案を、各方面に働きかけて作りあげつつあるところです。いま、ご協力をいただけます方々の予定を調整しつつ、下記のような日程での開催をご案内できる運びとなりました。さらに、計画を拡げてより充実した日程となるよう、さらに努力しているところです。今後も日程が確定次第随時ご案内します。

いま大学教員にとって切実な課題は、新機軸の授業をひねり出すことよりも、現に行われている授業を交流し合いながら、改善を重ねていくことだと、昨年の「目的と意味」に書かれております。他の教員の授業を見ること、自分の授業を見てもらうことを、回を重ねて行うことは、授業改善の量をふやし、裾野を広げることであり、同時に、それぞれの授業の「良さ」を確認しあうことで、教育の質を高めることでもあります。実際の授業を参観し、その授業の「良さ」を検討することこそが、何より意義のあるFDだと確信しております。

検討会をすべての授業公開にセットできませんが、その場合も感想用紙に書いていただいたものを「報告書」に掲載するなどの工夫をして、交流し確認できればと存じます。学類・専攻を問わず、全学規模での多数の方の参加をご案内し、授業改善の着実な歩みをさらに進める機会として、是非ご活用いただきますよう、お願いします。新任教員の方には、とりわけ貴重な機会として、何回もご参加されるようお勧めいたします。

2. 今年の実施日程

- 日 程：10月17日（火）10時20分～12時50分
- タイムスケジュール：10：20～11：50 授業公開（管理会計 奥山修司教員 L4教室）
12：00～12：50 検 討 会（S棟1階会議室）

- 日 程：10月24日（火）8時40分～11時50分
- タイムスケジュール：8：40～10：10 授業公開（日本の地域文化 初澤敏生教員 S33教室）
10：20～11：50 検 討 会（S棟1階会議室）

- 日 程：11月 6日（月）16時20分～19時30分
- タイムスケジュール：16：20～17：50 授業公開（基礎演習E【子育て支援クラス】白石昌子教員
総合教育研究センター4階音楽リズム実習室）
18：00～19：30 検 討 会（総合教育研究センター4階音楽リズム実習室）

- 日 程：11月13日（月）13時00分～16時10分
- タイムスケジュール：13：00～14：30 授業公開（法社会学II 塩谷弘康教員 M24教室）
14：40～16：10 検 討 会（S棟1階会議室）

- 日 程：11月15日（水）8時40分～11時50分
- タイムスケジュール：8：40～10：10 授業公開（運動処方 杉浦弘一教員 S22教室）
10：20～11：50 検 討 会（S棟1階会議室）

- 日 程：11月21日（火）10時20分～12時50分
- タイムスケジュール：10：20～11：50 授業公開（地下水盆管理学概論 柴崎直明教員 S42教室）
12：00～12：50 検 討 会（S棟1階会議室）

- 日 程：11月27日（月）13時00分～14時30分
- タイムスケジュール：13：00～14：30 授業公開（社会開発論 菅沼圭輔教員 L4教室）

- 日 程：12月14日（木）8時40分～10時10分
- タイムスケジュール：8：40～10：10 授業公開（ちからとかたち 田中明教員 M24教室）
12：00～12：40 検 討 会（S棟1階会議室）

- 日 程：1月15日（月）10時20分～12時50分
- タイムスケジュール：10：20～11：50 授業公開（循環型産業論 石田葉月教員 M2教室）
12：00～12：50 検 討 会（S棟1階会議室）

第1回授業公開&検討会

日時 平成18年10月17日(火)

10:20~11:50 授業公開(L4教室)

11:50~12:35 検討会(S棟1階会議室)

授業名 『管理会計』

授業者 奥山 修司



ファシリテーターからの報告

経済経営学類 佐野 敦至

『管理会計』は経済経営学類企業経営専攻2年次生を主たる対象として開講される科目である。150名程度の受講者にしては大きすぎる教室(L4)での授業だが、奥山さんはマイクも使わず、よく通る声で丁寧なはっきりとした話し方で、ノートや資料に目を落とすこともなく常に学生の方を向いてその熱意を伝えている。話の要点では速度を落とし、繰り返すなどめりはりをつけて、大方の学生を最後まで引きつけ飽きさせない。素晴らしい授業を見せていただいたと思う。

この授業のために既にA4版60ページほどのレジメが準備されており、毎回必要部分を配布している。図表や説明文、演習問題などが記されていて、多すぎず、少なすぎず、よく工夫されたものだ。今回の授業は、「基本的な簿記の構造を理解すること」を目的としており、参観者は門外漢ながら、その目的に沿ったよく計画された授業であったと思う。導入部で前回までの確認を行い、続いて今回のテーマについてひととおり説明した後、学生に実際の作業を行なわせるという構成で、とても理解しやすいものであった。最後にFDのアンケートを実施する関係で、やや急がせてしまったきらいはあるが、学生からも概ね好評であった。検討会での参観者たちの意見もほぼ一致していたことを付け加えておく。唯一欠点を挙げるならば、板書の字が、奥山さんの立派な体格に似合わず、小さいことで、これには参観者のみならず、多くの学生が辛口の評価をしている。

「アクチュアルなトピックを扱いながら、5年後、10年後にあの教員の言うことは正しかったと評価してもらえるような授業を自分に課している」と語る奥山さんは、すでに初回の授業で自分が学生に対して何をしてやれるのか、明確に伝えている。教員は万能ではない。過大な期待を持たせて裏切るよりは、これだけはやるという約束をきちんと果たすほうが、自信を持った授業が可能になり、学生からの信頼を獲得することにつながるのだと思う。

せっかく公開してくださった授業だが、参観したのはFDプロジェクト関係者5名のみという寂しい状況であった。奥山さんに感謝するとともにお詫びしたい。

第2回授業公開&検討会

日時 平成18年10月24日(火)

8:40~10:10 授業公開(S33教室)

10:20~11:50 検討会(S棟1階会議室)

授業名 『日本の地域文化』

授業者 初澤 敏生



ファシリテーターからの報告

人間発達文化学類 金谷 昌治

1、授業内容

福島県を含む東北の祭2件をとりあげ、ビデオ鑑賞を交えながら祭の運営とその地域との関連に鋭い考察を加えたものであった。「連」の成り立ちと地域を支える組織との関わりを詳細に分析し、地域の文化を担っていく仕組みを明らかにしていた。

授業者が配布した資料は学会発表資料を基に再構成されたものであるが、受講者に分かりやすくまた詳細なもので、授業者の熱意や内容の濃さがうかがえた。

授業は学生の理解度に絶えず注意しながら進められ、十分な準備と手馴れた授業運び、そして多くのフィールドワークに支えられた豊富な知識を随所に織り交ぜながら、あっという間に90分が経過してしまった。

2、学生アンケートから

「教員の熱意がとても感じられた」「授業内容がとても充実していた」「良く調べてある」「分かりやすかった」などがほとんどであったが、中には「観点が良く分からなかった」「少し難しかった」なども見られた。

3、教員アンケートから

配布資料の質の高さに関して多くの評価が寄せられた。また授業の流れがスムーズであったことやキーワードの適切な使用、さらに「授業者の熱意」が高く評価されていた。

4、検討会

特に、学生の理解度に心を配りながら、どう授業を組み立てていくか?について活発に意見交換がされた。本授業では前時の質問に答える



質疑応答の時間を設けている点、またプリントを多く配布し学生の理解を助ける、などの手当てがなされていて、参観した教員からは大いに参考になったとの意見が多く出された。最後に、お忙しいところすばらしい授業を公開してくださった初澤先生に、参加各教員から謝意が表された。

今年度の実践を省みて

人間発達文化学類 初澤 敏生

今年度の授業実践で留意したことは、プリント類の活用と出席票を兼ねた質問票の活用である。

筆者はこれまでもプリント類をかなりの量配布してきたが、これは長期間にわたり資料として活用される可能性を考えたためである。これは以前から考えていたことであるが、たまたま会った教職に就いた卒業生から、今も授業時の資料を活用していると言われたことから、それをさらに体系化しようと努めた。今年度は、資料の精選と整理に努め、ファイルした後も使いやすいように配慮を加えた。具体的には、授業内容を簡単にまとめた(筆



者の経験からすると、詳しい要旨を配布してしまうとかえって学生の授業への集中度が落ちるように思う)レジュメ的なプリント(1時間あたり A4、1枚程度)と資料を分ける。授業はレジュメとなるプリントを基に進め、必要に応じて資料編を利用する。資料類は分量はやや多くなるが、授業後も資料として活用できるようまとめたものとするを重視し、授業中にその内容にすべて触れることは前提としていない。その結果、プリン

トの配布枚数は増加傾向にあるが、できるだけ授業前にプリントを並べておき、事前に取りってもらって授業時間を短くしないように配慮している。

このような方法をとっているもう一つの理由は、学生から「できるだけ多く黒板に書いてほしい」との要望が出されてくるようになったためである。以前はこのようなことはなかったのだが、最近、口で話すだけではノートを取るができない学生が増加しているようである。レジュメと資料プリントの配布はこれに対応することも目的としている。このような学生の要望に応えることには賛否両論があろう。詳しい資料を配付することは、学生のノートを取る能力の向上にはマイナスとなる。この点については、今後、検討を深めていきたい。

今年度の実践のもう一つの特徴として、感想欄を大きく取った自前の出席カードを作り、毎時間書かせていることも挙げられる。これは、単に出席を取るだけではなく、授業中にわからなかったことを書いてもらい、次の時間の最初にそれを説明して理解を図るという

方法をとっている。昨年度までは一部の授業で試行していたが、今年度からすべての授業に拡大した。今まで「試行」にとどめていたのは、大人数の授業だと質問に答える時間が長くなり、本来の授業に支障が出るためである。今年度から学類科目が中心となり、昨年までに比べて受講人数が減少したことから、すべての授業に拡大した。

この方法にはメリットとデメリットがある。メリットは授業中の説明で理解が不十分であったことをより詳しく理解できるようになることである。デメリットは、その一方で授業の内容とは余り関係のない質問や、授業中に説明したにもかかわらず聞いていなかったことを再度質問するようなものが増加し、それに答えると授業が「脱線」してしまうような場面が毎時間のように現れてきていることである。学生の質問には答えてあげたいため、余りにも目に余るようなとんでもない質問以外には答えるようにしているが、そうすると授業の進度が遅れてしまう。悩ましい問題である。もう一つのデメリットは、疑問に教師が答えてしまうと、学生が自分で調べようとしなくなるのでは、と感じるような場面が増えてきたことである。簡単に質問できる環境を整えたためか、調べれば簡単にわかるようなことでも自分で調べずに質問するようになってしまったようである。これも悩ましい。学生の疑問は多様であり、それを共有化することは授業上にもメリットがある。その意味で質問は大切にして答えていきたいが、どちらかというと「ツボ」を外した質問が多い。思うようにはいかないものである。



最後に授業内容について2点ほど触れたい。一つは自分の研究を還元すること、あるいは自分の研究を基に語ることの大切さである。自分の論文を教材として使う授業は内容も深く、学生も良く理解してくれる。ただし、これは自分の専門分野の授業をすればいいということではない。特に人間発達文化学類では授業に求められる幅が非常に広く、他の専門大学と同じ授業をしていたのでは、学生の需要



に対応することはできない。例えば、高校の社会科の先生が「私の専門分野は日本近世経済史なので、鎌倉時代の授業はできません」と発言するようなことが想像できるだろうか？ 大学・学類・専攻が求める人材養成のためには必要なカリキュラム・授業内容があるはずである。それに合わせた授業を行うだけでなく、それに対応した教材研究も深めなければならない。また、学生の要望に

もできる限り対応していかなければならない。(小・中・高ではこれは当然のことである。) 教育を重視する大学を標榜するのであれば、大学(学類)が必要とする授業分野にあわせ

て、教員自らが研究の幅を広げていく必要があるのではないかと考える。無論、自分が専門とする研究はそれとは別に進めていかなければならない。「教育重視」は「研究軽視」を意味しない。研究をより深く、より幅を広げて進めていくことこそが教育重視につながると思う。大学の教員も自らの研究のスタンスを再考しなければいけない時代に来ているのではないだろうか。



もう一つは、学類の授業内容に関することである。学類のカリキュラムにおいては（人間発達文化学類では）取得する教員免許の種類などが自由になり、学生の自由選択が増加した。これは学生の興味関心を活かしたものであるが、その一方で問題も発生させている。私は教職地理も担当しているのであるが、小学校向けの社会科の授業と、中学校向けの社会科の授業、高校向けの地歴科の授業がそれぞれ存在している。学部時

代は学生が取得する教員免許の種類が決まっており、また、授業も積み上げ式に構成することができたので、1～3年にかけて体系的な授業を行うことができた。しかし現在はそれぞれの授業で「この授業しか取らない」という学生がいるし、将来的にはいくつもの授業をとるにしてもその順番はバラバラ、という状況になったため、基礎的な内容や重要な内容については、各授業間で重複しながら取り上げなければならなくなってしまった。（例えば、「分業」や「自動車工業」などに関する授業は、今年の後期だけで3回行った。）この結果、それぞれの授業内容も削減せざるを得なくなっているし、いくつもの授業を取っている学生は「また同じ授業だ」と感じるようになっていく。それぞれの授業では取り上げる資料を変えるなどして目新しくするにはしているが、限界がある。学類のカリキュラム構成を再検討しなければならないのではないだろうかと思う。ただ、「この授業は2回目だったので内容がよくわかった」などという学生の感想も出てくるようになった。「一度話せばわかっているはず」という前提の方が間違っているのだろうか？



第3回授業公開&検討会

日 時 平成 18 年 11 月 6 日 (月)

16:20~17:50 授業公開

18:00~18:40 検討会

場 所 教育実践総合センター4階音楽リズム実習室

授業名 『基礎演習』(子育て支援クラス)

授業者 白石 昌子(人間発達文化学類)



ファシリテーターからの報告

人間発達文化学類 菅家 礼子

1. はじめに

何よりも先に報告したいことは、参観者全員を唸らせる「すばらしい！」授業であったということ。授業が進むにつれ、知らず知らずのうちに授業の中に引き込まれる受講者。のみならず、参観者までもがいつしか一人の受講者になってしまったほどです。写真からその様子を伺っていただければ何よりです。

2. 授業概要

「基礎演習」は学類新設の授業で、「学習クラス」単位で開講されています。全部で 11 ありますが、公開された授業は「子育て支援クラス」ですので、幼児教育・保育関係に興味関心をもつ学生たちが受講者です。

15 回の授業は、「まず読み書き能力をしっかりと身につけさせたい」、その上で「保育観を育てたい」という教師の願いのもとに計画されていました。毎時用意される題材テーマ、本時(第5回目)は「子ども観・保育観」でした。具体的な課題は、学生たちに「絵本の選び方について考えさせる」ことでした。この外、毎時間継続的に行われている三つのドリル「要約」「手遊び」「絵本読み」も組み込まれていました。繰り返し、繰り返し行うことで、保育者に必要な能力の身体化が図られていました。

【授業の様子ダイジェスト】

導入段階での「手遊び」「要約」の課題。にこやかに、おだやかに、時にきりっとした表情で学生に話しかけながら楽しく取り組ませつつ、勘所はきちっと押さえられています。10 分という時間配分も見事です。

本時の展開に入る際には、『さんびきのこぶた』の



お話、知ってる？」と語りかけます。「知っているに決まっているのに・・・」と怪訝な様子で手を上げる学生たち。白石先生すかさず「・・・と、思うでしょう！」との言葉かけ。



「えっ？」という表情とともにクスクス学生たちが笑い出す。学生をつぼを知っていることを感じさせる教師と学生のほほえましいやりとり。しかし、そこには鋭く授業内容へ迫るきっかけづくりが隠されていることを見逃すわけにはいきません。

机の上に数冊用意されていた中の2冊の「さんびきのこぶた」の絵本を掲げ、「みなさんがお母さんならどっちの絵本を買う？」との問いかけ。学生たちをちょっと迷わせてから、それぞれの絵本の値段を伝えます。ほとんどの学生が安価な左側の絵本を指差します。「そうだね、経済的だものね！」と学生の反応にうなずきながら共感する白石先生。

高価な方の絵本を読み聞かせます。・・・ザワザワし出します。「えーっ」と思わず声を出す学生も。自分たちが知っている話と内容が違うからです。いわゆる概念崩しが行われたわけです。2冊目を読み聞かせます。途中から、ウンウンとうなずく学生の姿も見られます。「自分が知っているのはこの話だ」というわけです。3冊目、これも後半になると話の顛末が違ってきます。今度は「へーっ」といった声が聞かれます。3つの「さんびきのこぶた」の読み聞かせの後、「みなさんはどの絵本を選ぶ？」と再度問いかけます。

ここで授業は本時の主題に迫る山場を迎えます。資料が配布され、「絵本の選び方」について考えさせる時間です。学生が食いつくように資料に目を通す様子はもうご想像がつくことでしょう。

3. 参観者の感想

水間玲子先生（人間科学クラス）

11月6日、白石昌子先生の公開授業「基礎演習」を見学させて頂きました。

始まりは楽しい手遊び歌。そして「要約」のワーク。これらは、授業の最後に毎回学生が順番で行う「絵本読み」とともに、白石先生が「ドリル」として毎回取り入れておられる活動だそうです。そのドリルに挟まれる形で、メインのトピック。この回のテーマは「子ども観・保育観」。「子どもに対する対応においては、自身の保育観が反映されてくるため、自身の保育観をしっかり形成していかなければならない。そしてそれを自覚化することが大切である。」——このことを考えていくため、白石先生は、3種類の「3びきのこぶた」のお話をとりあげます。そして、それぞれの絵本に潜む保育観を可視化し、その上で、自分はどの本を選ぶのか、そしてそれはなぜか、を学生達に考えさせていきました。

この授業とその後の検討会を通して、勉強にな





ったことは沢山ありました。資料精選、構成のうまさもさることながら、それを十分に生かす授業の流れは、まさに、モデルを見せていただいた感がありました。それは、その都度の発問、資料プリントを配布するタイミング、間の取り方、など、様々なものに支えているのでしょう。ですが、何よりも、白石先生の教育観がしっかりされているから、学生を揺さぶりながらも自身は揺らがない、対応のぶれない授業が展開で

きるのだと了解しました。奇しくもその回の授業で学生に伝えようとしていた事とシンクロするところでもあり、とても印象的でした。

4. おわりに

是非、総合教育研究センターから「ビデオを借りて見ていただきたい！」と呼びかけ、報告を終わらせていただきます。



第4回授業公開&検討会

日 時 平成 18 年 11 月 13 日 (月)

13:00～14:30 授業公開 (M24 教室)

14:40～16:10 検討会 (S 棟 1 階会議室)

授業名 『法社会学Ⅱ』

授業者 塩谷 弘康



ファシリテーターからの報告

行政政策学類 近藤 雄大

1. はじめに

平成 18 年度 F D ワークショップ授業公開&検討会の第 4 回として、平成 18 年 11 月 13 日 (月) に行政政策学類の塩谷弘康教授による授業公開が開催された。以下では、授業の概要および検討会の内容を紹介し、最後にそこで出された今後の課題などについて記すことにしたい。

2. 授業の概要

公開された授業は「法社会学Ⅱ」であり、今回のテーマは「裁判の基本構造」であり、とくに裁判の諸類型と発展形態が取り上げられた。授業は、まず前回の授業の質問と感想の紹介から始まった。受講生は、各回の授業で配布される用紙に質問や感想を書いて提出しており、その中からいくつかをピックアップしたものに対して説明の補足や質問への回答を行っている。その後、今回のテーマについての解説が行われた。裁判を「形式性」と「合理性」という 2 つの観点から類型化し、そこに現れる 4 つの類型について具体的な事例を挙げながら話しが進められていた。そこでは、まさに裁判という法制度が、さまざまな社会の中でどのように発展して来たのかが示されたものであった。レジュメや資料が配られているため、口頭での説明が中心であり、板書はメモ書き程度のものであった。授業の最後に、次回の内容が告知され、受講者が予習をしやすいように配慮されていた。その後、用紙を配布し、今回のテーマに対する質問や感想などを書いてもらっていたが、これは必ずしも時間内に提出しなくてもよく一定期間までに提出すればよいとのことであった。当然のこととは言いながら、塩谷教授の進行方式は、1 回分の準備をするのみならず、何回かの先を見越すようなしっかりとした構成をしていないと難しいと感じた。トピックごとに丁寧なフォローや解説が行われており、受講者にとって非常に理解しやすい授業であった。なお、授業公開参観者が 4 名と少なく、非常に残念であった。

3. 検討会

検討会は、前記授業公開参観者と塩谷教授を含めた 5 人で行われた。ここでは、参観者

からそれぞれコメントをいただいたうえで、塩谷教授に毎回の授業の進め方や今回の授業目的などについてお話しいただいた。その後、若干の質疑と検討が行われた。参加者からのコメントとしては、「板書やレジュメの使い分けをどのようにしているのか」、「音量やスピードが良かった」、「質問や感想を記入する用紙が配布されており良かった」、「参考文献をどのように意味づけているのか」といったものがあつた。塩谷教授からは、板書はレジュメを配布しているためメモ書き程度であるが、これに対して受講者からは賛否ともにあること、資料やレジュメの分量が多くなってしまうという問題があること、さらに資料やレジュメを事前に配布しても受講生が読んでいないこと、参考文献は紹介であり興味を持った学生の勉強に役立ててもらいたいことなどが、紹介された。その後の検討では、資料やレジュメをどのように配布するのが経済的かつ効率的であるかという点について、インターネット上のサイトにアップするとよいのではないかという意見が出された。この点については、現在、福島大学のホームページ上には各教員がアップできるような場所がないので、可能ならば大学のホームページ上で一括してアップできる場所を作ってはどうかという指摘もあつた。また、レスポンスペーパーの配布の有効性や、板書の位置づけを考える必要があることなどを再確認して検討会を終了した。

4. おわりに

今後の課題としては、検討会で出された意見をどのように各教員にフィードバックさせていくかということがあげられる。今年度は昨年度よりも一歩前進させ、公開する授業の数を各学類1つから各専攻1つにすることが目標とされた（私の力不足で行政政策学類については学類で1つになってしまったが。）。ということは、必然的に学類横断的な意見の交換よりも、専攻という研究分野の近い集団内でのやりとりが重視されることになる。したがって、フィードバックされる意見も一般的な内容からその専攻に特有の内容に移ることになるであろう。このことが実効性を持つためには、少なくとも自専攻で提供された公開授業には積極的に参加するといった態度が求められることになるだろう。

FD に期待するもの

行政政策学類 塩谷 弘康

研究者になりたくて大学教員の途を選んだ私にとって、教えること・学びの場を提供することの難しさは「想定外」の事態だった。それでも、赴任した頃は、数年もすれば徐々に慣れ多少の自信もつくのではないかと淡い期待を抱いていたのだが、十数年経った現在、それがまったくの思い違いであったことを痛感させられている。

たしかに、講義の枠組みが定まってくると、相変わらず直前のレジュメ作りや印刷に負われているものの、かつてのように徹夜で授業準備をすることはなくなり、少しは余裕をもって講義に臨めるようになった。また、テーマ、授業形式、成績評価など、毎年、マイナーチェンジを繰り返しながら自分なりの講義スタイルができてきた。

しかし、実際には、自信がつくどころか、自分はこの職業に向いていないのではないかという戸惑いや不安が深まるばかりである。その根本的な要因は、ここ数年の学生の質的

変化の大きさに対応できていないことにある。

今年度から、「法社会学Ⅰ・Ⅱ」の配当学年を3年生から2年生に引き下げたのだが、講義の最後に学生に書いてもらう「質問・感想」を読んで驚かされることが多かった。講義内容とはまったく関係ない「感想」、明らかに講義を聴いていなかった「質問」、事実や根拠ぬきの感覚的・感情的な「意見」等々、もちろんすべてではないが、従来とは異質な「質問・感想」を書く学生がかなりの割合で存在しているのである。また、講義だけではなくゼミにおいても、文章がかけない、議論ができない、要するに、論理的・批判的に物事を問い考えることができない学生が増えていて、その対応に苦慮することが少なくない。

今回、FDプロジェクトから授業公開&検討会の依頼があって二つ返事で引き受けたのも、このような問題を解決するための何らかのヒントを得たいと願っていたからである。実際に「俎上」に上ってみての感想であるが、参観者の先生方からは、自分の話し方や学生の反応など普段は気づかない点の指摘を受け、レスポンス・ペーパーの意義や使い方、レジュメの形式・量や配布方法、板書の活かし方などについてきめ細かなアドバイスをいただいた。あらためて自分の未熟さと教授方法改善の余地の大きさに気づくことができ、こうした機会を設けていただいた関係者の方々には篤く御礼申し上げる次第である。

ただその一方で、自分自身の力量や努力の不足はあるにしても、個々の授業改善だけでは解決できない問題があるとの思いをいっそう強める結果になった。もちろん、一つずつ



の授業の積み重ねが大学教育の全体を構成しており、学生評価や教員の相互批評によって、各教員が授業の質を高める不斷の努力を続けることは必要不可欠である。

しかし、FDにおいては、教育内容の改善と教授方法の改善は車の両輪である。今の学生が大学に何を求めているか、また21世紀の社会を担っていく上で学生に何が求められているかを明らかにし、福島大学ではいかなるカリキュラムによってどのような学生を育てていくかという「教育方針・内容」について、全体として合意形成を図り、その中に、個々の授業を位置づけていくことが重要なのではないだろうか。

最近、つくづく、教育は、生身の人間（学生）を相手にするという意味で、「サービス業」なのだと思う（ただし、学生にも努力と責任が求められる点で単なる「サービス」業ではない）。学生が変化すれば、今まで積み重ねてきた経験やノウハウは通用しない。学生が変わることなど世の常であり、何を今さらと笑われそうだが、十数年間の定点観測によれば、現在の大学教育は従来とは異なる次元・段階に突入しているように思えるのである。残念ながら、経験則に基づく印象論にすぎないのだが、雑談や飲み会の席で話していると同じ感覚を共有している教員は少なくない。私のFDへの期待は高まるばかりである。

日 時 平成18年11月15日(水)

8:40~10:10 授業公開(S22教室)

10:20~11:50 検討会(S棟1階会議室)

授業名 『運動処方』

授業者 杉浦 弘一



ファシリテーターからの報告

人間発達文化学類 金谷 昌治

1、授業内容

本授業は「肥満の運動処方」というテーマでおこなわれた。健康の維持増進を目的とした運動が様々なかたちでおこなわれているが、実施方法が正しくないと逆効果となってしまうことから、正しい処方の仕方を学ぶ必要がある。

授業は宿題の解説にしっかりと時間を割き、詳細な資料を配布しながらも重要な点はパワーポイントで表示し、学生の理解を助けていた。また授業時前半を計算と質疑応答中心の実習形式、後半で講義、そしてまとめの実習、というスポーツ関係教員ならではの小気味良いテンポで流れていて、1コマ目でありながら眠い目をこすっている学生は皆無であった。

2、学生アンケートから

「しっかりと説明を受けた上での計算なので、良く理解できた」「いろいろな計算を学べて、時間がたつのを忘れてしまう」などが中心であるが、逆に「詳しくすぎてややこしくなるときがある」も見られた。

3、教員アンケートから

「課題の難度が適当である」との意見が多く、テンポの良さと相俟って、スムーズな授業運びとなっていた点に評価が寄せられた。また実習では計算式をお互いに教え合うなどの活動が自然におこなわれていて、「学びあい」を視野に入れた授業の組み立てがうまく機能している点も指摘された。

4、検討会

この授業においても、学生の理解度、学習の遅れについて話題となった。授業者の発言で注目されたのは、スポーツの授業においては同様の内容が重複することが多く、そのため他の授業においても学生の理解度を確認できる機会があるという点である。理解度の把握と学習の遅れも複数の授業でカバーしていくという考え方は、特定の専門領域間でしか

成り立たないかもしれないが、同領域の教員間での情報交換や対応による集団的な指導のありかたにも話が及び、大変有意義な検討会であった。

最後に、お忙しいところすばらしい授業を公開してくださった杉浦先生に、参加各教員から謝意が表された。



授業公開アンケート

人間発達文化学類 杉浦 弘一

授業において考慮していること

私の授業に於いて考慮していることは、他の授業との関連性を強調しながら展開していることです。学生は個々の科目の内容を良く理解しようと心掛けながら授業に臨んでいます。しかし、それらの科目の内容の関連性については十分に理解していないどころか、それぞれの内容を単独で理解しており、せっかくの知識がリンクしておらず、単なる暗記科目となってしまうことが多いようです。そこで授業中に関連する科目との関連性を強調することで（場合によってはこれから受ける講義との関連性も強調）、頭の中で情報のネットワークを形成させ、覚えていくのではなく、考えて導き出す訓練を授業の中で出来ればと考えております。そして知らないことでも今までの知識を駆使して答えを予測する「考える」ことの第一歩となればと考えております。

学生が他の科目で教わったはずなのに理解していないと感じたときには、授業を中断しても関連のある内容の講義に切り替えることもあり、その結果講義の進み具合が遅れることもしばしばあります。

私が講義を担当する「スポーツ医学」「運動処方」「アスレチックリハビリテーション」は基礎科目である「生理学（運動生理学）」「解剖学」「体力トレーニング（実技）」「スポーツ栄養学」などが関連し合っており、その関連性を理解することも重要です。したがって、関連するそれぞれの科目でどのような内容を扱っているかは時折確認して授業を進めています。

授業の工夫

学生に考える時間を与えたり、ランダムに当てて回答させたりすることで、授業の緊張感とテンポを維持しようと心掛けています。ある一定時間考えさせるときは、ひとりで考えさせるのではなく2～3名で相談して意見交換をしながら考えさせます。そうすることで、考えようとしないう学生に対しても考えようとする心がけをさせることが出来るとともに、ひとりでは考えつかなかったようなことが導き出されることも良くあります。

授業公開をしての感想・意見

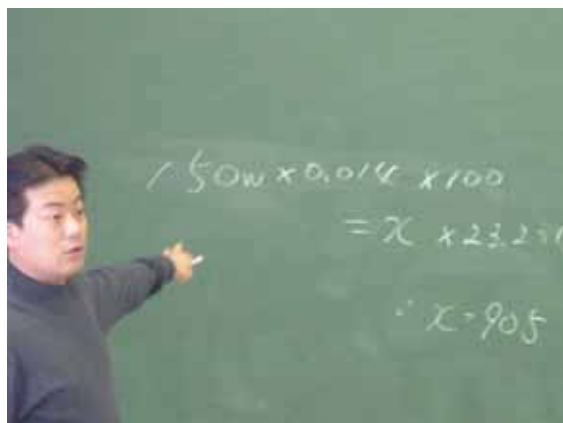
初めて他人に授業を公開し、意見を頂きました。

自分では気づかないことが多く、意見を頂くことで「なるほど」と思うことがたくさんありました。検討会に出席してくださった方々はどちらかというと良いことを拾い上げようとされていましたが、私個人としては改善した方が良い点を多数指摘して頂いた方が自分のため、学生のためになるかと考えていましたので、もう少し厳しい意見をビシビシ言ってもらいたかったです。

実は学生の授業評価でも、学生には良かった点よりは悪かった点や要望を出来るだけ書くようにお願いして、自分なりには改善を試みようとはしています。しかし、ヒトは自分には甘いもので、なかなか思うような改善が出来ないのが現状です。

したがって今回の授業公開は非常に良い経験になりました。今後の授業に生かせるよう取り組んで行きたいと思います。

授業を見に来てくださった方々、そして検討会に出席してくださった方々、どうもありがとうございました。



日時 平成 18 年 11 月 21 日 (火)
10:20～11:50 授業公開 (S42 教室)
12:00～12:50 検討会 (S 棟 1 階会議室)
授業名 『地下水盆管理学概論』
授業者 柴崎 直明



公開授業の感想

共生システム理工学類 柴崎 直明

平成 18 年 11 月 21 日 (火) に、「地下水盆管理学概論」の公開授業をやらせていただきました。私は約 2 年間に着任した新任教員なので、「公開授業」がどのようなものなのか全く知らないままそれを引き受けたのですが、FD プロジェクトをはじめ予想以上の多くの先生方が参加されたのでびっくりするとともに、参加した教員だけではなく受講した学生にもアンケート調査をしたので、もっとまじめに準備しておけばよかったなと思いました。

さて、私は 20 年以上民間コンサルタントで仕事をしていたので、顧客相手の説明とか学会・セミナー・報告会などで調査結果や専門技術を説明する機会は多かったのですが、学生相手の授業についてはあまり経験がありませんでした。大学に来てからの授業では、いづなるべく分かりやすく話をしようと思がけておりましたが、授業後の検討会で「もっと学生に考える時間を与えたほうが良い」などと指摘されたときは、なるほど、そういうものなのか、と感じました。また、授業では毎回パワーポイントを使用し、授業後にそれを PDF ファイルにして研究室のホームページに掲載していましたが、検討会での指摘や学生からの要望もあり、その後は授業の前日に予習用 PDF ファイルを公開するようにしました。これについては、後に学生からも評価してもらいました。

公開授業後の検討会や教員アンケートの結果をみると、大きく分けて授業の進め方など技術的なアドバイスと、授業内容そのものについてのコメントがあったと思います。前者については、「なるほど」と思われる指摘がありましたが、少し技術論を強調しすぎて画一的な授業になってしまうのではないかと感じられる指摘もありました。私は、大学の授業はなるべく教員の個性を尊重して行うのがよいと考えており、授業の進め方やパターンは色々あってよいと思います。一方、授業の内容についてのコメントでは、今回公開した

授業だけから内容を判断され、15 回全体の授業の流れを踏まえていないものがありました。授業全体の流れや構成については、シラパスの内容と公開した授業内容の位置づけの説明や資料配布があったほうがよいと感じました。

最後に、今後の公開授業について少し提案をさせていただきたいと思います。1つは、このような公開授業は、是非、その教員の所属する専攻や関連する分野の教員が多く参加できるように工夫したほうがよいという点です。そうすれば、授業の技術的な側面だけではなく、内容についてもっと意見交換することができ、より効果的な授業の改善が図れると思います。2つめは、公開授業を形式的なものではなくもっと学生の立場からも効果的なものとするために、前年度の学生アンケート結果などを踏まえて、「分かりやすい」と評価された授業、あるいは「分かりにくい」と評価された授業などを対象として「公開授業」を実施したらどうでしょうか？ そうすれば、全学的な授業レベルの向上が図れると思います。

以上、感想だけではなく提案も含めてしまいましたが、「公開授業」という貴重な機会を与えていただき、感謝いたします。



日時 平成 18 年 11 月 27 日 (月)
13:00～14:30 授業公開 (L4 教室)
授業名 『社会開発論』
授業者 菅沼 圭輔



ファシリテーターからの報告

経済経営学類 真田 哲也

当日は、検討会をもつことが諸般の事情で困難であったので、ファシリテーター個人の印象を中心に以下述べ、次に、この場を借りて今後のFDの進め方について思うところを述べてみたい。

(1) 講義スタイル。この科目は第4セメスターの専門科目である。当日の出席者は70名から80名程度。L4教室のため空席は多くなる。授業スタイルは、配布した講義レジュメ・資料をベースにして講義が進められるというオーソドックスなスタイルであり、重要事項については改めて板書して詳しい説明を進めて行くというものであった。

(2) 講義の特徴。1) 配布された資料とレジュメの完成度がきわめて高いと思われた。講義内容の要点が書かれていることは当然としても、図表の適切な配置・レイアウトに加えて、「講義のねらい」「小括」が随所に記述されており、講義の大意を把握するさまざまな工夫が凝らされている。さらに、驚いたことは「レポート課題の指示」「ヒント」も記載されており、講義の復習のほか時間外学習の指針もセットとなっていた点である。2) 講義ではとくに重要な点については改めて板書がなされ出席学生の大半がノートを取っていた。板書もわかりやすい。3) 学生アンケートも概ね好評であり、大学の模範的講義かもしれない。他面で、携帯を机の上に置いている学生や操作している学生、雑誌を読む学生、寝ている学生も一定数いたこともあり、発問をするなど学生とのコミュニケーションの工夫をして関心を引きつけることもありうるのではないかと、とも思われた。

(3) 今回、菅沼先生にはせっかく授業公開をして頂いたのに、担当者の私の消極性もあって参加者が少なかったことを反省している。そこから考えたことは以下の通り。現状を率直にみれば、全学的なFDの取り組み、とくにその一形態としての全学的公開授業は積極的関心のある教員はある程度参加しても、それほどでない多くの教員にとっては遠い存在となっている。これを乗り越えていくにはどうすべきか。そもそもFDには二つの側面、個々人の教員の教育技能の開発・研鑽という側面と学類・専攻としての教育目標・科目連携という組織としての教育力の向上の側面があると思われるが、全学的レベルでの公開授

業はどうしても授業方法などの技術的側面に関心が向けられがちと思う。それ自体は確かに積極面もあるが限界もある。また、各教員の教育技能の問題もその担当科目の個性や担当教員の研究歴・研究課題と不可分であり必ずしも同一科目で同じ教育技能を求めるべきではないのではないか。そして教育単位ごとの教育力向上こそ今後のFD活動の中心に据えられていくべきである。これまでの「上からの革命」的FDの発想を転換させ各学類・専攻でFDを企画・組織することを基本とし、その全学的交流としてのFDは再定義されるべきでないか。共通教育のFD展開にはさらに複雑な問題があるように思われる。



第8回授業公開&検討会

日時 平成18年12月14日(木)
8:40~10:10 (M24 教室)
12:00~12:40 検討会 (S棟1階会議室)
授業名 『ちからとかたち』
授業者 田中 明



授業公開・検討会に参加して

共生システム理工学類 田中 明

今回、公開させていただいたのは、「ちからとかたち」というオムニバス形式の科目の中の「生体におけるちからとかたち」の第2回である。本科目は、微小な世界から、長大な建造物まで6人の教員が様々な視点でモノの形状とその力について講義を行うもので、私が担当する「生体におけるちからとかたち」では、第1回で、筋肉や骨格について、その力の発生原理から実際の発生力までの力の伝達に関する話と、実際のデータを基にした物理量の紹介を中心に話をし、第2回では心臓に関する話と生体の代わりとなる力について、

人工臓器や移植について最新のトピックスを交えて講義を行った。

本科目は2週のための担当なので講義時間が限られていること、共通領域の科目なので受講者が理工学類の学生だけではないことなどを考慮し、この講義を行う際に心がけている点は以下の6つである。

- ・ 1回目の講義で紙に質問や感想を書いて提出、2回目の講義で回答。
- ・ 授業中に欠席はとらず、上記の提出によってカウント。
- ・ レジュメの配布
- ・ 物理・数学の公式や用語の説明はレジュメに解説
- ・ パワーポイントによるスライドを中心に講義
- ・ 写真・動画・実物をできる限り利用

特にスライドに使用している写真や動画は実際に病院で取得したものや自分の研究で得たものなどを利用したり、実際に臨床で用いられている人工心臓に触ってもらったりし、できる限りライブ感を意識した構成にしている。

実際、聴講した学生が、今回のポイントとなる生体を中心とした、力、圧力、仕事（仕事率）、効率についての理解を深めてくれたかどうかは課題の採点を待たないとならないが、物理・数学の理論が生体工学という分野で広く応用されていること、医工学など普段なかなか触れる機会がない分野の話題であることや最新のトピックスを盛り込んだこともあり、それなりに興味をもってくれた学生も少なからずいてくれたことが、講義時に行ったアンケート結果で見取れた。

授業後の検討会では、今回の講義に関して率直なご意見をいただいた。授業中私本人が気づいていなかった学生の反応や、注意していたがあまり効果が現れていなかった点など、貴重なご意見・アドバイスを頂くことができた。特に、プロジェクタ中心の授業に関する注意点である、速くなりがちなスライドの提示速度や、一方通行の授業になり易く学生の反応を反映し難い等のご指摘は直接今後の授業改善につながる内容であった。さらに、私の方からの講義方法に関する問題提起に関しても貴重なご意見を頂くことができたのは非常に有意義であり今後の授業改善に活かしたいと思う。

最後に、ご多忙な中参加していただいた諸先生方、FD プロジェクトのオーガナイザーの方々にお礼を申し上げたい。



日時 1月15日(月)

10:20~11:50 授業公開(M2教室)

12:00~12:50 検討会(S棟1階会議室)

授業名 『循環型産業論』

授業者 石田 葉月



公開授業を終えて

共生システム理工学類 石田葉月

月曜2時限に開講している「循環型産業論」を公開しました。公開時の授業は、京都メカニズムでもお馴染みの排出権取引制度に関する内容でした。

私の授業は、パワーポイントによって作成したスライドを用いて進行するスタイルをとっています。学生にみせるスライドは、指定のウェブサイトにもってアップロードしておきます。

私は、授業において黒板を使用しなくなって久しいですが、淡々とスライドを見せて説明し続けるだけの授業では学生も私もお互いにダレてくるため、時折、黒板を使って練習問題を出します(計算問題が主です)。練習問題は宿題ではなく、その場で学生に解いてもらいます。

しばらく時間を与えた後、回答を示します。学生の眠気を覚ますという意味もありますが、練習問題は、実は私にとってもちょうどよい気分転換になっています。

授業後の検討会では、多くの貴重なご意見を頂きました。なかでも有難かったのは、スライドと黒板を併用するための工夫を一緒に考えて頂いたことです。本授業において使用しているM2教室は、スクリーンが真ん中にあるため、黒板を使う場合には、その度にスクリーンを収納しなくてはなりません。授業で度々黒板を使う場合には、スクリーンを上げ下げしなくてはならず、そのときになんとも言えない「間」が出来てしまいます。これは、私にとってはとても頭の痛い問題であり、ついつい、黒板を使うべきところを口頭の説明のみで済ませていました。

私が反省したのは、これは教室の構造上、仕方のないことだと決め付けていたことです。検討会で頂いたアドバイスはごくオーソドックスで的確なものでしたが、これは本来、私自身が考え付かなければならなかったことでした。いずれにせよ、公開授業および検討会という機会は、自分の授業をあらためて客観視する機会を与えてくれました。

授業公開&検討会について・・・まとめとして

FD プロジェクト責任者 森田 道雄

今年は各学類の専攻単位での開催を計画し、結果として9回開催しました。授業担当者及び参観者の皆さんにあつく御礼を申し上げます。

FD プロジェクトで総括的な議論をおこないました。その時の各発言の要旨は以下のようなものでした。

- ① 各専攻単位で開催し、回数が増えたが、参加者が少なかった。
- ② 学類の執行部を巻き込んだ形で実施してはどうか。
- ③ 学類のFD活動に位置づけて実施してはどうか。
- ④ 各学類でFDを受け止める体制を築くことができないか。
- ⑤ 授業提供者の人選、依頼を学類に任せることができないか。
- ⑥ 来年度は、各学類で最低1回は実施するということにしてはどうか。
- ⑦ FDプロジェクトで企画するものとは別に、各学類で「授業公開&検討会」を実施できないか。
- ⑧ 会議のない水曜日の午後に計画すると参加しやすいのではないか。
- ⑨ 今年度は、「授業公開&検討会」が、月曜日と火曜日に集中していた。
- ⑩ 来年度は、前期開講科目についても「授業公開&検討会」を実施してはどうか。
- ⑪ 実技科目も「授業公開&検討会」を実施してはどうか。
- ⑫ 体育実習の宿泊先で自主的なFDを行った。
- ⑬ 新任教員に限らず、授業担当教員の許可を得て普段に授業を見学できるのが理想ではないか。
- ⑭ 担当領域の近い教員同士で「授業公開&検討会」を実施するようにしてはどうか。
- ⑮ 人間発達文化学類では、教養演習を今年度担当した教員の報告会を3月8日12:00～13:00に予定している。
- ⑯ 北米では、ハードウェア担当の教員が作成したマニュアルで、他の教員が授業を行ったり、1人の教員から大勢の教員が講義を受け、それをもとに授業を行っている。そのようにすれば授業が標準化され、負担の軽減にもなるのではないか。また、そういうふうになれば、自然に他の教員の授業を見に行くようになるのではないか。

以下、私の感想を含めて、今後の課題を中心に書かせていただきます。

どの授業も例外なく教育内容は、非常によく練られて魅力的でした。講義中心で、パワーポイント(動画もありました)、声量やテンポなどに工夫があって素晴らしかったです。授業資料の配付(ネットへのアップ)、練習問題に取り組みせる、課題を「宿題」として与える、など授業時間外での学修への配慮もありました。多くの点で、参考になる公開授業であり、参加者が少ないのは残念というほかありません。ただ、学生とのやりとりでいえば一方通行で単調さが気になり、方法上の工夫の余地があったように思われます。

私の個人的感想の第一は、大学教員は、「よい教師」になれる要素を持っているということを確認したことです。大学教員の最大の長所は、教育内容の質の高さであり、オリジナルの研究に裏付けられた「ほんもの」を提供できる点です。

第一線の研究が素材だから、教材の臨場感も魅力の一つです。しかし、内容がよいことは、学生が「わかる」ことにつながりません。学習者の側に「学び」が成立し、知識を自分なりに意味づけるということが不可欠です。ただ、記憶すればよいというものではない(そういうものが勉強だと思いこんでいる学生が少なくない)。「わかる」「できる」ためには方法や評価の点で、研修が不可欠です。方法や評価では大学教員はまったく素人であり、自己流が通用するにも限界がある、ということを自覚しなければならないと思います(その自己流は、多くの場合指導教授の模倣であり、その教授は、エリート段階での大学教育の享受者なのです)。質の高い「研究」が、質の高い教材になるためには、学習者の立場に立った配慮が必要です。また、学習者にわからせるための「研究」という視点も出てくるように思います。

大学教員のもう一つの長所は、「教授の自由」ということです。検定教科書とか学習指導要領のような形で規制されるようなものはありません。自由な環境、内容構成の無限とも言える裁量は、教育内容を学習者の側に近づける可能性も無限にあるということです。

ただし、教授の自由は、大学という組織、学部専攻などのカリキュラムという大枠があることと、かつ、学問的な標準性(学界でのおおまかな共通理解のようなものか?)を無視した、自分だけの学説の「押しつけ」は認められないでしょう。また、教育を受ける権利に応答する「責任」とセットになった「自由」でもあります。＜もっとも、真理は少数説から始まった、といわれるように、この教授の自由は一つの論争的なテーマではある。＞

大学として提供するカリキュラムは、かつては、授業科目名だけでよかったのですが(設置審にかけられる際に今でいうシラバスを提示する必要があり、いわゆる担当者の専門との科目適合性が審査された)、いまでは、授業内容を詳しく示すことが不可欠になってきました。もっとも、そこで内容のチェックがあるわけではありません。〇〇学、という授業名ならば、その学問的な本質や内容が盛り込まなければならない、というのは当然です。しかし、今はそれだけではなく、その学問の教授が、どのように伝達した知識内容によって学生が学習の結果どう「変容」したかという、いわゆるアウトプットに関しても、近年、世間は寛容ではなくなってきました。大学卒業単位と卒業証明書という数字や紙切れだけではダメだということでしょう。ユニバーサル段階となれば、この変化も致し方ないところです。

「知」の教授は、知の体系や技法の伝達だけでは済まないものです。そこから、認知、思考、再構成、検証などのプロセスが生じ、それらの一連のプロセスの結果をテストによって測定されます。たとえば、ペーパーテストで測られる結果というのは、その人の能力の二十分の一程度に過ぎない、という研究もあるくらいです。この数字はともかく、テストによって、一時的な「知」の成果を「単位」として認定したとしても、その中身が終わった瞬間からどんどん剥落していく、という経験は誰もが持っています。試験で、何を測るのかという自覚的な問いを持つ必要が、出題者には求められます。剥落した知識の断片以上に、その授業の成果として何が残るのか。学習の結果が残る意味は何か、ということが問われなければなりません(答えはそう簡単ではないですが)。

大学教育の改善とは、授業方法の改善の域にとどまらない様々な課題を整理し、丁寧な検討を進めていきたいものだ、というのが今期の結論ではないでしょうか。

F Dワークショップ 授業公開&検討会に向けて ー授業者と参観者の皆さんへー

福島大学 FD プロジェクト

福島大学では、今年度のF Dワークショップとして「授業公開&検討会」を開催することになりました。実際の授業をお互いに見せ合って、具体的に授業をどう改善していったらいいかみんなで話し合おうという試みです。福島大学全体の授業力量充実・向上のためにも、授業を公開された方が「皆さんに見ていただけてよかった」と思えるような、また参観者の方々も「今度は自分の授業を見てもらおう」と思えるような、そういう会になる必要があります。そのために以下の諸点に注意しながら、授業公開&検討会に参加してください。

- 1) 「授業公開&検討会」の目的は授業改善であって、だれかを批判したり、非難したりすることではありません。みんなが前向きになれるような明るいムードの会にしましょう。
- 2) 授業者は、ふだんどおりの授業を心がけてください。他の先生方が聴いているからといって、いつもより高度な内容に触れたりすることのないようにしてください。
- 3) 参観者は、その授業の「いいところ」を発見し、自分の授業にも生かすよう、心がけてください。
- 4) 参観者は、学生と一緒に授業の内容だけに集中しないでください。大事なことは、授業中の学生の反応であり、学生がどのように学んでいるかという事実です。授業の内容や授業者の行動の変化によって、学生は敏感に反応しているはずです。学生は、どのようなときに授業に集中し、どのようなときに集中力を失っているのでしょうか。
- 5) 参観者は、今日参観した授業が、15 回分の 1 回であるということにも留意してください。
- 6) 教室の環境などにも留意して参観してください。
- 7) 検討会の場では、参観者が授業者を誉めることから始めましょう。授業者も過度に自己反省の弁を並べたてる必要はありません。大学教育に関しては誰も皆、素人みたいなものなので、お互いにアイディアを出しあって、それぞれが抱える問題を解決していきましょう。

(注意) 授業公開中の**教員同士の私語**は、学生の受講の妨げになりますので、くれぐれも慎んでください。

FD ワークショップ 授業公開&検討会 授業観察カード

* 授業者と授業名（ : ）

【観察の視点 例】 ① 授業技術に関して ② 授業運営 授業構成に関して ③ 授業の目標・達成度・理解度・満足度 内容に関する取り組みや工夫 ④ 学習活動 学生の参加度に関する取り組みと工夫 など

観察の 視点	参 考 に な っ た 点	疑問や課題が残った点

【×毛】

この観察カードは、授業参観時・検定会時のメモとしてご活用ください。



新任教員 FD 研修



- 1 授業設計・シラバスの書き方
教育内容・評価に関する「契約」事項
授業設計のポイント、目標を明示することと学生にはっきり伝えること
評価の仕方の「予告」の重要性
- 2 教育内容の吟味
講義ノート、資料提供、ゆくゆくはe-Learningへの対応も
ビデオ、OHP、パワーポイントなどの教材提示ツールの活用と濫用の戒め
共通教育科目（本学では全員出席方式をとる）・総合科目と「教養教育」の再定義
- 3 授業方法のノウハウ
講義でのノウハウ、ゼミなど少人数でのノウハウ・・・参加型授業、ワークショップなど
コミュニケーションペーパーの運用、「中間」レポートの意義
「教えたつもり」にならないために
- 4 学習法の指導
ノートの取り方、板書の功罪、ワークシート、グループ活動、集団討議の仕方 etc
レポートの書き方指導（ネット情報への依存を戒めることも）
「ごまかし勉強」からの脱却
「知識」は、どこにあるのか？（客観主義と構成主義・・・理論はどうでもいいと思うが）
『どんなときに「よく学べる」か？』から導かれる「よい教え」とは
「自ら学ぶ」と、思考法（KJ法、クリティカルシンキング、マインドマップなど）
- 5 評価法とGPA
学生の学習を「評価する」・・・甘い（厳しい）評価はなぜでるか
「評定」にたいする学生の受け止め方（GPAの意義）
学生による授業への評価をどう見るか
- 6 授業以外での学生指導
教養演習（フレッシュマンセミナー）と教員の役割・・・学生とのコミュニケーションづくり
問題を抱える学生との関係
学生とのトラブルを避けるために（単位認定、アカハラ、ゼミ指導など）
- 7 FD研修の重要性と大学教育の将来像
ユニバーサルアクセス段階の大学の教育機能、「教養教育」「キャリア教育」など
教員自身が「学び成長する」、そのやり方は？！
生涯学習と大学教育機能
※ 現在進行中の授業公開&検討会に是非参加を・・・次年度も

参考文献 池田輝政ほか『成長するティップス先生』玉川大学出版 2001

吉田新一郎『効果10倍の＜教える＞技術』PHP研究所 2006

ほか多数

○ プリント資料 徳島大学「FD推進ハンドブック」

■ ■ 新任教員による授業参観の観察カード

参観者 人間発達文化学類 中辻 享

現代社会と学校」 森田 道雄

平成18年6月16日 4時限

観察の視点	【参考になった点】	【疑問や課題が残った点】
授業技術に関して	言葉を区切り、ゆっくりと話されるので聞き取りやすい。	学生の意見にもあったが、マイクで話されるとさらによいかもしいない。特にはじめのころ学生の私語があったので、後ろの者には、聞きとりにくいかもしれない。(但し、完全に不可能とはいえないと思うが)
授業の運営・構成に関して	NHKなどの番組のビデオを利用されていたが、それを単にまるまる見せるのではなく、必要最低限(10分以内)にとどめ、先生の説明を中心に授業を構成しているところが巧いと思った。また、先生の説明とビデオ上映が交互になされる変化は、照明の変化とともに、授業が単調に流れないようにするのに効果的と思った。	
授業の目標・達成度・理解度・満足度・内容に関する取り組みや工夫に関して授業技術に関して	レジュメにメモ欄を設けている点。自分でノートを取ることによって、理解も深まると思う。 学生に授業内容に対する意見・感想を書かせ、それに答えるプリントを配布している点。これにより、授業が一方方向に終わるのを防げるだろう。先生と学生との信頼関係も深まるだろうし、学生の授業に対する意欲も深まるだろう。学生の方もなかなかしっかりした意見を書いている。	

【メモ】

倫理学概説」小野原 雅夫

平成18年6月23日 4時限

観察の視点	【参考になった点】	【疑問や課題が残った点】
授業の目標・達成度・理解度・満足度・内容に関する取り組みや工夫に関して	ワークシートを取り入れ、学生に授業内容に関する意見や感想、疑問などを書かせている点。学生の授業への能動性を高めるのに大いに効果があると思った。また、学生の書いたワークシートに対する回答を行うことで学生の疑問が解消し、前回の授業内容が深まるし、学生の学習意欲も深まるだろうから、これは特に大切な過程だと思う。	但し、ワークシート形式は、教師としての経験がある程度有し、授業内容がしっかりとしてきた段階で取り入れれば、大いに効果を発揮するのではないか。その点、今の自分にはまだ採用できないかもしれない。
授業技術に関して	板書。レジュメを配るときよりも、学生の授業態度が熱心だと思う。単に写しをとるのではなく、考えながら移す学生も多いだろうから、とても有益だと思う。	
授業技術に関して	倫理学では、個々の哲学者の思想をたとえ話などもあげながら、わかりやすく解説することが重要と思うが、そこを非常にうまくされていた。また、学生の興味ある話題や冗談なども話され、授業が単調になっていなかった。	

【メモ】

現代社会と学校」森田 道雄

平成18年6月23日 4時限

観察の視点	【参考になった点】
導 入	「リテラシー」と、具体例としての食品に明記されている原材料名答の話題提供により、学生の興味関心が増している様子がはっきりと伝わってきて「導入の大切さ」が大変参考になりました。
課題の提示	講義全体の課題提示、また講義内での各テーマごとの課題の提示と課題の理解のさせ方が、適切な資料が提示されていて、また現代の課題もあわせて紹介されていたので学生が理解しやすいと思いました。
まとめ	単に板書でまとめるだけでなく、新たな課題を提示して、学生に考察させている点。

全学教育研究集会



日 時 平成18年12月9日(水) 15:20～17:00
場 所 L2 教室

全学教育研究集会

森田：　ここから教員企画の全学教育研究集会を開催させていただきます。教育担当副学長の森田と申します。最初に全学教育研究集会の主旨について挨拶も兼ねて、申し上げます。私は1979年に参りましたので今の現役の学生さんが生まれる前から来ているわけですが、来たとき既に全学教育研究集会という名称の会がありました。これは主に教職員が自発的な形で大学教育について、時には高校の先生と一緒に、或いは学生さんと一緒に「国民のための大学づくり」というスローガンの基で開催してきたという歴史があります。キャンフェスが自発的な教育研究集会を引き継いだ側面がありますけれども、同時に法人化した福島大学が学生の大学参画つまり学生の皆さんの意見を聞きながら、大学運営を進めていこうという方向



性を「新生福島大学宣言」においても述べておりまして、今回はそれを具体化する1つの取り組みとしてこれまでになかった開催形態で実現に至りました。こういう形が良いのかどうかも含めまして試行錯誤の過程と言っても良いわけですが、今日の経験を糧にしてさらに次年度以降、方法・内容等についてより良いもの

を実施して行きたいと考えております。

これまで共通教育委員会が開催してまいりました教育研究集会の内容を聞きながら今日は評価をテーマに、2つの話題提供を基に教職員相互或いは学生の皆さんとの対話・意見交換を行っていただきたいと思います。この場で結論を出すという議論ではなくて、様々な意見・疑問を出し合い共通理解を深める或いは意見の相違点を認め合い有意義な時間にしていただきたいと思います。限られた時間ではありますけれども、学生の皆さんは自分たちのいる大学を自分たちの個性を出してつくりかえていこうという議題で、遠慮なく意見を出していただきたいと思います。受け止める側の教職員に関しては必ずしも意見統一があるわけではありません。場合によっては学生さんの前で違う意見を議論し合う場面があるかも知れません。今申し上げましたようにここで結論を出そうという主旨ではなくて、成績評価・授業評価の2つの側面で議論して行きたいと思います。ただ、教職員側意見が散らつくかも知れませんが授業を良くしよう、教育の質を高めようという点での方向性は共通に持っていくということで臨んで行きたいと思います。言葉足らずではありますが参考資料を申し上げまして、早速話題提供に入って行きたいと思います。

2つのテーマがあると申し上げましたが、前半・後半に分けてまして最初に成績評価GPAについて教員側から話題提供をし、それを基に議論いただければと思います。後半は授業アンケートということで、毎回最後の授業辺りで学生の皆さんに授業アンケートを書いて頂いていますが、これにつきましても改善に関する意見が寄

せられていますので、改善の方向についての話題提供をして皆さんで議論していただきたいと思います。それでは成績評価の話題提供をお願いしたいと思います。

藤原： それではただいまから、教員企画といたしまして成績評価GPA制度なのですが、昨年からGPA制度が導入されて、実は昨年度の学生さんが参加されなかった時に全学の教育研究集会が開催されて、同じような件で行いました。共通教育委員会、教育企画委員会で主催・共催して全学教育研究集会、今年もこういう形になりました。共通教育委員会・教育企画委員会から2人出て発表するわけですが、私は経済経営学類の藤原と申しまして、パワーポイントの操作をしていただくのが行政政策学類の佐々木さんです。よろしくお願いします。



今年は昨年に続きGPAについてどんなお話をしようかと考えたところ、昨年の2つのセメスター、今年の前期のセメスター、今、学類の2年生の方は3つのセメスター分のGPAが出ているわけです。その成績分布ということで生の数字はある訳ですが、色々な制約がありますのでデータを加工いたしまして、パワーポイントでグラフを作ってみました。その説明をいたしまして時間があ

したら、皆さんでディスカッションという形にしたいと思います。

この図1をご覧になると分かると思いますが、1セメ・2セメ・3セメ、昨年の前期・後期、今年の前期の学類毎の学生さん全員のGPA平均です。少し右肩下がりで、一番分かりやすいのは経済経営学類でございまして、3セメ、つまり今年の前期のGPAが下がり気味です。しかしながら、それぞれ大きく変わりはないと言えると思いますけれども。「毎」の意味は1セメだけで計算した値、2セメの科目の成績だけで計算したGPAの値ということでございます。最初は3という平均で2セメもそれを維持していながら、3セメでは専門的な授業が入ってきて少し落ちています。でも、2は確保しています。「望ましい水準=C=2」ということを考えてみますと、全員の平均が2を上回っているということです。大学の教育目標の観点から見て数字ばかりで見るとどうかとは思いますが、それなりに見えるのではないのでしょうか。

このパワーポイントの1つ目のグラフに関しまして言いたいことがございまして、経済経営学類の学生さん・教職員の方ご存知だと思いますけれども、実は卒業に必要なGPAだけを計算している。卒業判定に必要なGPA科目を予め指定して、全ての科目の計算ではないということです。1セメ・2セメ・3セメ非常に少数のGPを平均しているだけでございまして、取り分け3セメになりますと専門的な科目の基礎のような科目が卒業判定GPAの科目になりまして、それを計算し

ていましてその科目の成績がかんばしくない方もいらっしゃいますと、それが平均になって出てくるとのことだと思います。

後の議論で色々意見をお伺いしたいのですが、例えば専門の科目が増えた方がいらっしゃると3セメの専門の科目で何度か教員の方が15回の講義の途中で、回復する手段と言いますかレポートを出してもらってそれを採点する中で、この子にはこういう手段が良いかなと。そういうことはFDと関わるのではないかと思いますけれども。今日はFDと成績評価の話が2つ並んでいるわけでございまして、成績評価は客観的に落ちているというだけでなく本当は3を維持すれば素晴らしいことですので、その辺の手段等を考えるきっかけになれば良いかなと思います。

次の図2は見てもらうとすぐに分かるかと思いますが、分かりやすい像を用意させていただきました。2つ目は私ども共通教育委員なので、共通教育の中のある特定の科目があるのですが、同じ名称の科目が9クラスあります。同じ名称の科目なので学生の皆さん方が同じGPが出るのを期待されているわけですが、それぞれ担当の教員が違います。昨年度、前期に開講されたその科目は同じテキストを使っています。その場合のグレードポイントは左からA・B・C・D・Fで、その割合を折れ線グラフで示しました。同じ色の線がそのクラスの成績分布の山を示しています。色が分かり難いかも知れませんが、黄色はAの割合が多いです。真ん中の方にとがった山があります。AとBが多くてCとDが少ないという山になっているクラスが多いです。これは各クラスを担当されている教員の方の自律的な成績の付け方、教育内容・成績の付け方にしても教員の方に責任を持って自律的にお任せするという理念が昨年から導入されました福島大学GPA制度の根幹でございまして、多少違って良いじゃないかという意見もございますが、やはり学生さんからみたら同じ科目で同じテキストを使っているのに、成績評価が極端に違っていると不公平に感じるかも知れません。しかしながら今年の前期はどうだったかというのが次の科目について、一目瞭然と言いますか非常に形が似てきました。(図3)昨年と同じ科目を今年も9クラス開講したわけですが、水色の線のクラスは前年度よりも多い。他の8クラスはほぼ同じ形になりました。ここで何が言いたいのかといいますと、ある1つの科目だけを取り上げて全てを押さえるのは無理なことですが、同じテキスト・名称の科目で何人もの先生方が色々相談しあいながら、教育方針や成績の付け方が意思統一されてきて成績評価に結び付けているのではないかと推測されます。

今日はこの場で紹介する材料といたしまして、教員向けにGPAを含んだアンケートをさせていただきました。その結果をもらったのですが、その他に「やはり同じ科目であれば成績の分布は常に一致する方が良いのではないか」という教員の方の意見もございますが、「各教員が責任を持って自主性に任せるべきじゃないか、無理矢理一致させるのはどうかと。」というような意見もございます。先程、開会の言葉でおっしゃいました様に教員の意見に相違があります。しかし、1つ1つの実

際の中において工夫するところは工夫して綺麗に成績分布の形が一致するような実践もあるということを申し上げておきます。

先程の成績分布A・B・C・D・Fの形が出来るまでを計算したのが、各クラスのGPAの値でしてA～Iクラスまでありますが、Aクラスの上の方をご覧下さい。

(図4) 先程、昨年の各クラスの成績分布の様子が今年どれ位一致したか見て頂きました。昨年は各クラス非常に高低差があります。今年はほぼ一直線に近いですが、Iクラスが突出しています。共通教育の1つの科目で見えていますけれども、昨年よりはGPAについて教員方も工夫されているのではないかと思います。

次のグラフに移ります。(図5) これは共生システム理工学類の方には関係がなくして申し訳ないのですが、その他の3学類で比較をしまして、昨年の前期の段階で成績分布A・B・C・D・Fを折れ線グラフで示しています。これは学生さんのとったGPではなくそれぞれの学類が提供している科目のGPなので、例えば人間発達文化学類の学群共通科目の中に3学類の学生さんが受講しています。ですから、学類が開講している科目を受講している学生さんがもらった成績の分布です。学類ごとの学生さんの成績分布ではないです。Bの割合が非常に高い科目を開講している学類もあります。

もう1つややこしいのは、3学類それぞれ2つずつ学群共通基礎科目を開講をしまして、2つの科目の平均です。ですが、形が違うと言うのが昨年の前期です。最後ですが、今年の前期はそれがどうなったか。(図6) 割合でみるとBがやはり多いです。ここでGPA制度について運用していく上で考えなければならないのは、「C」の位置づけです。よく言われます、「望ましい水準を達成していればCの成績か」と。大学教員が望むものはCレベルでも十分に納得出来るのか、学生さんがもう少し良い成績を取りたいというときに、教員側は今までの「優・良・可」から考えて「C」は何にあたるのだろうという発想をしてしまうと、「望ましい水準=C」とはなんだろう。

1つは、GPA制度を真正面から捉えて従来の「優・良・可」の成績の付け方か、100点満点で換算してどうなるか、新しいものとして出発するのか。その辺を基に先程申しましたように各教員に成績評価を責任を持って行ってもらうことになっていますので、制度の運用ということも成績のバラつきにと言いますか、人間がすることなので完全に一致することは無いと思います。討論の際にGPA制度の根幹に関わるものを考えてもらっても良いかなと思います。

本日は非常に早口で分りづらかったかも知れませんが、パワーポイントで作っていただいて私が言うのもなんですが視覚に訴えるもので分かりやすかったのではないかと思います。手前みそな話ですが、昨年出発して2年目でここまで来た。しかしながら最初の右肩下がりのグラフを思い出して欲しいのですが、やはり専門の科目になりまして学生さんにはっぱをかける訳ではありませんが、下がり気味なのは「F」を取ってしまうからです。グレードポイント0点が入ってしまうとどうして

も平均は下がってしまいます。なるべく「F」出さない授業の方法等、その辺はFDの話にも関わると思います。平均云々ではなく1人1人の学生さんを大切にするということを考えたとき、我々大学教員としては改善の余地があると思います。GPAに関する発言が長くなってしまいましたが、終わります。

森田： どうもありがとうございました。学生の皆さんには分かりにくい所があったかも知れませんが、後で議論に参加していただきたいと思いますのでお待ちください。当初GP及びGPA制度を導入するにあたって、色々と慣れない点でバラツキの問題がありました。それが3回の経過の中でバラツキの改善がされてきたのではないかと1つの事例として、報告があったと酌んでいただければと思います。今の報告について質疑応答をしまして、その後にGP或いは成績評価について学生の皆さんの質問・意見等含めまして議論できればと思います。

まずは報告に関してご発言求めたいと思います。よろしいですか。科目名がぼやかされたり等色々と聞き取りにくい所もあったかと思います。3回分のデータを色々と解析していただきまして、先程ご紹介あったような科目に限って表れているような、各教員が言葉は悪いですが勝手に採点を出していたということですが、望ましい水準をシラバスに書いてそれに到達しているかということでの成績評価を色々と工夫をして定めていただいている状況が報告されたかと思います。ただ、もちろんこれは学生の皆さんの方からすると学んだ成果の一部がA・B・C・D・Fの評価として形式化されただけであって、本来の学生の皆さんの成績評価になったのかという点について、この機会に教員側と意見交換等を活発にしていきたいと思います。先程3セメになって成績が下がったという例が出ていましたけれども、専門科目が入って教員の・・・が厳しくなったと言えるのかどうか、数字だけでは何とも言えませんけれども。仮にそうだとすると、どこで皆さんが学んだ成果を例えばレポート或いは試験で評価されるという形態も含めて、質問・意見等ありましたら出していただきたいと思います。

教員A： 山が一致する方向に行っていて、それが改善だというお話がありましたけれども私は改悪だと思います。なぜ、山が一致しなければならないのか、その説明をしていただきたいと思います。そもそも、全然違うかも知れないわけですよね、教科書と授業名が同じということを前提にするなら、結果として出てくる山も同じようになると思います。ここに来ている学生さんが全然違っている可能性もあるわけで、そうすると山を揃えようとすることによって本来の学生の授業の結果として、学生さんが得たものはバラバラなのに山だけが揃えられた結果になってくるのではないかなと思います。実際に反映する、山が揃うというもっと重要な価値をおざなりにして山を揃えたということになり兼ねない。むしろ改悪だと思います。私、GPA制度は即刻廃止派なのですが、山が揃うはずだという前

提が疑われないまま話が進むのはどうかと思います。なぜ、山を揃えないといけないのか、それによって現実をかえって曲げてしまうのではないか、その疑問についてお応えいただきたいと思います。

教員B： GPA制度には多様な面があり、成績を揃えるだけが本来の目的ではなく、揃ったから即刻廃止というのは乱暴な議論だと思います。

まず、GPAというのは「同程度の能力を持った学生が、同じ授業科目を受けたら同じような評価をされてしかるべきだ」という前提が本来はあるわけです。それぞれのクラスに対し全然違う人達が来ているかも知れないということですが、むしろ統計学的には能力の分布大体揃うはずなのです。全部で1000人からの人間を適当に10個に分けたときに、それぞれの分布は大体同じになると思われます。

その前提に基づくなら、同じ授業をしたら大体同じ反応があるというのが自然で、それでも成績分布大きく違っているならば、何が違うかと言いますと、「学生の分布が(めったにない程度の確率が)偶然にも(起きたために)違った」か「教員の評価の基準が違うか」のどちらかしかありません。本来(GPAで)は「評価基準が同じである」という前提に基づくので、(そのような取り決めをしたなら)山(分布)が揃うという方がむしろ自然だと私は思います。

真田： 同一科目・同一テキストで試験も同一でしたか？試験が違った場合はそういう可



能性はあると思います。私は経済経営の真田と申します。1年生の第2セメスターの「データで見る日本経済」を清水先生と私で分担していますが、同一のテキスト・内容、ただ、説明には個性がありますが試験問題は統一です。これは学生にも全て公開していて、大体同じような結果が出ています。学生側から見た場合同じテキスト・同

じ内容・同じ試験で、極端に評価が変わったら不満に思うのは当然です。そこを揃えていくのが大学側の義務ではないかと思います。

人間発達文化学類2年生：

学生の意見が出ていないので言わせていただきます。グラフで見た学部では同じ内容・教科書・テストしているという前提で、山が同じになるかどうかというお話しだったと思います。人間発達文化学類でも教科名の同じ科目がありまして、形式は多少違いまして教科書もクラス毎に違がって試験内容も違う評価をしています。その場合評価の結果が変わって当然なのですが、教科名は同じわけです。当たった

と言う表現はおかしいかも知れませんが、誰の担当のクラスは内容も大分楽でほとんどの人がAをもらえるような簡単なことしかししないのに、他のクラスでは凄く難しいことをして課題も多くC・Bしか取れなかったというような話が何度か出ています。この例と言うのは大分極端だと思います。他の学部では内容も全然違っているのに、同じ評価して扱われその評価もバラバラになっているという現状があるので、その点についてどうなっているのかお伺いしたいと思います。

森田： 人間発達文化学類の事例を私はどういうものか分からないので、一般論で応えたいと思います。先程申し上げましたように昨年導入したばかりなものですから、教員自身の今までの評価の仕方が全面に出ていたと思います。自分の成績の付け方について、基準をシラバスに書くことになっています。ただ、どういった評価をするかは教員任せですから、その結果、今お話されたようなバラつきが現にあって、その教員方が例えばAばかり出している、Aは出さずにC・Dばかり出すということであれば、それは改善してもらわなければならないことです。これは私個人の意見ですが単に成績評価の問題ではなく、自分がその授業どういう目標で教育をしているのかという所に関わる大事な論点だと思います。ですから、担当教員に大学で研修等で改善のために努力していただいて、そういう所で変えて行く方向付けをしたいと思っています。先程の論点に戻しましょう。

藤原： たくさんのご質問ありがとうございました。まず、大黒さんの方から成績分布の山を無理矢理揃えとは何事だ、と批判がございました。実は共通教育の中にもたくさんございまして、人間発達文化学類の学生さんがおっしゃったように同じ科目名で非常に分布が違うものがあります。しかし、今の議論で出ていますように教科書や教員の授業方式が違います。そういう方法でGPA制度が発足したわけございまして、同じ科目だからといって必ず成績分布の山を揃えろということはありません。しかし、今日ご紹介しましたある科目は昨年より今年の方が成績分布の山が接近してきた。最終的な一致は無理なので、受講している学生さんや担当教員も違って同じテキストとは言え、GPA制度の本当の運用面でも完全に一致しろとは言わないまでも、相談しながら行うとこういう風になるという結果です。それを目指すのではなく教育上の配慮が必要だからした事で、その結果として成績分布の山が近づいた。まだ2年目なのでその程度の事しかいえないと言いますか、本当に試行錯誤で行っていますので大変なご苦労だと思います。

真田さんからの試験問題は同じかというご質問なのですが、試験問題は違うそうですが、テキストが同じなのでそれ程大きな問題はないという事です。

人間発達文化学類の学生さんの質問に、私はお応え出来る立場ではないので申し訳ございません。

こういう点検作業は今年が初めてです。昨年も同じようなテーマで行ったのです

が、前期の成績しかなくて比べようがありませんでした。今年初めて比べられて、私は福島大学に10何年居ますけれども画期的と言いますか、教員が色々な意見を交えるような場に学生がいることに驚きです。

森田： ありがとうございます。まだ、時間が余っていますのでフリートーキングということで、ご発言求めたいと思います。

教員 C： 理系が苦手なので非常に初歩的な質問なのですが、一定の人数で一定の成績を付けていくと根源的に揃うはずだとおっしゃった方がいらっしゃいましたが、サイコロを振っている訳ではないので揃う訳がないと思うのですが、その点で揃ってくるというのは改善されていないと思います。

教員 B： 「できないと自己申告があったグループ」「非常にできる人だけのグループ」が編成されているならば話は違いますし、10人程度の小グループで分布を調べるのならば話は変わりますが、今回の資料では、「無作為にクラス分けされた」「100人くらいのグループ」で分布を調べているので、（理想的に均質な教育と評価がされているならば）各グループの分布は全体の分布とそろうことが、統計学的には期待されます。

1000人の集団から無作為に100人を取って、100人の中の男女比を調べたら、それは1000人の男女比と大体同じになる、というのは常識にかなうのではないのでしょうか？

教員 C： 理論的には分かるのですが多い授業もありますし少ない授業もあるのが現実で、かなり底上げを供給出来ると思えないと辛いと思います。分母が大きくなっていくと、と言う数学的な説明は分かりますけれども、Aばかり付ける教育が悪いのかと言われるとそうなる訳ではないと言う事もありますし、人数等の色々な条件に寄るところの仕分けがどこまで出来ているのか共通理解が無いと思います。

森田： 少々難しい議論になってきましたが、確かに統計的な問題と教員の努力の度合いによって学生に対するパフォーマンスが違うと言う議論ですよね。

教員 D： 17年度のスライドがありましたが、AやCが極端に多い教員というのは私がよく存じ上げる教員ではないかと思います。1つ問題なのは、色々な教育理念によってある程度のバラつきがあるのはよろしいかと思いますが揃える必要もないと思いますが、Cが非常に多い教員は日頃からこの大学で「Aをあげるに値する学生に会ったことがない」とおっしゃっています。A・Bしか付けない教員は「授業にきちんと出席して一生懸命勉強していれば基本的にAだよ」という考え方です。そういう考え方も色々あるでしょうけれども、それを合わせるという必要もない

のですが、私は考え方としてやはり学生はこの大学に 1 つのキャリアを求めて来られている訳ですから、学生のキャリアを阻害するような事があってはいけませんので基本的に自分が大学者であろうと、自分より出来なければ A を付けないと言う考え方では学生のキャリアを阻害してしまうことになりますし、極端に A ばかりを出すもの大学の科目の評価も下がります。結局は学生達のキャリアに響いてきます。そこは常識的な範囲で自分の信念で行っていかれたら良いのではないかと。合わせる合わせないと言うよりも、教員方に副学長から学生のキャリアを阻害しないような成績の付け方に留意して欲しい、ということを徹底すれば良いと思います。

森田： 私に対するアドバイスを頂きましてありがとうございます。このテーマは後 5 分程度になりますが次のテーマに移りたいと思いますので、この議論に絡むこと、学生の質問等に答えるという事でも構いません。

行政政策学類 2 年：

根本的な質問ですが、GPA 制度について導入されている学類とされていない学類では、卒業に関係するということで異なる対応をされていると思います。友人に「勉強すればするほど科目の度数が増えていって、卒業ラインにどんどん届かなくなっていく、これではこの制度は一体何なんだ。」と言っている人がいます。私の周りの話を聞いていると、CAP 制度と GPA 制度を混同して認識している学生がとても多く、情報が行き届いていないことがあるのでそこをもう少し説明していただきたいです。よろしくお願いします。

森田： それは最初のテーマに関わることです。

藤原： CAP 制度と GPA 制度を混同しているということですが、実は関連しています。今までの CAP 制度は経済学部ですと 1 年間に 60 単位登録できましたが、学類の今はセメスター毎に 2 単位物 12 くらいで登録できる科目が減っているというものです。GPA 制度を根本的に言いますと、2 単位を認定するときによく出る話ですが、学習時間が 90 時間ありましてそれを 15 回の授業で出来るわけがないので、家に帰っても勉強する時間がたっぷりあるわけです。授業を受けて更に学生さんが勉強をしないと単位が取れないというのが、GPA を導入した本当の意味です。混同しているというお話がありましたが、関連付けて考えるのが 1 番良いと思います。

GPA 制度が卒業判定に関わるというお話がありました。経済経営学類は 2 年生の前半に 3 つの専攻に入っていただきまして、専攻毎に GPA を計算する科目を決めています。学群共通科目から始まりますから、1 セメから GPA 計算をする科目が始まっているわけです。非常にシビアなこんなに厳しい学類はこの大学ではこ

こだけです。その厳しさを我々教員も噛み締めて学生さんに解ってもらう努力を、ご発言を聞いていますと教務委員の方もいると思いますのでよろしくお願いします。

本当は他の学類のように全ての科目の GPA を算出し、それで 2 以上ないと卒業させない事にしようと考えましたが、それではあまりにも大変なので専攻の専門に近い科目だけを計算しようではないかと。世間に出ていただいたときに少なくとも経済経営の専門科目は良い成績を取っている人ですと、まさにキャリアを保障すると言いますかキャリアを証明してあげるという方法で、経済経営は卒業判定で専門の専攻に関わるものを GPA 2 以上としています。

森田： これで疑問が解消するとは思いますが、また色々と対話を続けていきたいと思っています。

私、最後に特に教員方に申し上げたいのですが、教師が手持ちの授業で試験を行い成績が悪かった場合、それは生徒だけの責任ではなく教師にも当然責任があります。昔、必修科目を大量に不可にして卒業延期になった明治大学の有名な事件が、マスコミに取り上げられて問題になりました。「お前は不可だ」と切り捨てるような評価の仕方ではなく、なぜこの学生は D しか取れないのか或いは不可になってしまうのかをも含めた評価の在り方を考えなければならない。そういう状況が GP の 1 つの課題ではないかと思っています。進級バー或いは卒業資格があってそれに達していないからダメだという事ではなく、そこに至る前にきちんとした成績を取れるような指導・フォローを含めてこの問題を考えていって欲しいと思います。

勝手にまとめるのもご批判があるかも知れませんが、授業アンケートについての話題提供に移りたいと思います。今、話題になったのは教員が学生の皆さんを評価する方向性でした。今度は逆に学生の皆さんに教員の授業の状況を点数化したアンケートを書いてもらう物ですので、この 2 つの方向は違いますが同じような性格を持ったテーマなのではないかと思っています。この後、話題提供を経済経営の真田さんからお願いしたいと思います。

真田： 経済経営の真田と申します。先程の質問に関することですが、CAP 制度は科目を厳選しようということです。たくさん科目を申請してたくさん単位を取ろうという姿勢は良くないということで、科目を絞りその科目は良い成績を取って下さいと言う事です。その良い成績が GPA 2 以上ということで経済の要卒 GPA の仕組みと CAP 制度が繋がっています。たくさん単位を取っているけど成績が悪いというのは、良くないというのが経済経営学類の考え方です。

それでは授業アンケートの改善について報告させていただきます。これは今の GPA 以上に教員の意見が分かれています。私個人の意見もありますが、最大公約数ということで学生の皆さんには中立的にお話したいと思います。先程、森田先生もお話されましたけれども、色々な意見の違いがあって良いと思いますので結論を出

すことよりも、学生・教員側でそれを出し合っていたいただければと思います。

私も、森田先生の下に置かれた「授業アンケート改善ワーキンググループ」のメンバーとして、この半年間位ディスカッションをしてきました。そのことを簡単にお話したいと思います。セメスターの授業が終わる度に各科目のアンケートを学生の皆さんが書かれていると思います。福島大学では5年前から始まりました。もっと前から行っている大学もあります。私は10年以上前から似たような事をしてきました。5年前から基本的に全科目を対象にアンケートを実施してきました。その時の主旨は教員の授業改善のための手段・資料としてこのアンケートをしましょうと言う事で始まりました。それまでは学生の皆さんの声が担当教員或いは科目の担当者に伝わる方法がありませんでした。その中でそれなりに学生の声を反映させられる試みとしては、意義があったのだろーと言えらると思います。それまでは教員たちは授業をやりっ放しで試験結果を出して、学生の声を受け取るチャンスがありませんでした。ただ、他面でそれも私はそれなりの意味はあったと思います。大学は自分で選択した分野を自主性・主体性をもって勉強を進めて行き、それが最終的に卒業論文という形でまとめられるのが1つの目標ですから、学生の皆さんの自主性・主体性を重んじるための材料・1ステップとして、大学の講義が位置付けられるように考えることが当然なわけで、そう考えますと学生の声を重視しなかったのにも私は一理あったと思います。ただし、それでは授業改善をしていくという教員側の意欲というものが引き出されにくい状況になりますので、それに対する反省として学生の授業アンケートが行われて来たのだろーと私は理解しています。これは大雑把な経過です。

今はどういう状況かということですが、共通認識的なことを紹介したいと思います。教員・学生側が相互に限界・マンネリを感じてきている、或いは実施することに意味があるのか、相互不信的な状況が生まれているかなというのが大雑把な現状だと思います。教員・学生側のそれぞれの側から問題点をいくつか紹介したいと思います。

まず、教員から見て今の授業アンケートにはどんな問題があるのか、4つ程挙げたいと思います。

1つは、自分の科目の実情、大人数・小人数、理系・文系、共通教育専門、語学等色々な科目が一律に行われますから、自分の聞きたいことが十分に聞きにくい。

2つ目は、学生に対する不満があります。学生が「あの先生の授業は面白い。」「この先生の授業は面白くない。」と、お客さんの意識で評価しがちで、一緒に授業を作っていく一助としてアンケートが書かれていない、という風に教員からは見えてしまう。それは授業の後半10～15分で書いてもらうだけですから、時間的にも十分ではないでしょう。最後の授業は試験直前ですから、大体試験直前の授業は出席率が高まりますよね？その時だけ出てきた学生に「この先生の授業は面白い・面白くない」、「先生に熱意がない」と言う事を、書かれているのではないかという不満

を教員側は持っています。授業に出ていればこういう回答はないはずだと言う事を、学生がズバズバと書いていて教員も傷ついています。極端な例事を言いますと、私が親しい経済経営のある教員は回収された学生アンケートを見ません。見ると本当に授業を熱心に受けて、授業の改善に役立つような意見を書く学生はあまりいないと言う教員もいます。個人攻撃的な事を書かれていて、その学生のはけ口的な事もあるのかなと感じます。そういう不満があって、このアンケートは本当に学生の情熱・向上心から書かれているのだろうかという不信感が教員に芽生え始めています。

3つ目は、教員内部の問題でもありますけれども、今のアンケートだけでは授業改善に結び付きにくく、その次にどうすれば良いのかがいまひとつ見えてこない。

4つ目は、学生に対する要望でもありますけれども、1つ1つの授業をアンケートで評価するのには限界があるわけです。もっと言いますと、学生1人1人が Semester 毎に申請する科目が違います。専攻によって授業の組み方も違いますから、自分がこの Semester・授業でこういう能力を身に付けたい、だから今回この科目を登録したという学生の Semester 毎の自分の勉強プランの中で科目を評価することがされているのだろうか。恐らくされていないだろう。「この先生の授業は面白い・面白くない」、「先生に熱意がない」と言う孤立的評価では、学生の自己点検・実力形成の一環としてのアンケートにならない。アンケートは学生の皆さんが教員・科目を評価するのが主ですけれども、その評価は学生自身が自らの学習態度やどのように関わってきたのかという反省も含めて書かなければならないと思います。学生として全力投球をしてきたが教員の指導に不満を感じたのであれば構いません。しかし自分の学習態度は不問に付して教員だけを批判するという事に問題はないか。そういう学生の自己点検という要素が不十分だという議論をワーキンググループ内でしてきたわけです。最後に言いましたことは学生が主体的に講義に臨むことを求めています。そもそも講義は大学の勉強の仕組みの中の1つの柱ですが、それは一方的に教員が学生に知識等を教授するという側面が主となるものです。それに対して実習・演習というのは学生が自主的・主体的に行っている側面が主です。この両方が噛み合って大学教育が成り立っているわけですが、講義が常に受け身かということと学生の主体的要素もある程度あるはずですよ。そういう所、教員の反省もありますけれども学生自身も講義に対してもう少し能動的に関与する方向で、取り組んでもらいたいしその中で授業アンケートを位置付ける必要があるでしょう。これは大学教育の根本的な問題ですが、そういう面からの反省があると思います。以上4点、大雑把にお話しました。

学生側から見てどうかということですが、ここでは教員から見て想像される学生の不満を3つ挙げたいと思います。

1つは、森田副学長の試算では1 Semester で6科目くらい受けている学生が平均だとすると、全科目アンケートの回答を書くとそれはそれなりに大変でしょう。アンケートの回答自体がマンネリになる、或いは回数が多すぎるということがある

かと思います。

2つ目は、教員がそのアンケートを踏まえて次の授業でどのように改善したのか、結果が見えないという不満があるでしょう。

3つ目は、自由な感想を書きにくい科目もあるかも知れない。人数が少ないところではアンケートの内容が成績に直結するのでないか、教員がプレッシャーをかけてくるのではないかという不安を持つ学生もいるかも知れません。

教員側・学生側から色々問題が出てきているのがここ何年かの現状で、やはりこれは問題だというのが大学の各教員会議の教員の考え方です。先程、お話ししましたワーキンググループでは現行のアンケートを、改善しようという方向で議論をしています。その改善の仕方について簡単にお話をしたいと思います。2段階で行おうとしています。

第1段階では現行のアンケートをマイナーチェンジします。これは教員会議でほぼ同意を得て後期の1月に行われる授業アンケートでは、その改善されたアンケートを実施する予定です。どういう点を改善したかと言いますと、GPAのお話の中にもありましたが単位は「授業を聞いている時間プラス予習・復習時間のセット」であると、それで単位という概念があるのだけれども、学生の多くは授業に出れば良い、試験の直前だけ勉強すれば良いという姿勢になっているかも知れない。それではいけませんよ、日常的に予習復習も入れて下さいと言う主旨をアンケートに盛り込みました。もう1つは、表と裏だと書く量が多くなるので半ページだけのアンケート「簡略版」を作って、科目によってはそれでアンケートをしましょうという風にしました。もう1つは、全学一律ですから自分の科目でこれだけは学生に聞いておきたい、或いはこのキーワードは理解できましたか等、科目ごとに聞いておきたい事があるので、それを簡易版の裏側が白紙になっていますので各教員が自分で印刷をして授業アンケートを行います。個別的な科目の特殊性を反映しやすい形のアンケートです。これはまだ第1段階なので根本的な改善を来年度以降に目指して、これから議論をしていこうと思っています。



今日、この場にお集まりの学生の皆さんからは、根本的な不満・疑問等があればどんどん出していただければ幸いです。それを来年度以降の第2段階の改善に繋げて行きたいと思っています。

森田： どうもありがとうございました。真田さんが言われたように学生の皆さんには、どんどん出していただきたいと思います。教員の皆さんには前回の教員会議で、マイナーチェンジした後期実施の要項についても煮詰めていただきましたが、年度内

にこれまでの中間考察ということで、今後、どういう風に改善をして行ったら良いか問題提起をさせていただいて、ご意見をお伺いするという機会もあると思います。もちろん、この場でご発言くださって結構です。残りの時間を有意義に過ごしたいと思います。

真田： 先程、言い忘れてしまいましたが、学生の皆さんにお伺いしたい重要な論点として、今は教員が配布・回収をしています但学生の皆さんに回収をしてもらって事務に持って行くと言う方法はどうか、この点を議論していただきたいです。教員がタッチすると誰がこのアンケートを書いたのか解りやすくなってしまい、学生が自由に書けなくなってしまう。それをなくしましょうというのが1つと、もう1つは、今は無記名ですが記名方式にしたいと思っています。それによって学生の皆さんに責任のあるアンケートを書いてもらって、信頼関係を作っていきたい。教員側もそういうものであれば受け止めるかも知れない。記名式だと教員の成績評価と直結する危険性があるので、学生の皆さんの方で回収して事務に持って行くと言う案はどうかと議論をしているところです。その辺りの賛否を出していただけたらなと思います。

森田： もう1つだけ補足しますと、記名方式をすぐに実施しようという事ではなく、あくまで今後の検討課題です。仮に実施したとしても自由記述欄は先生がいないと意味がないです。ですから、1番上に書いてもらって切り取って集計した後の名前がない状態で、先生にバックするという方法で実施している大学があるものですから、回収方法や記名等も改善課題として議論しています。

現代教養コース1年

教員側のアンケートの意見で、試験前だけ出ている学生の意見だから信頼でけへん。ズバリ、そうだと思います。ホンマ、あの先生嫌やからという気持ちで回答する奴ばかりだと思います。

学生側の意見としては選挙の投票と同じような感じで、投票して何が変わるんやろというのがあると思います。どちら側にも問題があるんかなと、歩み寄らなあかんのかなと。そこで思うんは、今、僕1年生でアンケートは1回だけなんですけど、半年間授業をその先生が受け持つわけで、最初の授業で先生と学生の距離があるわけです。もっと狭まった方が良いでしょう。それを何で思うかと言ったら、最初の授業で先生自体が自分の名前を名乗らん事があります。その時点で何やこのオッサンと思うわけです。それだと距離は狭まらんと思います。先ずは、教員と生徒がもう少し近くなったら良いのではと思います。

記名の話ですが、僕は記名しても良いと思います。悪いことを書いて先生から目を付けられても僕自身は構いません。逆に目を付けられた方が面白いなと思います。

それぐらいの事を言った方が良いと思います。記名方式にしたら学生はそういう意見をビビって書かんやろうし、だから記名方式が良いと思います。ありがとうございました。

森田： ありがとうございました。個性的なご発言に大変勇気付けられました。引き続いてどうでしょうか。

行政政策学類 2 年

ズレているかも知れませんが、アンケートだと先生方がガッカリするということでしたので他の大学が行っているからではなく、福大独自の全学でランキングのような例えば「内容が分かりやすい第 1 位」等を出してみても面白いかと思います。例えば、1 年生が先輩のランキングを見てその授業に興味を持つきっかけになると思いますし、堅くないアットホームな感じの内容も入れたら学生も楽しいのではないかと思います。

森田： ありがとうございました。先生の方から個人的なご意見、どうぞ。

教員 B： 非常に個人的な意見で失礼します。私の専門は「数学」で、数学で楽しいという言葉は・・・もちろん楽しい数学もありますが、一年生の最初で学習しなければならない「微積分」や「線形代数」は技能を身につけてもらいたい科目です。そういう科目を「楽しい」等の基準で判断された日にはたまりません。（むしろつらい部分があるのは当然です）。それぞれの専門で面白い授業もあると思いますが、基礎に関する科目までが同じ基準（楽しい/楽しくない）で評価されてしまう、若しくは「ランキングで上の方にあるから良い」という事になってしまうと（基礎的な科目の担当者は）たまりません。

もし、そういうランキングを実施するのであれば、大学に求めるのではなく学生の中で実施するのはどうでしょう。ランキングは大学の教員が授業をより良くしていこうという立場で、まじめに取り組むこととは違うと思います。

楽しい科目ばかりを求めるのは必ずしも良いことではないし、先生との距離が近まったからと言って解析学や線形代数が決して簡単にならない、という事実も受け止めて欲しいと思います。

森田： うなずきながら聞いていた先生が結構いらっしゃいました。ありがとうございました。続けてどうでしょうか。

行政政策学類 2 年

先生がおっしゃっていた中で、学生も主体的にならなければいけないと思う部

分もありましたが、今までのアンケートで先生独自で質問を出して書いてもらう項目がありましたよね？私が3セメ受けた中で1回もそれを言われた事がなく、これからそういう風にするとおっしゃっていました。それを先生方は活用してくれるのかなと言うのがあって、実施するのであれば徹底的にしてほしいと思うのが第一です。先生によってはそのアンケートが面倒くさいと言っていた人もいます。生徒にそういう風に言われてしまうと、このアンケートに興味がないのかなという風に見受けられます。先生方も一教師として良くしたいという思いを固めてもらって、独自のアンケートを今後作ってもらえたら生徒も本気になって書くと思うので、その点で記名式は良いと思います。

森田： ありがとうございます。今のお話に関連して、授業の最後に実施するペーパーのアンケートだけではなく、日頃のコミュニケーションをどういう風に授業の中で取っていくかも大事ではないかという議論もしています。教員1人1人の受け止め方は違うかも知れませんが、FDで研修の課題としても議論したいと思っています。

人間発達文化学類2年

教員側から見た問題点ということで、個人攻撃的な意見も出てくるというお話がありました。確かにそういう生徒がいるのは事実だと思います。中にはこの人は本当に指導力がないのではないかと疑いたくなるような先生も極少数ですがいらっしゃるもの事実だと思います。実際、私もそういう先生の授業を受けた事がありまして、「これはいくら何でも、酷すぎるんじゃないか」という意見を書いたことがあります。その授業は私の出席回数やテストの点数も足りていたはずなのですが、最後にアンケートうっかり見られてしまいました。個人的な話で申し訳ないですが、そのせいなのかは分かりませんが、その時の判定はBでした。そういう事を考えますと逆説的ですが、記名制にしてもらいたいと思います。記名制にすればそういう意見を書いた人が不当な評価をされていた時に、「もしかしたら、あなたはこれを見て評価したのではないですか？」と言えるようになると思います。そういう面でアンケートを出す側としては、教員にとって嫌なことも書きやすいかなと思います。その事に関連して、教員側の努力をお願いしたいと思います。

森田： ありがとうございます。参考までに聞きたいのですが、その問題の先生方はあなた以外の多くの学生が疑問に思うような進め方なののでしょうか。

人間発達文化学類2年

その時に周りの学生がアンケートを書きながら話しているのが聞こえてきたのですが、「この先生はダメだから、全部1を付けたんだ」と言う学生がいれば、「面倒くさいから、全部4を付けた」と言う学生もいます。中にはきちんと付けている学

生もいて様々ですので、点数だけをつける今の状況では回答は難しいのではないかと思います。

森田： ありがとうございます。話題提供者が回収の仕方についてご意見ありませんかと問題提起をしているのですが、学生のご意見ありましたらお願いします。

行政政策学類2年

回収の仕方について、恒例では先生が集めているわけですが、僕は学生が責任を持って集めて教務課に持っていくのは賛成です。アンケートに記名するのも賛成です。記名することによって学生に責任が出ますし、アンケートもきちんと書くようになると思います。

成績評価の仕方についてですが、アンケートを回収してすぐに担当の先生に渡すのではなくて、成績を付けた後に渡すのは可能ではないでしょうか。そうすることによって、成績はきちんとした評価になるわけですし、その後に先生方が見れば次のセメスターまで半期で開講しているなら半年後になるわけですし、アンケートを見る時期が遅くても授業改善は出来ると思います。アンケートの作り方、その反面は全学共通のものであれば、裏面はその先生が個人的に聞きたいことにしても良いと思います。その方のどこが良いのか悪いのか知ることが出来ますし、その考え方は僕も賛成です。

森田： ありがとうございます。

経済学部4年

いくつか意見があります。まずアンケートに関してなのですけども、改善点を求めるから批判になると思います。最後に出てきて悪いことを書いている人も多いですけども、やはり学生が授業を抜ける・サボるということには何かしら原因がある訳です。例えば良い面を書くというのは良いと思います。教員の方もこの授業は良かったと言われれば次もより良い授業が出来ますし、アンケートが無くても先生と話し合う場を設ける授業、直接言い合える授業が欲しいです。そういうアンケート以外の方法もありかなと思います。最初は先生方もアンケート嫌がったり、生徒も辛いことばかりと言う事ではお互いに歩み寄りが出来ないので、もっと良い方法があるのではないかなと思います。

森田： 大変協力的なご意見ありがとうございます。

地域政策科学研究科1年

最後に来て極論を言うのもなんですが、自分は無記名で自由回答のみで良いと思います。自由回答にすればやる気がある人は良い事でも悪いことでも書くし、やる

気の無い人は最初から書かないから書いてある事だけを見れば有意義な意見が集められると思うし、さらに言うと印刷代が掛からないと思います。

まず、基本的に大学生は理想論を言えば全講義全力投球で出来れば良いですが、ハッキリ言ってこの講義は単位を取れば良い、この講義は頑張ろうというのがあると思いますから、学生個人を尊重し数字ではなく自由回答にすれば良いと思います。

森田： ありがとうございます。大分時間がおしてまいりましたが、教員の方から何か個人の立場でご発言いただければと思います。

教員A： 聞いていて、学生さんの教員に対する見方が非常にシリアスでビックリしました。これ程、教員と学生さんの間で対立関係と言いますか、不信感でお互いを見ているような構図で聞いていて本当に辛かったですけれども、そんなに不信感を持って教員を見られるのか、教員が学生をそんな風に見ているのかと思って心が痛みました。アンケート以外に楽しい授業という話もありましたけれども、アンケート以外の方法で教員と学生が授業内容について話し合う場を作ることの方が、楽になると思います。大教室だと難しいかも知れませんが。教員と学生の間にアンケート等の制度を入れ込んでしまうと、教員と学生の間を見放してしまいお互いに敵対関係になってしまうと思います。

制度を改革するより直接的に教員と学生が、授業や大学について話し合う場を確保の方が意義があるような気がします。アンケートによって明らかになる事は意外に少なく、今回聞いていてもアンケートを通じて改善すると言うモノも思っているほどないのではないかと。教員と学生のフラットな関係で議論を出来る場を作る、その為には制度が入ることにより邪魔になっているのではないかと思います。

山川： 山川です。昨年まで学務担当でFDの責任者をしておりましてので、一言発言させていただきます。私も2年間、全国のFD研究集会に参加してきました。記名か無記名かという事ですが、あまり関係がないという研究結果がアメリカで出ているようです。発言されたのは短期大学の方でしたが、その方の大学でもそうだと言っておりました。

私が心配していることは、お話を聞いていますと先生方が授業アンケートで結果を受け止めるということになってますが、それを学生にどういう形で返しているのかよく見えないことです。現在、各科目先生方のところには学生のアンケート結果がっていますが、公表されているものは、科目グループひと括りをされております。

ある短期大学の話ですが、前年度の授業評価の結果について先生方が、次年度のシラバスに「昨年度こういう指摘を学生から受けて、今年度はこういう改善をして

授業をします。」ということを書いている大学もあります。制度が入ると学生と教員の関係がギスギスすることがあるのかも知れませんが、学生にどう返すのかが重要だと思います。本学のFDの場合は、その結果を報告書やホームページに掲載しております。それを授業改善にどのように反映しているのか見えてくると、少し違ってくるのかなと思っております。

森田： ありがとうございます。時間が長引いてしまいまして、申し訳ございません。学生の皆さんからもご意見いただきましたし、教員同士の議論もお聞きいただきました。今日は貴重な時間を過ごすことが出来て、本当にありがたいと思っております。教員企画は以上で終わりになります。

それでは中井副学長から閉会のあいさつをいただきます。

中井： 皆さん、本当にご苦勞様でした。本日は約110名の参加者がおられるようです。非常に盛大な会議になったのではないかと思います。私、個人的には何度か実行委員をしたことがあります。その当時は、分科会形式で出来ていた時期でありまして、大体1分科会に10～20人のメンバーが集まって、あるテーマについて話し合うアットホームなキャンフェスをしていました。最近のキャンフェスは分科会形式で行うことが非常に困難な時期を迎えていて、私自身も毎回出来るだけ参加するようにしていますが、今日の集会はここ数年で1番良かったのではないかという感想を持っております。実行委員会は14回開催されていまして、9月以降はほぼ毎週開催して今回に向けていただいたということで、実行委員の学生諸君、教職員の皆さん本当にご苦勞様でした。御礼申し上げます。

なお、今日の発言を聞いていまして学生の本音を聞くことが出来て、本当に実りの多い集会になったと思っております。来年度以降もこういう企画をさらに発展していただくような、キャンフェスと研究集会が開催できることを祈念といたしまして、閉会のあいさつとさせていただきます。本日は長時間、本当にありがとうございました。



他大学 FD 研修等参加報告

岡田 努

第 6 回山形大学教養教育 FD 合宿セミナー」

平成 18 年 8 月 7 日 (月)・8 日 (火)

山形大学蔵王山寮

森田 道雄

地域ネットワーク FD “樹氷” シンポジウム

FD の義務化と FD 地域拠点の形成」

平成 19 年 2 月 15 日 (水) 15:00～17:00

山形大学教養教育 1 号館 127 講義室

平成 18 年度教養教育改善充実特別事業

第 6 回山形大学教養教育 FD 合宿セミナー 参加報告

総合教育研究センター 岡 田 努

1. はじめに

標記セミナーは山形大学が他大学にもむけて開催しているセミナーで、今年で 6 回目を数えます。今年は平成 18 年 8 月 7 日、8 日（第 1 チーム）に山形大学教育方法等改善委員会・山形大学高等教育研究企画センター主催、および地域ネットワーク FD“ 樹氷” 共催で山形大学蔵王山寮で開催されました。山形大学からは教職員 27 名、他大学から 14 名の 41 名が参加しました。

今年度 10 月に総合教育研究センターに「FD 部門」が新設されるということもあり、今年度は私がこの FD 合宿に参加することとなりました。私自身、「FD」については、大学での講義に対する学生のアンケート調査とか、他の先生方が授業を参観し授業の改善を図るという程度の認識しかありませんでした。したがって今回の合宿では「FD とはなにか」「山形大学での実践例」などの講演などが中心の合宿になるのかと考えておりました。

2. セミナーのテーマと目的

この合宿は基本的には学部の垣根を越えて、山形大学全体の教育を考えるうえで教員の共通基盤となる教養教育の充実を図るためのものです。そしてセミナーの目的は第 1 に「個々の教員が、山形大学を支えることの意義と位置付け、教育の基本的構成要素、各授業科目の存在意義、授業設計、成績評価法などについて、あらためて主体的に検討し、再構築」すること、第 2 に「教養教育を素材として、学部間の人的交流の拡大・充実を図ること」です。

その目的を達成するために、参加者は、担当する授業科目を構想し、そのシラバス作成に取り組みました。その過程で他部局の参加者と活発な議論を交わしながらプログラムを遂行し、セミナー終了後には山形大学の教育全般の発展に、より一層積極的に貢献することが期待されています。

3. セミナーの形態

体験型のセミナーで、セミナー自体がグループ学習形式であり、参加者は学生が運営する学生主体型授業を体験することになりました。詳細は以下のとおりです。

① 参加者によるセミナー全体の運営

② 班構成：5 班 班の構成員の年齢は幅広くする。班は参加者をみて当日まで委員会で決定しておく。「プログラムⅠ・Ⅱ」と「プログラムⅢ・Ⅳ・Ⅴ」で班構成を入れ替える。

- ③ 各セミナーに毎回、司会者と記録係をおく。(各班の持ち回り)
- ④ 各班に毎回、司会者、記録係および発表者をおく。(持ち回り)
- ⑤ 各プログラムの基本的構成
 - I 「大学へのニーズと課題」
 - II 「どのような大学にするか」
 - III 「科目設計1：授業名と目標の設定」
 - IV 「科目設計2：授業内容の作成」
 - V 「科目設計3：シラバスの作成」
- 各プログラムを担当する講師による作業内容の説明 (10 分)
- 班ごとの作業 (40 分)
- 発表 (各班の発表時間 4 分×5 班=20 分)
- 全体討論 (20 分)
- ⑥ 全体と各班の記録係は、A4 版 1 枚程度に記録をまとめ、各プログラム終了後に提出。
- ⑦ 参加者による相互評価：各参加者が各班の発表と質疑応答に対して評価する。

4. 活動の様子

ひとつのプログラムが 90 分といっても、班ごとの作業時間は 40 分しかなく、ほとんどはじめて顔を合わせた状態で 40 分間で上記プログラムの内容について話し合いをし、班の意見や方向性をまとめ、しかも OHP で発表するための資料づくりまで行うことになります。班員も所属も大学もさまざまでしたので、参加者は当初その方法に戸惑っていたようでした。

私自身も、今年 4 月に着任したばかりで、福島大学のシステムもまだ理解していないところが多かったものですから、どのように議論に関わっていけばよいのか当初は様子を見ておりました。しかし、プログラムⅢあたりから、私が積極的にシラバス案をだしてグループの作業を進めていくようにしました。なにしろ作業時間がないわけですから、お互いに顔を見合わせて、様子をうかがっていたのでは進まないのです。

しかし考えて見ますと、大学の講義でも学生に時にはこのような思いをさせているのではないかと、この段階で自らの授業の反省を迫られていることに気づかされたのです。したがって仮想の授業科目・シラバスを考えながらも、グループの先生方から「学生も教員側もこれだけ取り組んでいるわけにはいかないよね。」「こんな授業、できるわけないよね。」「授業中に学生にこんな思いをさせていたのかも…？」など、さまざまな本音が聞かれ自分の授業改善につながっていったことは本セミナーの主催者の狙いの一つだったのではないのでしょうか。

さてこうした苦労の末の発表でしたが、各グループの発表はどれも参考になるものばかりでした。学生への提示の仕方、大学内での担当教官の割り振り、学内外施設との連携、

プレゼンテーションの機会の工夫、自己評価・相互評価など、すぐに今の授業に活用できるものが数多くありました。また各グループの発表者の「プレゼン」も参考になりました。OHP シート作成もポイントを絞った目を引く内容のものが増えてきました。また「大学の授業で学生に一番不評なのが時間をこえること。今回の発表は制限時間になった時点で打ち切り」との共通認識で行われたため、話の内容も大変わかりやすく、興味を引くものばかりでした。

さすがに最後の「プログラムⅤ：シラバス作成」（完成）は、もっともハードな内容となりましたが、こんな短時間で中身のあるすばらしい授業のシラバスが5つもできたことに参加者の誰もが感心させられました。

「山形大学では、これらのシラバスを毎年そのまま利用できるのでは…」、そんな冗談も飛び出しました。

5. おわりに

今回の合宿に参加して私が感じたことは、短い期間で何かを得るためにはなにかひとつでも具体的なものに、それもかなり集中して取り組むことが大切であるということでした。

「はじめに」でもふれたように、FD についての講演や実践例を聞いただけでは、おそらくこれからの大学における授業改善について真剣に考えられなかったと思います。非常に忙しく、ハードなセミナーでしたが、だからこそ、シラバス作りの段階で考慮しなければならない重要な要素があることを実感することができました。特に先生方の理想が高すぎたり、実現不可能な非現実的なプラン（学生の受講状況や教員の状況、1年間これだけにとりくんでいるのかという錯覚）が見られたことも、今後大いに考えさせられることでした。また合宿の最後に参加者から、「90 分で、討論、まとめ、発表をしなければならず、あわただしかった」という感想が出ていましたが、私は逆に「われわれが学生に同様の要求をしていないか？」と学生の立場で考える視点を得られたことを教訓にしたいと思いました。さらには同じ大学内であってもなかなか時間が取れない先生方が、このくらいの勢いで授業の改善やシラバス作成に取り組む姿勢が必要なのだろうと、意識が高まっている今のうちに、自分の今後の職務にも活かしていきたいと感じました。

教育担当副学長 森田 道雄

2月15日、山形大学で京都大学高等教育研究開発推進センター長 田中毎実氏の講演があると聞いて、板橋さんと参加してきました。例年にない暖冬なのに、この日は吹雪き模様となり、新幹線に多少の遅れが出たものの無事参加できました。言うまでもなく、大学院設置基準第14条の3「大学院は、当該大学の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。」という改正を受けて、各大学院(大学)がなにをすることになるのか、というテーマでしたから、聞き逃すわけにはいかなかったのです。田中氏は山形に来る直前にも、同じテーマで話をさせられたという前口上があったとおり、法令上の規定ですから全大学で対応せざるを得ないわけです。しかし、具体的にはどういう研修や研究が必要かが述べられていません。そこで田中氏は、同条の前段の「授業及び研究指導の内容及び方法の改善」が先行して、「組織的な研修及び研究」が補完する、という理解を示されました。授業の内容や方法の改善という目的があり、FDは手段なのです。

田中氏の講演は、冒頭で授業評価はいまや国立大学の場合は、全大学で、私立も含めた全大学の97%で実施されているのに、結果を改革に反映させる組織的な取り組みがおこなわれている大学は、国立で59%、私立で39%でしかない。この数字はおかしくありませんか、と問いで始まりました。つまり、本来は改善を要する事態があってそのための手段として授業評価を行う、という道筋であるはずなのに、まずは評価をやってそれをどう生かすか考えずにやっている大学がまだこんなにある、という本末転倒の実体が見える。これでは、FDが形式化し、負担感が増大し、拡がらないということです。FDは、「大学全入時代の基礎的学力保証」というボトムと、高等教育の「グローバル化による国際水準の学力保証」というトップの両方の要請を満たすためにおこなわれ、その課題、有り様は大学によって個別的で多様である、という前提で、FDはすでにどこでもやっているという点で啓蒙段階をこえた今日の段階では、「大学教員集団の、日常的な教育改善活動を通じての、教育する集団への自己組織化」であるという再定義を与え、イベント的・制度化的FDを、日常的・自己組織化、相互研修的なFDにしていく時期ではないか、と現下の課題を整理されました。

次に、京都大学の例を、かつて氏が在籍した愛媛大学や、FD講演などで招かれていった私立大学の事例を交え、いろいろな授業実態やFDの取り組みの例を示されました。印象的なのは、京大でも従来のような授業のやり方が通じないということで、自発的な形での授業改善があちこちで進んでいること、授業改善をやらない限り授業が成り立たない大学では否応なく改善の取り組みがおこなわれていることでした。つまり、教員のニーズのあるところにFDがあるという、至極まっとうな、というか当たり前の認識が出発点だ、ということです。言い換えると、わが福島大学では、いったい教員の教育的ニーズはどこにあり、どういう改善の課題とサポートの必要性があ

るのか、ということが最も重要な出発点だということになります。

ところで、授業評価をやるとたいがい若い教員の方が点が高く、高齢の教員は低い点が出る傾向がある、ということで、ご自身も昔は学生からみると「お兄さん」世代だったのが「お父さん」世代になると、やはり授業への学生の集中力(させ方)に差が出てくるように思える。若い教員への研修も大事だが、だんだん学生との年代間隔が開いてくると従来の授業方法では通じない、という実態があるとすれば、世代別の研修も有効ではないか、という話がありました。授業のやり方への「反省」の契機は個別的で多様だという話にも通ずるのですが、この日の話にはなかったけど、14年度のFD プロジェクト報告書での田中氏の講演記録を見るとわかりますが、学生との授業でのコミュニケーションとか自分の授業を録音・録画して振り返ってみるというような個人的な努力などが自己研修的におこなわれていると、FD というものの実体形成において有意義だということです。授業評価というような「まずは形」ではない、ということが浸透していくことを強調されたように、聞きました。

田中氏は、山形大学のFD ネットワーク「樹氷」を、地域ネットによる他大学との連携、というより山形大学の「牽引」の意義を、FD 義務化の将来的なあり方のモデルとして高く評価し、共通的な課題での効率化など、個別大学での自生的努力を前提としつつも、地域連携の重要性を強調されました。この辺の話題は、山形大学という場所柄からくるテーマであって、福島大学には及びもつかない話なので省略します。地域の拠点大学という自負のもとにFD ネットワークを推進する山形大学の姿を、近くから拝察することにしますか。

FD 義務化を内容抜きに声高に語ることはやめて、これまでの活動の中にあるいろいろな「FD 探し」をしながら、その日常的、自己組織化のなかから、実体を形成させていく意義を再認識した次第です。



学習ガイドブック



学習ガイドブック作成への提案

<説明・1>

FD プロジェクトでは、内部に二つのワーキングチームを作って、そのうちの一つは教員のFD研修資料の作成を当初は考えた。しかし、議論するうちに、学生の自己学習力のなさなどが話題となり、むしろ、学生に持たせる学習へのガイドブックをつくっては、ということになった。ガイドブックの事例としては、名古屋大学の「スタディチップス」冊子がある。山形大学にも同様の冊子があるが、こちらは書籍の体裁になっている。他方、大学生の学習スキルを扱った『知へのステップ』（くろしお出版）が教養演習のテキストで使われていることもわかった。こうした事例を集めながら、本学の学生に必要な内容は何かを、メンバーが各自考えその項目をあげて、共通するものを分類・整理したものが、以下のような「案」になった。

○ ガイドブックの提案

A 趣旨書原稿案

当小冊子は初年度教育として大学に新入学してきた1年生を全学的に、大学生活と大学での学習が円滑に行えるよう支援することを目的として、新入生に持たせる学習ガイドブックである。「教えから学びへ」という本学の教育改革の具体的学び支援プロジェクトと位置づけられる。

高校まで長年受動的な態度で「教えられてきた」であろう彼らに、「主体的に学ぶ」姿勢をもつよう刺激し、これからの時代を見据えた教育論に基づいたアドバイスを与えることを意図して汎用性の高い情報を提供する。

具体的な内容は学習面において授業にどう望むか、講義ノートのとり方、レポートの書き方、プレゼンテーションの仕方、図書館等施設利用など学生が身につけるべき「リテラシー」「コンピテンス」を検討の上提示する。生活面では健康的な生活、課外活動、アルバイト、ボランティア、友人関係、悩み相談など多岐にわたってその経験とスキル獲得の能力が育つためのサポートを行う。さらに精神面においては自己理解、自己形成あるいは世界観の確立、社会性、働くことの意義、自己実現、キャリアデザインなど1年次に限らず4年間を通して自覚的でありたいテーマへの喚起などが提起できよう。

B 内容構成 一次案

1. 高校から大学への移行

- a. 大学は知を共有する場
- b. 学びによる世界観形成
- c. 自ら学ぶ・ともに学ぶ
- d. 自己理解と成長
- e. 知への尊重・自他尊重
- f. ポジティブな人生観をもつ
- g. 未来設計・キャリアデザイン
- h. ヴィジョンのある社会づくりを担う

2. 大学生活を送るうえでの必須事項

- a. 積極的な生活習慣
- b. 積極的な学習習慣
- c. 時間の活かし方
- d. コミュニケーション
- e. アルバイト・ボランティア・部活
- f. 民主主義・多様性受容・人権意識
- g. 友人・仲間づくり
- h. 施設利用
- i. 具体的問題解決法
- j. リラックス法

3. 学習スキル基礎編

- a. 履修・単位取得・科目選択と履修登録・シラバスと学習案内活用
- b. 予習と復習
- c. 授業理解
- d. 講義ノートのとり方、コメント記入
- e. 自習、パソコン、図書館利用
- f. グループ学習、プレゼンテーション
- g. レジюме作成・企画立案、レポートの書き方
- h. 情報収集・インターネット利用
- i. 試験

4. 学習スキル上級編

- a. 記録に残す
- b. マインド・マップ
- c. 速読法
- d. パワーポイント利用
- e. 推薦図書

5. ポートフォリオ

<説明・2>

ガイドブックをつくっても、すぐに「お蔵」になっては意味がない。学生が手放せないような工夫をしようという意見が出た。それとは別に、学生が自ら書き込むような工夫をすることは、自分の「学び」を客観化する意義があり、現にそういう工夫を「ポートフォリオ」という形で取り入れている事例も、わかってきた。さらに、本学の人間発達文化学類の「学習案内」には、「学修の記録」というページが刷り込まれていて、ここで検討する意図と一致するものがあることも、「ポートフォリオ」への関心を高めた。そこで、ガイドブックに綴じ込むことを前提に、その実際の形や、趣旨を説明する文を検討したが、以下の資料である。

説明文 「ポートフォリオ」

2 / 2WG

1 学生に四年間で「力」をつけさせる（付加価値をつけるというのが、おそらく卒業証書以外にという意味での付加なのか）、という「目標」を掲げた場合、その「目標」を抽象的なものではなく、具体的に示すことが重要です。それは、個々の専門的な知識（あるいは教養的な理念）とともに、授業の中にある学習の「スキル」「意欲」「習慣」を形成するものとして、リテラシー、コンピテンシーというように言われ、学士課程の共通のものとして「福大スタンダード」のようなものとして、策定することが意識化され始めています。

しかし、そういう何らかの「項目」として掲げられたものがあるだけでは、意味がないのも同然で、それがどう実質化しているかの「評価」がともなうはずです。この「評価」の新しい方式として注目されているのが、学習者が学習過程を記録する紙の上での「票」にしたものを利用するやり方です。この票は、電子媒体によるものもあり、ネットを活用し、例えば「教育実習記録」を毎日書かせ、それを大学での指導者が即座に把握するという利用形態がすでに開発されています。ここでは、ペーパーベースのものを「学習ガイド

ブック」に綴じ込むことを想定し、その作成の考え方と活用方法を説明します。

2 「教えから学びへ」という教育改革の転換理念は、一方的な教えが幅をきかせたこれまでの教授法を改め、学習者の側で「学び」が成立させることを意味します（いかに学びが成立するか、ということは実は非常に重要なことですが、ここでは取り上げません）。授業時間だけが教育ではなく、それ以外の予習・復習などの自習とレポート作成などの課題解決学習スタイルの主体的な「学び」を組み込む授業計画の実質化が求められていたのです。それは、個々の授業で担当教員が、その授業での目標を示し、評価基準を明示して成績をつける、という教育活動のプロセスの改善という側面があります（成績をつけるということで教育活動が完結するかのように思っているとすれば、それは正しくありません）。しかし、もっと重要なことは、学生が個々の授業だけでなく、 Semester毎に自分の学習計画を立て、獲得目標を自分なりに意識化し、それを振り返る（自己評価する）なかで、次の目標設定に生かす、というサイクルをつくる、ということです。それを実現させるものとして、ポートフォリオという方法がある、というわけです。

ポートフォリオが何を目的に、何を書かせ、書いたものをどう活用するかは、その自己評価票のつくりを見れば一目瞭然です。しかし、本来の「活用」に至るためには、書く側である学生と、指導する側の教員が、その意味を把握する必要があり、その意味を書く側に説明すること（趣旨に添って理解すること）が極めて重要なのです。端的に言えば、このポートフォリオの記入を意識化させ、それが書く者にとっていかなる意味があるかを実感させる「対話」を教員側で意識化する、ということに他なりません。＜それは、おおよそこの文章で説明している内容です。＞

3 さて、ポートフォリオという「方法」は、評価革命でもあるといわれます。つまり、従来の教える側からの一方的な評価ではなく、できた・できないを学習者の側にだけ責任を押しつけるものではない、という点があります。それは、言い換えれば、「単位をとれた」とか「合格・不合格」という結果を過度に重視し、学習の（本来の）目的や内容そのものを軽視してきたことへの反省がある、ともいえます。結果だけを重視して、学習した中身を確認することが少なかった、とも言えるでしょう。

次に、学習者が自らの「学び」を振り返るということの意味です。これは、今述べた評価革命を、被評価者の側からとらえるということが前提です。つまり、単位が取ればいい、というだけの学習目的では困るわけです。学習の最初から最後までの一サイクルを、受け身ではなく、能動的に設計し、最終的な（といっても、その単位期間での）ゴールを自分で点検・評価する、ということで、次の学習へのステップをつくる、という作業を求めます。一つの授業を「単位」習得で完結させるのではなく、他の授業や次の学習計画へとつなげるという、スパイラルな過程を意識化させる、ということで、学習の中身を実質化させるということです。

そこでは、学習の過程で「思考」することが求められ、そのためには授業を聞き取り、資料を調べ、与えられた（または、自分で設定した）課題に取り組む、などの能動的な活動がともないます。ポートフォリオは、できれば、それらの過程を記録化させる、ということをめざします。もっとも、それは、スキルとしての慣れが必要であり、だれでもすぐに出来るわけではありません。だれもが取り組めるためには、本人の努力だけでなく、支え合う仲間の存在、アドバイスする教員の存在も重要です。何よりポートフォリオというシステムを効果的に作り、その運用が効果をもたらすという実績がものをいいます。

アドバイスする教員の仕事の面から説明しますと、これは「手取り足取り」というアドバイスではなく、むしろその対極にあるものです。つまり、学習者自身が能動的に「振り返る」ことが重要であり、そこから、次へのステップを自分で設計するというのが重要です。ただ、それには、いくつか、支援する側の配慮が求められます。必要な事項は、ポートフォリオの欄の設定で、まずは、把握してください。それをどう活かすのかは、ポートフォリオの意味を理解していただくことが前提となります。

4 第1に、学生がポートフォリオの意味を把握しているかどうかの確認です。書かれる内容で学習者の理解度がわかります。どういう学習がおこなわれたかとともに、それをポートフォリオになぜ書く意味があるのか、という点での理解度です。十分な振り返りが出来ていないならば、次のステップができません。振り返りが不十分なのか、学習それ自体が不十分なのか、相談して把握させるよう、アドバイスしてください。

第2には、次のステップ、つまり、次の学習計画を立てることは、十分な振り返りだけでなく、次に何が必要なのか、という「見通し」をもつことが必要です。カリキュラム上の配置科目は決まっていますが、何を選択するかの優先度は、その科目の意味づけなどさまざまな要素で決まります。それらは、本来は学生同士の交流で判断されるのが望ましいですが、そういう条件がない場合は、適切なアドバイスが必要です。

第3は、配慮や指導が必要な学生と、それがなくても自分で出来る学生を見分け、指導の必要な学生への適切な指導の意味を、考えることです。その際、アドバイスのタイミングや内容が重要です。

このような想定での運用によって、ポートフォリオが生きてくるのであって、教員のアドバイスは不可欠ですから、必ず運用上の指導の必要性について理解してください。

繰り返しますが、大学生ですから、ある程度自分で判断し、結果に責任を持つという意味が理解できるはずです。したがって、アドバイスは手取り足取りではなく、学生自身が自分で判断するように、し向けることであって、過度のアドバイスは不要です。また、多くの学生は、さほど教員のアドバイスを求めずに、自分で何とか意味を見出していくことでしょう。まさに、そういう振り返りと見通しができる学生を育てることが、重要なのです。

5 ポートフォリオはなぜ「評価革命」なのかの説明をさらに追加します。ここがポイントだからです。ここで説明する内容は、本来のポートフォリオの学問的な説明ではありません。もし多少詳しく知りたいなら、わかりやすい解説書として、吉田新一郎『テストだけでは測れない！人を伸ばす評価とは』NHK出版 2006、をご覧ください。ポートフォリオという評価法は、実は個別の授業単位でも使えるもので、教師が一方的におこなう評価、最後にペーパーテストだけでやる評価とは次元を異にする評価法ですが、ここでは、大学生の学習記録という具体的な場面を想定した、その範囲での説明文としてお読み下さい。

結論を先に言いますと、ポートフォリオ評価とは、自己評価力を形成するということろにその意義があります。そのために、さまざまな従来の評価と異なる考え方や手段が開発されていますが、ポートフォリオという言葉自体は、「書類や作品を入れるファイル」であり、ここから教育用語としては、学習過程で生まれる成果物を入れるファイル」を意味し、さらに簡略化して「学習過程を振り返って記入するファイル」というようにも使われます。その特徴を要約すると、学習の過程（その証明物）、振り返り、目標設定、自己評価、学習に対する新しい考え方、ということになるでしょう（吉田 p.53）。

大学生が、高校までに経験してきた「評価」とは、一部の例外があるとしても、ほとんどが従来型の一方的な評価であり、テストで測られた点数とそれに依拠した合否の判定でした。これによれば、大学での学習の成果も、一発勝負のテストで合格し、必要単位数を取得したことで証明される、ということになります。これは、あまりにも結果主義であって、獲得した学習内容を証明するものは何もない、に等しいわけです。もちろん、学習の成果としては、実体として、卒論という「作品」があり、学問レベル以外にも人間的な成長の跡があるはずですが、それらを大学が教育機能として「証明」することにおいて、形が残らないものといわざるを得ないです。そこで、教育実習で「実習記録」が書かれ、それに対するコメントがつけられ、実習で何を学んだかを、形あるものとして確認できるように、そのような形を学生に書かせるというシステムとして、ポートフォリオという手法を導入するわけです。

学習を振り返る、ということが、よく学べる条件の一つということに留意する必要があります。もちろん、従来から「復習」という振り返りがされてきました。ただ、ここで「振り返り」という場合は、ただ取ったノートを読み返すとか、練習問題をやり直す、という復習だけでなく、より意識的な振り返り、つまり、学習の内容だけでなく、そこで何を感じたか、考えたか、新しく学び取ったものを他人に説明するとすればどういう説明をするのか、そこで感じた新たな疑問やしてみたい質問は何か、学んだことの自分なりの意味づけは何か、などを考えながら、学習を記録化していく、ということです。

個々の授業でやれる、というのはまさにこれらの「記録」を、学習者に求める、あるいは、学ぶ側が自発的にそういうものを書き綴って自己反省の材料を蓄積する、ということです。こういう記録ないしは日誌風の文章を、ブログにのせる、というような形で自己教育し、同様の関心を持つ人と共同できる、という提案がされ、この手法が奨励されていま

す（吉田『「学び」で組織は成長する』光文社新書 2006）。この手法を、大学の授業でシステムとして導入することはできないにしても、学生に紹介するとか、この「振り返り」をせめてセメスター単位で導入したい、というのがこの提案です。

これは、確かに「面倒くさい」もので、また、やり始めても直ちに定着するものでもありません。ですから、ポートフォリオを理念通りにやるという高い目標は立てないで、できるところから始める、つまり、まずは、そういう振り返りの記入票をつくり、説明した上で、記入を奨励し、それをもとにアドバイザー教員とコミュニケーションをとりましょう、くらいの位置づけです。そして、このポートフォリオ票の利活用のレベルを上げることは想定していますが、ポートフォリオ評価を高めることは想定しません。あとは、学生自身が、自分で自己評価をすすめるきっかけになればよいのです。

<補足>学術用語としてのポートフォリオは、ここで説明したものとはかなり違い評価全体（理論と実践）に関わるものです。ここでは、大学に应用可能な範囲で抽出したものを利用し、それを「ポートフォリオ」と銘打っていただけなので、念のため。

<説明・3>

以上に示したような検討の到達点だが、この後の作業手順を説明したい。

ガイドブックの作成の決定はまだない。2008 年度の新入生への「配布」をするとなれば予算措置が必要である。有料にして購入させるという意見もある。この FD 報告書に、活動記録として掲載したが、これをご覧頂き、作成に関するご意見を伺いたい、という趣旨である。今後は、次のような作業手順で進めていきたいと考えている。

1 FD 報告書での内容に関して、作成の是非、内容への提案、作成手順への意見、等を募集する。

2 作成する方向で FD プロジェクトでの検討を進め、集まった意見を踏まえつつ、しかるべき「作成可の決定」の得て、内容案を暫定確定する。その上で、学生にも意見を求め、冊子のネーミング、体裁、レイアウトなどの、具体的な姿をはっきりさせていく。

3 ある段階で、項目を決定し、執筆者の自薦他薦、あるいは依頼をおこなう。原稿についても検討するプロセスを持ちたい。

4 どこかの時点で、印刷部数を決めるために、冊子の活用のあり方、配布方法（有料か無償か）などを詰め、必要な調査に入る（たとえば、教養演習で使うなどの予定を聞く）。

学生ポートフォリオのフォーマット案

1、福島大学入学の動機

--

2、将来の目標（自分のやりたいこと、希望する就職先等）

--

3、取得したい免許・資格・検定試験等

--

4、大学4年間における勉学目標

--

5、大学4年間における勉学以外の目標

--

6、セメスター毎の目標、自己評価、教員確認欄

セメ	目標	達成度評価	教員用
1			
2			
3			
4			
	以下省略		

7、卒業時の振り返り、教員確認欄

(1)在学中における勉学目標の達成度

--

(2)在学中における勉学以外の達成度や成果

--

(3)その他、在学中を振り返っての感想（良かった点・悪かった点等）

--

(4)アドバイザー教員確認用

--

8、相談の記録

記入日	相談の記録	教員名
	以下省略	



「教育改善のための学生アンケート」集計結果

平成 18 年 7 月実施 教育改善のための 学生アンケート 前期開講科目実施状況

平成18年度前期 教育改善のための学生アンケート実施状況 分類毎)

共通領域 共通教育科目

分野	科目	分類コード	科目数	件数			人数（受講者1桁科目を含む）			人数（受講者1桁科目を除く）			備考	
				対象数	実施数	実施率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	1桁 受講者	1桁 回答者
キャリア創造科目	キャリア形成論		6	6	6	100.0%	944	690	73.1%	944	690	73.1%	無し	無し
	キャリアモデル学習		6	6	6	100.0%	944	772	81.8%	944	772	81.8%	無し	無し
総合科目			5	5	4	80.0%	891	472	53.0%	891	472	53.0%	無し	無し
広域選択科目	人間と文化		6	6	5	83.3%	728	340	46.7%	721	339	47.0%	1科目7名	1科目1名
	社会と歴史		6	6	5	83.3%	817	326	39.9%	817	326	39.9%	無し	無し
	自然と技術		7	7	7	100.0%	970	648	66.8%	970	648	66.8%	無し	無し
情報教育科目			8	8	8	100.0%	687	564	82.1%	687	564	82.1%	無し	無し
健康・運動科目	健康・運動科学実習		20	20	20	100.0%	954	863	90.5%	954	863	90.5%	無し	無し
	スポーツ実習		12	12	12	100.0%	340	243	71.5%	332	239	72.0%	1科目8名	1科目4名
英語	英語AⅠ・AⅡ		40	40	38	95.0%	1,973	1,672	84.7%	1,973	1,672	84.7%	無し	無し
	英語BⅠ・BⅡ		40	40	37	92.5%	1,824	1,505	82.5%	1,798	1,493	83.0%	5科目26名	3科目12名
	英語Ⅲ		3	3	3	100.0%	19	14	73.7%				3科目19名	3科目14名
非英外国語	ドイツ語		17	17	17	100.0%	611	545	89.2%	596	533	89.4%	2科目15名	2科目12名
	フランス語		15	15	11	73.3%	360	223	61.9%	341	213	62.5%	3科目19名	2科目10名
	中国語		23	23	23	100.0%	842	764	90.7%	842	764	90.7%	無し	無し
	ロシア語		6	6	6	100.0%	96	91	94.8%	78	74	94.9%	3科目18名	3科目17名
	スペイン語		5	5	3	60.0%	82	67	81.7%	74	64	86.5%	3科目8名	1科目3名
	日本語	日本語	2	2	2	100.0%	35	35	100.0%	35	35	100.0%	無し	無し
		日本事情	1	1	1	100.0%	24	22	91.7%	24	22	91.7%	無し	無し
計			228	228	214	93.9%	13,141	9,856	75.0%	13,021	9,783	75.1%	21科目120名	14科目68名

の範囲の科目群で集計した。ただし、日本語は担当者が特定されるため集計しない。

4学類 3学部専門教育科目

分野	科目	分類コード	科目数	件数			人数（受講者1桁科目を含む）			人数（受講者1桁科目を除く）			備考	
				対象数	実施数	実施率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	1桁 受講者	1桁 回答者
人間発達文化学類・ 教育学部専門科目			171	171	149	87.1%	8,211	6,197	75.5%	8,211	6,197	75.5%	無し	無し
行政政策学類・ 行政社会学部専門科目			42	42	36	85.7%	5,848	3,100	53.0%	5,843	3,095	53.0%	2科目5名	2科目5名
経済経営学類・ 経済学部専門科目			42	42	38	90.5%	4,808	2,618	54.5%	4,808	2,618	54.5%	無し	無し
現代教養コース			38	38	34	89.5%	1,106	828	74.9%	1,097	820	74.7%	2科目9名	2科目8名
共生システム理工学類専門科目			44	44	38	86.4%	3,243	2,235	68.9%	3,237	2,229	68.9%	3科目6名	3科目6名
計			337	337	295	87.5%	23,216	14,978	64.5%	23,196	14,959	64.5%	7科目20名	7科目19名

の範囲の科目群で集計した。

教育改善のための学生アンケート

平成18年7月実施
福島大学FDプロジェクト

- 該当する番号を□に記入してください。
- 自由記載欄には思っていることを率直に述べてください。

I. あなた自身についてお答え下さい。

(1) 学部

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 教育学部（学校教育教員養成課程） | 2. 教育学部（生涯教育課程） |
| 3. 行政社会学部（昼間主コース） | 4. 行政社会学部（夜間主コース） |
| 5. 経済学部（昼間主コース） | 6. 経済学部（夜間主コース） |
| 7. 人間発達文化学類 | 8. 行政政策学類 |
| 9. 経済経営学類 | 10. 共生システム理工学類 |
| 11. 現代教養コース | |

(1)

(2) 学年（入学してからの年数）

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1年 | 2. 2年 | 3. 3年 | 4. 4年 | 5. 5年以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

(2)

II. この授業についてのあなた自身の取り組みについておたずねします。

(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 勉学面で関心があったから | 2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから |
| 3. 単位がとり易そうだったから | 4. 受講し易い時間帯にあったから |
| 5. 友人や先輩に勧められたから | 6. クラス指定または必修だったから |
| 7. その他
() | |

(3)

(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 90%以上 | 2. 89～70% | 3. 69～50% | 4. 49～30% | 5. 29%以下 |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|

(4)

(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 非常によく勉強した | 2. よく勉強した | 3. 多少はした |
| 4. ほとんどしなかった | 5. まったくしなかった | |

(5)

(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 非常に意欲的 | 2. ある程度意欲的 | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり意欲的でない | 5. まったく意欲的でない | |

(6)

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント（数字）を□に記入してください。】

評価ポイント	強く思う	やや思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
	5	4	3	2	1

III. この授業及び担当教員に関して、次の項目について評価をし、評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。（担当教員が複数の場合は総合的に判断してお答えください。）

- | | |
|--|------|
| (7) 授業への熱意が感じられた。 | (7) |
| (8) 学生への対応は適切であった。 | (8) |
| (9) 授業の準備がしっかりなされていた。 | (9) |
| (10) 聞き取り易い話し方だった。 | (10) |
| (11) 板書・OHPなどは見やすかった。（使用していない授業の場合は空欄にしてください。） | (11) |
| (12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。 | (12) |
| (13) シラバスに沿って授業が行われた。 | (13) |
| (14) 授業の内容はよく理解できた。 | (14) |

評 価 ポイント	強く思う	やや思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
	5	4	3	2	1

(15) その他この授業の良かった点及び改善すべき点を自由に書いてください。

--

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。

IV.	
-----	--

V. 教育環境について評価をし、評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

(16)	
------	--

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

(17)	
------	--

(18) 受講者数は適切であった。

(18)	
------	--

(19) その他教育環境について改善すべき点を自由に書いてください。

--

VI. 授業科目担当教員からの自由設問欄

(担当教員から独自の質問事項が提示されたときは、この欄に回答してください。)

VI.	(5 択式)
-----	--------

(記述式)

--

◆このアンケートは、本学の教育改善のため、学生みなさんにご協力をいただいて実施するものです。

◆このアンケートの集計結果の取り扱いについては、次のとおりです。

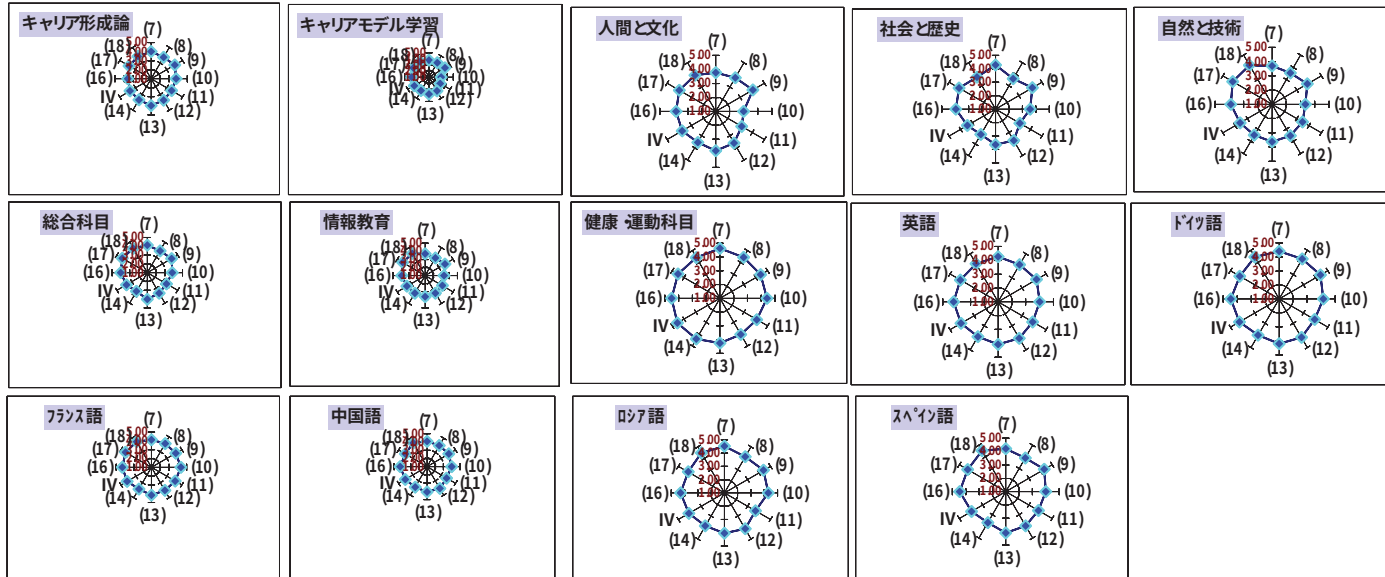
- ①各科目ごとの集計結果は、それぞれの授業担当教員にフィードバックされます。
- ②共通科目は各科目グループに分類し、科目グループ単位の集計結果を報告書において公表します。
- ③専門科目は各学部・学類ごとに集計し、その集計結果を報告書において公表します。
- ④報告書は福島大学ホームページにて公開しています。

平成18年7月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (前期)共通領域 共通教育科目)

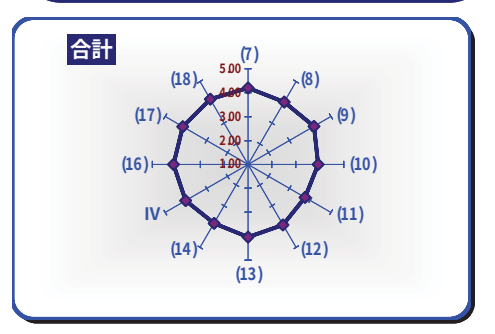
科目群毎の学生アンケート実施率		キャリア形成論	キャリアモデル学習	総合科目	人間と文化	社会と歴史	自然と技術	情報教育	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	6	6	5	6	6	7	8	32	83	17	15	23	6	5		225
	学生アンケート実施科目数(b)	6	6	4	5	5	7	8	32	79	17	11	23	6	3		212
	学生アンケート実施率(b/a %)	100.0%	100.0%	80.0%	83.3%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	95.2%	100.0%	73.3%	100.0%	100.0%	60.0%		94.2%
人数	学生アンケート受講者数(c)	944	944	891	721	817	970	687	1286	3,771	569	341	842	78	74		12,935
	学生アンケート回答者数(d)	690	772	472	339	326	648	564	1,102	3,165	533	213	764	74	64		9,726
	学生アンケート回答率(d/c %)	73.1%	81.8%	53.0%	47.0%	39.9%	66.8%	82.1%	85.7%	83.9%	93.7%	62.5%	90.7%	94.9%	86.5%		75.2%

教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 科目群毎)

番号	設 問	キャリア形成論	キャリアモデル学習	総合科目	人間と文化	社会と歴史	自然と技術	情報教育	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
授業及び担当教官	(7) 授業への熱意が感じられた	4.02	4.12	4.14	3.76	4.29	4.06	3.70	4.62	4.26	4.41	4.13	4.08	4.53	4.22		4.20
	(8) 学生への対応は適切であった	3.74	3.90	3.87	3.76	3.63	3.85	3.53	4.44	4.10	4.30	4.08	3.96	4.12	3.89		4.01
	(9) 授業の準備がしっかりなされていた	4.03	4.04	4.20	4.06	4.16	4.25	3.86	4.43	4.22	4.40	4.20	4.09	4.39	4.33		4.19
	(10) 話は聞き取り易かった	3.76	3.83	3.83	3.00	3.57	3.83	3.33	4.42	4.01	4.16	4.34	3.97	4.30	3.98		3.93
	(11) 板書・HPなどは見やすかった	3.63	3.67	3.51	3.12	3.08	3.70	3.47	4.09	3.88	3.92	4.08	3.75	3.70	3.83		3.74
	(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった	3.71	3.76	3.70	3.61	3.70	3.70	3.55	4.02	4.05	4.19	4.03	4.06	4.11	3.97		3.91
	(13) シラバスに沿って授業が行われた	3.99	4.14	4.02	3.81	3.64	3.99	3.63	4.25	4.07	4.20	4.15	4.09	4.04	4.08		4.04
	(14) 授業の内容はよく理解できた	3.71	3.83	3.43	3.56	3.18	3.47	3.49	4.42	3.91	4.00	3.85	3.87	3.88	3.67		3.83
総合	IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか	3.70	3.91	3.73	3.77	3.44	3.78	3.61	4.56	4.10	4.27	4.20	4.05	4.08	3.97		4.01
教育環境	(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた	3.57	3.78	4.02	3.84	3.95	3.76	3.89	4.51	4.22	4.45	4.30	4.27	4.31	4.45		4.11
	(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった	3.84	3.92	4.27	4.01	4.15	4.06	4.19	4.50	4.16	4.25	4.38	4.08	4.16	4.27		4.15
	(18) 受講者数は適切であった	3.86	3.87	4.19	3.97	3.77	3.98	4.16	4.43	4.16	4.46	4.36	4.32	4.46	4.55		4.15



※評価ポイント
5 強く思う
4 やや思う
3 どちらとも言えない
2 あまり思わない
1 まったく思わない
※「日本語」はクラスが特定されるので公表から外す。
※受講者数が一桁の授業は集計から外す。



平成18年7月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (前期)専門教育科目)

学部毎の学生アンケート実施率		人間発達文化学類 教育学部	行政政策学類 行政社会学部	経済経営学類 経済学部	現代教養コース	共生システム 理工学類	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	171	42	42	38	44	337
	学生アンケート実施科目数(b)	149	36	38	34	38	295
	学生アンケート実施率(b/a :%)	87.1%	85.7%	90.5%	89.5%	86.4%	87.5%
人数	学生アンケート受講者数(c)	8,211	5,843	4,808	1,097	3,237	23,196
	学生アンケート回答者数(d)	6,197	3,095	2,618	820	2,229	14,959
	学生アンケート回答率(d/c :%)	75.5%	53.0%	54.5%	74.7%	68.9%	64.5%

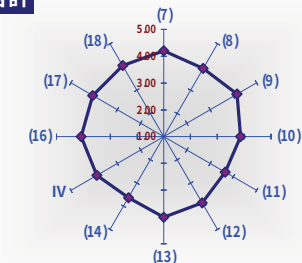
※評価ポイント

- 5 強く思う
- 4 やや思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 まったくそう思わない

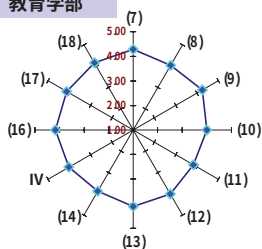
教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 (学類毎)

学部毎の学生アンケート実施率		人間発達文化学類 教育学部	行政政策学類 行政社会学部	経済経営学類 経済学部	現代教養コース	共生システム 理工学類	合計
授業及び担当教官	(7) 授業への熱意が感じられた	4.28	4.20	4.22	4.25	3.93	4.20
	(8) 学生への対応は適切であった	4.03	3.96	3.97	4.02	3.61	3.94
	(9) 授業の準備がしっかりなされていた	4.24	4.17	4.25	4.22	3.86	4.17
	(10) 聞き取り易い話し方だった	4.00	3.81	3.92	3.97	3.50	3.86
	(11) 板書・OHPなどは見やすかった	3.83	3.53	3.68	3.66	3.29	3.65
	(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった	4.01	3.82	3.87	3.88	3.46	3.86
	(13) シラバスに沿って授業が行われた	4.12	3.94	4.06	4.06	3.73	4.01
	(14) 授業の内容はよく理解できた	3.88	3.50	3.61	3.65	3.14	3.63
総合	IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか	4.02	3.83	3.88	3.91	3.51	3.87
教育環境	(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた	4.16	4.12	4.03	4.17	3.88	4.08
	(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった	4.13	4.15	3.81	4.17	4.04	4.06
	(18) 受講者数は適切であった	4.16	4.08	3.82	4.18	4.00	4.05

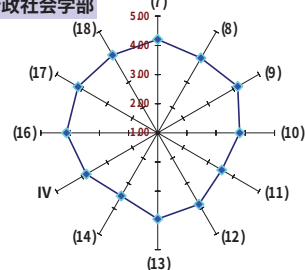
合計



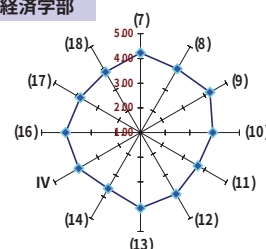
人間発達文化学類
教育学部



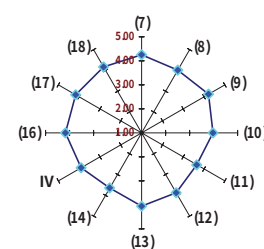
行政政策学類
行政社会学部



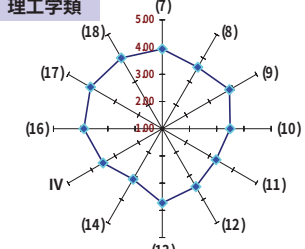
経済経営学類
経済学部



現代教養コース



共生システム
理工学類



教育改善のための学生アンケート

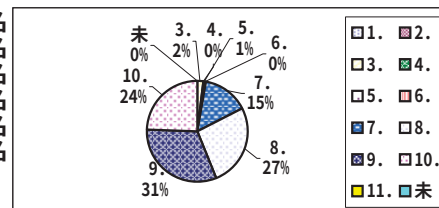
分野	科目群
キャリア創造科目	キャリア形成論 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	944	690	73.1%

I. あなた自身についてお答え下さい。

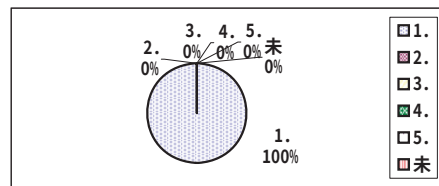
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	0名	2. 教育学部 生涯教育)	0名
3. 行政社会学部 昼間	13名	4. 行政社会学部 夜間)	1名
5. 経済学部 昼間)	4名	6. 経済学部 夜間)	1名
7. 人間発達文化学類	101名	8. 行政政策学類	183名
9. 経済経営学類	219名	10. 共生システム理工学類	168名
11. 現代教養コース	0名	未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

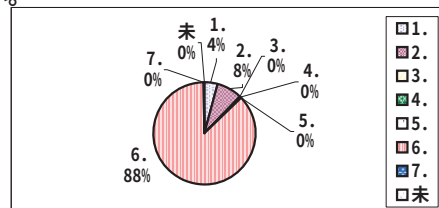
1. 1年	690名
2. 2年	0名
3. 3年	0名
4. 4年	0名
5. 5年以上	0名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

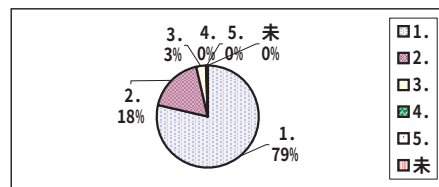
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	29名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	56名
3. 単位がとり易そうだったから	2名
4. 受講し易い時間帯にあったから	1名
5. 友人や先輩に勧められたから	0名
6. クラス指定または必修だったから	601名
7. その他	1名
未 未記入	0名



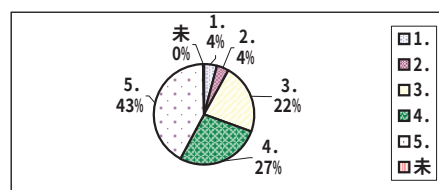
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	543名
2. 89%～70%	122名
3. 69%～50%	22名
4. 49%～30%	2名
5. 29%以下	1名
未 未記入	0名



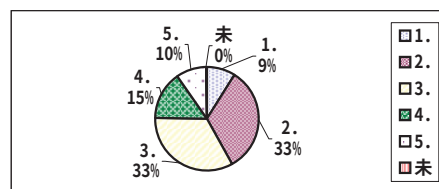
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	28名
2. よく勉強した	28名
3. 多少はした	154名
4. ほとんどしなかった	189名
5. まったくしなかった	289名
未 未記入	2名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	61名
2. ある程度意欲的	229名
3. どちらともいえない	230名
4. あまり意欲的でない	103名
5. まったく意欲的でない	66名
未 未記入	1名



平成18年7月実施

分野	科目群
キャリア創造科目	キャリア形成論 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	944	690	73.1%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	233名
4. ややそう思う	273名
3. どちらともいえない	154名
2. あまりそう思わない	22名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	0名

合計 690名

評価ポイント平均値 4.02

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	157名
4. ややそう思う	259名
3. どちらともいえない	217名
2. あまりそう思わない	50名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	0名

合計 690名

評価ポイント平均値 3.74

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	227名
4. ややそう思う	289名
3. どちらともいえない	152名
2. あまりそう思わない	14名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	0名

合計 690名

評価ポイント平均値 4.03

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	177名
4. ややそう思う	243名
3. どちらともいえない	209名
2. あまりそう思わない	50名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	0名

合計 690名

評価ポイント平均値 3.76

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	142名
4. ややそう思う	191名
3. どちらともいえない	245名
2. あまりそう思わない	47名
1. まったくそう思わない	13名
未 未記入	52名

合計 690名

評価ポイント平均値 3.63

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	158名
4. ややそう思う	226名
3. どちらともいえない	239名
2. あまりそう思わない	38名
1. まったくそう思わない	13名
未 未記入	16名

合計 690名

評価ポイント平均値 3.71

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	242名
4. ややそう思う	227名
3. どちらともいえない	198名
2. あまりそう思わない	13名
1. まったくそう思わない	9名
未 未記入	1名

合計 690名

評価ポイント平均値 3.99

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	159名
4. ややそう思う	266名
3. どちらともいえない	196名
2. あまりそう思わない	39名
1. まったくそう思わない	29名
未 未記入	1名

合計 690名

評価ポイント平均値 3.71

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	125名
4. ややそう思う	298名
3. どちらともいえない	186名
2. あまりそう思わない	44名
1. まったくそう思わない	18名
未 未記入	19名

合計 690名

評価ポイント平均値 3.70

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	138名
4. ややそう思う	229名
3. どちらともいえない	223名
2. あまりそう思わない	74名
1. まったくそう思わない	21名
未 未記入	5名

合計 690名

評価ポイント平均値 3.57

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	204名
4. ややそう思う	239名
3. どちらともいえない	186名
2. あまりそう思わない	40名
1. まったくそう思わない	16名
未 未記入	5名

合計 690名

評価ポイント平均値 3.84

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	200名
4. ややそう思う	251名
3. どちらともいえない	184名
2. あまりそう思わない	38名
1. まったくそう思わない	12名
未 未記入	5名

合計 690名

評価ポイント平均値 3.86

教育改善のための学生アンケート

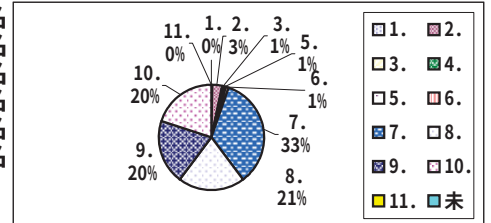
分野	科目群
キャリア創造科目	キャリアモデル学習 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	944	772	81.8%

I. あなた自身についてお答え下さい。

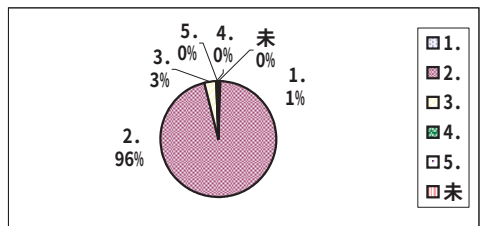
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	2名	2. 教育学部 生涯教育)	24名
3. 行政社会学部 昼間	4名	4. 行政社会学部 夜間)	1名
5. 経済学部 昼間)	4名	6. 経済学部 夜間)	6名
7. 人間発達文化学類	266名	8. 行政政策学類	159名
9. 経済経営学類	152名	10. 共生システム理工学類	153名
11. 現代教養コース	0名	未 未記入	1名



(2) 学年 (入学してからの年数)

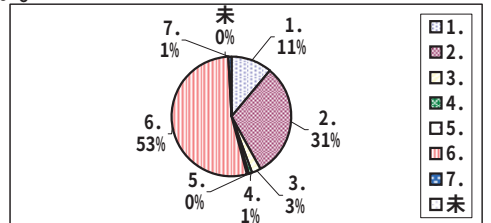
1. 1年	4名
2. 2年	737名
3. 3年	26名
4. 4年	3名
5. 5年以上	1名
未 未記入	1名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

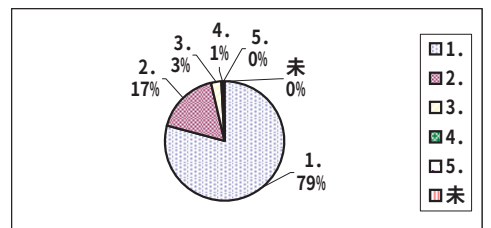
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があつたから	86名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	237名
3. 単位がとり易そうだったから	20名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	7名
5. 友人や先輩に勧められたから	3名
6. クラス指定または必修だったから	413名
7. その他	5名
未 未記入	1名



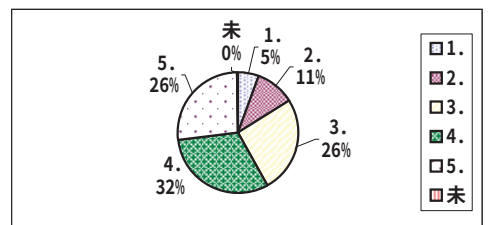
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	612名
2. 89%～70%	133名
3. 69%～50%	20名
4. 49%～30%	5名
5. 29%以下	1名
未 未記入	1名



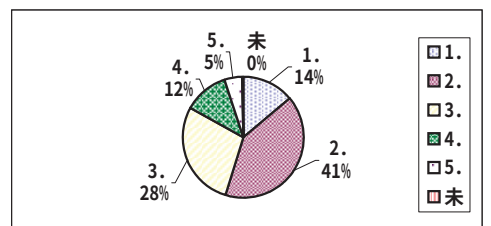
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	42名
2. よく勉強した	82名
3. 多少はした	200名
4. ほとんどしなかった	241名
5. まったくしなかった	204名
未 未記入	3名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	108名
2. ある程度意欲的	315名
3. どちらともいえない	219名
4. あまり意欲的でない	91名
5. まったく意欲的でない	36名
未 未記入	3名



平成18年7月実施

分野	科目群
キャリア創造科目	キャリアモデル学習 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	944	772	81.8%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	326名
4. ややそう思う	265名
3. どちらともいえない	136名
2. あまりそう思わない	27名
1. まったくそう思わない	14名
未 未記入	4名
合計	772名
評価ポイント平均値	4.12

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	236名
4. ややそう思う	284名
3. どちらともいえない	199名
2. あまりそう思わない	32名
1. まったくそう思わない	17名
未 未記入	4名
合計	772名
評価ポイント平均値	3.90

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	309名
4. ややそう思う	253名
3. どちらともいえない	150名
2. あまりそう思わない	38名
1. まったくそう思わない	18名
未 未記入	4名
合計	772名
評価ポイント平均値	4.04

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	218名
4. ややそう思う	265名
3. どちらともいえない	236名
2. あまりそう思わない	32名
1. まったくそう思わない	17名
未 未記入	4名
合計	772名
評価ポイント平均値	3.83

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	177名
4. ややそう思う	224名
3. どちらともいえない	257名
2. あまりそう思わない	43名
1. まったくそう思わない	25名
未 未記入	46名
合計	772名
評価ポイント平均値	3.67

(12) 教科書 参考書 資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	198名
4. ややそう思う	247名
3. どちらともいえない	243名
2. あまりそう思わない	31名
1. まったくそう思わない	24名
未 未記入	29名
合計	772名
評価ポイント平均値	3.76

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	335名
4. ややそう思う	243名
3. どちらともいえない	162名
2. あまりそう思わない	13名
1. まったくそう思わない	14名
未 未記入	5名
合計	772名
評価ポイント平均値	4.14

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	215名
4. ややそう思う	289名
3. どちらともいえない	204名
2. あまりそう思わない	37名
1. まったくそう思わない	23名
未 未記入	4名
合計	772名
評価ポイント平均値	3.83

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	219名
4. ややそう思う	311名
3. どちらともいえない	169名
2. あまりそう思わない	36名
1. まったくそう思わない	16名
未 未記入	21名
合計	772名
評価ポイント平均値	3.91

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	225名
4. ややそう思う	245名
3. どちらともいえない	203名
2. あまりそう思わない	61名
1. まったくそう思わない	21名
未 未記入	17名
合計	772名
評価ポイント平均値	3.78

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	283名
4. ややそう思う	228名
3. どちらともいえない	162名
2. あまりそう思わない	61名
1. まったくそう思わない	21名
未 未記入	17名
合計	772名
評価ポイント平均値	3.92

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	268名
4. ややそう思う	229名
3. どちらともいえない	175名
2. あまりそう思わない	56名
1. まったくそう思わない	26名
未 未記入	18名
合計	772名
評価ポイント平均値	3.87

教育改善のための学生アンケート

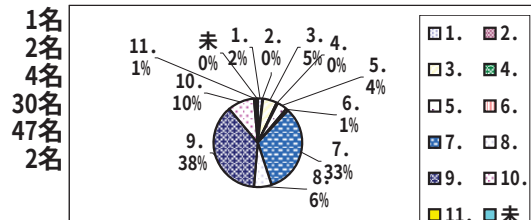
分野	科目群
総合科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	891	472	53.0%

I. あなた自身についてお答え下さい。

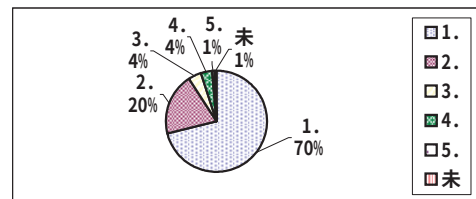
① 学部

1. 教育学部 学校教育	8名	2. 教育学部 生涯教育)	1名
3. 行政社会学部 昼間	24名	4. 行政社会学部 夜間)	2名
5. 経済学部 昼間)	17名	6. 経済学部 夜間)	4名
7. 人間発達文化学類	156名	8. 行政政策学類	30名
9. 経済経営学類	177名	10. 共生システム理工学類	47名
11. 現代教養コース	4名	未 未記入	2名



② 学年 (入学してからの年数)

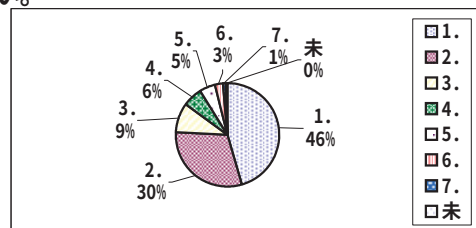
1. 1年	335名
2. 2年	94名
3. 3年	19名
4. 4年	17名
5. 5年以上	4名
未 未記入	3名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

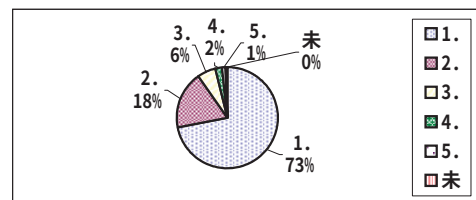
③ どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	215名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	143名
3. 単位がとり易そうだったから	43名
4. 受講し易い時間帯にあったから	29名
5. 友人や先輩に勧められたから	23名
6. クラス指定または必修だったから	12名
7. その他	5名
未 未記入	2名



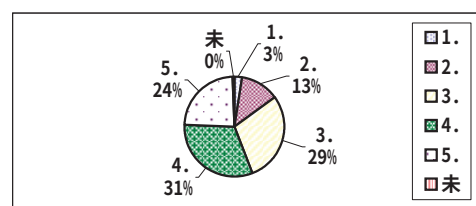
④ この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	339名
2. 89%～70%	87名
3. 69%～50%	28名
4. 49%～30%	10名
5. 29%以下	6名
未 未記入	2名



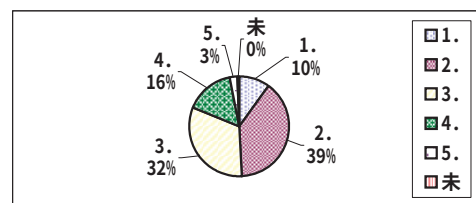
⑤ 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	12名
2. よく勉強した	59名
3. 多少はした	138名
4. ほとんどしなかった	148名
5. まったくしなかった	113名
未 未記入	2名



⑥ この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	47名
2. ある程度意欲的	185名
3. どちらともいえない	151名
4. あまり意欲的でない	74名
5. まったく意欲的でない	13名
未 未記入	2名



分野	科目群
総合科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	891	472	53.0%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	185名
4. やや思う	196名
3. どちらともいえない	67名
2. あまりそう思わない	15名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	2名
合計	472名
評価ポイント平均値	4.14

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	136名
4. やや思う	183名
3. どちらともいえない	118名
2. あまりそう思わない	22名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	2名
合計	472名
評価ポイント平均値	3.87

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	201名
4. やや思う	181名
3. どちらともいえない	72名
2. あまりそう思わない	11名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	2名
合計	472名
評価ポイント平均値	4.20

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強く思う	149名
4. やや思う	157名
3. どちらともいえない	108名
2. あまりそう思わない	45名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	2名
合計	472名
評価ポイント平均値	3.83

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	97名
4. やや思う	116名
3. どちらともいえない	126名
2. あまりそう思わない	52名
1. まったくそう思わない	23名
未 未記入	58名
合計	472名
評価ポイント平均値	3.51

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	124名
4. やや思う	138名
3. どちらともいえない	135名
2. あまりそう思わない	44名
1. まったくそう思わない	12名
未 未記入	19名
合計	472名
評価ポイント平均値	3.70

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	170名
4. やや思う	173名
3. どちらともいえない	99名
2. あまりそう思わない	16名
1. まったくそう思わない	10名
未 未記入	4名
合計	472名
評価ポイント平均値	4.02

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	74名
4. やや思う	156名
3. どちらともいえない	161名
2. あまりそう思わない	54名
1. まったくそう思わない	25名
未 未記入	2名
合計	472名
評価ポイント平均値	3.43

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	94名
4. やや思う	209名
3. どちらともいえない	105名
2. あまりそう思わない	42名
1. まったくそう思わない	9名
未 未記入	13名
合計	472名
評価ポイント平均値	3.73

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	158名
4. やや思う	191名
3. どちらともいえない	91名
2. あまりそう思わない	16名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	8名
合計	472名
評価ポイント平均値	4.02

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	215名
4. やや思う	178名
3. どちらともいえない	57名
2. あまりそう思わない	10名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	8名
合計	472名
評価ポイント平均値	4.27

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	201名
4. やや思う	171名
3. どちらともいえない	76名
2. あまりそう思わない	13名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	8名
合計	472名
評価ポイント平均値	4.19

教育改善のための学生アンケート

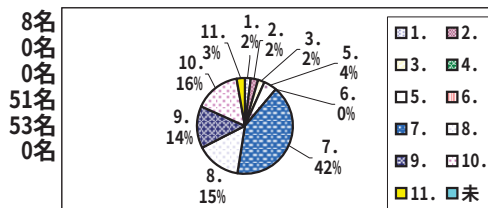
分野	科目群
広域選択科目	人間と文化 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	721	339	47.0%

I. あなた自身についてお答え下さい。

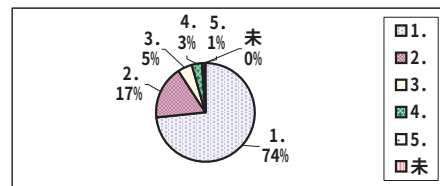
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	7名	2. 教育学部 生涯教育)	8名
3. 行政社会学部 昼間	8名	4. 行政社会学部 夜間)	0名
5. 経済学部 昼間)	15名	6. 経済学部 夜間)	0名
7. 人間発達文化学類	140名	8. 行政政策学類	51名
9. 経済経営学類	48名	10. 共生システム理工学類	53名
11. 現代教養コース	9名	未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

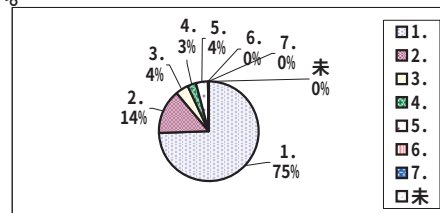
1. 1年	249名
2. 2年	59名
3. 3年	16名
4. 4年	11名
5. 5年以上	3名
未 未記入	1名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

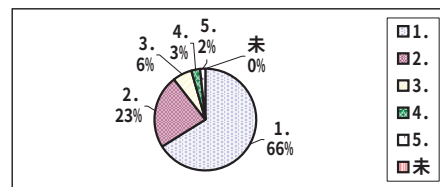
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	252名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	49名
3. 単位がとり易そうだったから	14名
4. 受講し易い時間帯にあったから	10名
5. 友人や先輩に勧められたから	13名
6. クラス指定または必修だったから	1名
7. その他	0名
未 未記入	0名



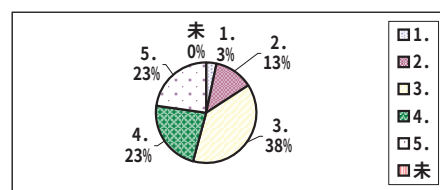
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	224名
2. 89%～70%	79名
3. 69%～50%	21名
4. 49%～30%	9名
5. 29%以下	6名
未 未記入	0名



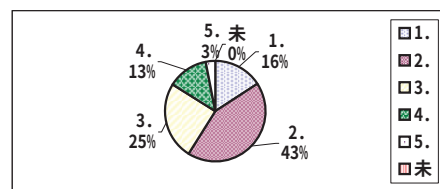
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	11名
2. よく勉強した	43名
3. 多少はした	130名
4. ほとんどしなかった	78名
5. まったくしなかった	77名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	54名
2. ある程度意欲的	146名
3. どちらともいえない	84名
4. あまり意欲的でない	45名
5. まったく意欲的でない	10名
未 未記入	0名



平成18年7月実施

分野	科目群
広域選択科目	人間と文化 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	721	339	47.0%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	91名
4. ややそう思う	112名
3. どちらともいえない	107名
2. あまりそう思わない	23名
1. まったくそう思わない	6名
未 未記入	0名

合計 339名

評価ポイント平均値 3.76

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	90名
4. ややそう思う	118名
3. どちらともいえない	97名
2. あまりそう思わない	27名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	0名

合計 339名

評価ポイント平均値 3.76

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	123名
4. ややそう思う	131名
3. どちらともいえない	70名
2. あまりそう思わない	13名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	0名

合計 339名

評価ポイント平均値 4.06

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. 強くそう思う	60名
4. ややそう思う	56名
3. どちらともいえない	91名
2. あまりそう思わない	87名
1. まったくそう思わない	45名
未 未記入	0名

合計 339名

評価ポイント平均値 3.00

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	51名
4. ややそう思う	75名
3. どちらともいえない	100名
2. あまりそう思わない	74名
1. まったくそう思わない	31名
未 未記入	8名

合計 339名

評価ポイント平均値 3.12

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	64名
4. ややそう思う	98名
3. どちらともいえない	141名
2. あまりそう思わない	16名
1. まったくそう思わない	6名
未 未記入	14名

合計 339名

評価ポイント平均値 3.61

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	90名
4. ややそう思う	117名
3. どちらともいえない	115名
2. あまりそう思わない	10名
1. まったくそう思わない	6名
未 未記入	1名

合計 339名

評価ポイント平均値 3.81

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	63名
4. ややそう思う	119名
3. どちらともいえない	110名
2. あまりそう思わない	39名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	0名

合計 339名

評価ポイント平均値 3.56

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	91名
4. ややそう思う	112名
3. どちらともいえない	96名
2. あまりそう思わない	26名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	7名

合計 339名

評価ポイント平均値 3.77

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	98名
4. ややそう思う	124名
3. どちらともいえない	84名
2. あまりそう思わない	24名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	2名

合計 339名

評価ポイント平均値 3.84

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	117名
4. ややそう思う	127名
3. どちらともいえない	75名
2. あまりそう思わない	15名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	2名

合計 339名

評価ポイント平均値 4.01

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	119名
4. ややそう思う	119名
3. どちらともいえない	75名
2. あまりそう思わない	18名
1. まったくそう思わない	6名
未 未記入	2名

合計 339名

評価ポイント平均値 3.97

教育改善のための学生アンケート

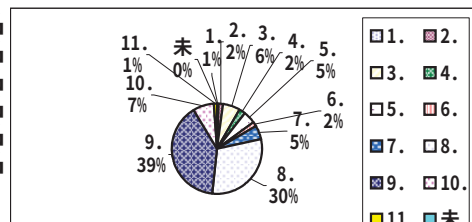
分野	科目群
広域選択科目	社会と歴史 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	817	326	39.9%

I. あなた自身についてお答え下さい。

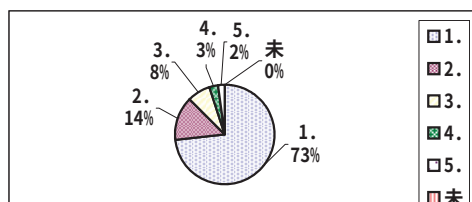
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	2名	2. 教育学部 生涯教育	5名
3. 行政社会学部 昼間	20名	4. 行政社会学部 夜間	7名
5. 経済学部 昼間	15名	6. 経済学部 夜間	5名
7. 人間発達文化学類	17名	8. 行政政策学類	97名
9. 経済経営学類	130名	10. 共生システム理工学類	24名
11. 現代教養コース	4名	未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

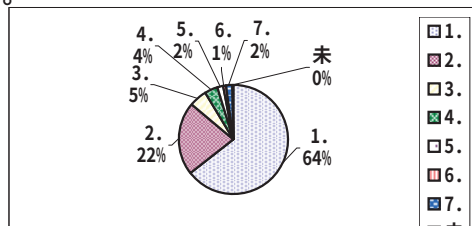
1. 1年	239名
2. 2年	46名
3. 3年	25名
4. 4年	9名
5. 5年以上	7名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

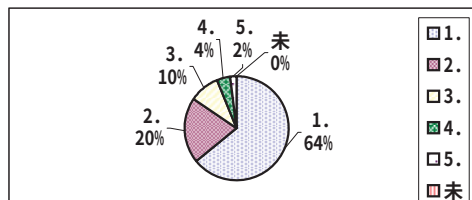
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	210名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	71名
3. 単位がとり易そうだったから	17名
4. 受講し易い時間帯にあったから	13名
5. 友人や先輩に勧められたから	5名
6. クラス指定または必修だったから	3名
7. その他	6名
未 未記入	1名



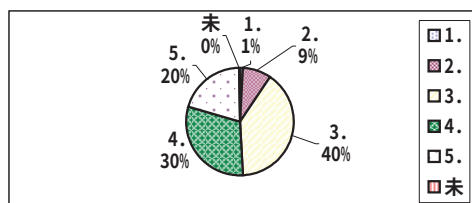
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	209名
2. 89%～70%	66名
3. 69%～50%	31名
4. 49%～30%	14名
5. 29%以下	6名
未 未記入	0名



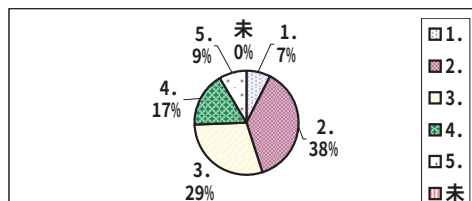
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	3名
2. よく勉強した	28名
3. 多少はした	129名
4. ほとんどしなかった	99名
5. まったくしなかった	66名
未 未記入	1名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	24名
2. ある程度意欲的	123名
3. どちらともいえない	96名
4. あまり意欲的でない	55名
5. まったく意欲的でない	28名
未 未記入	0名



平成18年7月実施

分野	科目群
広域選択科目	社会と歴史 合計

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	817	326	39.9%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	153名
4. やや思う	127名
3. どちらともいえない	37名
2. あまり思わない	7名
1. まったく思わない	2名
未 未記入	0名
合計	326名
評価ポイント平均値	4.29

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	66名
4. やや思う	127名
3. どちらともいえない	88名
2. あまり思わない	35名
1. まったく思わない	10名
未 未記入	0名
合計	326名
評価ポイント平均値	3.63

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	136名
4. やや思う	121名
3. どちらともいえない	55名
2. あまり思わない	11名
1. まったく思わない	2名
未 未記入	1名
合計	326名
評価ポイント平均値	4.16

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強く思う	80名
4. やや思う	104名
3. どちらともいえない	82名
2. あまり思わない	40名
1. まったく思わない	19名
未 未記入	1名
合計	326名
評価ポイント平均値	3.57

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	29名
4. やや思う	72名
3. どちらともいえない	116名
2. あまり思わない	57名
1. まったく思わない	24名
未 未記入	28名
合計	326名
評価ポイント平均値	3.08

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	70名
4. やや思う	129名
3. どちらともいえない	94名
2. あまり思わない	23名
1. まったく思わない	9名
未 未記入	1名
合計	326名
評価ポイント平均値	3.70

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	66名
4. やや思う	127名
3. どちらともいえない	87名
2. あまり思わない	33名
1. まったく思わない	10名
未 未記入	3名
合計	326名
評価ポイント平均値	3.64

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	29名
4. やや思う	105名
3. どちらともいえない	111名
2. あまり思わない	55名
1. まったく思わない	25名
未 未記入	1名
合計	326名
評価ポイント平均値	3.18

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	51名
4. やや思う	107名
3. どちらともいえない	100名
2. あまり思わない	43名
1. まったく思わない	14名
未 未記入	11名
合計	326名
評価ポイント平均値	3.44

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	99名
4. やや思う	136名
3. どちらともいえない	60名
2. あまり思わない	22名
1. まったく思わない	4名
未 未記入	5名
合計	326名
評価ポイント平均値	3.95

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	124名
4. やや思う	134名
3. どちらともいえない	55名
2. あまり思わない	5名
1. まったく思わない	4名
未 未記入	4名
合計	326名
評価ポイント平均値	4.15

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	86名
4. やや思う	118名
3. どちらともいえない	80名
2. あまり思わない	31名
1. まったく思わない	6名
未 未記入	5名
合計	326名
評価ポイント平均値	3.77

教育改善のための学生アンケート

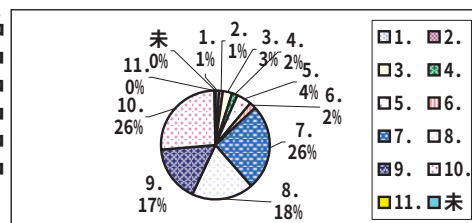
分野	科目群
広域選択科目	自然と技術 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	970	648	66.8%

I. あなた自身についてお答え下さい。

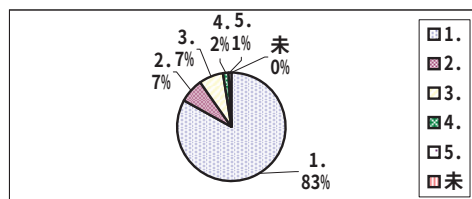
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育)	8名	2. 教育学部 生涯教育)	6名
3. 行政社会学部 昼間)	19名	4. 行政社会学部 夜間)	10名
5. 経済学部 昼間)	29名	6. 経済学部 夜間)	12名
7. 人間発達文化学類	167名	8. 行政政策学類	118名
9. 経済経営学類	108名	10. 共生システム理工学類	170名
11. 現代教養コース	1名	未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

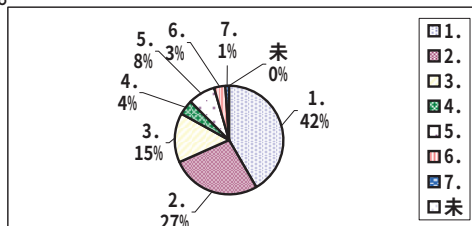
1. 1年	539名
2. 2年	46名
3. 3年	47名
4. 4年	11名
5. 5年以上	5名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

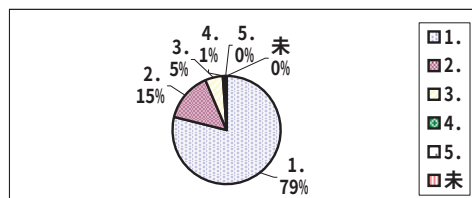
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	270名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	173名
3. 単位がとり易そうだったから	96名
4. 受講し易い時間帯にあったから	28名
5. 友人や先輩に勧められたから	52名
6. クラス指定または必修だったから	22名
7. その他	7名
未 未記入	0名



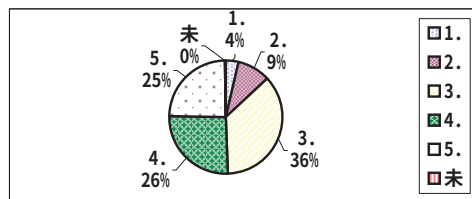
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	511名
2. 89%~70%	95名
3. 69%~50%	34名
4. 49%~30%	5名
5. 29%以下	3名
未 未記入	0名



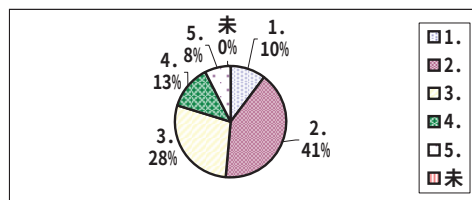
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	23名
2. よく勉強した	61名
3. 多少はした	237名
4. ほとんどしなかった	166名
5. まったくしなかった	160名
未 未記入	1名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	66名
2. ある程度意欲的	267名
3. どちらともいえない	183名
4. あまり意欲的でない	83名
5. まったく意欲的でない	49名
未 未記入	0名



平成18年7月実施

分野	科目群
広域選択科目	自然と技術 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	970	648	66.8%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	244名
4. ややそう思う	242名
3. どちらともいえない	131名
2. あまりそう思わない	21名
1. まったくそう思わない	10名
未 未記入	0名

合計 648名
評価ポイント平均値 4.06

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	179名
4. ややそう思う	256名
3. どちらともいえない	165名
2. あまりそう思わない	33名
1. まったくそう思わない	15名
未 未記入	0名

合計 648名
評価ポイント平均値 3.85

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	323名
4. ややそう思う	201名
3. どちらともいえない	96名
2. あまりそう思わない	20名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	0名

合計 648名
評価ポイント平均値 4.25

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	217名
4. ややそう思う	202名
3. どちらともいえない	152名
2. あまりそう思わない	56名
1. まったくそう思わない	21名
未 未記入	0名

合計 648名
評価ポイント平均値 3.83

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	186名
4. ややそう思う	203名
3. どちらともいえない	145名
2. あまりそう思わない	79名
1. まったくそう思わない	24名
未 未記入	11名

合計 648名
評価ポイント平均値 3.70

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	158名
4. ややそう思う	184名
3. どちらともいえない	220名
2. あまりそう思わない	40名
1. まったくそう思わない	14名
未 未記入	32名

合計 648名
評価ポイント平均値 3.70

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	219名
4. ややそう思う	227名
3. どちらともいえない	178名
2. あまりそう思わない	14名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	3名

合計 648名
評価ポイント平均値 3.99

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	119名
4. ややそう思う	223名
3. どちらともいえない	196名
2. あまりそう思わない	65名
1. まったくそう思わない	45名
未 未記入	0名

合計 648名
評価ポイント平均値 3.47

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	160名
4. ややそう思う	250名
3. どちらともいえない	162名
2. あまりそう思わない	42名
1. まったくそう思わない	18名
未 未記入	16名

合計 648名
評価ポイント平均値 3.78

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	181名
4. ややそう思う	224名
3. どちらともいえない	154名
2. あまりそう思わない	73名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	5名

合計 648名
評価ポイント平均値 3.76

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	252名
4. ややそう思う	227名
3. どちらともいえない	124名
2. あまりそう思わない	30名
1. まったくそう思わない	10名
未 未記入	5名

合計 648名
評価ポイント平均値 4.06

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	232名
4. ややそう思う	221名
3. どちらともいえない	139名
2. あまりそう思わない	42名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	6名

合計 648名
評価ポイント平均値 3.98

教育改善のための学生アンケート

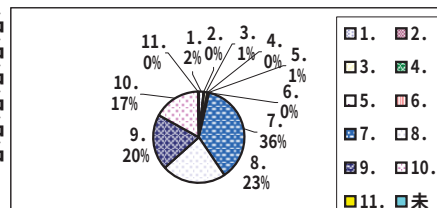
分野	科目群
情報教育科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	687	564	82.1%

I. あなた自身についてお答え下さい。

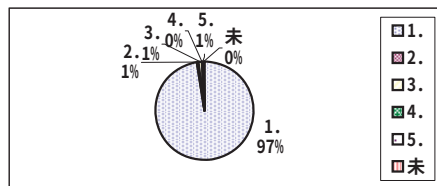
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	9名	2. 教育学部 生涯教育)	2名
3. 行政社会学部 昼間	6名	4. 行政社会学部 夜間)	0名
5. 経済学部 昼間)	3名	6. 経済学部 夜間)	0名
7. 人間発達文化学類	208名	8. 行政政策学類	129名
9. 経済経営学類	112名	10. 共生システム理工学類	94名
11. 現代教養コース	0名	未 未記入	1名



(2) 学年 (入学してからの年数)

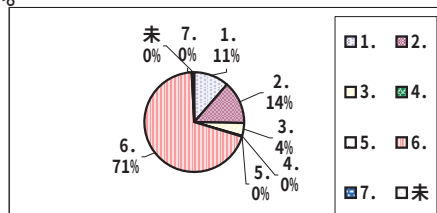
1. 1年	550名
2. 2年	3名
3. 3年	7名
4. 4年	0名
5. 5年以上	3名
未 未記入	1名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

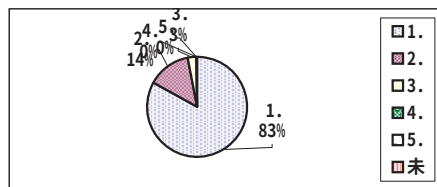
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	64名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	79名
3. 単位がとり易そうだったから	23名
4. 受講し易い時間帯にあったから	0名
5. 友人や先輩に勧められたから	1名
6. クラス指定または必修だったから	393名
7. その他	2名
未 未記入	2名



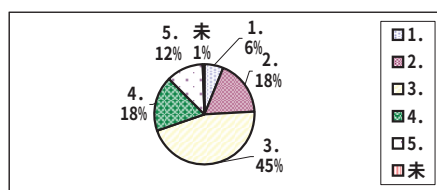
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	469名
2. 89%～70%	77名
3. 69%～50%	16名
4. 49%～30%	0名
5. 29%以下	1名
未 未記入	1名



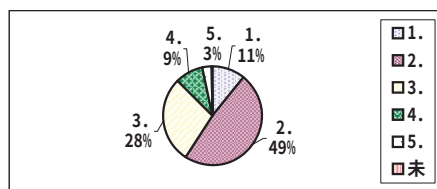
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	34名
2. よく勉強した	103名
3. 多少はした	256名
4. ほとんどしなかった	100名
5. まったくしなかった	68名
未 未記入	3名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	61名
2. ある程度意欲的	273名
3. どちらともいえない	159名
4. あまり意欲的でない	52名
5. まったく意欲的でない	17名
未 未記入	2名



平成18年7月実施

分野	科目群
情報教育科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	687	564	82.1%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	137名
4. ややそう思う	200名
3. どちらともいえない	162名
2. あまりそう思わない	44名
1. まったくそう思わない	19名
未 未記入	2名

合計 564名

評価ポイント平均値 3.70

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	121名
4. ややそう思う	181名
3. どちらともいえない	164名
2. あまりそう思わない	66名
1. まったくそう思わない	30名
未 未記入	2名

合計 564名

評価ポイント平均値 3.53

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	159名
4. ややそう思う	226名
3. どちらともいえない	130名
2. あまりそう思わない	33名
1. まったくそう思わない	14名
未 未記入	2名

合計 564名

評価ポイント平均値 3.86

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. 強くそう思う	115名
4. ややそう思う	148名
3. どちらともいえない	156名
2. あまりそう思わない	92名
1. まったくそう思わない	51名
未 未記入	2名

合計 564名

評価ポイント平均値 3.33

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	109名
4. ややそう思う	176名
3. どちらともいえない	138名
2. あまりそう思わない	79名
1. まったくそう思わない	32名
未 未記入	30名

合計 564名

評価ポイント平均値 3.47

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	108名
4. ややそう思う	185名
3. どちらともいえない	172名
2. あまりそう思わない	57名
1. まったくそう思わない	23名
未 未記入	19名

合計 564名

評価ポイント平均値 3.55

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	128名
4. ややそう思う	182名
3. どちらともいえない	193名
2. あまりそう思わない	35名
1. まったくそう思わない	24名
未 未記入	2名

合計 564名

評価ポイント平均値 3.63

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	79名
4. ややそう思う	232名
3. どちらともいえない	157名
2. あまりそう思わない	72名
1. まったくそう思わない	22名
未 未記入	2名

合計 564名

評価ポイント平均値 3.49

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	90名
4. ややそう思う	240名
3. どちらともいえない	156名
2. あまりそう思わない	40名
1. まったくそう思わない	22名
未 未記入	16名

合計 564名

評価ポイント平均値 3.61

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	168名
4. ややそう思う	219名
3. どちらともいえない	125名
2. あまりそう思わない	31名
1. まったくそう思わない	14名
未 未記入	7名

合計 564名

評価ポイント平均値 3.89

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	244名
4. ややそう思う	208名
3. どちらともいえない	80名
2. あまりそう思わない	17名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	7名

合計 564名

評価ポイント平均値 4.19

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	232名
4. ややそう思う	214名
3. どちらともいえない	85名
2. あまりそう思わない	17名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	8名

合計 564名

評価ポイント平均値 4.16

教育改善のための学生アンケート

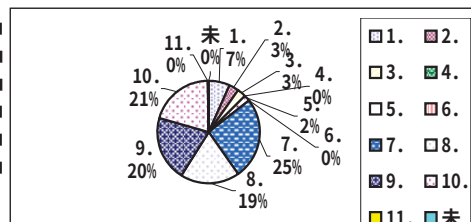
分野	科目群
健康・運動科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1286	1102	85.7%

I. あなた自身についてお答え下さい。

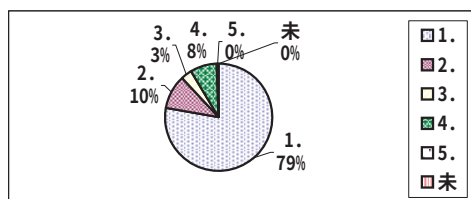
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	74名	2. 教育学部 生涯教育)	33名
3. 行政社会学部 昼間	31名	4. 行政社会学部 夜間)	1名
5. 経済学部 昼間)	21名	6. 経済学部 夜間)	0名
7. 人間発達文化学類	284名	8. 行政政策学類	205名
9. 経済経営学類	225名	10. 共生システム理工学類	226名
11. 現代教養コース	1名	未 未記入	1名



(2) 学年 (入学してからの年数)

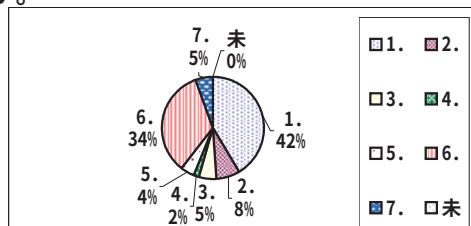
1. 1年	858名
2. 2年	113名
3. 3年	37名
4. 4年	89名
5. 5年以上	4名
未 未記入	1名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

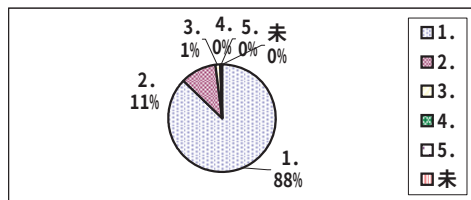
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	457名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	83名
3. 単位がとり易そうだったから	59名
4. 受講し易い時間帯にあったから	20名
5. 友人や先輩に勧められたから	48名
6. クラス指定または必修だったから	375名
7. その他	59名
未 未記入	1名



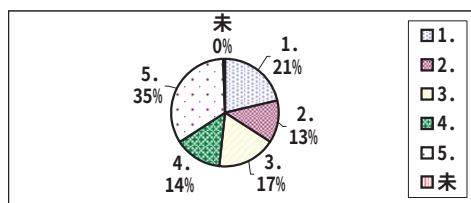
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	961名
2. 89%～70%	119名
3. 69%～50%	16名
4. 49%～30%	3名
5. 29%以下	3名
未 未記入	0名



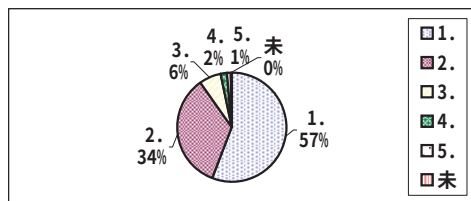
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	235名
2. よく勉強した	142名
3. 多少はした	191名
4. ほとんどしなかった	157名
5. まったくしなかった	372名
未 未記入	5名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	614名
2. ある程度意欲的	380名
3. どちらともいえない	71名
4. あまり意欲的でない	23名
5. まったく意欲的でない	12名
未 未記入	2名



平成18年7月実施

分野	科目群
健康・運動科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1286	1102	85.7%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	780名
4. やや思う	249名
3. どちらともいえない	53名
2. あまりそう思わない	7名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	2名

合計 1102名
評価ポイント平均値 4.62

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	674名
4. やや思う	305名
3. どちらともいえない	78名
2. あまりそう思わない	25名
1. まったくそう思わない	19名
未 未記入	1名

合計 1102名
評価ポイント平均値 4.44

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	664名
4. やや思う	289名
3. どちらともいえない	115名
2. あまりそう思わない	22名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	1名

合計 1102名
評価ポイント平均値 4.43

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強く思う	668名
4. やや思う	278名
3. どちらともいえない	114名
2. あまりそう思わない	25名
1. まったくそう思わない	15名
未 未記入	2名

合計 1102名
評価ポイント平均値 4.42

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	269名
4. やや思う	131名
3. どちらともいえない	137名
2. あまりそう思わない	26名
1. まったくそう思わない	9名
未 未記入	530名

合計 1102名
評価ポイント平均値 4.09

(12) 教科書 参考書 資料などは適切であった。

5. 強く思う	372名
4. やや思う	207名
3. どちらともいえない	256名
2. あまりそう思わない	22名
1. まったくそう思わない	18名
未 未記入	227名

合計 1102名
評価ポイント平均値 4.02

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	556名
4. やや思う	289名
3. どちらともいえない	197名
2. あまりそう思わない	27名
1. まったくそう思わない	10名
未 未記入	23名

合計 1102名
評価ポイント平均値 4.25

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	634名
4. やや思う	322名
3. どちらともいえない	116名
2. あまりそう思わない	15名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	7名

合計 1102名
評価ポイント平均値 4.42

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	715名
4. やや思う	275名
3. どちらともいえない	55名
2. あまりそう思わない	10名
1. まったくそう思わない	15名
未 未記入	32名

合計 1102名
評価ポイント平均値 4.56

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	710名
4. やや思う	255名
3. どちらともいえない	100名
2. あまりそう思わない	12名
1. まったくそう思わない	9名
未 未記入	16名

合計 1102名
評価ポイント平均値 4.51

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	720名
4. やや思う	238名
3. どちらともいえない	90名
2. あまりそう思わない	31名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	16名

合計 1102名
評価ポイント平均値 4.50

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	660名
4. やや思う	270名
3. どちらともいえない	125名
2. あまりそう思わない	24名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	15名

合計 1102名
評価ポイント平均値 4.43

教育改革のための学生アンケート

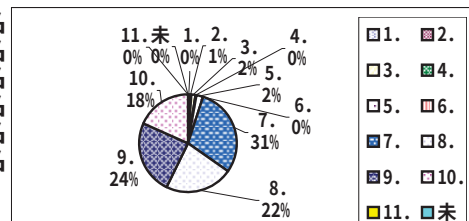
分野	科目群
英語 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3771	3165	83.9%

I. あなた自身についてお答え下さい。

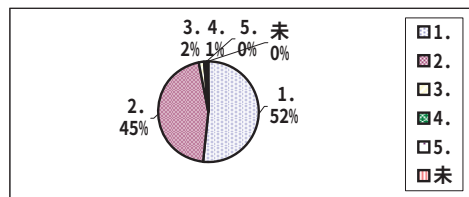
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	15名	2. 教育学部 生涯教育)	19名
3. 行政社会学部 昼間)	48名	4. 行政社会学部 夜間)	5名
5. 経済学部 昼間)	72名	6. 経済学部 夜間)	0名
7. 人間発達文化学類	943名	8. 行政政策学類	710名
9. 経済経営学類	771名	10. 共生システム理工学類	578名
11. 現代教養コース	1名	未 未記入	3名



(2) 学年 (入学してからの年数)

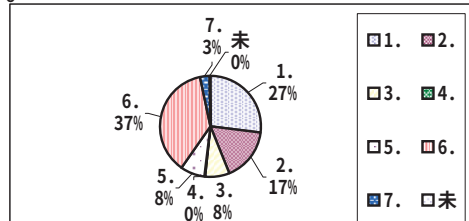
1. 1年	1631名
2. 2年	1434名
3. 3年	58名
4. 4年	24名
5. 5年以上	11名
未 未記入	7名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

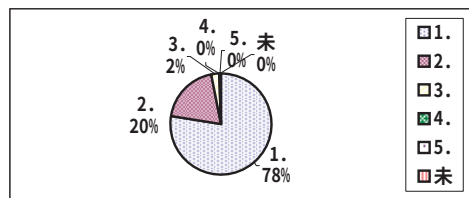
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	851名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	538名
3. 単位がとり易そうだったから	243名
4. 受講し易い時間帯にあったから	11名
5. 友人や先輩に勧められたから	248名
6. クラス指定または必修だったから	1169名
7. その他	97名
未 未記入	8名



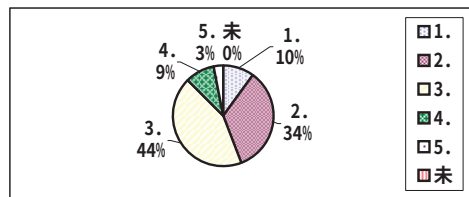
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	2450名
2. 89%~70%	621名
3. 69%~50%	79名
4. 49%~30%	8名
5. 29%以下	2名
未 未記入	5名



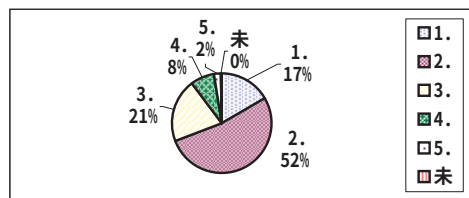
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	320名
2. よく勉強した	1079名
3. 多少はした	1372名
4. ほとんどしなかった	293名
5. まったくしなかった	97名
未 未記入	4名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	530名
2. ある程度意欲的	1662名
3. どちらともいえない	651名
4. あまり意欲的でない	244名
5. まったく意欲的でない	71名
未 未記入	7名



平成18年7月実施

分野	科目群
英語 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3771	3165	83.9%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	1550名
4. ややそう思う	1064名
3. どちらともいえない	407名
2. あまりそう思わない	98名
1. まったくそう思わない	41名
未 未記入	5名

合計 3165名

評価ポイント平均値 4.26

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	1399名
4. ややそう思う	1027名
3. どちらともいえない	458名
2. あまりそう思わない	188名
1. まったくそう思わない	88名
未 未記入	5名

合計 3165名

評価ポイント平均値 4.10

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	1452名
4. ややそう思う	1099名
3. どちらともいえない	494名
2. あまりそう思わない	89名
1. まったくそう思わない	26名
未 未記入	5名

合計 3165名

評価ポイント平均値 4.22

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. 強くそう思う	1333名
4. ややそう思う	943名
3. どちらともいえない	573名
2. あまりそう思わない	202名
1. まったくそう思わない	109名
未 未記入	5名

合計 3165名

評価ポイント平均値 4.01

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	931名
4. ややそう思う	939名
3. どちらともいえない	730名
2. あまりそう思わない	182名
1. まったくそう思わない	60名
未 未記入	323名

合計 3165名

評価ポイント平均値 3.88

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	1269名
4. ややそう思う	1059名
3. どちらともいえない	612名
2. あまりそう思わない	148名
1. まったくそう思わない	64名
未 未記入	13名

合計 3165名

評価ポイント平均値 4.05

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	1224名
4. ややそう思う	1099名
3. どちらともいえない	674名
2. あまりそう思わない	104名
1. まったくそう思わない	39名
未 未記入	25名

合計 3165名

評価ポイント平均値 4.07

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	952名
4. ややそう思う	1287名
3. どちらともいえない	670名
2. あまりそう思わない	184名
1. まったくそう思わない	64名
未 未記入	8名

合計 3165名

評価ポイント平均値 3.91

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	1225名
4. ややそう思う	1211名
3. どちらともいえない	463名
2. あまりそう思わない	147名
1. まったくそう思わない	51名
未 未記入	68名

合計 3165名

評価ポイント平均値 4.10

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	1466名
4. ややそう思う	1071名
3. どちらともいえない	452名
2. あまりそう思わない	103名
1. まったくそう思わない	41名
未 未記入	32名

合計 3165名

評価ポイント平均値 4.22

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	1486名
4. ややそう思う	948名
3. どちらともいえない	473名
2. あまりそう思わない	153名
1. まったくそう思わない	73名
未 未記入	32名

合計 3165名

評価ポイント平均値 4.16

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	1447名
4. ややそう思う	997名
3. どちらともいえない	483名
2. あまりそう思わない	152名
1. まったくそう思わない	52名
未 未記入	34名

合計 3165名

評価ポイント平均値 4.16

教育改革のための学生アンケート

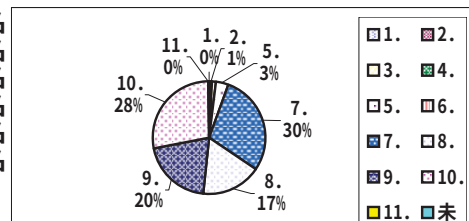
分野	科目群
非英外国語	ドイツ語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	569	533	93.7%

I. あなた自身についてお答え下さい。

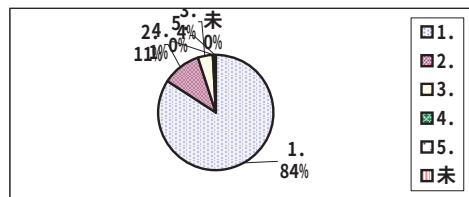
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	1名	2. 教育学部 生涯教育)	3名
3. 行政社会学部 昼間)	6名	4. 行政社会学部 夜間)	1名
5. 経済学部 昼間)	18名	6. 経済学部 夜間)	1名
7. 人間発達文化学類	153名	8. 行政政策学類	93名
9. 経済経営学類	107名	10. 共生システム理工学類	149名
11. 現代教養コース	0名	未 未記入	1名



(2) 学年 (入学してからの年数)

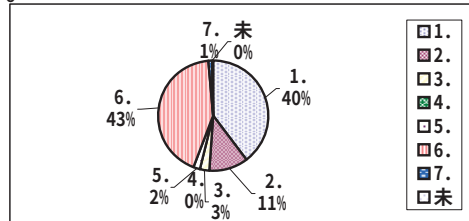
1. 1年	448名
2. 2年	59名
3. 3年	22名
4. 4年	3名
5. 5年以上	0名
未 未記入	1名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

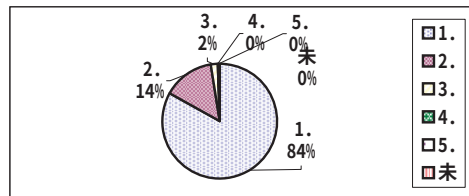
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があつたから	212名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	60名
3. 単位がとり易そうだったから	15名
4. 受講し易い時間帯にあったから	0名
5. 友人や先輩に勧められたから	11名
6. クラス指定または必修だったから	227名
7. その他	7名
未 未記入	1名



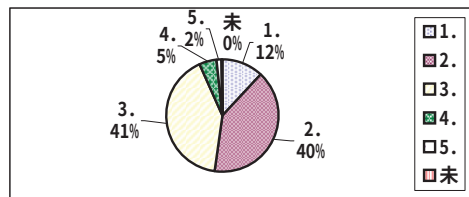
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	443名
2. 89%~70%	77名
3. 69%~50%	10名
4. 49%~30%	1名
5. 29%以下	0名
未 未記入	2名



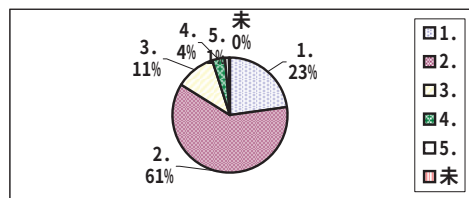
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	63名
2. よく勉強した	216名
3. 多少はした	218名
4. ほとんどしなかった	27名
5. まったくしなかった	8名
未 未記入	1名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	121名
2. ある程度意欲的	326名
3. どちらともいえない	60名
4. あまり意欲的でない	19名
5. まったく意欲的でない	6名
未 未記入	1名



平成18年7月実施

分野	科目群
非英外国語	ドイツ語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	569	533	93.7%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	291名
4. やや思う	181名
3. どちらともいえない	48名
2. あまりそう思わない	11名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	1名
合計	533名
評価ポイント平均値	4.41

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	260名
4. やや思う	190名
3. どちらともいえない	67名
2. あまりそう思わない	11名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	1名
合計	533名
評価ポイント平均値	4.30

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	285名
4. やや思う	189名
3. どちらともいえない	48名
2. あまりそう思わない	7名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	1名
合計	533名
評価ポイント平均値	4.40

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. 強く思う	246名
4. やや思う	168名
3. どちらともいえない	84名
2. あまりそう思わない	27名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	1名
合計	533名
評価ポイント平均値	4.16

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	161名
4. やや思う	197名
3. どちらともいえない	123名
2. あまりそう思わない	32名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	15名
合計	533名
評価ポイント平均値	3.92

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	232名
4. やや思う	193名
3. どちらともいえない	87名
2. あまりそう思わない	15名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	1名
合計	533名
評価ポイント平均値	4.19

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	212名
4. やや思う	214名
3. どちらともいえない	97名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	6名
合計	533名
評価ポイント平均値	4.20

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	168名
4. やや思う	229名
3. どちらともいえない	107名
2. あまりそう思わない	21名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	1名
合計	533名
評価ポイント平均値	4.00

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	234名
4. やや思う	226名
3. どちらともいえない	49名
2. あまりそう思わない	15名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	5名
合計	533名
評価ポイント平均値	4.27

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	298名
4. やや思う	184名
3. どちらともいえない	38名
2. あまりそう思わない	10名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	2名
合計	533名
評価ポイント平均値	4.45

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	261名
4. やや思う	172名
3. どちらともいえない	73名
2. あまりそう思わない	18名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	2名
合計	533名
評価ポイント平均値	4.25

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	296名
4. やや思う	189名
3. どちらともいえない	41名
2. あまりそう思わない	4名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	2名
合計	533名
評価ポイント平均値	4.46

教育改革のための学生アンケート

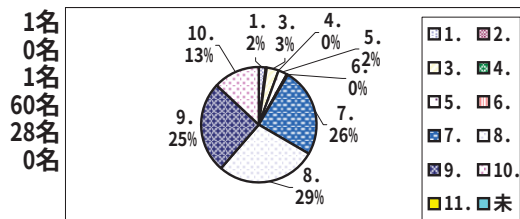
分野	科目群
非英外国語	フランス語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	341	213	62.5%

I. あなた自身についてお答え下さい。

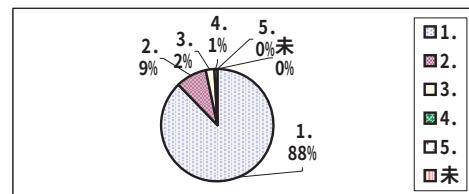
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	4名	2. 教育学部 生涯教育)	1名
3. 行政社会学部 昼間)	7名	4. 行政社会学部 夜間)	0名
5. 経済学部 昼間)	5名	6. 経済学部 夜間)	1名
7. 人間発達文化学類	53名	8. 行政政策学類	60名
9. 経済経営学類	54名	10. 共生システム理工学類	28名
11. 現代教養コース	0名	未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

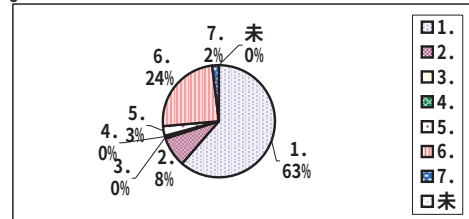
1. 1年	187名
2. 2年	19名
3. 3年	5名
4. 4年	2名
5. 5年以上	0名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

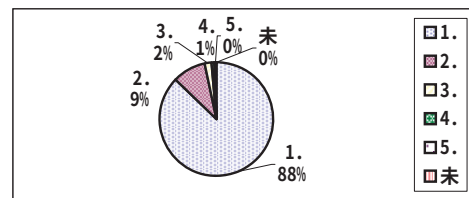
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があつたから	131名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	18名
3. 単位がとり易そうだったから	1名
4. 受講し易い時間帯にあったから	1名
5. 友人や先輩に勧められたから	6名
6. クラス指定または必修だったから	52名
7. その他	4名
未 未記入	0名



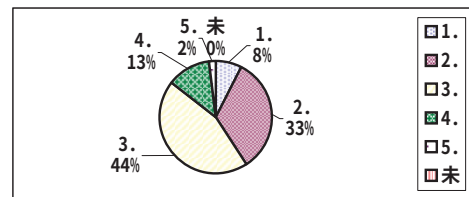
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	186名
2. 89%~70%	20名
3. 69%~50%	4名
4. 49%~30%	2名
5. 29%以下	1名
未 未記入	0名



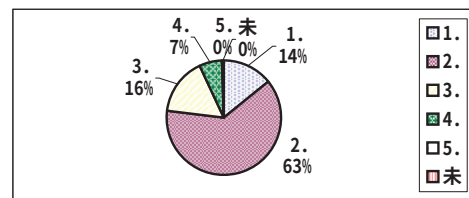
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	16名
2. よく勉強した	71名
3. 多少はした	95名
4. ほとんどしなかった	27名
5. まったくしなかった	4名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	30名
2. ある程度意欲的	134名
3. どちらともいえない	34名
4. あまり意欲的でない	14名
5. まったく意欲的でない	0名
未 未記入	1名



平成18年7月実施

分野	科目群
非英外国語	フランス語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	341	213	62.5%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	90名
4. やや思う	77名
3. どちらともいえない	33名
2. あまりそう思わない	10名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 213名
評価ポイント平均値 4.13

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	81名
4. やや思う	82名
3. どちらともいえない	40名
2. あまりそう思わない	6名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	0名

合計 213名
評価ポイント平均値 4.08

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	85名
4. やや思う	93名
3. どちらともいえない	30名
2. あまりそう思わない	3名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	0名

合計 213名
評価ポイント平均値 4.20

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. 強く思う	113名
4. やや思う	68名
3. どちらともいえない	25名
2. あまりそう思わない	5名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	0名

合計 213名
評価ポイント平均値 4.34

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	81名
4. やや思う	74名
3. どちらともいえない	36名
2. あまりそう思わない	11名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	9名

合計 213名
評価ポイント平均値 4.08

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	84名
4. やや思う	66名
3. どちらともいえない	51名
2. あまりそう思わない	9名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 213名
評価ポイント平均値 4.03

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	81名
4. やや思う	89名
3. どちらともいえない	37名
2. あまりそう思わない	3名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	1名

合計 213名
評価ポイント平均値 4.15

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	56名
4. やや思う	85名
3. どちらともいえない	59名
2. あまりそう思わない	10名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 213名
評価ポイント平均値 3.85

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	78名
4. やや思う	105名
3. どちらともいえない	23名
2. あまりそう思わない	3名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	2名

合計 213名
評価ポイント平均値 4.20

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	101名
4. やや思う	79名
3. どちらともいえない	27名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	2名

合計 213名
評価ポイント平均値 4.30

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	121名
4. やや思う	58名
3. どちらともいえない	24名
2. あまりそう思わない	4名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	3名

合計 213名
評価ポイント平均値 4.38

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	110名
4. やや思う	74名
3. どちらともいえない	20名
2. あまりそう思わない	4名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	3名

合計 213名
評価ポイント平均値 4.36

教育改革のための学生アンケート

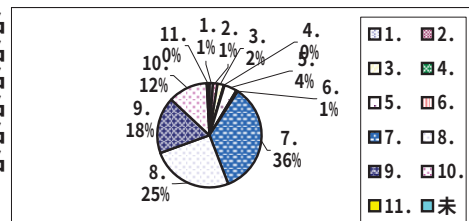
分野	科目群
非英外国語	中国語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	842	764	90.7%

I. あなた自身についてお答え下さい。

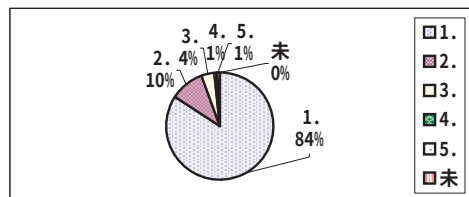
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	9名	2. 教育学部 生涯教育)	11名
3. 行政社会学部 昼間)	15名	4. 行政社会学部 夜間)	1名
5. 経済学部 昼間)	29名	6. 経済学部 夜間)	4名
7. 人間発達文化学類	269名	8. 行政政策学類	192名
9. 経済経営学類	135名	10. 共生システム理工学類	93名
11. 現代教養コース	3名	未 未記入	3名



(2) 学年 (入学してからの年数)

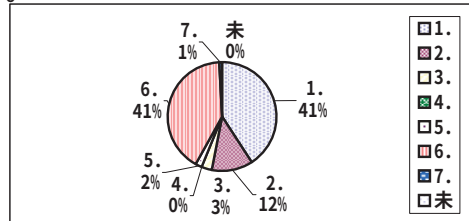
1. 1年	643名
2. 2年	79名
3. 3年	30名
4. 4年	5名
5. 5年以上	6名
未 未記入	1名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

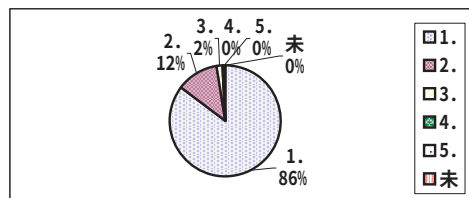
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があつたから	312名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	93名
3. 単位がとり易そうだったから	23名
4. 受講し易い時間帯にあったから	1名
5. 友人や先輩に勧められたから	15名
6. クラス指定または必修だったから	314名
7. その他	5名
未 未記入	1名



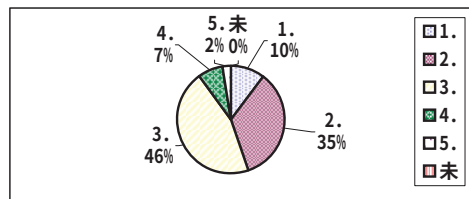
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	651名
2. 89%~70%	94名
3. 69%~50%	12名
4. 49%~30%	3名
5. 29%以下	3名
未 未記入	1名



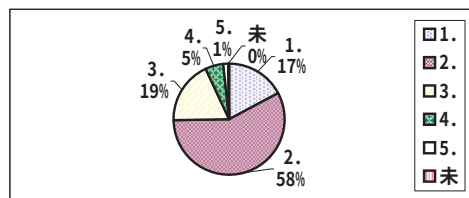
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	79名
2. よく勉強した	263名
3. 多少はした	346名
4. ほとんどしなかった	57名
5. まったくしなかった	18名
未 未記入	1名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	132名
2. ある程度意欲的	438名
3. どちらともいえない	141名
4. あまり意欲的でない	41名
5. まったく意欲的でない	10名
未 未記入	2名



平成18年7月実施

分野	科目群
非英外国語	中国語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	842	764	90.7%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	275名
4. やや思う	331名
3. どちらともいえない	109名
2. あまりそう思わない	40名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	1名
合計	764名
評価ポイント平均値	4.08

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	238名
4. やや思う	319名
3. どちらともいえない	154名
2. あまりそう思わない	44名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	1名
合計	764名
評価ポイント平均値	3.96

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	261名
4. やや思う	339名
3. どちらともいえない	134名
2. あまりそう思わない	25名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	1名
合計	764名
評価ポイント平均値	4.09

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. 強く思う	261名
4. やや思う	290名
3. どちらともいえない	150名
2. あまりそう思わない	54名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	1名
合計	764名
評価ポイント平均値	3.97

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	183名
4. やや思う	263名
3. どちらともいえない	227名
2. あまりそう思わない	60名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	23名
合計	764名
評価ポイント平均値	3.75

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	269名
4. やや思う	312名
3. どちらともいえない	148名
2. あまりそう思わない	30名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	1名
合計	764名
評価ポイント平均値	4.06

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	260名
4. やや思う	320名
3. どちらともいえない	167名
2. あまりそう思わない	11名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	4名
合計	764名
評価ポイント平均値	4.09

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	182名
4. やや思う	356名
3. どちらともいえない	166名
2. あまりそう思わない	51名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	4名
合計	764名
評価ポイント平均値	3.87

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	232名
4. やや思う	356名
3. どちらともいえない	132名
2. あまりそう思わない	27名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	14名
合計	764名
評価ポイント平均値	4.05

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	359名
4. やや思う	276名
3. どちらともいえない	102名
2. あまりそう思わない	17名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	5名
合計	764名
評価ポイント平均値	4.27

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	330名
4. やや思う	250名
3. どちらともいえない	115名
2. あまりそう思わない	40名
1. まったくそう思わない	24名
未 未記入	5名
合計	764名
評価ポイント平均値	4.08

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	369名
4. やや思う	282名
3. どちらともいえない	91名
2. あまりそう思わない	16名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	5名
合計	764名
評価ポイント平均値	4.32

教育改革のための学生アンケート

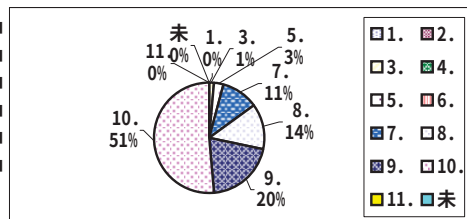
分野	科目群
非英外国語	ロシア語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	78	74	94.9%

I. あなた自身についてお答え下さい。

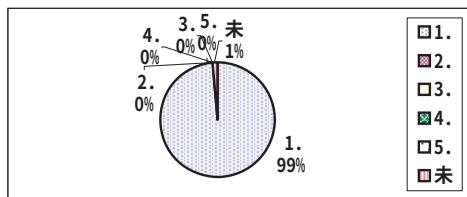
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	0名	2. 教育学部 生涯教育)	0名
3. 行政社会学部 昼間)	1名	4. 行政社会学部 夜間)	0名
5. 経済学部 昼間)	2名	6. 経済学部 夜間)	0名
7. 人間発達文化学類	8名	8. 行政政策学類	10名
9. 経済経営学類	15名	10. 共生システム理工学類	38名
11. 現代教養コース	0名	未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

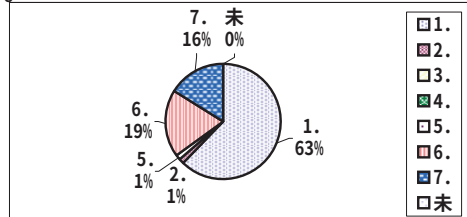
1. 1年	73名
2. 2年	0名
3. 3年	0名
4. 4年	0名
5. 5年以上	0名
未 未記入	1名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

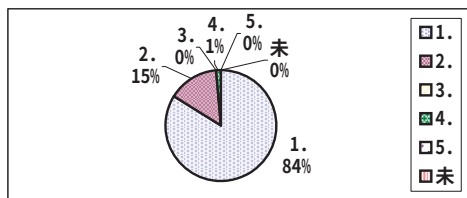
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があつたから	46名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1名
3. 単位がとり易そうだったから	0名
4. 受講し易い時間帯にあったから	0名
5. 友人や先輩に勧められたから	1名
6. クラス指定または必修だったから	14名
7. その他	12名
未 未記入	0名



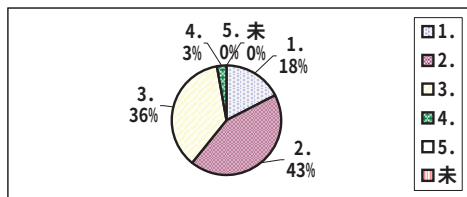
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	62名
2. 89%~70%	11名
3. 69%~50%	0名
4. 49%~30%	1名
5. 29%以下	0名
未 未記入	0名



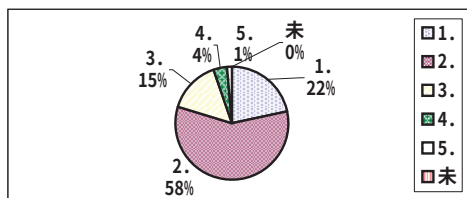
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	13名
2. よく勉強した	32名
3. 多少はした	27名
4. ほとんどしなかった	2名
5. まったくしなかった	0名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	16名
2. ある程度意欲的	43名
3. どちらともいえない	11名
4. あまり意欲的でない	3名
5. まったく意欲的でない	1名
未 未記入	0名



平成18年7月実施

分野	科目群
非英外国語	ロシア語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	78	74	94.9%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	48名
4. やや思う	19名
3. どちらともいえない	6名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	0名

合計 74名

評価ポイント平均値 4.53

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	28名
4. やや思う	32名
3. どちらともいえない	10名
2. あまりそう思わない	3名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	0名

合計 74名

評価ポイント平均値 4.12

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	38名
4. やや思う	28名
3. どちらともいえない	7名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 74名

評価ポイント平均値 4.39

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. 強く思う	38名
4. やや思う	26名
3. どちらともいえない	5名
2. あまりそう思わない	4名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	0名

合計 74名

評価ポイント平均値 4.30

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	15名
4. やや思う	33名
3. どちらともいえない	17名
2. あまりそう思わない	7名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	0名

合計 74名

評価ポイント平均値 3.70

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	22名
4. やや思う	39名
3. どちらともいえない	12名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 74名

評価ポイント平均値 4.11

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	23名
4. やや思う	31名
3. どちらともいえない	20名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 74名

評価ポイント平均値 4.04

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	14名
4. やや思う	41名
3. どちらともいえない	13名
2. あまりそう思わない	5名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	1名

合計 74名

評価ポイント平均値 3.88

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	22名
4. やや思う	35名
3. どちらともいえない	14名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	2名

合計 74名

評価ポイント平均値 4.08

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	35名
4. やや思う	29名
3. どちらともいえない	8名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 74名

評価ポイント平均値 4.31

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	32名
4. やや思う	26名
3. どちらともいえない	13名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	0名

合計 74名

評価ポイント平均値 4.16

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	42名
4. やや思う	25名
3. どちらともいえない	6名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 74名

評価ポイント平均値 4.46

教育改革のための学生アンケート

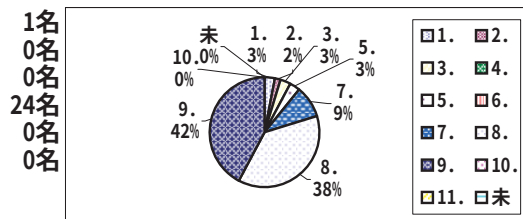
分野	科目群
非英外国語	スペイン語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	74	64	86.5%

I. あなた自身についてお答え下さい。

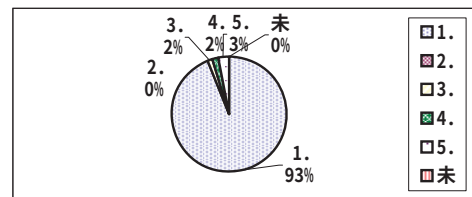
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	2名	2. 教育学部 生涯教育)	1名
3. 行政社会学部 昼間)	2名	4. 行政社会学部 夜間)	0名
5. 経済学部 昼間)	2名	6. 経済学部 夜間)	0名
7. 人間発達文化学類	6名	8. 行政政策学類	24名
9. 経済経営学類	27名	10. 共生システム理工学類	0名
11. 現代教養コース	0名	未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

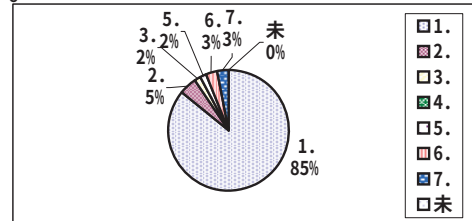
1. 1年	60名
2. 2年	0名
3. 3年	1名
4. 4年	1名
5. 5年以上	2名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

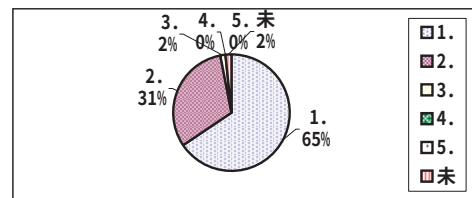
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があつたから	55名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	3名
3. 単位がとり易そうだったから	1名
4. 受講し易い時間帯にあったから	0名
5. 友人や先輩に勧められたから	1名
6. クラス指定または必修だったから	2名
7. その他	2名
未 未記入	0名



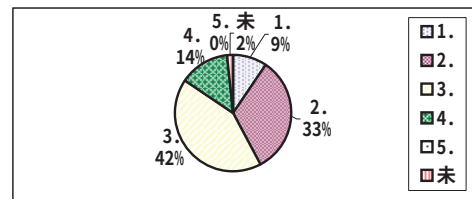
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	42名
2. 89%～70%	20名
3. 69%～50%	1名
4. 49%～30%	0名
5. 29%以下	0名
未 未記入	1名



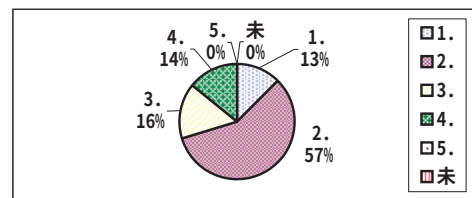
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	6名
2. よく勉強した	21名
3. 多少はした	27名
4. ほとんどしなかった	9名
5. まったくしなかった	0名
未 未記入	1名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	8名
2. ある程度意欲的	37名
3. どちらともいえない	10名
4. あまり意欲的でない	9名
5. まったく意欲的でない	0名
未 未記入	0名



平成18年7月実施

分野	科目群
非英外国語	スペイン語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	74	64	86.5%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	23名
4. やや思う	33名
3. どちらともいえない	7名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 64名

評価ポイント平均値 4.22

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	15名
4. やや思う	31名
3. どちらともいえない	15名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	0名

合計 64名

評価ポイント平均値 3.89

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	30名
4. やや思う	26名
3. どちらともいえない	7名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 64名

評価ポイント平均値 4.33

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. 強く思う	17名
4. やや思う	30名
3. どちらともいえない	16名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 64名

評価ポイント平均値 3.98

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	17名
4. やや思う	24名
3. どちらともいえない	18名
2. あまりそう思わない	5名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 64名

評価ポイント平均値 3.83

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	20名
4. やや思う	25名
3. どちらともいえない	17名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	0名

合計 64名

評価ポイント平均値 3.97

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	23名
4. やや思う	23名
3. どちらともいえない	18名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 64名

評価ポイント平均値 4.08

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	9名
4. やや思う	34名
3. どちらともいえない	12名
2. あまりそう思わない	9名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 64名

評価ポイント平均値 3.67

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	17名
4. やや思う	28名
3. どちらともいえない	15名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	2名

合計 64名

評価ポイント平均値 3.97

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	32名
4. やや思う	26名
3. どちらともいえない	4名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	2名

合計 64名

評価ポイント平均値 4.45

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	28名
4. やや思う	25名
3. どちらともいえない	8名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	2名

合計 64名

評価ポイント平均値 4.27

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	38名
4. やや思う	21名
3. どちらともいえない	2名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	2名

合計 64名

評価ポイント平均値 4.55

教育改革のための学生アンケート

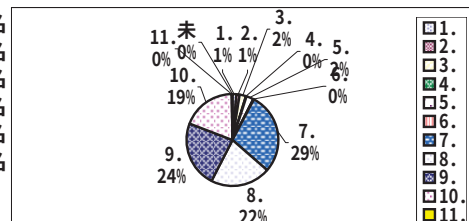
分野
共通教育合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	12962	9726	75.0%

I. あなた自身についてお答え下さい。

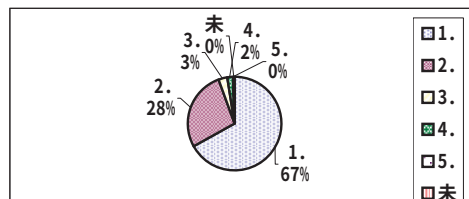
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	141名	2. 教育学部 生涯教育)	114名
3. 行政社会学部 昼間)	204名	4. 行政社会学部 夜間)	29名
5. 経済学部 昼間)	236名	6. 経済学部 夜間)	34名
7. 人間発達文化学類	2771名	8. 行政政策学類	2061名
9. 経済経営学類	2280名	10. 共生システム理工学類	1821名
11. 現代教養コース	23名	未 未記入	12名



(2) 学年 (入学してからの年数)

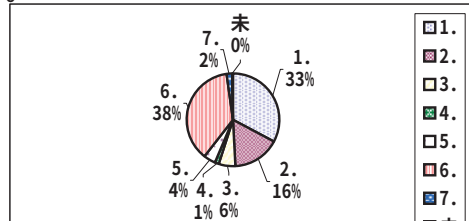
1. 1年	6506名
2. 2年	2689名
3. 3年	293名
4. 4年	175名
5. 5年以上	46名
未 未記入	17名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

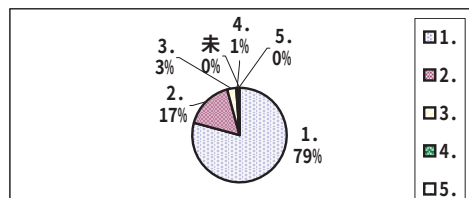
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	3190名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1604名
3. 単位がとり易そうだったから	557名
4. 受講し易い時間帯にあったから	121名
5. 友人や先輩に勧められたから	427名
6. クラス指定または必修だったから	3598名
7. その他	212名
未 未記入	17名



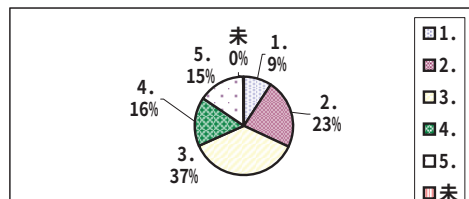
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	7702名
2. 89%~70%	1621名
3. 69%~50%	294名
4. 49%~30%	63名
5. 29%以下	33名
未 未記入	13名



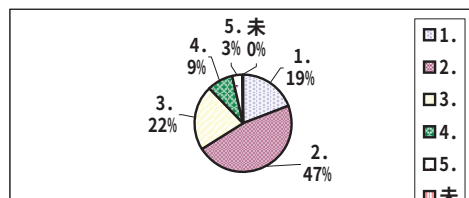
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	885名
2. よく勉強した	2228名
3. 多少はした	3520名
4. ほとんどしなかった	1593名
5. まったくしなかった	1476名
未 未記入	24名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	1872名
2. ある程度意欲的	4558名
3. どちらともいえない	2100名
4. あまり意欲的でない	856名
5. まったく意欲的でない	319名
未 未記入	21名



平成18年7月実施

分野
共通教育合計

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	12962	9726	75.0%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	4426名
4. やや思う	3369名
3. どちらともいえない	1457名
2. あまりそう思わない	326名
1. まったくそう思わない	131名
未 未記入	17名
合計	9726名
評価ポイント平均値	4.20

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	3680名
4. やや思う	3394名
3. どちらともいえない	1870名
2. あまりそう思わない	544名
1. まったくそう思わない	222名
未 未記入	16名
合計	9726名
評価ポイント平均値	4.01

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	4293名
4. やや思う	3465名
3. どちらともいえない	1560名
2. あまりそう思わない	288名
1. まったくそう思わない	103名
未 未記入	17名
合計	9726名
評価ポイント平均値	4.19

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. 強く思う	3692名
4. やや思う	2978名
3. どちらともいえない	2001名
2. あまりそう思わない	720名
1. まったくそう思わない	317名
未 未記入	18名
合計	9726名
評価ポイント平均値	3.93

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	2448名
4. やや思う	2718名
3. どちらともいえない	2415名
2. あまりそう思わない	754名
1. まったくそう思わない	258名
未 未記入	1133名
合計	9726名
評価ポイント平均値	3.74

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	3148名
4. やや思う	3108名
3. どちらともいえない	2427名
2. あまりそう思わない	475名
1. まったくそう思わない	196名
未 未記入	372名
合計	9726名
評価ポイント平均値	3.91

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	3629名
4. やや思う	3361名
3. どちらともいえない	2242名
2. あまりそう思わない	280名
1. まったくそう思わない	136名
未 未記入	78名
合計	9726名
評価ポイント平均値	4.04

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	2753名
4. やや思う	3744名
3. どちらともいえない	2278名
2. あまりそう思わない	656名
1. まったくそう思わない	264名
未 未記入	31名
合計	9726名
評価ポイント平均値	3.83

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	3353名
4. やや思う	3763名
3. どちらともいえない	1725名
2. あまりそう思わない	478名
1. まったくそう思わない	179名
未 未記入	228名
合計	9726名
評価ポイント平均値	4.01

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	4068名
4. やや思う	3288名
3. どちらともいえない	1671名
2. あまりそう思わない	447名
1. まったくそう思わない	144名
未 未記入	108名
合計	9726名
評価ポイント平均値	4.11

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	4417名
4. やや思う	3058名
3. どちらともいえない	1535名
2. あまりそう思わない	426名
1. まったくそう思わない	182名
未 未記入	108名
合計	9726名
評価ポイント平均値	4.15

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	4300名
4. やや思う	3181名
3. どちらともいえない	1582名
2. あまりそう思わない	417名
1. まったくそう思わない	133名
未 未記入	113名
合計	9726名
評価ポイント平均値	4.15

教育改善のための学生アンケート

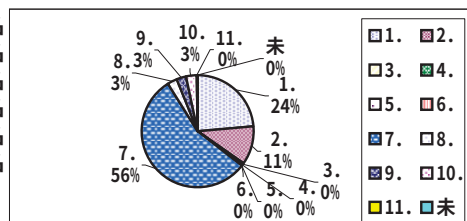
学類
人間発達文化学類 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	8211	6197	75.5%

I. あなた自身についてお答え下さい。

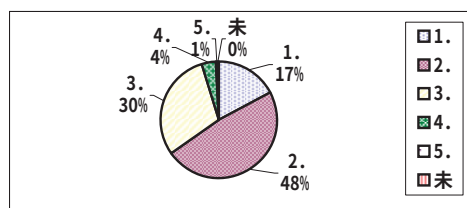
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	1466名	2. 教育学部 生涯教育)	693名
3. 行政社会学部 昼間)	27名	4. 行政社会学部 夜間)	12名
5. 経済学部 昼間)	11名	6. 経済学部 夜間)	2名
7. 人間発達文化学類	3437名	8. 行政政策学類	174名
9. 経済経営学類	160名	10. 共生システム理工学類	196名
11. 現代教養コース	9名	未 未記入	10名



(2) 学年 (入学してからの年数)

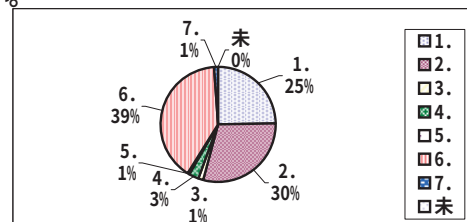
1. 1年	1066名
2. 2年	2980名
3. 3年	1858名
4. 4年	233名
5. 5年以上	45名
未 未記入	15名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

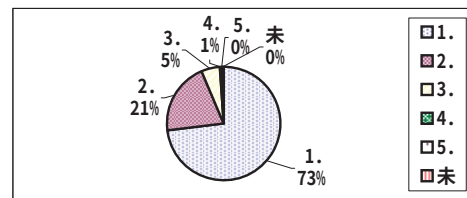
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	1527名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1837名
3. 単位がとり易そうだったから	77名
4. 受講し易い時間帯にあったから	179名
5. 友人や先輩に勧められたから	32名
6. クラス指定または必修だったから	2481名
7. その他	57名
未 未記入	7名



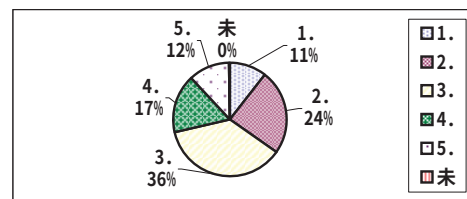
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	4526名
2. 89%～70%	1275名
3. 69%～50%	324名
4. 49%～30%	42名
5. 29%以下	20名
未 未記入	10名



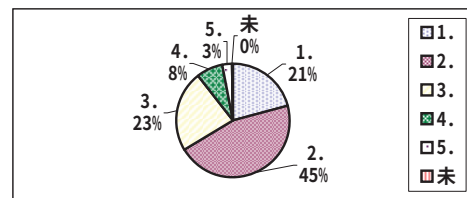
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	655名
2. よく勉強した	1503名
3. 多少はした	2266名
4. ほとんどしなかった	1037名
5. まったくしなかった	722名
未 未記入	14名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	1299名
2. ある程度意欲的	2819名
3. どちらともいえない	1416名
4. あまり意欲的でない	477名
5. まったく意欲的でない	162名
未 未記入	23名



平成18年7月実施

学類
人間発達文化学類 合計

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	8211	6197	75.5%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	2990名
4. やや思う	2232名
3. どちらともいえない	755名
2. あまりそう思わない	148名
1. まったくそう思わない	65名
未 未記入	7名
合計	6197名
評価ポイント平均値	4.28

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	2429名
4. やや思う	2119名
3. どちらともいえない	1199名
2. あまりそう思わない	292名
1. まったくそう思わない	151名
未 未記入	7名
合計	6197名
評価ポイント平均値	4.03

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	3027名
4. やや思う	1974名
3. どちらともいえない	940名
2. あまりそう思わない	177名
1. まったくそう思わない	73名
未 未記入	6名
合計	6197名
評価ポイント平均値	4.24

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強く思う	2478名
4. やや思う	1924名
3. どちらともいえない	1246名
2. あまりそう思わない	384名
1. まったくそう思わない	156名
未 未記入	9名
合計	6197名
評価ポイント平均値	4.00

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	1923名
4. やや思う	1721名
3. どちらともいえない	1340名
2. あまりそう思わない	470名
1. まったくそう思わない	206名
未 未記入	537名
合計	6197名
評価ポイント平均値	3.83

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	2244名
4. やや思う	2074名
3. どちらともいえない	1343名
2. あまりそう思わない	249名
1. まったくそう思わない	116名
未 未記入	171名
合計	6197名
評価ポイント平均値	4.01

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	2567名
4. やや思う	2037名
3. どちらともいえない	1308名
2. あまりそう思わない	165名
1. まったくそう思わない	66名
未 未記入	54名
合計	6197名
評価ポイント平均値	4.12

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	1880名
4. やや思う	2322名
3. どちらともいえない	1481名
2. あまりそう思わない	349名
1. まったくそう思わない	151名
未 未記入	14名
合計	6197名
評価ポイント平均値	3.88

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	2193名
4. やや思う	2342名
3. どちらともいえない	1130名
2. あまりそう思わない	272名
1. まったくそう思わない	125名
未 未記入	135名
合計	6197名
評価ポイント平均値	4.02

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	2789名
4. やや思う	1938名
3. どちらともいえない	1035名
2. あまりそう思わない	251名
1. まったくそう思わない	85名
未 未記入	99名
合計	6197名
評価ポイント平均値	4.16

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	2838名
4. やや思う	1818名
3. どちらともいえない	977名
2. あまりそう思わない	333名
1. まったくそう思わない	133名
未 未記入	98名
合計	6197名
評価ポイント平均値	4.13

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	2861名
4. やや思う	1803名
3. どちらともいえない	1053名
2. あまりそう思わない	285名
1. まったくそう思わない	96名
未 未記入	99名
合計	6197名
評価ポイント平均値	4.16

教育改善のための学生アンケート

学類
行政政策学類 合計

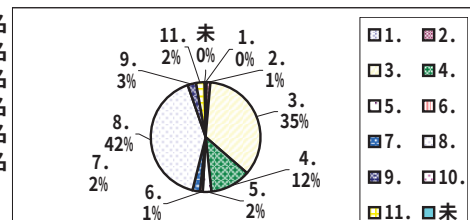
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	5843	3095	53.0%

I. あなた自身についてお答え下さい。

(1) 学部

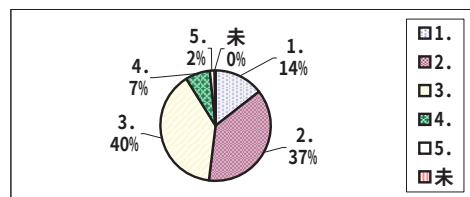
1. 教育学部 学校教育	8名
3. 行政社会学部 昼間	1090名
5. 経済学部 昼間	75名
7. 人間発達文化学類	68名
9. 経済経営学類	80名
11. 現代教養コース	75名

2. 教育学部 生涯教育)	32名
4. 行政社会学部 夜間)	365名
6. 経済学部 夜間)	33名
8. 行政政策学類	1262名
10. 共生システム理工学類	0名
未 未記入	7名



(2) 学年 (入学してからの年数)

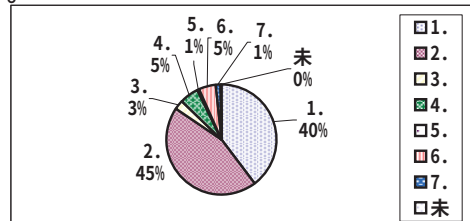
1. 1年	447名
2. 2年	1157名
3. 3年	1213名
4. 4年	225名
5. 5年以上	47名
未 未記入	6名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

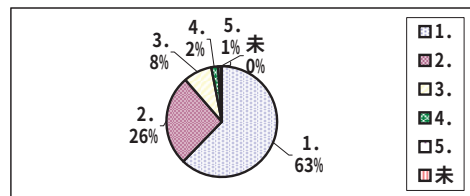
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	1232名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1384名
3. 単位がとり易そうだったから	84名
4. 受講し易い時間帯にあったから	170名
5. 友人や先輩に勧められたから	22名
6. クラス指定または必修だったから	152名
7. その他	43名
未 未記入	8名



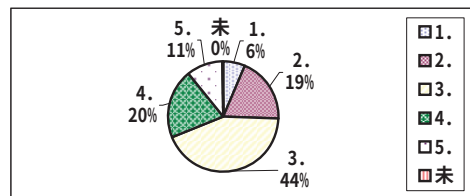
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1927名
2. 89%～70%	812名
3. 69%～50%	261名
4. 49%～30%	60名
5. 29%以下	30名
未 未記入	5名



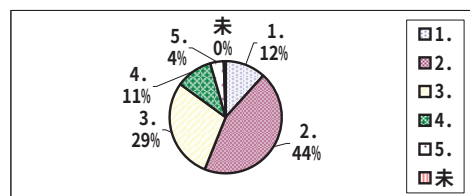
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	194名
2. よく勉強した	595名
3. 多少はした	1340名
4. ほとんどしなかった	634名
5. まったくしなかった	325名
未 未記入	7名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	358名
2. ある程度意欲的	1378名
3. どちらともいえない	894名
4. あまり意欲的でない	325名
5. まったく意欲的でない	127名
未 未記入	13名



平成18年7月実施

学類
行政政策学類 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	5843	3095	53.0%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	1384名
4. やや思う	1105名
3. どちらともいえない	467名
2. あまりそう思わない	99名
1. まったくそう思わない	35名
未 未記入	5名
合計	3095名

評価ポイント平均値 4.20

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	1101名
4. やや思う	1102名
3. どちらともいえない	632名
2. あまりそう思わない	176名
1. まったくそう思わない	79名
未 未記入	5名
合計	3095名

評価ポイント平均値 3.96

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	1340名
4. やや思う	1096名
3. どちらともいえない	526名
2. あまりそう思わない	98名
1. まったくそう思わない	29名
未 未記入	6名
合計	3095名

評価ポイント平均値 4.17

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強く思う	1009名
4. やや思う	1001名
3. どちらともいえない	677名
2. あまりそう思わない	275名
1. まったくそう思わない	128名
未 未記入	5名
合計	3095名

評価ポイント平均値 3.81

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	727名
4. やや思う	847名
3. どちらともいえない	825名
2. あまりそう思わない	429名
1. まったくそう思わない	151名
未 未記入	116名
合計	3095名

評価ポイント平均値 3.53

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	920名
4. やや思う	1062名
3. どちらともいえない	785名
2. あまりそう思わない	210名
1. まったくそう思わない	84名
未 未記入	34名
合計	3095名

評価ポイント平均値 3.82

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	1027名
4. やや思う	1059名
3. どちらともいえない	811名
2. あまりそう思わない	135名
1. まったくそう思わない	40名
未 未記入	23名
合計	3095名

評価ポイント平均値 3.94

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	568名
4. やや思う	1065名
3. どちらともいえない	958名
2. あまりそう思わない	343名
1. まったくそう思わない	154名
未 未記入	7名
合計	3095名

評価ポイント平均値 3.50

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	771名
4. やや思う	1292名
3. どちらともいえない	708名
2. あまりそう思わない	181名
1. まったくそう思わない	74名
未 未記入	69名
合計	3095名

評価ポイント平均値 3.83

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	1226名
4. やや思う	1104名
3. どちらともいえない	559名
2. あまりそう思わない	117名
1. まったくそう思わない	24名
未 未記入	65名
合計	3095名

評価ポイント平均値 4.12

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	1324名
4. やや思う	1032名
3. どちらともいえない	512名
2. あまりそう思わない	125名
1. まったくそう思わない	37名
未 未記入	65名
合計	3095名

評価ポイント平均値 4.15

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	1216名
4. やや思う	1042名
3. どちらともいえない	594名
2. あまりそう思わない	144名
1. まったくそう思わない	34名
未 未記入	65名
合計	3095名

評価ポイント平均値 4.08

平成18年7月実施

教育改善のための学生アンケート

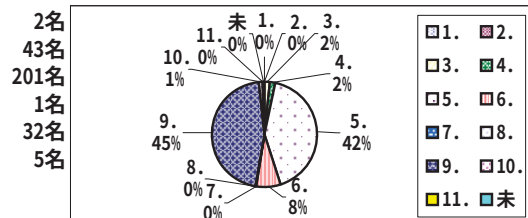
学類
経済経営学類 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	4808	2618	54.5%

I. あなた自身についてお答え下さい。

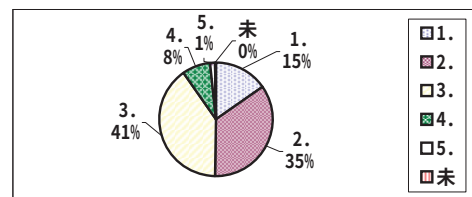
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	0名	2. 教育学部 生涯教育)	2名
3. 行政社会学部 昼間)	41名	4. 行政社会学部 夜間)	43名
5. 経済学部 昼間)	1090名	6. 経済学部 夜間)	201名
7. 人間発達文化学類	2名	8. 行政政策学類	1名
9. 経済経営学類	1191名	10. 共生システム理工学類	32名
11. 現代教養コース	10名	未 未記入	5名



(2) 学年 (入学してからの年数)

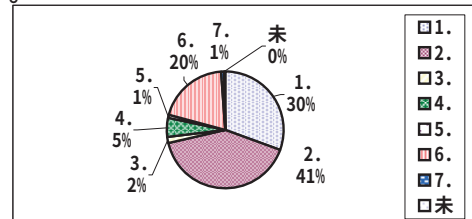
1. 1年	401名
2. 2年	914名
3. 3年	1052名
4. 4年	208名
5. 5年以上	36名
未 未記入	7名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

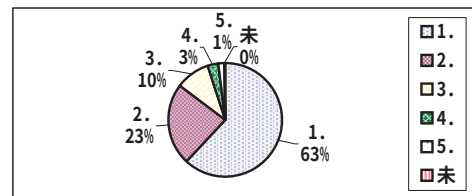
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	797名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1070名
3. 単位がとり易そうだったから	44名
4. 受講し易い時間帯にあったから	143名
5. 友人や先輩に勧められたから	16名
6. クラス指定または必修だったから	518名
7. その他	20名
未 未記入	10名



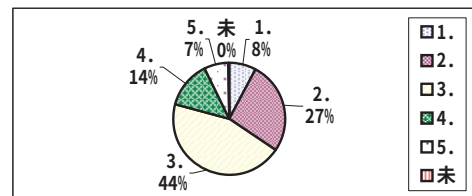
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1621名
2. 89%～70%	609名
3. 69%～50%	257名
4. 49%～30%	83名
5. 29%以下	39名
未 未記入	9名



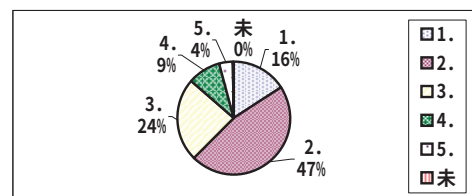
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	205名
2. よく勉強した	695名
3. 多少はした	1170名
4. ほとんどしなかった	362名
5. まったくしなかった	177名
未 未記入	9名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	411名
2. ある程度意欲的	1226名
3. どちらともいえない	626名
4. あまり意欲的でない	245名
5. まったく意欲的でない	100名
未 未記入	10名



平成18年7月実施

学類
経済経営学類 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	4808	2618	54.5%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	1216名
4. ややそう思う	891名
3. どちらともいえない	391名
2. あまりそう思わない	80名
1. まったくそう思わない	32名
未 未記入	8名
合計	2618名
評価ポイント平均値	4.22

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	940名
4. ややそう思う	909名
3. どちらともいえない	559名
2. あまりそう思わない	160名
1. まったくそう思わない	43名
未 未記入	7名
合計	2618名
評価ポイント平均値	3.97

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	1276名
4. ややそう思う	838名
3. どちらともいえない	387名
2. あまりそう思わない	89名
1. まったくそう思わない	20名
未 未記入	8名
合計	2618名
評価ポイント平均値	4.25

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	1006名
4. ややそう思う	778名
3. どちらともいえない	529名
2. あまりそう思わない	215名
1. まったくそう思わない	83名
未 未記入	7名
合計	2618名
評価ポイント平均値	3.92

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	771名
4. ややそう思う	732名
3. どちらともいえない	624名
2. あまりそう思わない	288名
1. まったくそう思わない	125名
未 未記入	78名
合計	2618名
評価ポイント平均値	3.68

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	840名
4. ややそう思う	857名
3. どちらともいえない	657名
2. あまりそう思わない	185名
1. まったくそう思わない	49名
未 未記入	30名
合計	2618名
評価ポイント平均値	3.87

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	984名
4. ややそう思う	880名
3. どちらともいえない	647名
2. あまりそう思わない	60名
1. まったくそう思わない	24名
未 未記入	23名
合計	2618名
評価ポイント平均値	4.06

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	553名
4. ややそう思う	952名
3. どちらともいえない	732名
2. あまりそう思わない	274名
1. まったくそう思わない	98名
未 未記入	9名
合計	2618名
評価ポイント平均値	3.61

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	749名
4. ややそう思う	1010名
3. どちらともいえない	544名
2. あまりそう思わない	180名
1. まったくそう思わない	48名
未 未記入	87名
合計	2618名
評価ポイント平均値	3.88

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	1033名
4. ややそう思う	808名
3. どちらともいえない	524名
2. あまりそう思わない	154名
1. まったくそう思わない	41名
未 未記入	58名
合計	2618名
評価ポイント平均値	4.03

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	936名
4. ややそう思う	730名
3. どちらともいえない	506名
2. あまりそう思わない	247名
1. まったくそう思わない	140名
未 未記入	59名
合計	2618名
評価ポイント平均値	3.81

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	910名
4. ややそう思う	735名
3. どちらともいえない	565名
2. あまりそう思わない	236名
1. まったくそう思わない	111名
未 未記入	61名
合計	2618名
評価ポイント平均値	3.82

教育改善のための学生アンケート

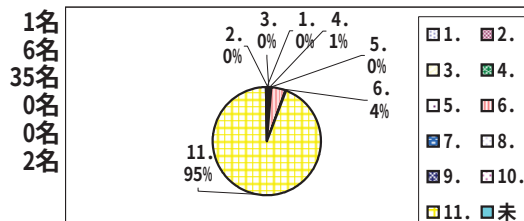
学類
現代教養コース 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1097	820	74.7%

I. あなた自身についてお答え下さい。

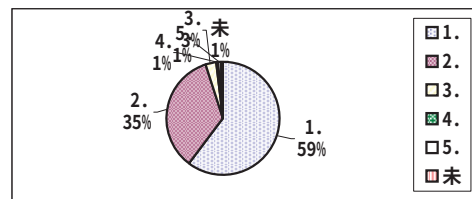
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育)	3名	2. 教育学部 生涯教育)	1名
3. 行政社会学部 昼間)	0名	4. 行政社会学部 夜間)	6名
5. 経済学部 昼間)	1名	6. 経済学部 夜間)	35名
7. 人間発達文化学類	0名	8. 行政政策学類	0名
9. 経済経営学類	1名	10. 共生システム理工学類	0名
11. 現代教養コース	771名	未 未記入	2名



(2) 学年 入学してからの年数)

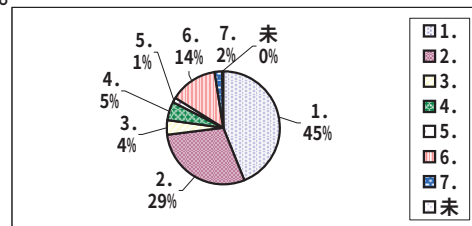
1. 1年	495名
2. 2年	284名
3. 3年	24名
4. 4年	5名
5. 5年以上	7名
未 未記入	5名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

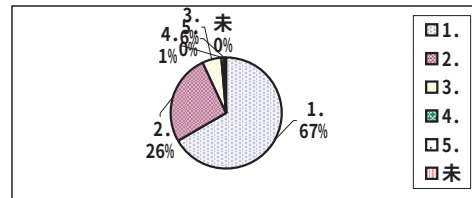
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	360名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	239名
3. 単位がとり易そうだったから	35名
4. 受講し易い時間帯にあったから	42名
5. 友人や先輩に勧められたから	11名
6. クラス指定または必修だったから	113名
7. その他	17名
未 未記入	3名



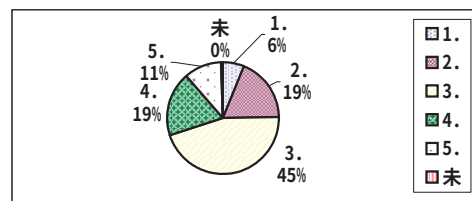
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	547名
2. 89%~70%	215名
3. 69%~50%	47名
4. 49%~30%	7名
5. 29%以下	1名
未 未記入	3名



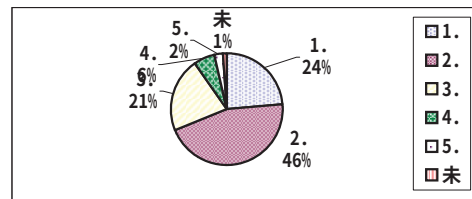
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	51名
2. よく勉強した	152名
3. 多少はした	371名
4. ほとんどしなかった	153名
5. まったくしなかった	89名
未 未記入	4名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	193名
2. ある程度意欲的	372名
3. どちらともいえない	176名
4. あまり意欲的でない	50名
5. まったく意欲的でない	20名
未 未記入	9名



平成18年7月実施

学類
現代教養コース 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1097	820	74.7%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	407名
4. やや思う	263名
3. どちらともいえない	110名
2. あまりそう思わない	19名
1. まったくそう思わない	17名
未 未記入	4名
合計	820名
評価ポイント平均値	4.25

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	326名
4. やや思う	279名
3. どちらともいえない	142名
2. あまりそう思わない	38名
1. まったくそう思わない	31名
未 未記入	4名
合計	820名
評価ポイント平均値	4.02

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	401名
4. やや思う	254名
3. どちらともいえない	116名
2. あまりそう思わない	23名
1. まったくそう思わない	21名
未 未記入	5名
合計	820名
評価ポイント平均値	4.22

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強く思う	366名
4. やや思う	201名
3. どちらともいえない	152名
2. あまりそう思わない	51名
1. まったくそう思わない	46名
未 未記入	4名
合計	820名
評価ポイント平均値	3.97

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	224名
4. やや思う	205名
3. どちらともいえない	183名
2. あまりそう思わない	75名
1. まったくそう思わない	47名
未 未記入	86名
合計	820名
評価ポイント平均値	3.66

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	265名
4. やや思う	270名
3. どちらともいえない	188名
2. あまりそう思わない	41名
1. まったくそう思わない	29名
未 未記入	27名
合計	820名
評価ポイント平均値	3.88

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	319名
4. やや思う	283名
3. どちらともいえない	164名
2. あまりそう思わない	25名
1. まったくそう思わない	20名
未 未記入	9名
合計	820名
評価ポイント平均値	4.06

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	216名
4. やや思う	277名
3. どちらともいえない	199名
2. あまりそう思わない	65名
1. まったくそう思わない	58名
未 未記入	5名
合計	820名
評価ポイント平均値	3.65

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	267名
4. やや思う	302名
3. どちらともいえない	156名
2. あまりそう思わない	44名
1. まったくそう思わない	31名
未 未記入	20名
合計	820名
評価ポイント平均値	3.91

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	358名
4. やや思う	280名
3. どちらともいえない	124名
2. あまりそう思わない	28名
1. まったくそう思わない	14名
未 未記入	16名
合計	820名
評価ポイント平均値	4.17

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	378名
4. やや思う	259名
3. どちらともいえない	113名
2. あまりそう思わない	33名
1. まったくそう思わない	21名
未 未記入	16名
合計	820名
評価ポイント平均値	4.17

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	366名
4. やや思う	272名
3. どちらともいえない	123名
2. あまりそう思わない	18名
1. まったくそう思わない	22名
未 未記入	19名
合計	820名
評価ポイント平均値	4.18

教育改善のための学生アンケート

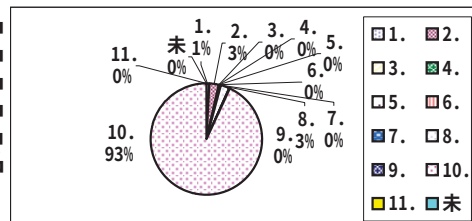
学類
共生システム理工学類合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3237	2229	68.9%

I. あなた自身についてお答え下さい。

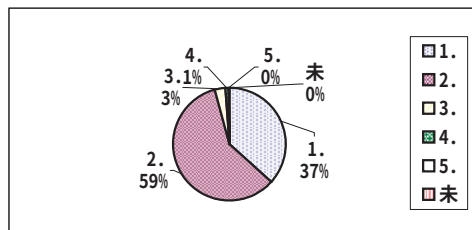
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育)	21名	2. 教育学部 生涯教育)	58名
3. 行政社会学部 昼間)	3名	4. 行政社会学部 夜間)	1名
5. 経済学部 昼間)	0名	6. 経済学部 夜間)	0名
7. 人間発達文化学類	7名	8. 行政政策学類	60名
9. 経済経営学類	4名	10. 共生システム理工学類	2074名
11. 現代教養コース	0名	未 未記入	1名



(2) 学年 (入学してからの年数)

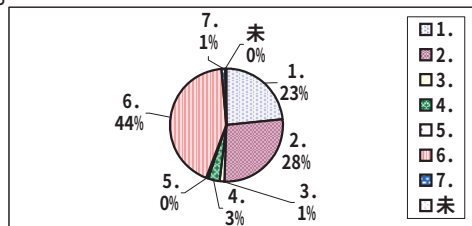
1. 1年	816名
2. 2年	1319名
3. 3年	68名
4. 4年	17名
5. 5年以上	5名
未 未記入	4名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

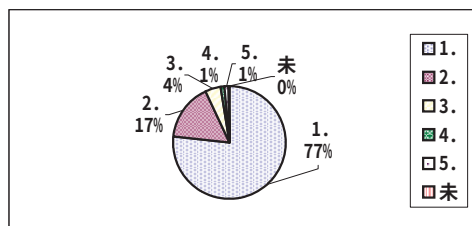
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面に関心があったから	519名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	605名
3. 単位がとり易そうだったから	32名
4. 受講し易い時間帯にあったから	75名
5. 友人や先輩に勧められたから	11名
6. クラス指定または必修だったから	953名
7. その他	25名
未 未記入	9名



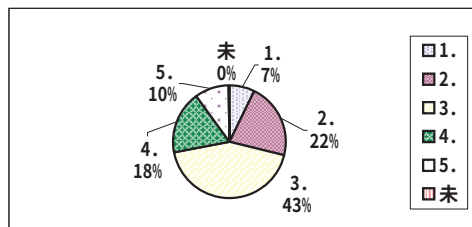
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1707名
2. 89%~70%	368名
3. 69%~50%	97名
4. 49%~30%	27名
5. 29%以下	25名
未 未記入	5名



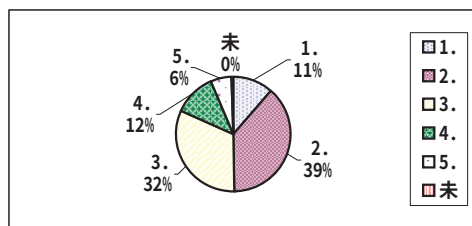
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	163名
2. よく勉強した	480名
3. 多少はした	963名
4. ほとんどしなかった	400名
5. まったくしなかった	219名
未 未記入	4名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	252名
2. ある程度意欲的	856名
3. どちらともいえない	711名
4. あまり意欲的でない	269名
5. まったく意欲的でない	130名
未 未記入	11名



平成18年7月実施

学類
共生システム理工学類合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3237	2229	68.9%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	779名
4. ややそう思う	780名
3. どちらともいえない	473名
2. あまりそう思わない	124名
1. まったくそう思わない	71名
未 未記入	2名

合計 2229名

評価ポイント平均値 3.93

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	567名
4. ややそう思う	736名
3. どちらともいえない	564名
2. あまりそう思わない	210名
1. まったくそう思わない	151名
未 未記入	1名

合計 2229名

評価ポイント平均値 3.61

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	750名
4. ややそう思う	747名
3. どちらともいえない	491名
2. あまりそう思わない	145名
1. まったくそう思わない	93名
未 未記入	3名

合計 2229名

評価ポイント平均値 3.86

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. 強くそう思う	571名
4. ややそう思う	647名
3. どちらともいえない	532名
2. あまりそう思わない	271名
1. まったくそう思わない	207名
未 未記入	1名

合計 2229名

評価ポイント平均値 3.50

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	430名
4. ややそう思う	567名
3. どちらともいえない	576名
2. あまりそう思わない	349名
1. まったくそう思わない	232名
未 未記入	75名

合計 2229名

評価ポイント平均値 3.29

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	454名
4. ややそう思う	640名
3. どちらともいえない	684名
2. あまりそう思わない	258名
1. まったくそう思わない	147名
未 未記入	46名

合計 2229名

評価ポイント平均値 3.46

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	617名
4. ややそう思う	652名
3. どちらともいえない	755名
2. あまりそう思わない	114名
1. まったくそう思わない	75名
未 未記入	16名

合計 2229名

評価ポイント平均値 3.73

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	261名
4. ややそう思う	638名
3. どちらともいえない	738名
2. あまりそう思わない	331名
1. まったくそう思わない	257名
未 未記入	4名

合計 2229名

評価ポイント平均値 3.14

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	400名
4. ややそう思う	802名
3. どちらともいえない	610名
2. あまりそう思わない	245名
1. まったくそう思わない	121名
未 未記入	51名

合計 2229名

評価ポイント平均値 3.51

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	737名
4. ややそう思う	733名
3. どちらともいえない	507名
2. あまりそう思わない	166名
1. まったくそう思わない	54名
未 未記入	32名

合計 2229名

評価ポイント平均値 3.88

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	903名
4. ややそう思う	696名
3. どちらともいえない	436名
2. あまりそう思わない	107名
1. まったくそう思わない	54名
未 未記入	33名

合計 2229名

評価ポイント平均値 4.04

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	829名
4. ややそう思う	724名
3. どちらともいえない	506名
2. あまりそう思わない	89名
1. まったくそう思わない	48名
未 未記入	33名

合計 2229名

評価ポイント平均値 4.00

教育改善のための学生アンケート

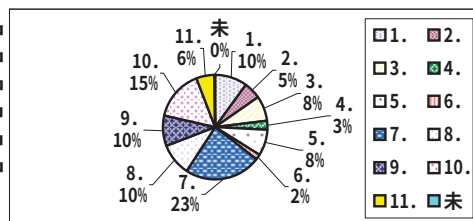
学類
専門教育科目合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	23196	14959	64.5%

I. あなた自身についてお答え下さい。

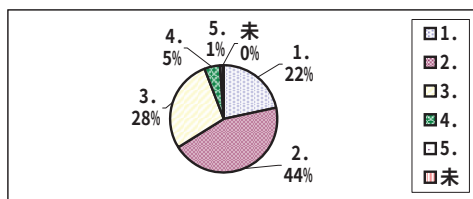
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	1498名	2. 教育学部 生涯教育)	786名
3. 行政社会学部 昼間)	1161名	4. 行政社会学部 夜間)	427名
5. 経済学部 昼間)	1177名	6. 経済学部 夜間)	271名
7. 人間発達文化学類	3514名	8. 行政政策学類	1497名
9. 経済経営学類	1436名	10. 共生システム理工学類	2302名
11. 現代教養コース	865名	未 未記入	25名



(2) 学年 (入学してからの年数)

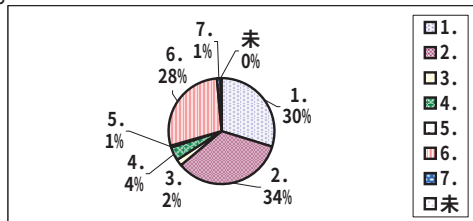
1. 1年	3225名
2. 2年	6654名
3. 3年	4215名
4. 4年	688名
5. 5年以上	140名
未 未記入	37名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

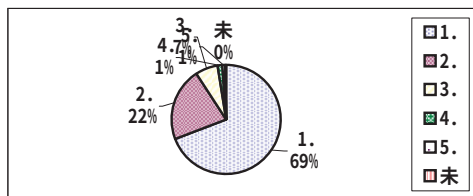
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉強面に関心があったから	4435名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	5135名
3. 単位がとり易そうだったから	272名
4. 受講し易い時間帯にあったから	609名
5. 友人や先輩に勧められたから	92名
6. クラス指定または必修だったから	4217名
7. その他	162名
未 未記入	37名



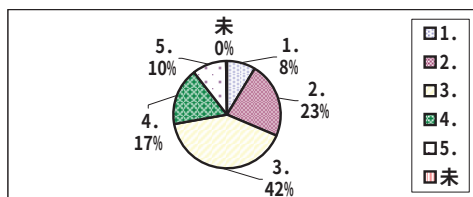
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	10328名
2. 89%～70%	3279名
3. 69%～50%	986名
4. 49%～30%	219名
5. 29%以下	115名
未 未記入	32名



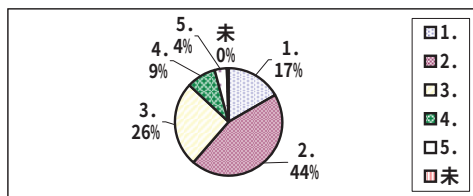
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	1268名
2. よく勉強した	3425名
3. 多少はした	6110名
4. ほとんどしなかった	2586名
5. まったくしなかった	1532名
未 未記入	38名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	2513名
2. ある程度意欲的	6651名
3. どちらともいえない	3823名
4. あまり意欲的でない	1366名
5. まったく意欲的でない	539名
未 未記入	66名



平成18年7月実施

学類
専門教育科目合計

科目名	アンケートコード	担当教員	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	23196	14959	64.5%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	6776名
4. ややそう思う	5271名
3. どちらともいえない	2196名
2. あまりそう思わない	470名
1. まったくそう思わない	220名
未 未記入	26名
合計	14959名
評価ポイント平均値	4.20

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	5363名
4. ややそう思う	5145名
3. どちらともいえない	3096名
2. あまりそう思わない	876名
1. まったくそう思わない	455名
未 未記入	24名
合計	14959名
評価ポイント平均値	3.94

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	6794名
4. ややそう思う	4909名
3. どちらともいえない	2460名
2. あまりそう思わない	532名
1. まったくそう思わない	236名
未 未記入	28名
合計	14959名
評価ポイント平均値	4.17

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	5266名
4. ややそう思う	4356名
3. どちらともいえない	3001名
2. あまりそう思わない	1173名
1. まったくそう思わない	615名
未 未記入	26名
合計	14437名
評価ポイント平均値	3.87

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	4075名
4. ややそう思う	4072名
3. どちらともいえない	3548名
2. あまりそう思わない	1611名
1. まったくそう思わない	761名
未 未記入	892名
合計	14959名
評価ポイント平均値	3.65

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	4723名
4. ややそう思う	4903名
3. どちらともいえない	3657名
2. あまりそう思わない	943名
1. まったくそう思わない	425名
未 未記入	308名
合計	14959名
評価ポイント平均値	3.86

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	5514名
4. ややそう思う	4911名
3. どちらともいえない	3685名
2. あまりそう思わない	499名
1. まったくそう思わない	225名
未 未記入	125名
合計	14959名
評価ポイント平均値	4.01

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	3478名
4. ややそう思う	5254名
3. どちらともいえない	4108名
2. あまりそう思わない	1362名
1. まったくそう思わない	718名
未 未記入	39名
合計	14959名
評価ポイント平均値	3.63

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	4379名
4. ややそう思う	5749名
3. どちらともいえない	3148名
2. あまりそう思わない	922名
1. まったくそう思わない	399名
未 未記入	362名
合計	14959名
評価ポイント平均値	3.88

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	6143名
4. ややそう思う	4863名
3. どちらともいえない	2749名
2. あまりそう思わない	716名
1. まったくそう思わない	218名
未 未記入	270名
合計	14959名
評価ポイント平均値	4.09

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	6379名
4. ややそう思う	4535名
3. どちらともいえない	2544名
2. あまりそう思わない	845名
1. まったくそう思わない	385名
未 未記入	271名
合計	14959名
評価ポイント平均値	4.07

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	6182名
4. ややそう思う	4576名
3. どちらともいえない	2841名
2. あまりそう思わない	772名
1. まったくそう思わない	311名
未 未記入	277名
合計	14959名
評価ポイント平均値	4.06

教育改善のための学生アンケート

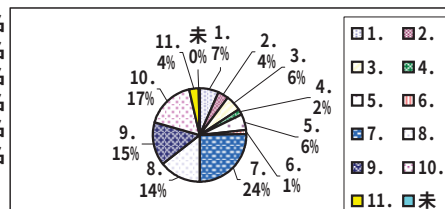
分野
総合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	36158	24685	68.3%

I. あなた自身についてお答え下さい。

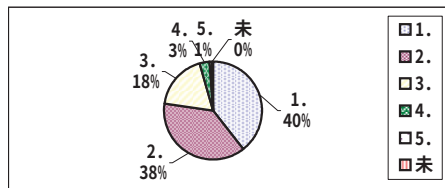
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育	1639名	2. 教育学部 生涯教育	900名
3. 行政社会学部 昼間	1365名	4. 行政社会学部 夜間	456名
5. 経済学部 昼間	1413名	6. 経済学部 夜間	305名
7. 人間発達文化学類	6285名	8. 行政政策学類	3558名
9. 経済経営学類	3716名	10. 共生システム理工学類	4123名
11. 現代教養コース	888名	未 未記入	37名



(2) 学年 (入学してからの年数)

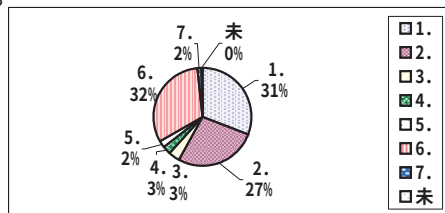
1. 1年	9731名
2. 2年	9343名
3. 3年	4508名
4. 4年	863名
5. 5年以上	186名
未 未記入	54名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

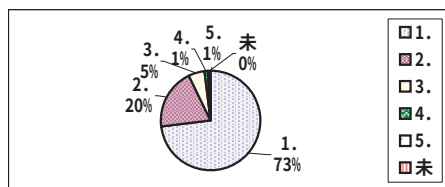
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	7625名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	6739名
3. 単位がとり易そうだったから	829名
4. 受講し易い時間帯にあったから	730名
5. 友人や先輩に勧められたから	519名
6. クラス指定または必修だったから	7815名
7. その他	374名
未 未記入	54名



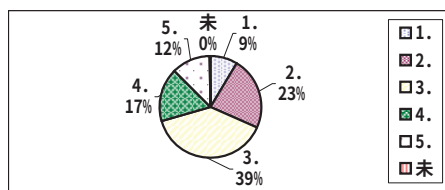
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	18030名
2. 89%～70%	4900名
3. 69%～50%	1280名
4. 49%～30%	282名
5. 29%以下	148名
未 未記入	45名



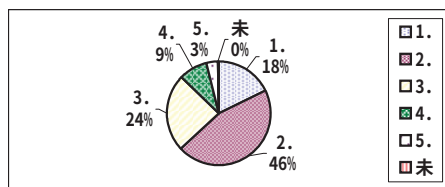
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	2153名
2. よく勉強した	5653名
3. 多少はした	9630名
4. ほとんどしなかった	4179名
5. まったくしなかった	3008名
未 未記入	62名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	4385名
2. ある程度意欲的	11209名
3. どちらともいえない	5923名
4. あまり意欲的でない	2222名
5. まったく意欲的でない	858名
未 未記入	87名



平成18年7月実施

分野
総合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	36158	24685	68.3%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	11202名
4. やや思う	8640名
3. どちらともいえない	3653名
2. あまりそう思わない	796名
1. まったくそう思わない	351名
未 未記入	43名

合計 24685名

評価ポイント平均値 4.20

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	9043名
4. やや思う	8539名
3. どちらともいえない	4966名
2. あまりそう思わない	1420名
1. まったくそう思わない	677名
未 未記入	40名

合計 24685名

評価ポイント平均値 3.97

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	11087名
4. やや思う	8374名
3. どちらともいえない	4020名
2. あまりそう思わない	820名
1. まったくそう思わない	339名
未 未記入	45名

合計 24685名

評価ポイント平均値 4.18

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強く思う	9122名
4. やや思う	7529名
3. どちらともいえない	5137名
2. あまりそう思わない	1916名
1. まったくそう思わない	937名
未 未記入	44名

合計 24685名

評価ポイント平均値 3.89

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	6523名
4. やや思う	6790名
3. どちらともいえない	5963名
2. あまりそう思わない	2365名
1. まったくそう思わない	1019名
未 未記入	2025名

合計 24685名

評価ポイント平均値 3.68

(12) 教科書 参考書 資料などは適切であった。

5. 強く思う	7871名
4. やや思う	8011名
3. どちらともいえない	6084名
2. あまりそう思わない	1418名
1. まったくそう思わない	621名
未 未記入	680名

合計 24685名

評価ポイント平均値 3.88

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	9143名
4. やや思う	8272名
3. どちらともいえない	5927名
2. あまりそう思わない	779名
1. まったくそう思わない	361名
未 未記入	203名

合計 24685名

評価ポイント平均値 4.02

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	6231名
4. やや思う	8998名
3. どちらともいえない	6386名
2. あまりそう思わない	2018名
1. まったくそう思わない	982名
未 未記入	70名

合計 24685名

評価ポイント平均値 3.71

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	7732名
4. やや思う	9512名
3. どちらともいえない	4873名
2. あまりそう思わない	1400名
1. まったくそう思わない	578名
未 未記入	590名

合計 24685名

評価ポイント平均値 3.93

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	10211名
4. やや思う	8151名
3. どちらともいえない	4420名
2. あまりそう思わない	1163名
1. まったくそう思わない	362名
未 未記入	378名

合計 24685名

評価ポイント平均値 4.10

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	10796名
4. やや思う	7593名
3. どちらともいえない	4079名
2. あまりそう思わない	1271名
1. まったくそう思わない	567名
未 未記入	379名

合計 24685名

評価ポイント平均値 4.10

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	10482名
4. やや思う	7757名
3. どちらともいえない	4423名
2. あまりそう思わない	1189名
1. まったくそう思わない	444名
未 未記入	390名

合計 24685名

評価ポイント平均値 4.10

平成18年7月実施 教育改善のための学生アンケート」相関係数表

共通領域 共通教育科目相関係数

		III. この授業及び教員の評価								IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
		(7)熱意	(8)対応	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)教科書	(13)シラバス	(14)授業理解度	IV総合満足度	(16)学習雰囲気	(17)設備	(18)受講者数
III. この授業及び教員の評価	(7)熱意	1.000											
	(8)対応	0.953	1.000										
	(9)授業準備	0.925	0.952	1.000									
	(10)話し方	0.894	0.924	0.950	1.000								
	(11)板書	0.113	0.112	0.118	0.123	1.000							
	(12)教科書	0.208	0.215	0.207	0.216	0.332	1.000						
	(13)シラバス	0.436	0.448	0.465	0.474	0.139	0.217	1.000					
	(14)授業理解度	0.686	0.709	0.728	0.709	0.132	0.211	0.506	1.000				
IV. 総合満足度	IV総合満足度	0.236	0.225	0.219	0.213	0.048	0.066	0.130	0.185	1.000			
V. 教育環境評価	(16)学習雰囲気	0.346	0.332	0.344	0.336	0.078	0.106	0.201	0.289	0.418	1.000		
	(17)設備	0.344	0.330	0.320	0.312	0.078	0.103	0.180	0.271	0.411	0.969	1.000	
	(18)受講者数	0.336	0.322	0.335	0.326	0.072	0.097	0.196	0.297	0.401	0.956	0.966	1.000

人間発達文化学類 教育各部専門科目相関係数

		III. この授業及び教員の評価								IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
		(7)熱意	(8)対応	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)教科書	(13)シラバス	(14)授業理解度	IV総合満足度	(16)学習雰囲気	(17)設備	(18)受講者数
III. この授業及び教員の評価	(7)熱意	1.000											
	(8)対応	0.973	1.000										
	(9)授業準備	0.898	0.901	1.000									
	(10)話し方	0.859	0.865	0.798	1.000								
	(11)板書	0.114	0.123	0.101	0.124	1.000							
	(12)教科書	0.200	0.206	0.183	0.211	0.285	1.000						
	(13)シラバス	0.304	0.312	0.332	0.317	0.141	0.336	1.000					
	(14)授業理解度	0.688	0.696	0.638	0.703	0.134	0.250	0.434	1.000				
IV. 総合満足度	IV総合満足度	0.181	0.184	0.197	0.165	0.016	0.051	0.082	0.172	1.000			
V. 教育環境評価	(16)学習雰囲気	0.216	0.223	0.232	0.227	0.054	0.067	0.114	0.232	0.516	1.000		
	(17)設備	0.217	0.222	0.231	0.227	0.054	0.068	0.114	0.233	0.519	0.992	1.000	
	(18)受講者数	0.215	0.221	0.229	0.226	0.053	0.066	0.113	0.231	0.517	0.998	0.993	1.000

行政政策学類 行政社会学部専門科目相関係数

		III. この授業及び教員の評価								IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
		(7)熱意	(8)対応	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)教科書	(13)シラバス	(14)授業理解度	IV総合満足度	(16)学習雰囲気	(17)設備	(18)受講者数
III. この授業及び教員の評価	(7)熱意	1.000											
	(8)対応	0.981	1.000										
	(9)授業準備	0.898	0.898	1.000									
	(10)話し方	0.971	0.975	0.891	1.000								
	(11)板書	0.205	0.204	0.183	0.196	1.000							
	(12)教科書	0.386	0.386	0.423	0.384	0.179	1.000						
	(13)シラバス	0.463	0.465	0.426	0.456	0.145	0.355	1.000					
	(14)授業理解度	0.827	0.832	0.762	0.829	0.201	0.385	0.464	1.000				
IV. 総合満足度	IV総合満足度	0.262	0.260	0.286	0.266	0.039	0.155	0.114	0.273	1.000			
V. 教育環境評価	(16)学習雰囲気	0.267	0.262	0.238	0.267	0.040	0.139	0.119	0.276	0.525	1.000		
	(17)設備	0.266	0.260	0.238	0.265	0.043	0.139	0.119	0.275	0.525	0.999	1.000	
	(18)受講者数	0.266	0.260	0.238	0.265	0.043	0.140	0.120	0.276	0.525	0.998	0.999	1.000

経済経営学類 経済学部相関係数

		III. この授業及び教員の評価								IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
		(7)熱意	(8)対応	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)教科書	(13)シラバス	(14)授業の理解度	IV総合満足度	(16)学習雰囲気	(17)設備	(18)受講者数
III. この授業及び教員の評価	(7)熱意	1.000											
	(8)対応	0.925	1.000										
	(9)授業準備	0.989	0.925	1.000									
	(10)話し方	0.919	0.983	0.920	1.000								
	(11)板書	0.316	0.296	0.321	0.294	1.000							
	(12)教科書	0.512	0.475	0.510	0.476	0.236	1.000						
	(13)シラバス	0.515	0.551	0.511	0.550	0.226	0.531	1.000					
	(14)授業理解度	0.809	0.869	0.812	0.869	0.265	0.479	0.617	1.000				
IV. 総合満足度	IV総合満足度	0.183	0.196	0.179	0.199	0.061	0.100	0.118	0.174	1.000			
V. 教育環境評価	(16)学習雰囲気	0.184	0.193	0.175	0.191	0.054	0.107	0.129	0.170	0.505	1.000		
	(17)設備	0.228	0.239	0.220	0.237	0.063	0.130	0.155	0.209	0.514	0.988	1.000	
	(18)受講者数	0.178	0.186	0.171	0.185	0.060	0.103	0.125	0.163	0.491	0.972	0.965	1.000

現代教養コース科目相関係数

		III. この授業及び教員の評価								IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
		(7)熱意	(8)対応	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)教科書	(13)シラバス	(14)授業の理解度	IV総合満足度	(16)学習雰囲気	(17)設備	(18)受講者数
III. この授業及び教員の評価	(7)熱意	1.000											
	(8)対応	0.994	1.000										
	(9)授業準備	0.889	0.890	1.000									
	(10)話し方	0.990	0.992	0.886	1.000								
	(11)板書	0.210	0.218	0.176	0.222	1.000							
	(12)教科書	0.378	0.383	0.339	0.389	0.473	1.000						
	(13)シラバス	0.667	0.668	0.598	0.669	0.164	0.380	1.000					
	(14)授業理解度	0.885	0.887	0.789	0.885	0.203	0.353	0.598	1.000				
IV. 総合満足度	IV総合満足度	0.329	0.332	0.295	0.328	0.162	0.285	0.214	0.290	1.000			
V. 教育環境評価	(16)学習雰囲気	0.374	0.375	0.333	0.373	0.075	0.177	0.242	0.336	0.493	1.000		
	(17)設備	0.377	0.378	0.335	0.375	0.077	0.178	0.244	0.338	0.492	0.998	1.000	
	(18)受講者数	0.347	0.348	0.309	0.347	0.060	0.159	0.298	0.310	0.449	0.914	0.915	1.000

共生システム理工専門科目相関係数

		III. この授業及び教員の評価								IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
		(7)熱意	(8)対応	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)教科書	(13)シラバス	(14)授業の理解度	IV総合満足度	(16)学習雰囲気	(17)設備	(18)受講者数
III. この授業及び教員の評価	(7)熱意	1.000											
	(8)対応	0.677	1.000										
	(9)授業準備	0.799	0.578	1.000									
	(10)話し方	0.652	0.918	0.564	1.000								
	(11)板書	0.153	0.110	0.124	0.123	1.000							
	(12)教科書	0.196	0.141	0.167	0.138	0.098	1.000						
	(13)シラバス	0.181	0.254	0.153	0.234	0.104	0.217	1.000					
	(14)授業理解度	0.357	0.497	0.307	0.499	0.133	0.217	0.369	1.000				
IV. 総合満足度	IV総合満足度	0.006	0.013	0.006	0.004	-0.022	0.038	-0.009	-0.001	1.000			
V. 教育環境評価	(16)学習雰囲気	0.128	0.166	0.104	0.167	0.004	0.037	0.041	0.087	0.333	1.000		
	(17)設備	0.123	0.153	0.100	0.155	0.002	0.035	0.041	0.081	0.352	0.982	1.000	
	(18)受講者数	0.120	0.154	0.095	0.155	0.002	0.034	0.039	0.080	0.327	0.981	0.966	1.000



「教育改善のための学生アンケート」集計結果

平成 19 年 1 月実施 教育改善のための 学生アンケート 後期開講科目実施状況

平成18年度後期 教育改善のための学生アンケート実施状況 分類毎)

共通領域 共通教育科目

分野	科目	分類コード	科目数	件数			人数（受講者1桁科目を含む）			人数（受講者1桁科目を除く）			備考	
				対象数	実施数	実施率	受講者数 （延べ数）	回答者数 （延べ数）	回答率	受講者数 （延べ数）	回答者数 （延べ数）	回答率	1桁 受講者	1桁 回答者
総合科目			6	6	6	100.0%	748	451	60.3%	748	451	60.3%	無し	
広域選択科目	人間と文化		8	8	8	100.0%	1,345	929	69.1%	1,345	929	69.1%	無し	
	社会と歴史		7	6	6	85.7%	1,000	593	59.3%	1,000	593	59.3%	無し	
	自然と技術		7	4	4	57.1%	769	346	45.0%	769	346	45.0%	無し	
情報教育科目			4	4	4	100.0%	312	269	86.2%	312	269	86.2%	無し	
健康・運動科目	健康・運動科学実習		20	20	18	90.0%	945	737	78.0%	945	737	78.0%	無し	
	スポーツ実習		4	4	4	100.0%	103	57	55.3%	103	57	55.3%	無し	
英語	英語AⅠ・AⅡ		48	48	46	95.8%	1,922	1,603	83.4%	1,885	1,579	83.8%	6科目37名	5科目24名
	英語BⅠ・BⅡ		40	40	34	85.0%	1,754	1,336	76.2%	1,730	1,328	76.8%	5科目24名	2科目8名
	英語Ⅲ		3	3	3	100.0%	18	14	77.8%	0	0	0.0%	3科目18名	3科目14名
非英外国語	ドイツ語		17	17	17	100.0%	572	503	87.9%	558	493	88.4%	3科目14名	3科目10名
	フランス語		15	15	14	93.3%	330	279	84.5%	315	264	83.8%	3科目15名	3科目15名
	中国語		23	23	21	91.3%	820	668	81.5%	814	662	81.3%	1科目6名	1科目6名
	ロシア語		5	5	5	100.0%	107	104	97.2%	100	98	98.0%	1科目7名	1科目6名
	スペイン語		5	5	2	40.0%	64	26	40.6%	58	24	41.4%	3科目6名	1科目2名
	日本語	日本語	2	2	2	100.0%	35	35	100.0%	35	35	100.0%	無し	
		日本語事情	1	1	1	100.0%	16	13	81.3%	16	13	81.3%	無し	
計			215	215	195	90.7%	10,860	7,963	73.3%	10,733	7,878	73.4%		

の範囲の科目群で集計した。ただし、日本語は担当者が特定されるため集計しない。

4学類 3学部専門教育科目

分野	科目	分類コード	科目数	件数			人数(受講者1桁科目を含む)			人数(受講者1桁科目を除く)			備考	
				対象数	実施数	実施率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	1桁 受講者	1桁 回答者
人間発達文化学類・ 教育学部専門科目		簡易版	10	10	10	100.0%	367	276	75.2%	367	276	75.2%	無し	
		フル版	159	159	115	72.3%	6,528	3,821	58.5%	6,515	3,809	58.5%	2科目13名	2科目12名
行政政策学類・ 行政社会学部専門科目		簡易版	4	4	3	75.0%	399	71	17.8%	399	71	17.8%	無し	
		フル版	35	35	28	80.0%	3,438	1,487	43.3%	3,435	1,487	43.3%	1科目3名	無し
経済経営学類・ 経済学部専門科目		簡易版	10	10	10	100.0%	1,004	651	64.8%	1,004	651	64.8%	無し	
		フル版	50	50	44	88.0%	3,923	2,018	51.4%	3,898	2,006	51.5%	4科目25名	3科目12名
現代教養コース		簡易版	1	1	1	100.0%	17	14	82.4%	17	14	82.4%	無し	
		フル版	38	38	30	78.9%	1,022	643	62.9%	1,018	643	63.2%	1科目4名	無し
共生システム理工学類専門科目		簡易版	12	12	12	100.0%	710	539	75.9%	707	538	76.1%	1科目3名	1科目1名
		フル版	40	39	31	79.5%	2,675	1,585	59.3%	2,672	1,582	59.2%	1科目3名	1科目3名
計			359	358	284	79.3%	20,083	11,105	55.3%	20,032	11,077	55.3%		

の範囲の科目群で集計した。ただし、現代教養コース簡易版は1科目のみ実施のため集計しない。

教育改善のための学生アンケート 簡易版 2007 年 1 月 実施 福島大学FDプロジェクト

- ◆このアンケートは、本学の教育改善のため、学生みなさんにご協力をいただいて実施するものです。
◆このアンケートの集計結果の取り扱いについては、次のとおりです。
①各科目の集計結果は、それぞれの授業担当教員にフィードバックされます。
②共通科目は各科目グループに分類し、科目グループ単位の集計結果を報告書において公表します。
③専門科目は各学部・学類ごとに集計し、その集計結果を報告書において公表します。
④報告書は福島大学ホームページにて公開しています。

I. (1)学籍番号の最初の5桁を記入してください
(統計処理上、所属と学年を把握するためです)。

(1)					
-----	--	--	--	--	--

II. この授業についてのあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上 2. 89~70% 3. 69~50% 4. 49~30% 5. 29%以下

(2)	
-----	--

(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上 2. 2~3時間未満 3. 1~2時間未満
4. 30分~1時間未満 5. 30分未満

(3)	
-----	--

(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか(3つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した 2. インターネットで検索した 3. 参考書を買って調べた
4. 図書館で文献を調べた 5. 友だちと話して理解するようにした
6. 先生に質問した 7. 何もしなかった

(4)			
-----	--	--	--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント(数字)を□に記入してください。】

5: はい, 4: かなりそうだとと言える, 3: どちらとも言えない, 2: あまりそうとは言えない, 1: いいえ

III. この授業及び担当教員に関して、次の(5)~(7)の項目について評価ポイント5~1のいずれかの数字で答え、その理由をお書きください。

(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか(観点: 授業の準備, 授業への熱意, 学生への対応等)。

(5)	(5 択式)	(理由)
-----	--------	------

(6) 教育の方法は適切でしたか(観点: わかりやすい説明, 話し方・声の大きさ, 質問への対応, 板書の仕方・視聴覚機器の活用, 発表・討論の機会, シラバスの記述内容等)。

(6)	(5 択式)	(理由)
-----	--------	------

(7) 授業の内容は適切でしたか(観点: 魅力あるトピック, 教材・教科書の適切性, 参考文献の提示, 授業の進捗, シラバスに記述された目標の達成度等)。

(7)	(5 択式)	(理由)
-----	--------	------

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。評価ポイント5~1のいずれかの数字でお答えください。

IV.	
-----	--

(8) その他、この授業に関する感想・要望・意見、教育環境の改善点等を書いてください。

--



教育改善のための学生アンケート

007 年 1 月 実施
福島大学FDプロジェクト

- 該当する番号を□に記入してください。
- 自由記載欄には思っていることを率直に述べてください。

I. (1) 学籍番号の最初の 5 桁を記入してください
(統計処理上、所属と学年を把握するためです。)

(1)					
-----	--	--	--	--	--

II. この授業についてのあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 勉学面で関心があったから | 2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから |
| 3. 単位がとり易そうだったから | 4. 受講し易い時間帯にあったから |
| 5. 友人や先輩に勧められたから | 6. クラス指定または必修だったから |
| 7. その他 (|) |

(2)	
-----	--

(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上 2. 89～70% 3. 69～50% 4. 49～30% 5. 29%以下

(3)	
-----	--

(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3 時間以上 2. 2～3 時間未満 3. 1～2 時間未満
4. 30 分～1 時間未満 5. 30 分未満

(4)	
-----	--

(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3 つまで回答)。

1. ノートや配付資料を復習した 2. インターネットで検索した 3. 参考書を買って調べた
4. 図書館で文献を調べた 5. 友だちと話して理解するようにした
6. 先生に質問した 7. 何もしなかった

(5)			
-----	--	--	--

(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的 2. ある程度意欲的 3. どちらともいえない
4. あまり意欲的でない 5. まったく意欲的でない

(6)	
-----	--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント (数字) を□に記入してください。】

5 : はい, 4 : かなりそうだとと言える, 3 : どちらとも言えない, 2 : あまりそうとは言えない, 1 : いいえ

III. この授業及び担当教員に関して、次の項目について評価をし、評価ポイント 5～1 のいずれかの数字でお答えください。(担当教員が複数の場合は総合的に判断してお答えください。)

(7) 授業への熱意が感じられた。

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

(10) 聞き取り易い話し方だった。

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。(使用していない授業の場合は空欄にしてください。)

(12) シラバスの記述は適切であった。

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった。

(16) 授業の内容はよく理解できた。

(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	
(12)	
(13)	
(14)	
(15)	
(16)	

- (17)その他、この授業に関して、①授業の良かった点、②授業で改善すべき点、③印象に残った点、④疑問点、⑤自らの学習を振り返って感じたこと、⑥この Semester での自らの勉学目標とこの授業の位置づけ及びその目標達成度、⑦これからの自分の学習展望など、今感じていることを自由にご記入ください。

--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント（数字）を□に記入してください。
5：はい、4：かなりそうだと云える、3：どちらとも言えない、2：あまりそうとは言えない、1：いいえ

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。評価ポイント 5～1 のいずれかの数字でお答えください。

IV.	
-----	--

V. 教育環境について評価をし、評価ポイント 5～1 のいずれかの数字でお答えください。

(18)授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

(18)	
------	--

(19)授業の場の大きさや設備等は適切であった。

(19)	
------	--

(20)受講者数は適切であった。

(20)	
------	--

その他、教育環境について改善すべき点があれば、(17)の自由記述欄に書いてください。

VI. 授業科目担当教員からの自由設問欄

VI.	(5 択式)
-----	--------

(担当教員から独自の質問事項が提示されたときは、この欄に回答してください。)

(記述式)

--

◆このアンケートは、本学の教育改善のため、学生みなさんにご協力をいただいております。

◆このアンケートの集計結果の取り扱いについては、次のとおりです。

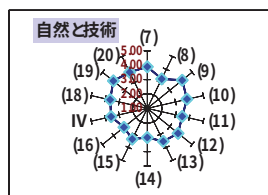
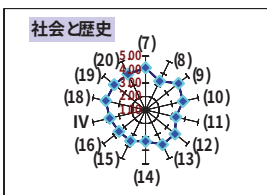
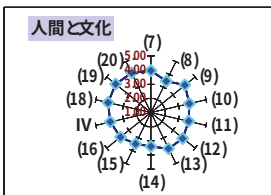
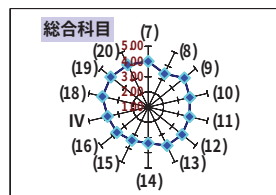
- ①各科目の集計結果は、それぞれの授業担当教員にフィードバックされます。
- ②共通科目は各科目グループに分類し、科目グループ単位の集計結果を報告書において公表します。
- ③専門科目は各学部・学類ごとに集計し、その集計結果を報告書において公表します。
- ④報告書は福島大学ホームページにて公開しています。

平成19年1月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (後期 通年)共通領域 共通教育科目)

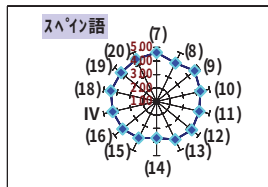
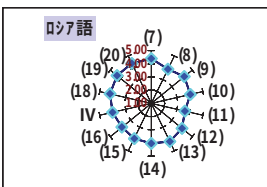
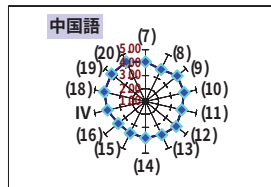
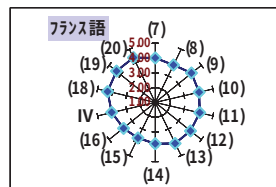
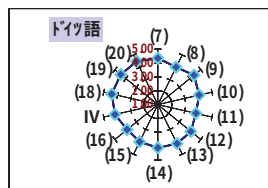
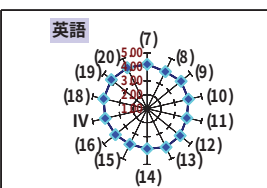
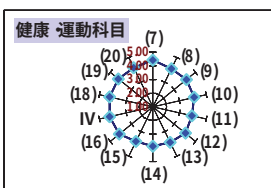
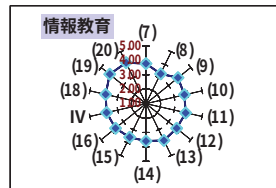
科目群毎の学生アンケート実施率		総合科目	人間と文化	社会と歴史	自然と技術	情報教育	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	6	8	7	7	4	24	91	17	15	23	5	5	3	215
	学生アンケート実施科目数(b)	6	8	6	4	4	22	83	17	14	21	5	2	3	195
	学生アンケート実施率(b/a :%)	100.0%	100.0%	85.7%	57.1%	100.0%	91.7%	91.2%	100.0%	93.3%	91.3%	100.0%	40.0%	100.0%	90.7%
人数	学生アンケート受講者数(c)	748	1,345	1,000	769	312	1,048	3,615	558	315	814	100	58	51	10,733
	学生アンケート回答者数(d)	451	929	593	346	269	794	2,907	493	264	662	98	24	48	7,878
	学生アンケート回答率(d/c :%)	60.3%	69.1%	59.3%	45.0%	86.2%	75.8%	80.4%	88.4%	83.8%	81.3%	98.0%	41.4%	94.1%	73.4%

教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 科目群毎)

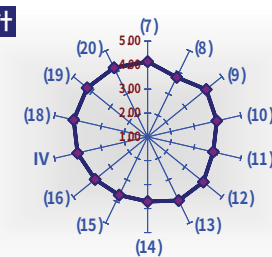
番号	設 問	総合科目	人間と文化	社会と歴史	自然と技術	情報教育	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
授業及び担当教官	(7) 授業への熱意が感じられた	4.01	3.96	4.14	3.89	3.78	4.41	4.20	4.34	4.00	4.06	4.39	4.63	4.14	4.14
	(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた	3.44	3.45	3.38	3.26	3.32	4.09	3.96	4.00	3.81	3.74	3.88	4.17	3.76	3.76
	(9) 授業の準備がしっかりなされていた	4.06	4.08	4.15	4.12	3.87	4.15	4.15	4.37	4.16	4.14	4.22	4.63	4.14	4.14
	(10) 聞き取りやすい話し方だった	3.81	3.78	3.85	3.82	3.73	4.09	4.03	4.06	4.04	4.05	4.03	4.33	3.97	3.97
	(11) 板書・OHPなどは見やすかった	3.79	3.73	3.32	3.49	3.82	3.92	3.92	3.81	4.09	3.87	3.62	4.21	3.80	3.80
	(12) シラバスの記述は適切であった	3.88	3.90	3.84	3.77	3.73	4.07	4.06	4.08	4.05	4.05	4.01	4.33	3.99	3.99
	(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった	3.81	3.84	3.86	3.55	3.85	3.91	4.07	4.14	4.08	3.86	4.19	4.13	3.96	3.96
	(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた	3.37	3.41	3.32	3.02	3.59	3.88	3.87	4.11	3.79	3.81	4.03	3.71	3.71	3.71
	(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった	3.44	3.46	3.56	3.38	3.60	3.80	3.82	3.99	3.67	3.72	3.97	4.00	3.71	3.71
	(16) 授業の内容はよく理解できた	3.65	3.75	3.55	3.08	3.71	4.15	3.94	3.87	3.78	3.72	3.87	4.25	3.82	3.82
総合	IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか	3.73	3.94	3.74	3.57	3.81	4.25	4.09	4.20	4.02	4.00	4.00	4.35	4.01	4.01
教育環境	(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた	4.09	4.12	4.02	3.64	3.87	4.26	4.22	4.43	4.32	4.27	4.21	4.48	4.17	4.17
	(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった	4.16	4.19	3.99	4.04	4.24	4.26	4.30	4.44	4.38	4.35	4.34	4.39	4.26	4.26
	(20) 受講者数は適切であった	4.10	4.11	3.97	3.81	4.16	4.17	4.25	4.48	4.38	4.41	4.38	4.48	4.21	4.21



※評価ポイント
5 強く思う
4 やや思う
3 どちらとも言えない
2 あまりそう思わない
1 まったくそう思わない
※「日本語」はクラスが特定されるので公表から外す。
※受講者数が一桁の授業は集計から外す。



合計



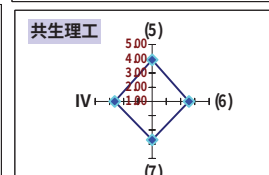
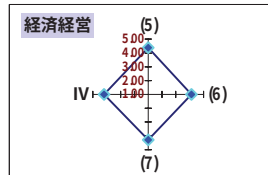
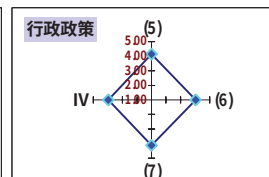
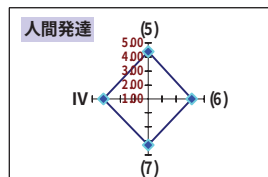
平成19年1月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (後期 通年) 専門教育科目)

学類毎の学生アンケート実施率		簡易版]						フル版]						総計]					
		人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計	人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計	人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	10	4	10	1	12	37	159	35	50	38	39	321	169	39	60	39	51	358
	学生アンケート実施科目数(b)	10	3	10	1	12	36	115	28	44	30	31	248	125	31	54	31	43	284
	学生アンケート実施率(b/a :%)	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.3%	72.3%	80.0%	88.0%	78.9%	79.5%	77.3%	74.0%	79.5%	90.0%	79.5%	84.3%	79.3%
人数	学生アンケート受講者数(c)	367	399	1,004	17	707	2,494	6,515	3,435	3,898	1,018	2,672	17,538	6,882	3,834	4,902	1,035	3,379	20,032
	学生アンケート回答者数(d)	276	71	651	14	538	1,550	3,809	1,487	2,006	643	1,582	9,527	4,085	1,558	2,657	657	2,120	11,077
	学生アンケート回答率(d/c :%)	75.2%	17.8%	64.8%	82.4%	76.1%	62.1%	58.5%	43.3%	51.5%	63.2%	59.2%	54.3%	59.4%	40.6%	54.2%	63.5%	62.7%	55.3%

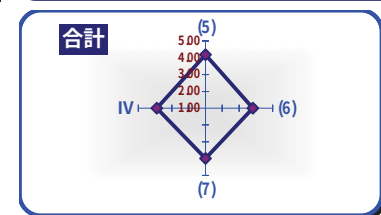
教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 (学類毎)

簡易版]

学類毎の学生アンケート実施率		人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計
授業担当教員	(5) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか	4.39	4.14	4.30		3.93	4.18
	(6) 教育の方法は適切でしたか	4.11	4.04	3.87		3.59	3.82
	(7) 教育の内容は適切でしたか	4.29	4.11	4.08		3.70	3.99
総合	IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか	4.20	3.97	3.95		3.64	3.89

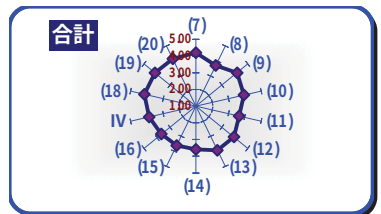
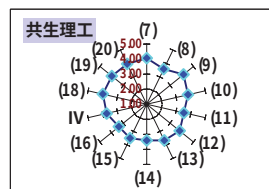
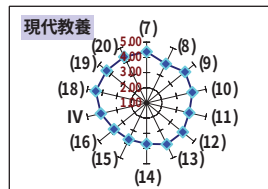
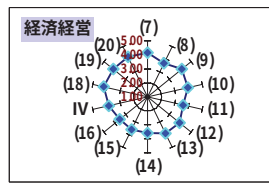
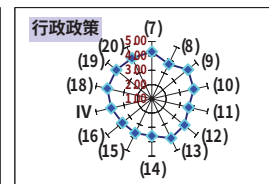
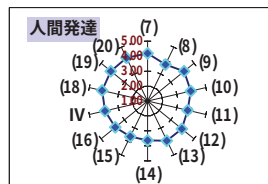


※評価ポイント
5 強く思う
4 やや思う
3 どちらとも言えない
2 あまりそう思わない
1 まったくそう思わない
※簡易版の現代教養コースは1科目のみのため外す。
※受講者数が一桁の授業は集計から外す。



フル版]

学類毎の学生アンケート実施率		人間発達文化学類	行政政策学類	経済経営学類	現代教養コース	共生システム理工学類	合計
授業及び担当教員	(7) 授業への熱意が感じられた	4.19	4.29	4.16	4.38	4.06	4.19
	(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた	3.73	3.68	3.67	3.87	3.59	3.69
	(9) 授業の準備がしっかりなされていた	4.15	4.25	4.16	4.25	4.14	4.17
	(10) 聞き取りやすい話し方だった	3.97	4.00	3.95	4.09	3.81	3.95
	(11) 板書・HPなどが見やすかった	3.73	3.64	3.61	3.86	3.53	3.66
	(12) シラバスの記述は適切であった	3.95	3.92	3.95	4.06	3.82	3.93
	(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった	3.96	4.06	3.91	4.04	3.68	3.92
	(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた	3.64	3.60	3.59	3.69	3.41	3.59
教育環境	(15) 時間外学習の情報提供・指示が十分であった	3.65	3.66	3.61	3.68	3.52	3.62
	(16) 授業の内容はよく理解できた	3.79	3.65	3.56	3.76	3.38	3.65
	総合	3.91	3.91	3.84	4.09	3.71	3.87
	IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか	3.91	3.91	3.84	4.09	3.71	3.87
教育環境	(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた	4.13	4.19	4.23	4.43	4.00	4.16
	(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった	4.18	4.20	4.16	4.40	3.98	4.16
	(20) 受講者数は適切であった	4.20	4.14	4.18	4.36	3.97	4.16



教育改善のための学生アンケート

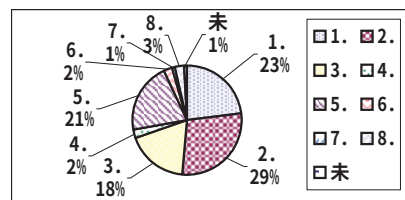
分野
総合科目 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	748	451	60.3%

I.

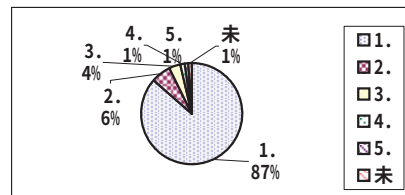
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	104名	2. 行政政策学類	128名
3. 経済経営学類	83名	4. 現代教養コース	11名
5. 共生システム理工学類	94名	6. 教育学部	11名
7. 行政社会学部	4名	8. 経済学部	12名
未 未記入	4名	合計	451名



学年 入学してからの年数)

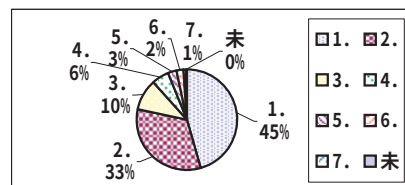
1. 1年	390名
2. 2年	29名
3. 3年	16名
4. 4年	6名
5. 5年以上	5名
未 未記入	5名
合計	451名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

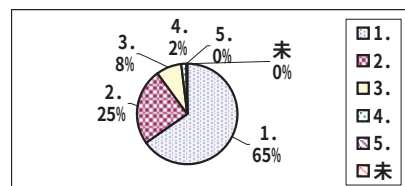
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	205名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	148名
3. 単位がとり易そうだったから	45名
4. 受講し易い時間帯にあったから	25名
5. 友人や先輩に勧められたから	13名
6. クラス指定または必修だったから	10名
7. その他	4名
未 未記入	1名
合計	451名



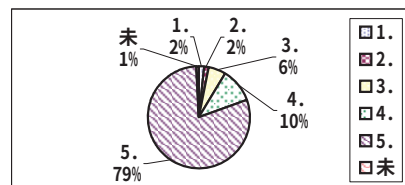
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	294名
2. 89%～70%	112名
3. 69%～50%	36名
4. 49%～30%	8名
5. 29%以下	1名
未 未記入	0名
合計	451名



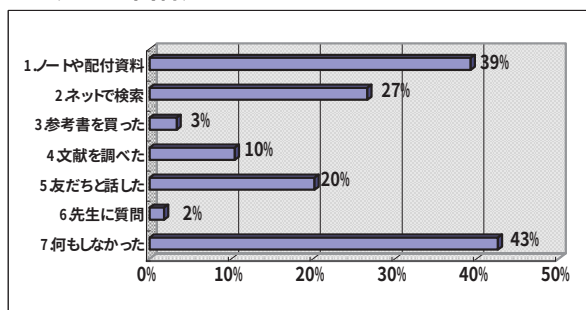
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	7名
2. 2～3時間未満	7名
3. 1～2時間未満	25名
4. 30分～1時間未満	49名
5. 30分未満	359名
未 未記入	4名
合計	451名



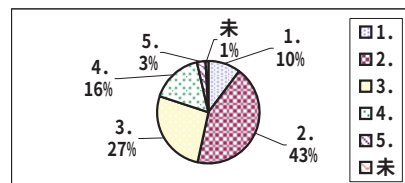
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	177名
2. インターネットで検索した	120名
3. 参考書を買って調べた	15名
4. 図書館で文献を調べた	47名
5. 友だちと話して理解するようにした	91名
6. 先生に質問した	8名
7. 何もしなかった	192名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	46名
2. ある程度意欲的	195名
3. どちらとも言えない	120名
4. あまり意欲的でない	74名
5. まったく意欲的でない	12名
未 未記入	4名
合計	451名



分野		総合科目 合計			
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	748	451	60.3%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

- (7) 授業への熱意が感じられた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 154名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 163名 |
| 3. どちらとも言えない | 119名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 7名 |
| 1. いいえ | 6名 |
| 未 未記入 | 2名 |
| 合計 | 451名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.01 |
- (8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 72名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 120名 |
| 3. どちらとも言えない | 201名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 45名 |
| 1. いいえ | 11名 |
| 未 未記入 | 2名 |
| 合計 | 451名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.44 |
- (9) 授業の準備がしっかりなされていた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 162名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 171名 |
| 3. どちらとも言えない | 101名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 12名 |
| 1. いいえ | 3名 |
| 未 未記入 | 2名 |
| 合計 | 451名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.06 |
- (10) 聞き取りやすい話し方だった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 113名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 159名 |
| 3. どちらとも言えない | 156名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 15名 |
| 1. いいえ | 4名 |
| 未 未記入 | 4名 |
| 合計 | 451名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.81 |
- (11) 板書・OHPなどは見やすかった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 106名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 157名 |
| 3. どちらとも言えない | 135名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 26名 |
| 1. いいえ | 3名 |
| 未 未記入 | 24名 |
| 合計 | 451名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.79 |
- (12) シラバスの記述は適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 139名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 158名 |
| 3. どちらとも言えない | 115名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 27名 |
| 1. いいえ | 8名 |
| 未 未記入 | 4名 |
| 合計 | 451名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.88 |
- (13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 117名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 157名 |
| 3. どちらとも言えない | 148名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 20名 |
| 1. いいえ | 4名 |
| 未 未記入 | 5名 |
| 合計 | 451名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.81 |

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	74名
4. かなりそうだとと言える	103名
3. どちらとも言えない	202名
2. あまりそうとは言えない	57名
1. いいえ	13名
未 未記入	2名
合計	451名
評価ポイント平均値	3.37

(15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	80名
4. かなりそうだとと言える	110名
3. どちらとも言えない	199名
2. あまりそうとは言えない	48名
1. いいえ	12名
未 未記入	2名
合計	451名
評価ポイント平均値	3.44

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	88名
4. かなりそうだとと言える	163名
3. どちらとも言えない	157名
2. あまりそうとは言えない	30名
1. いいえ	10名
未 未記入	3名
合計	451名
評価ポイント平均値	3.65

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	97名
4. かなりそうだとと言える	171名
3. どちらとも言えない	139名
2. あまりそうとは言えない	27名
1. いいえ	7名
未 未記入	10名
合計	451名
評価ポイント平均値	3.73

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	173名
4. かなりそうだとと言える	152名
3. どちらとも言えない	97名
2. あまりそうとは言えない	12名
1. いいえ	4名
未 未記入	13名
合計	451名
評価ポイント平均値	4.09

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	192名
4. かなりそうだとと言える	140名
3. どちらとも言えない	94名
2. あまりそうとは言えない	8名
1. いいえ	4名
未 未記入	13名
合計	451名
評価ポイント平均値	4.16

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	182名
4. かなりそうだとと言える	135名
3. どちらとも言えない	105名
2. あまりそうとは言えない	8名
1. いいえ	6名
未 未記入	15名
合計	451名
評価ポイント平均値	4.10

教育改善のための学生アンケート

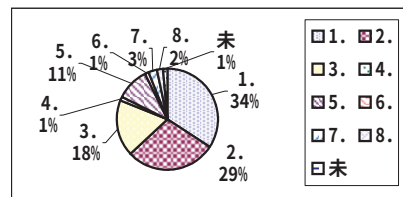
分野	科目
広域選択科目	人間と文化 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1345	929	69.1%

I.

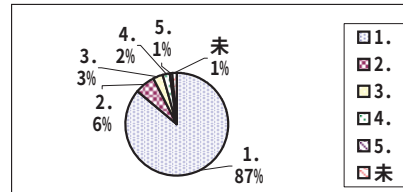
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	318名	2. 行政政策学類	268名
3. 経済経営学類	168名	4. 現代教養コース	11名
5. 共生システム理工学類	98名	6. 教育学部	10名
7. 行政社会学部	24名	8. 経済学部	20名
未 未記入	12名	合計	929名



学年 入学してからの年数)

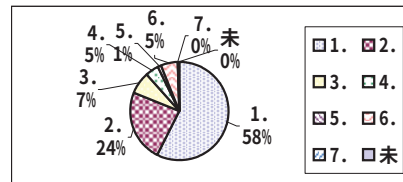
1. 1年	801名
2. 2年	58名
3. 3年	30名
4. 4年	19名
5. 5年以上	8名
未 未記入	13名
合計	929名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

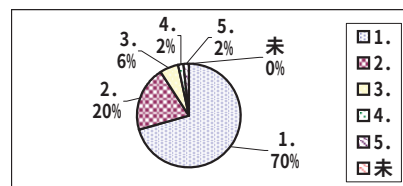
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	535名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	219名
3. 単位がとり易そうだったから	66名
4. 受講し易い時間帯にあったから	42名
5. 友人や先輩に勧められたから	11名
6. クラス指定または必修だったから	50名
7. その他	4名
未 未記入	2名
合計	929名



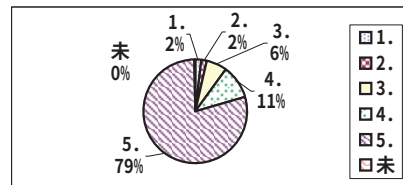
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	655名
2. 89%～70%	188名
3. 69%～50%	56名
4. 49%～30%	15名
5. 29%以下	14名
未 未記入	1名
合計	929名



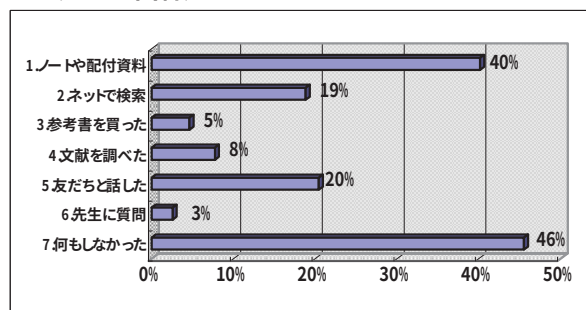
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	19名
2. 2～3時間未満	15名
3. 1～2時間未満	59名
4. 30分～1時間未満	99名
5. 30分未満	734名
未 未記入	3名
合計	929名



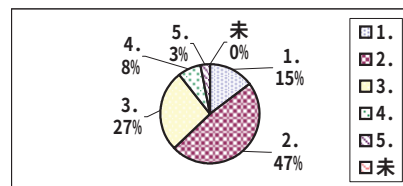
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	373名
2. インターネットで検索した	175名
3. 参考書を買って調べた	43名
4. 図書館で文献を調べた	72名
5. 友だちと話して理解するようにした	190名
6. 先生に質問した	24名
7. 何もしなかった	423名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	138名
2. ある程度意欲的	444名
3. どちらとも言えない	248名
4. あまり意欲的でない	70名
5. まったく意欲的でない	29名
未 未記入	0名
合計	929名



分野	科目
広域選択科目	人間と文化 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1345	929	69.1%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

- (7) 授業への熱意が感じられた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 287名 |
| 4. かなりそうと言える | 372名 |
| 3. どちらとも言えない | 227名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 32名 |
| 1. いいえ | 10名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.96 |
- (8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 171名 |
| 4. かなりそうと言える | 250名 |
| 3. どちらとも言えない | 366名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 112名 |
| 1. いいえ | 29名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.45 |
- (9) 授業の準備がしっかりなされていた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 361名 |
| 4. かなりそうと言える | 334名 |
| 3. どちらとも言えない | 186名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 40名 |
| 1. いいえ | 7名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.08 |
- (10) 聞き取りやすい話し方だった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 308名 |
| 4. かなりそうと言える | 266名 |
| 3. どちらとも言えない | 228名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 90名 |
| 1. いいえ | 35名 |
| 未 未記入 | 2名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.78 |
- (1.1) 板書・OHPなどは見やすかった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 269名 |
| 4. かなりそうと言える | 285名 |
| 3. どちらとも言えない | 239名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 89名 |
| 1. いいえ | 32名 |
| 未 未記入 | 15名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.73 |
- (1.2) シラバスの記述は適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 275名 |
| 4. かなりそうと言える | 337名 |
| 3. どちらとも言えない | 267名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 27名 |
| 1. いいえ | 16名 |
| 未 未記入 | 7名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.90 |
- (1.3) 教科書・参考書・資料などは適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 262名 |
| 4. かなりそうと言える | 325名 |
| 3. どちらとも言えない | 266名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 42名 |
| 1. いいえ | 18名 |
| 未 未記入 | 16名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.84 |

- (1.4) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 150名 |
| 4. かなりそうと言える | 241名 |
| 3. どちらとも言えない | 407名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 95名 |
| 1. いいえ | 35名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.41 |
- (1.5) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 170名 |
| 4. かなりそうと言える | 227名 |
| 3. どちらとも言えない | 411名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 92名 |
| 1. いいえ | 24名 |
| 未 未記入 | 5名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.46 |
- (1.6) 授業の内容はよく理解できた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 210名 |
| 4. かなりそうと言える | 365名 |
| 3. どちらとも言えない | 280名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 56名 |
| 1. いいえ | 17名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.75 |
- IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 261名 |
| 4. かなりそうと言える | 402名 |
| 3. どちらとも言えない | 207名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 29名 |
| 1. いいえ | 17名 |
| 未 未記入 | 13名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.94 |
- (1.8) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 386名 |
| 4. かなりそうと言える | 318名 |
| 3. どちらとも言えない | 169名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 35名 |
| 1. いいえ | 11名 |
| 未 未記入 | 10名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.12 |
- (1.9) 授業の場の大きさや設備は適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 426名 |
| 4. かなりそうと言える | 298名 |
| 3. どちらとも言えない | 155名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 28名 |
| 1. いいえ | 12名 |
| 未 未記入 | 10名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.19 |
- (2.0) 受講者数は適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 394名 |
| 4. かなりそうと言える | 297名 |
| 3. どちらとも言えない | 176名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 38名 |
| 1. いいえ | 13名 |
| 未 未記入 | 11名 |
| 合計 | 929名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.11 |

教育改善のための学生アンケート

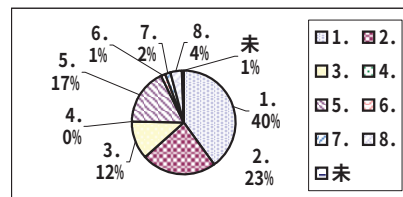
分野	科目
広域選択科目	社会と歴史 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1000	593	59.3%

I.

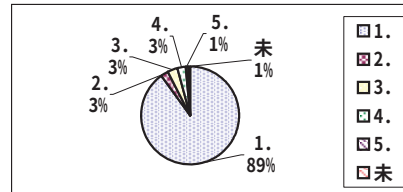
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	238名	2. 行政政策学類	138名
3. 経済経営学類	70名	4. 現代教養コース	1名
5. 共生システム理工学類	103名	6. 教育学部	8名
7. 行政社会学部	11名	8. 経済学部	21名
未 未記入	3名	合計	593名



学年 入学してからの年数)

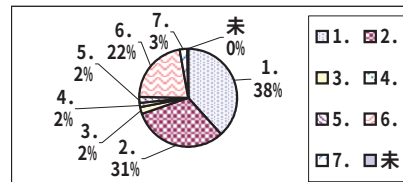
1. 1年	533名
2. 2年	15名
3. 3年	20名
4. 4年	17名
5. 5年以上	5名
未 未記入	3名
合計	593名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

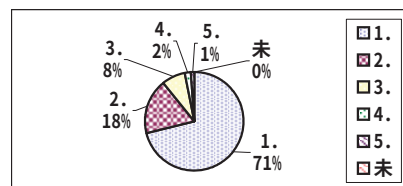
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	228名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	185名
3. 単位がとり易そうだったから	13名
4. 受講し易い時間帯にあったから	9名
5. 友人や先輩に勧められたから	12名
6. クラス指定または必修だったから	129名
7. その他	16名
未 未記入	1名
合計	593名



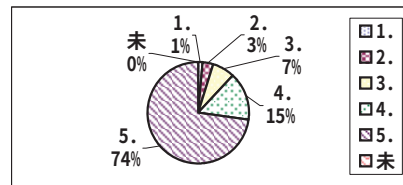
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	421名
2. 89%~70%	108名
3. 69%~50%	46名
4. 49%~30%	12名
5. 29%以下	6名
未 未記入	0名
合計	593名



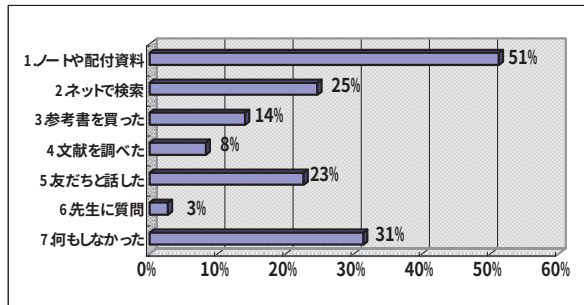
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	8名
2. 2~3時間未満	20名
3. 1~2時間未満	43名
4. 30分~1時間未満	90名
5. 30分未満	432名
未 未記入	0名
合計	593名



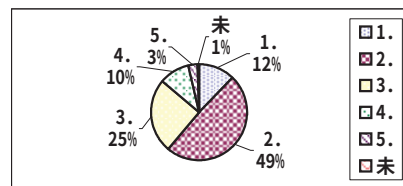
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	304名
2. インターネットで検索した	146名
3. 参考書を買って調べた	83名
4. 図書館で文献を調べた	49名
5. 友だちと話して理解するようにした	134名
6. 先生に質問した	16名
7. 何もしなかった	186名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	72名
2. ある程度意欲的	291名
3. どちらとも言えない	148名
4. あまり意欲的でない	60名
5. まったく意欲的でない	19名
未 未記入	3名
合計	593名



分野	科目
広域選択科目	社会と歴史 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1000	593	59.3%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

- (7) 授業への熱意が感じられた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 244名 |
| 4. かなりそうと言える | 217名 |
| 3. どちらとも言えない | 108名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 16名 |
| 1. いいえ | 7名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.14 |
- (8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 104名 |
| 4. かなりそうと言える | 147名 |
| 3. どちらとも言えない | 241名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 70名 |
| 1. いいえ | 30名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.38 |
- (9) 授業の準備がしっかりなされていた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 257名 |
| 4. かなりそうと言える | 201名 |
| 3. どちらとも言えない | 104名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 24名 |
| 1. いいえ | 6名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.15 |
- (10) 聞き取りやすい話し方だった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 229名 |
| 4. かなりそうと言える | 175名 |
| 3. どちらとも言えない | 94名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 57名 |
| 1. いいえ | 37名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.85 |
- (1.1) 板書・OHPなどは見やすかった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 149名 |
| 4. かなりそうと言える | 114名 |
| 3. どちらとも言えない | 146名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 125名 |
| 1. いいえ | 51名 |
| 未 未記入 | 8名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.32 |
- (1.2) シラバスの記述は適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 177名 |
| 4. かなりそうと言える | 196名 |
| 3. どちらとも言えない | 178名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 25名 |
| 1. いいえ | 14名 |
| 未 未記入 | 3名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.84 |
- (1.3) 教科書・参考書・資料などは適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 183名 |
| 4. かなりそうと言える | 211名 |
| 3. どちらとも言えない | 138名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 41名 |
| 1. いいえ | 15名 |
| 未 未記入 | 5名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.86 |

- (1.4) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 86名 |
| 4. かなりそうと言える | 153名 |
| 3. どちらとも言えない | 245名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 77名 |
| 1. いいえ | 29名 |
| 未 未記入 | 3名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.32 |
- (1.5) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 128名 |
| 4. かなりそうと言える | 179名 |
| 3. どちらとも言えない | 205名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 55名 |
| 1. いいえ | 24名 |
| 未 未記入 | 2名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.56 |
- (1.6) 授業の内容はよく理解できた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 123名 |
| 4. かなりそうと言える | 205名 |
| 3. どちらとも言えない | 167名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 70名 |
| 1. いいえ | 27名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.55 |
- IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 141名 |
| 4. かなりそうと言える | 233名 |
| 3. どちらとも言えない | 141名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 47名 |
| 1. いいえ | 20名 |
| 未 未記入 | 11名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.74 |
- (1.8) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 230名 |
| 4. かなりそうと言える | 184名 |
| 3. どちらとも言えない | 131名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 28名 |
| 1. いいえ | 11名 |
| 未 未記入 | 9名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.02 |
- (1.9) 授業の場の大きさや設備は適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 242名 |
| 4. かなりそうと言える | 169名 |
| 3. どちらとも言えない | 115名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 41名 |
| 1. いいえ | 17名 |
| 未 未記入 | 9名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.99 |
- (2.0) 受講者数は適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 242名 |
| 4. かなりそうと言える | 158名 |
| 3. どちらとも言えない | 124名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 43名 |
| 1. いいえ | 17名 |
| 未 未記入 | 9名 |
| 合計 | 593名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.97 |

教育改善のための学生アンケート

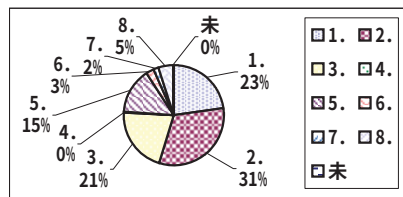
分野	科目
広域選択科目	自然と技術 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	769	346	45.0%

I.

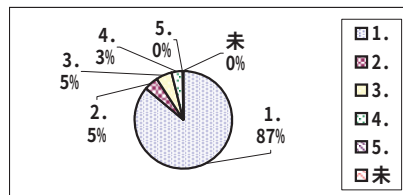
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	79名	2. 行政政策学類	110名
3. 経済経営学類	73名	4. 現代教養コース	1名
5. 共生システム理工学類	51名	6. 教育学部	9名
7. 行政社会学部	6名	8. 経済学部	16名
未 未記入	1名	合計	346名



学年 入学してからの年数)

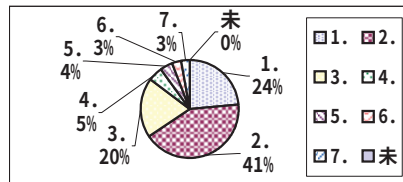
1. 1年	298名
2. 2年	16名
3. 3年	19名
4. 4年	12名
5. 5年以上	0名
未 未記入	1名
合計	346名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

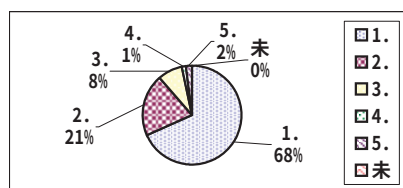
Q2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	82名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	145名
3. 単位がとり易そうだったから	68名
4. 受講し易い時間帯にあったから	16名
5. 友人や先輩に勧められたから	15名
6. クラス指定または必修だったから	10名
7. その他	10名
未 未記入	0名
合計	346名



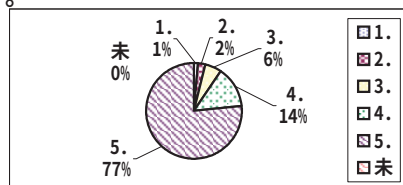
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	236名
2. 89%～70%	71名
3. 69%～50%	27名
4. 49%～30%	5名
5. 29%以下	7名
未 未記入	0名
合計	346名



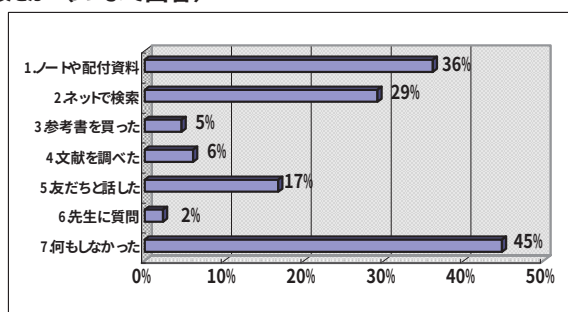
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	5名
2. 2～3時間未満	8名
3. 1～2時間未満	20名
4. 30分～1時間未満	48名
5. 30分未満	265名
未 未記入	0名
合計	346名



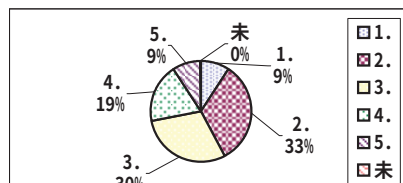
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	125名
2. インターネットで検索した	101名
3. 参考書を買って調べた	16名
4. 図書館で文献を調べた	21名
5. 友だちと話して理解するようにした	58名
6. 先生に質問した	8名
7. 何もしなかった	155名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	32名
2. ある程度意欲的	114名
3. どちらとも言えない	103名
4. あまり意欲的でない	65名
5. まったく意欲的でない	31名
未 未記入	1名
合計	346名



分野	科目
広域選択科目	自然と技術 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	769	346	45.0%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	112名
4. かなりそうと言える	116名
3. どちらとも言えない	96名
2. あまりそうとは言えない	13名
1. いいえ	9名
未 未記入	0名

合計 346名
評価ポイント平均値 3.89

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	60名
4. かなりそうと言える	59名
3. どちらとも言えない	159名
2. あまりそうとは言えない	47名
1. いいえ	21名
未 未記入	0名

合計 346名
評価ポイント平均値 3.26

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	151名
4. かなりそうと言える	113名
3. どちらとも言えない	60名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	6名
未 未記入	0名

合計 346名
評価ポイント平均値 4.12

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	106名
4. かなりそうと言える	120名
3. どちらとも言えない	82名
2. あまりそうとは言えない	27名
1. いいえ	11名
未 未記入	0名

合計 346名
評価ポイント平均値 3.82

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	86名
4. かなりそうと言える	95名
3. どちらとも言えない	83名
2. あまりそうとは言えない	55名
1. いいえ	23名
未 未記入	4名

合計 346名
評価ポイント平均値 3.49

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	97名
4. かなりそうと言える	109名
3. どちらとも言えない	102名
2. あまりそうとは言えない	24名
1. いいえ	9名
未 未記入	5名

合計 346名
評価ポイント平均値 3.77

(13) 教科書 参考書 資料などは適切であった。

5. はい	79名
4. かなりそうと言える	93名
3. どちらとも言えない	120名
2. あまりそうとは言えない	26名
1. いいえ	19名
未 未記入	9名

合計 346名
評価ポイント平均値 3.55

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	39名
4. かなりそうと言える	64名
3. どちらとも言えない	144名
2. あまりそうとは言えない	64名
1. いいえ	35名
未 未記入	0名

合計 346名
評価ポイント平均値 3.02

(15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	69名
4. かなりそうと言える	69名
3. どちらとも言えない	147名
2. あまりそうとは言えない	40名
1. いいえ	19名
未 未記入	2名

合計 346名
評価ポイント平均値 3.38

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	43名
4. かなりそうと言える	79名
3. どちらとも言えない	128名
2. あまりそうとは言えない	53名
1. いいえ	42名
未 未記入	1名

合計 346名
評価ポイント平均値 3.08

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	81名
4. かなりそうと言える	99名
3. どちらとも言えない	103名
2. あまりそうとは言えない	34名
1. いいえ	18名
未 未記入	11名

合計 346名
評価ポイント平均値 3.57

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	89名
4. かなりそうと言える	99名
3. どちらとも言えない	100名
2. あまりそうとは言えない	40名
1. いいえ	10名
未 未記入	8名

合計 346名
評価ポイント平均値 3.64

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	131名
4. かなりそうと言える	119名
3. どちらとも言えない	63名
2. あまりそうとは言えない	19名
1. いいえ	6名
未 未記入	8名

合計 346名
評価ポイント平均値 4.04

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	107名
4. かなりそうと言える	111名
3. どちらとも言えない	81名
2. あまりそうとは言えない	27名
1. いいえ	12名
未 未記入	8名

合計 346名
評価ポイント平均値 3.81

教育改善のための学生アンケート

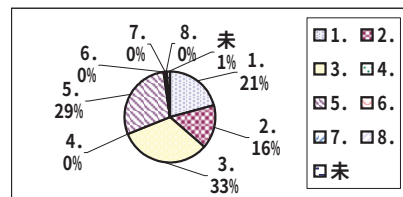
分野	科目
情報教育科目 合計	

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	312	269	86.2%

I.

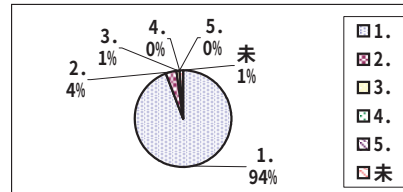
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	56名	2. 行政政策学類	42名
3. 経済経営学類	87名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	78名	6. 教育学部	1名
7. 行政社会学部	1名	8. 経済学部	1名
未 未記入	3名	合計	269名



学年 入学してからの年数)

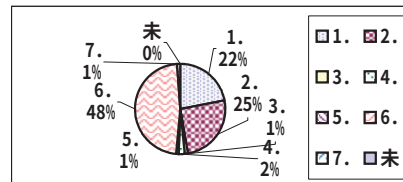
1. 1年	253名
2. 2年	10名
3. 3年	3名
4. 4年	0名
5. 5年以上	0名
未 未記入	3名
合計	269名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

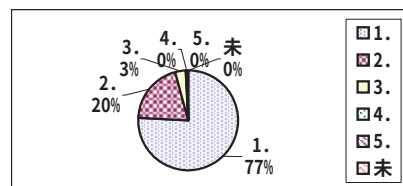
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	59名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	68名
3. 単位がとり易そうだったから	3名
4. 受講し易い時間帯にあったから	6名
5. 友人や先輩に勧められたから	2名
6. クラス指定または必修だったから	128名
7. その他	3名
未 未記入	0名
合計	269名



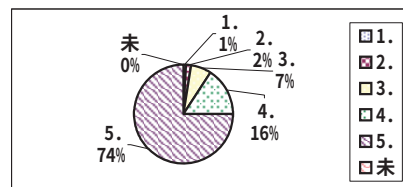
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	204名
2. 89%~70%	54名
3. 69%~50%	9名
4. 49%~30%	1名
5. 29%以下	1名
未 未記入	0名
合計	269名



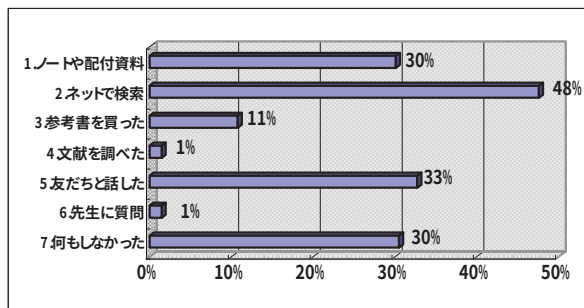
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	2名
2. 2~3時間未満	5名
3. 1~2時間未満	18名
4. 30分~1時間未満	42名
5. 30分未満	202名
未 未記入	0名
合計	269名



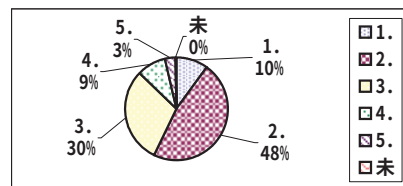
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	81名
2. インターネットで検索した	128名
3. 参考書を買って調べた	29名
4. 図書館で文献を調べた	4名
5. 友だちと話して理解するようにした	88名
6. 先生に質問した	4名
7. 何もしなかった	82名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	27名
2. ある程度意欲的	127名
3. どちらとも言えない	81名
4. あまり意欲的でない	24名
5. まったく意欲的でない	9名
未 未記入	1名
合計	269名



分野	科目
情報教育科目 合計	

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	312	269	86.2%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

- (7) 授業への熱意が感じられた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 58名 |
| 4. かなりそうと言える | 109名 |
| 3. どちらとも言えない | 86名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 13名 |
| 1. いいえ | 2名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 269名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.78 |
- (8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 31名 |
| 4. かなりそうと言える | 82名 |
| 3. どちらとも言えない | 107名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 38名 |
| 1. いいえ | 10名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 269名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.32 |
- (9) 授業の準備がしっかりなされていた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 76名 |
| 4. かなりそうと言える | 101名 |
| 3. どちらとも言えない | 73名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 16名 |
| 1. いいえ | 2名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 269名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.87 |
- (10) 聞き取りやすい話し方だった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 65名 |
| 4. かなりそうと言える | 99名 |
| 3. どちらとも言えない | 74名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 26名 |
| 1. いいえ | 4名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 269名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.73 |
- (1.1) 板書・OHPなどは見やすかった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 71名 |
| 4. かなりそうと言える | 91名 |
| 3. どちらとも言えない | 65名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 23名 |
| 1. いいえ | 2名 |
| 未 未記入 | 17名 |
| 合計 | 269名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.82 |
- (1.2) シラバスの記述は適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 57名 |
| 4. かなりそうと言える | 97名 |
| 3. どちらとも言えない | 98名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 11名 |
| 1. いいえ | 3名 |
| 未 未記入 | 3名 |
| 合計 | 269名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.73 |
- (1.3) 教科書・参考書・資料などは適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 68名 |
| 4. かなりそうと言える | 99名 |
| 3. どちらとも言えない | 90名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 6名 |
| 1. いいえ | 2名 |
| 未 未記入 | 4名 |
| 合計 | 269名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.85 |

(1.4) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	50名
4. かなりそうと言える	93名
3. どちらとも言えない	96名
2. あまりそうとは言えない	23名
1. いいえ	6名
未 未記入	1名
合計	269名
評価ポイント平均値	3.59

(1.5) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	53名
4. かなりそうと言える	88名
3. どちらとも言えない	103名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	8名
未 未記入	1名
合計	269名
評価ポイント平均値	3.60

(1.6) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	58名
4. かなりそうと言える	100名
3. どちらとも言えない	89名
2. あまりそうとは言えない	15名
1. いいえ	6名
未 未記入	1名
合計	269名
評価ポイント平均値	3.71

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	61名
4. かなりそうと言える	112名
3. どちらとも言えない	72名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	4名
未 未記入	6名
合計	269名
評価ポイント平均値	3.81

(1.8) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	88名
4. かなりそうと言える	85名
3. どちらとも言えない	65名
2. あまりそうとは言えない	23名
1. いいえ	4名
未 未記入	4名
合計	269名
評価ポイント平均値	3.87

(1.9) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	120名
4. かなりそうと言える	97名
3. どちらとも言えない	43名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	3名
未 未記入	4名
合計	269名
評価ポイント平均値	4.24

(2.0) 受講者数は適切であった。

5. はい	110名
4. かなりそうと言える	96名
3. どちらとも言えない	53名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	3名
未 未記入	4名
合計	269名
評価ポイント平均値	4.16

教育改善のための学生アンケート

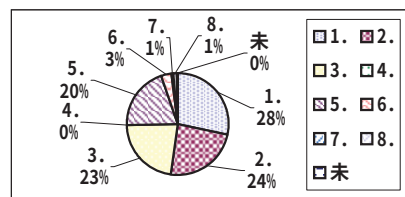
分野	科目
健康 運動科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1048	794	75.8%

I.

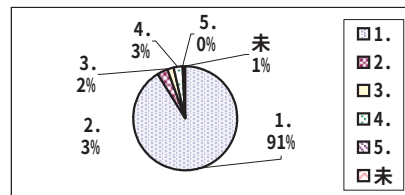
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	225名	2. 行政政策学類	189名
3. 経済経営学類	180名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	158名	6. 教育学部	27名
7. 行政社会学部	4名	8. 経済学部	8名
未 未記入	3名	合計	794名



学年 入学してからの年数)

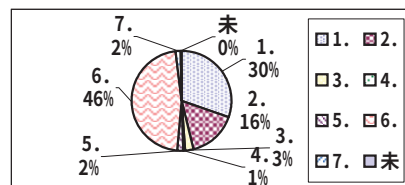
1. 1年	723名
2. 2年	27名
3. 3年	15名
4. 4年	22名
5. 5年以上	3名
未 未記入	4名
合計	794名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

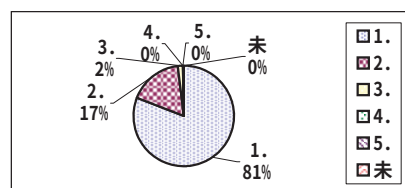
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉強面に関心があったから	241名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	125名
3. 単位がとり易そうだったから	22名
4. 受講し易い時間帯にあったから	5名
5. 友人や先輩に勧められたから	15名
6. クラス指定または必修だったから	370名
7. その他	14名
未 未記入	2名
合計	794名



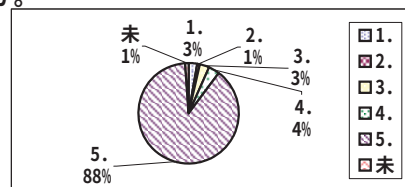
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	642名
2. 89%~70%	136名
3. 69%~50%	14名
4. 49%~30%	0名
5. 29%以下	1名
未 未記入	1名
合計	794名



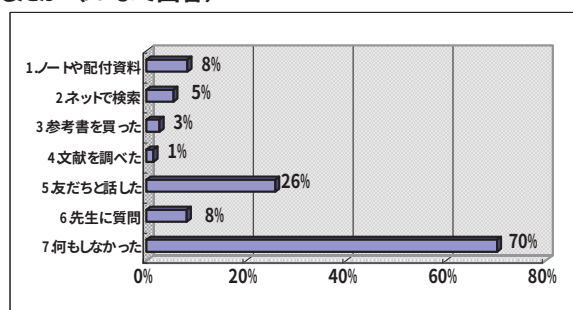
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	22名
2. 2~3時間未満	7名
3. 1~2時間未満	23名
4. 30分~1時間未満	29名
5. 30分未満	705名
未 未記入	8名
合計	794名



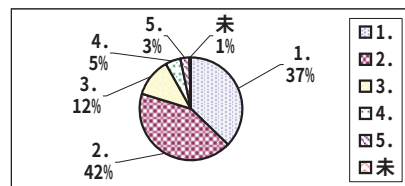
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	65名
2. インターネットで検索した	43名
3. 参考書を買って調べた	21名
4. 図書館で文献を調べた	11名
5. 友だちと話して理解するようにした	205名
6. 先生に質問した	64名
7. 何もしなかった	558名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	296名
2. ある程度意欲的	336名
3. どちらとも言えない	97名
4. あまり意欲的でない	38名
5. まったく意欲的でない	22名
未 未記入	5名
合計	794名



分野	科目
健康 運動科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1048	794	75.8%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	475名
4. かなりそうだとと言える	206名
3. どちらとも言えない	85名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	10名
未 未記入	2名

合計 794名
評価ポイント平均値 4.41

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	359名
4. かなりそうだとと言える	225名
3. どちらとも言えない	150名
2. あまりそうとは言えない	38名
1. いいえ	20名
未 未記入	2名

合計 794名
評価ポイント平均値 4.09

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	357名
4. かなりそうだとと言える	248名
3. どちらとも言えない	146名
2. あまりそうとは言えない	30名
1. いいえ	10名
未 未記入	3名

合計 794名
評価ポイント平均値 4.15

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	365名
4. かなりそうだとと言える	207名
3. どちらとも言えない	161名
2. あまりそうとは言えない	38名
1. いいえ	18名
未 未記入	5名

合計 794名
評価ポイント平均値 4.09

(11) 板書・HPなどは見やすかった。

5. はい	174名
4. かなりそうだとと言える	132名
3. どちらとも言えない	148名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	11名
未 未記入	313名

合計 794名
評価ポイント平均値 3.92

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	318名
4. かなりそうだとと言える	237名
3. どちらとも言えない	200名
2. あまりそうとは言えない	18名
1. いいえ	10名
未 未記入	11名

合計 794名
評価ポイント平均値 4.07

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	243名
4. かなりそうだとと言える	196名
3. どちらとも言えない	212名
2. あまりそうとは言えない	24名
1. いいえ	16名
未 未記入	103名

合計 794名
評価ポイント平均値 3.91

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	271名
4. かなりそうだとと言える	243名
3. どちらとも言えない	195名
2. あまりそうとは言えない	44名
1. いいえ	26名
未 未記入	15名

合計 794名
評価ポイント平均値 3.88

(15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	256名
4. かなりそうだとと言える	204名
3. どちらとも言えない	256名
2. あまりそうとは言えない	38名
1. いいえ	28名
未 未記入	12名

合計 794名
評価ポイント平均値 3.80

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	361名
4. かなりそうだとと言える	239名
3. どちらとも言えない	147名
2. あまりそうとは言えない	31名
1. いいえ	12名
未 未記入	4名

合計 794名
評価ポイント平均値 4.15

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	399名
4. かなりそうだとと言える	234名
3. どちらとも言えない	110名
2. あまりそうとは言えない	20名
1. いいえ	18名
未 未記入	13名

合計 794名
評価ポイント平均値 4.25

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	421名
4. かなりそうだとと言える	196名
3. どちらとも言えない	118名
2. あまりそうとは言えない	31名
1. いいえ	14名
未 未記入	14名

合計 794名
評価ポイント平均値 4.26

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	423名
4. かなりそうだとと言える	190名
3. どちらとも言えない	125名
2. あまりそうとは言えない	32名
1. いいえ	10名
未 未記入	14名

合計 794名
評価ポイント平均値 4.26

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	391名
4. かなりそうだとと言える	201名
3. どちらとも言えない	133名
2. あまりそうとは言えない	41名
1. いいえ	14名
未 未記入	14名

合計 794名
評価ポイント平均値 4.17

教育改善のための学生アンケート

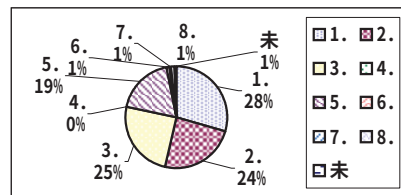
分野	科目
英語 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3615	2907	80.4%

I.

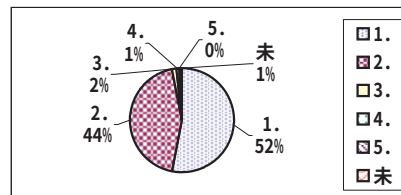
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	854名	2. 行政政策学類	705名
3. 経済経営学類	720名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	539名	6. 教育学部	22名
7. 行政社会学部	22名	8. 経済学部	30名
未 未記入	15名	合計	2907名



学年 (入学してからの年数)

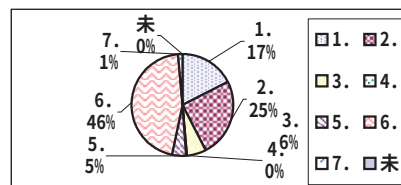
1. 1年	1542名
2. 2年	1274名
3. 3年	45名
4. 4年	18名
5. 5年以上	10名
未 未記入	18名
合計	2907名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

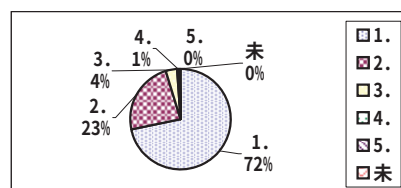
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	507名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	728名
3. 単位がとり易そうだったから	175名
4. 受講し易い時間帯にあったから	9名
5. 友人や先輩に勧められたから	131名
6. クラス指定または必修だったから	1317名
7. その他	37名
未 未記入	3名
合計	2907名



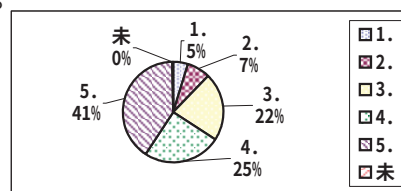
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	2086名
2. 89%~70%	683名
3. 69%~50%	106名
4. 49%~30%	15名
5. 29%以下	10名
未 未記入	7名
合計	2907名



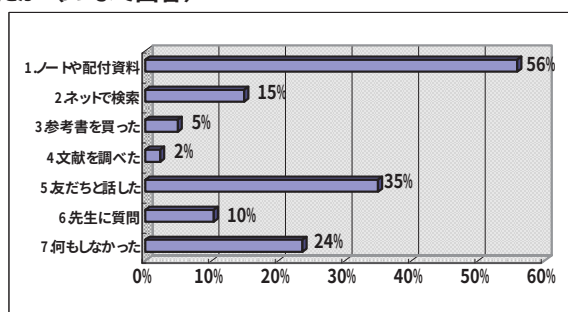
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	134名
2. 2~3時間未満	218名
3. 1~2時間未満	645名
4. 30分~1時間未満	720名
5. 30分未満	1183名
未 未記入	7名
合計	2907名



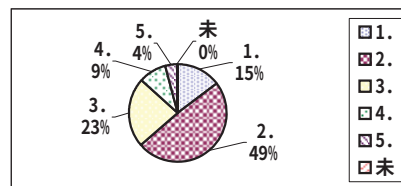
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	1625名
2. インターネットで検索した	432名
3. 参考書を買って調べた	142名
4. 図書館で文献を調べた	65名
5. 友だちと話して理解するようにした	1017名
6. 先生に質問した	299名
7. 何もなかった	687名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	432名
2. ある程度意欲的	1421名
3. どちらとも言えない	670名
4. あまり意欲的でない	259名
5. まったく意欲的でない	117名
未 未記入	8名
合計	2907名



分野	科目
英語 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3615	2907	80.4%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	1376名
4. かなりそうと言える	920名
3. どちらとも言えない	459名
2. あまりそうとは言えない	101名
1. いいえ	47名
未 未記入	4名

合計 2907名
評価ポイント平均値 4.20

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	1216名
4. かなりそうと言える	793名
3. どちらとも言えない	562名
2. あまりそうとは言えない	214名
1. いいえ	118名
未 未記入	4名

合計 2907名
評価ポイント平均値 3.96

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	1259名
4. かなりそうと言える	1001名
3. どちらとも言えない	516名
2. あまりそうとは言えない	84名
1. いいえ	44名
未 未記入	3名

合計 2907名
評価ポイント平均値 4.15

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	1261名
4. かなりそうと言える	840名
3. どちらとも言えない	536名
2. あまりそうとは言えない	155名
1. いいえ	110名
未 未記入	5名

合計 2907名
評価ポイント平均値 4.03

(11) 板書・HPなどが見やすかった。

5. はい	919名
4. かなりそうと言える	812名
3. どちらとも言えない	673名
2. あまりそうとは言えない	136名
1. いいえ	64名
未 未記入	303名

合計 2907名
評価ポイント平均値 3.92

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	1131名
4. かなりそうと言える	963名
3. どちらとも言えない	670名
2. あまりそうとは言えない	72名
1. いいえ	49名
未 未記入	22名

合計 2907名
評価ポイント平均値 4.06

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	1188名
4. かなりそうと言える	969名
3. どちらとも言えない	567名
2. あまりそうとは言えない	104名
1. いいえ	71名
未 未記入	8名

合計 2907名
評価ポイント平均値 4.07

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	1042名
4. かなりそうと言える	864名
3. どちらとも言えない	693名
2. あまりそうとは言えない	194名
1. いいえ	111名
未 未記入	3名

合計 2907名
評価ポイント平均値 3.87

(15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	939名
4. かなりそうと言える	827名
3. どちらとも言えない	873名
2. あまりそうとは言えない	149名
1. いいえ	98名
未 未記入	21名

合計 2907名
評価ポイント平均値 3.82

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	961名
4. かなりそうと言える	1093名
3. どちらとも言えない	621名
2. あまりそうとは言えない	154名
1. いいえ	71名
未 未記入	7名

合計 2907名
評価ポイント平均値 3.94

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	1188名
4. かなりそうと言える	1004名
3. どちらとも言えない	472名
2. あまりそうとは言えない	123名
1. いいえ	72名
未 未記入	48名

合計 2907名
評価ポイント平均値 4.09

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	1433名
4. かなりそうと言える	827名
3. どちらとも言えない	439名
2. あまりそうとは言えない	122名
1. いいえ	36名
未 未記入	50名

合計 2907名
評価ポイント平均値 4.22

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	1504名
4. かなりそうと言える	860名
3. どちらとも言えない	377名
2. あまりそうとは言えない	85名
1. いいえ	31名
未 未記入	50名

合計 2907名
評価ポイント平均値 4.30

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	1463名
4. かなりそうと言える	831名
3. どちらとも言えない	423名
2. あまりそうとは言えない	102名
1. いいえ	37名
未 未記入	51名

合計 2907名
評価ポイント平均値 4.25

教育改善のための学生アンケート

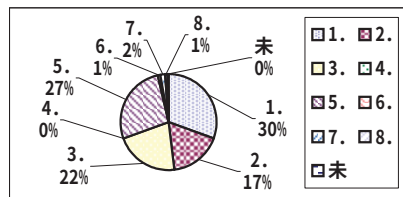
分野	科目
非英外国語	ドイツ語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	558	493	88.4%

I.

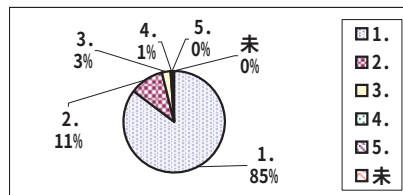
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	151名	2. 行政政策学類	86名
3. 経済経営学類	106名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	132名	6. 教育学部	4名
7. 行政社会学部	9名	8. 経済学部	3名
未 未記入	2名	合計	493名



学年 入学してからの年数)

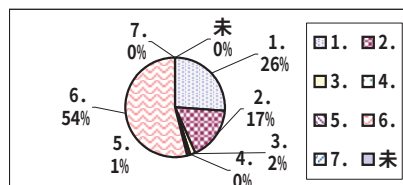
1. 1年	420名
2. 2年	54名
3. 3年	13名
4. 4年	3名
5. 5年以上	1名
未 未記入	2名
合計	493名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

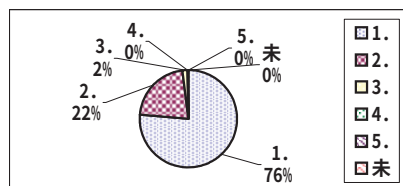
② どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	129名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	84名
3. 単位がとり易そうだったから	9名
4. 受講し易い時間帯にあったから	1名
5. 友人や先輩に勧められたから	5名
6. クラス指定または必修だったから	265名
7. その他	0名
未 未記入	0名
合計	493名



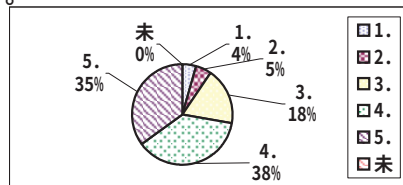
③ この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	377名
2. 89%～70%	106名
3. 69%～50%	9名
4. 49%～30%	1名
5. 29%以下	0名
未 未記入	0名
合計	493名



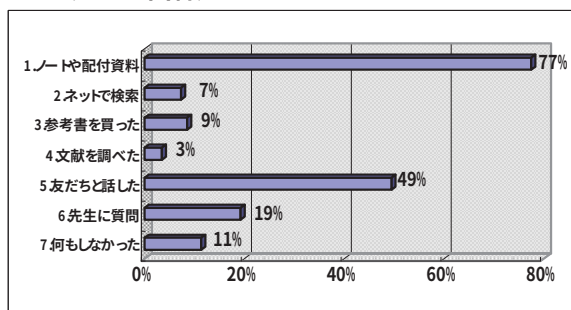
④ 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	22名
2. 2～3時間未満	24名
3. 1～2時間未満	91名
4. 30分～1時間未満	183名
5. 30分未満	173名
未 未記入	0名
合計	493名



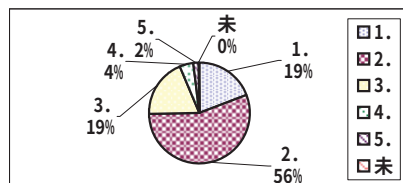
⑤ あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	382名
2. インターネットで検索した	36名
3. 参考書を買って調べた	42名
4. 図書館で文献を調べた	17名
5. 友だちと話して理解するようにした	244名
6. 先生に質問した	95名
7. 何もしなかった	56名



⑥ この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	95名
2. ある程度意欲的	274名
3. どちらとも言えない	93名
4. あまり意欲的でない	22名
5. まったく意欲的でない	8名
未 未記入	1名
合計	493名



分野	科目
非英外国語	ドイツ語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	558	493	88.4%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	268名
4. かなりそうと言える	138名
3. どちらとも言えない	76名
2. あまりそうとは言えない	10名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 493名
評価ポイント平均値 4.34

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	202名
4. かなりそうと言える	146名
3. どちらとも言えない	100名
2. あまりそうとは言えない	33名
1. いいえ	12名
未 未記入	0名

合計 493名
評価ポイント平均値 4.00

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	258名
4. かなりそうと言える	172名
3. どちらとも言えない	51名
2. あまりそうとは言えない	10名
1. いいえ	2名
未 未記入	0名

合計 493名
評価ポイント平均値 4.37

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	213名
4. かなりそうと言える	149名
3. どちらとも言えない	90名
2. あまりそうとは言えない	30名
1. いいえ	11名
未 未記入	0名

合計 493名
評価ポイント平均値 4.06

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	145名
4. かなりそうと言える	163名
3. どちらとも言えない	127名
2. あまりそうとは言えない	42名
1. いいえ	8名
未 未記入	8名

合計 493名
評価ポイント平均値 3.81

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	180名
4. かなりそうと言える	164名
3. どちらとも言えない	119名
2. あまりそうとは言えない	8名
1. いいえ	2名
未 未記入	20名

合計 493名
評価ポイント平均値 4.08

(13) 教科書 参考書 資料などは適切であった。

5. はい	205名
4. かなりそうと言える	177名
3. どちらとも言えない	90名
2. あまりそうとは言えない	17名
1. いいえ	4名
未 未記入	0名

合計 493名
評価ポイント平均値 4.14

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	208名
4. かなりそうと言える	169名
3. どちらとも言えない	85名
2. あまりそうとは言えない	26名
1. いいえ	5名
未 未記入	0名

合計 493名
評価ポイント平均値 4.11

(15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	179名
4. かなりそうと言える	174名
3. どちらとも言えない	104名
2. あまりそうとは言えない	29名
1. いいえ	7名
未 未記入	0名

合計 493名
評価ポイント平均値 3.99

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	126名
4. かなりそうと言える	221名
3. どちらとも言えない	113名
2. あまりそうとは言えない	22名
1. いいえ	11名
未 未記入	0名

合計 493名
評価ポイント平均値 3.87

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	213名
4. かなりそうと言える	187名
3. どちらとも言えない	73名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	3名
未 未記入	1名

合計 493名
評価ポイント平均値 4.20

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	279名
4. かなりそうと言える	152名
3. どちらとも言えない	51名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	0名
未 未記入	2名

合計 493名
評価ポイント平均値 4.43

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	288名
4. かなりそうと言える	146名
3. どちらとも言えない	44名
2. あまりそうとは言えない	12名
1. いいえ	1名
未 未記入	2名

合計 493名
評価ポイント平均値 4.44

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	293名
4. かなりそうと言える	149名
3. どちらとも言えない	40名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	2名
未 未記入	3名

合計 493名
評価ポイント平均値 4.48

教育改善のための学生アンケート

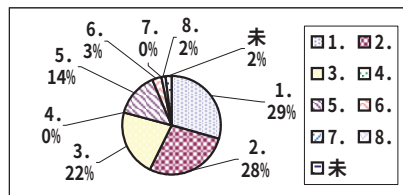
分野	科目
非英外国語	フランス語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	315	264	83.8%

I.

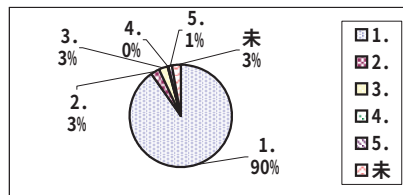
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	78名	2. 行政政策学類	73名
3. 経済経営学類	58名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	38名	6. 教育学部	8名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	4名
未 未記入	5名	合計	264名



学年 (入学してからの年数)

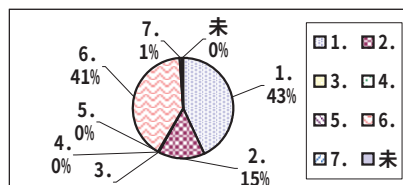
1. 1年	238名
2. 2年	8名
3. 3年	7名
4. 4年	1名
5. 5年以上	3名
未 未記入	7名
合計	264名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

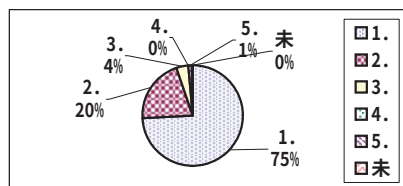
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	114名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	39名
3. 単位がとり易そうだったから	0名
4. 受講し易い時間帯にあったから	0名
5. 友人や先輩に勧められたから	1名
6. クラス指定または必修だったから	107名
7. その他	2名
未 未記入	1名
合計	264名



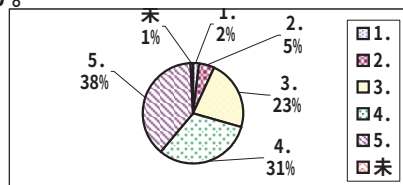
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	196名
2. 89%~70%	54名
3. 69%~50%	10名
4. 49%~30%	0名
5. 29%以下	3名
未 未記入	1名
合計	264名



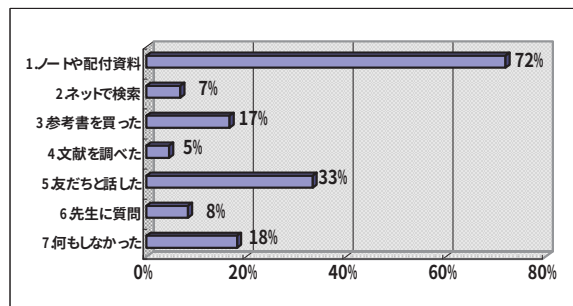
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	5名
2. 2~3時間未満	13名
3. 1~2時間未満	60名
4. 30分~1時間未満	83名
5. 30分未満	101名
未 未記入	2名
合計	264名



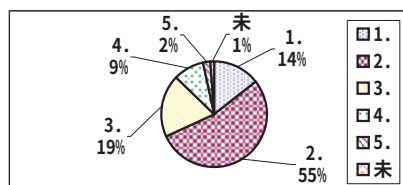
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	190名
2. インターネットで検索した	18名
3. 参考書を買って調べた	44名
4. 図書館で文献を調べた	12名
5. 友だちと話して理解するようにした	88名
6. 先生に質問した	22名
7. 何もしなかった	48名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	38名
2. ある程度意欲的	142名
3. どちらとも言えない	50名
4. あまり意欲的でない	25名
5. まったく意欲的でない	6名
未 未記入	3名
合計	264名



分野	科目
非英外国語	フランス語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	315	264	83.8%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	97名
4. かなりそうだとと言える	89名
3. どちらとも言えない	61名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 264名
評価ポイント平均値 4.00

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	76名
4. かなりそうだとと言える	89名
3. どちらとも言えない	74名
2. あまりそうとは言えない	22名
1. いいえ	3名
未 未記入	0名

合計 264名
評価ポイント平均値 3.81

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	108名
4. かなりそうだとと言える	96名
3. どちらとも言えない	53名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	0名
未 未記入	1名

合計 264名
評価ポイント平均値 4.16

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	118名
4. かなりそうだとと言える	71名
3. どちらとも言えない	50名
2. あまりそうとは言えない	18名
1. いいえ	7名
未 未記入	0名

合計 264名
評価ポイント平均値 4.04

(11) 板書・HPなどは見やすかった。

5. はい	105名
4. かなりそうだとと言える	81名
3. どちらとも言えない	62名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	1名
未 未記入	6名

合計 264名
評価ポイント平均値 4.09

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	87名
4. かなりそうだとと言える	103名
3. どちらとも言えない	69名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	0名
未 未記入	2名

合計 264名
評価ポイント平均値 4.05

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	99名
4. かなりそうだとと言える	98名
3. どちらとも言えない	56名
2. あまりそうとは言えない	10名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 264名
評価ポイント平均値 4.08

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	73名
4. かなりそうだとと言える	83名
3. どちらとも言えない	89名
2. あまりそうとは言えない	18名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 264名
評価ポイント平均値 3.79

(15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	61名
4. かなりそうだとと言える	77名
3. どちらとも言えない	105名
2. あまりそうとは言えない	14名
1. いいえ	5名
未 未記入	2名

合計 264名
評価ポイント平均値 3.67

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	58名
4. かなりそうだとと言える	107名
3. どちらとも言えない	82名
2. あまりそうとは言えない	16名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 264名
評価ポイント平均値 3.78

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	85名
4. かなりそうだとと言える	109名
3. どちらとも言えない	52名
2. あまりそうとは言えない	8名
1. いいえ	4名
未 未記入	6名

合計 264名
評価ポイント平均値 4.02

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	131名
4. かなりそうだとと言える	87名
3. どちらとも言えない	38名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	0名
未 未記入	3名

合計 264名
評価ポイント平均値 4.32

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	143名
4. かなりそうだとと言える	79名
3. どちらとも言えない	34名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	0名
未 未記入	3名

合計 264名
評価ポイント平均値 4.38

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	135名
4. かなりそうだとと言える	95名
3. どちらとも言えない	26名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	0名
未 未記入	3名

合計 264名
評価ポイント平均値 4.38

教育改善のための学生アンケート

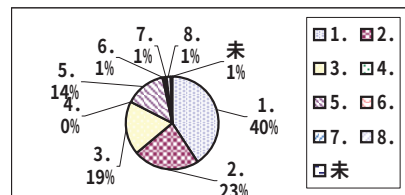
分野	科目
非英外国語	中国語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	814	662	81.3%

I.

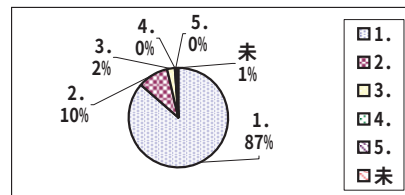
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	270名	2. 行政政策学類	153名
3. 経済経営学類	123名	4. 現代教養コース	1名
5. 共生システム理工学類	93名	6. 教育学部	5名
7. 行政社会学部	4名	8. 経済学部	9名
未 未記入	4名	合計	662名



学年 入学してからの年数)

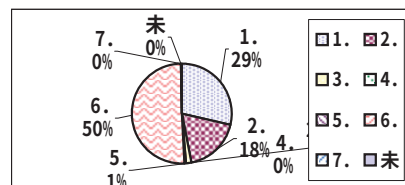
1. 1年	571名
2. 2年	67名
3. 3年	16名
4. 4年	2名
5. 5年以上	2名
未 未記入	4名
合計	662名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

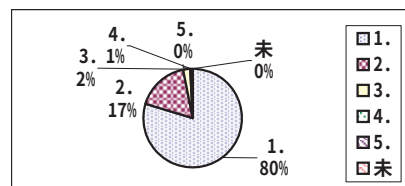
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	189名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	121名
3. 単位がとり易そうだったから	11名
4. 受講し易い時間帯にあったから	0名
5. 友人や先輩に勧められたから	5名
6. クラス指定または必修だったから	334名
7. その他	1名
未 未記入	1名
合計	662名



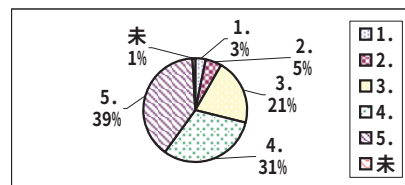
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	528名
2. 89%～70%	114名
3. 69%～50%	14名
4. 49%～30%	4名
5. 29%以下	1名
未 未記入	1名
合計	662名



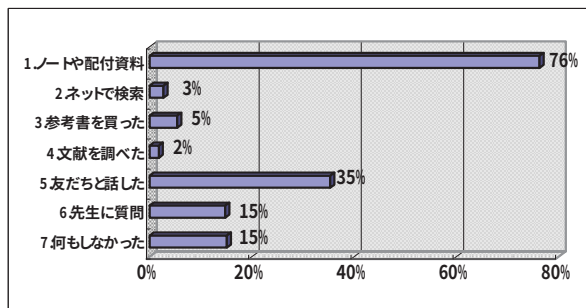
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	22名
2. 2～3時間未満	33名
3. 1～2時間未満	137名
4. 30分～1時間未満	206名
5. 30分未満	258名
未 未記入	6名
合計	662名



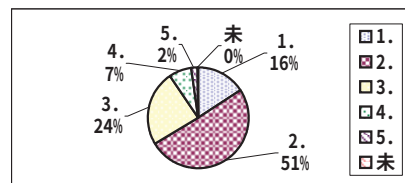
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	505名
2. インターネットで検索した	18名
3. 参考書を買って調べた	36名
4. 図書館で文献を調べた	12名
5. 友だちと話して理解するようにした	234名
6. 先生に質問した	98名
7. 何もしなかった	100名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	104名
2. ある程度意欲的	335名
3. どちらとも言えない	161名
4. あまり意欲的でない	47名
5. まったく意欲的でない	14名
未 未記入	1名
合計	662名



分野	科目
非英外国語	中国語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	814	662	81.3%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

- (7) 授業への熱意が感じられた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 257名 |
| 4. かなりそうと言える | 240名 |
| 3. どちらとも言えない | 121名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 33名 |
| 1. いいえ | 10名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.06 |
- (8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 194名 |
| 4. かなりそうと言える | 204名 |
| 3. どちらとも言えない | 182名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 62名 |
| 1. いいえ | 19名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.74 |
- (9) 授業の準備がしっかりなされていた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 259名 |
| 4. かなりそうと言える | 254名 |
| 3. どちらとも言えない | 131名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 14名 |
| 1. いいえ | 3名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.14 |
- (10) 聞き取りやすい話し方だった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 257名 |
| 4. かなりそうと言える | 232名 |
| 3. どちらとも言えない | 132名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 30名 |
| 1. いいえ | 10名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.05 |
- (1.1) 板書・OHPなどは見やすかった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 208名 |
| 4. かなりそうと言える | 212名 |
| 3. どちらとも言えない | 173名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 48名 |
| 1. いいえ | 8名 |
| 未 未記入 | 13名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.87 |
- (1.2) シラバスの記述は適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 238名 |
| 4. かなりそうと言える | 232名 |
| 3. どちらとも言えない | 168名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 13名 |
| 1. いいえ | 3名 |
| 未 未記入 | 8名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.05 |
- (1.3) 教科書・参考書・資料などは適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 224名 |
| 4. かなりそうと言える | 218名 |
| 3. どちらとも言えない | 141名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 58名 |
| 1. いいえ | 20名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.86 |

- (1.4) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 203名 |
| 4. かなりそうと言える | 213名 |
| 3. どちらとも言えない | 170名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 62名 |
| 1. いいえ | 12名 |
| 未 未記入 | 2名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.81 |
- (1.5) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 175名 |
| 4. かなりそうと言える | 196名 |
| 3. どちらとも言えない | 227名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 42名 |
| 1. いいえ | 16名 |
| 未 未記入 | 6名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.72 |
- (1.6) 授業の内容はよく理解できた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 149名 |
| 4. かなりそうと言える | 253名 |
| 3. どちらとも言えない | 194名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 53名 |
| 1. いいえ | 12名 |
| 未 未記入 | 1名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.72 |
- IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 224名 |
| 4. かなりそうと言える | 261名 |
| 3. どちらとも言えない | 128名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 32名 |
| 1. いいえ | 10名 |
| 未 未記入 | 7名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.00 |
- (1.8) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 325名 |
| 4. かなりそうと言える | 212名 |
| 3. どちらとも言えない | 96名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 19名 |
| 1. いいえ | 5名 |
| 未 未記入 | 5名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.27 |
- (1.9) 授業の場の大きさや設備は適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 357名 |
| 4. かなりそうと言える | 200名 |
| 3. どちらとも言えない | 83名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 9名 |
| 1. いいえ | 8名 |
| 未 未記入 | 5名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.35 |
- (2.0) 受講者数は適切であった。
- | | |
|----------------|------|
| 5. はい | 371名 |
| 4. かなりそうと言える | 198名 |
| 3. どちらとも言えない | 79名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 7名 |
| 1. いいえ | 2名 |
| 未 未記入 | 5名 |
| 合計 | 662名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.41 |

教育改善のための学生アンケート

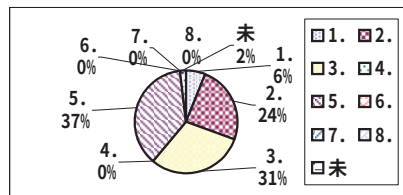
分野	科目
非英外国語	ロシア語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	100	98	98.0%

I.

① 学部

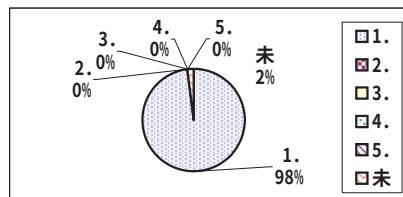
1. 人間発達文化学類	6名	2. 行政政策学類	24名
3. 経済経営学類	30名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	36名	6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	0名
未 未記入	2名	合計	98名



学年 入学してからの年数)

1. 1年	96名
2. 2年	0名
3. 3年	0名
4. 4年	0名
5. 5年以上	0名
未 未記入	2名

合計 98名

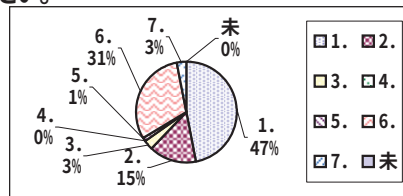


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

② どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面に関心があつたから	46名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	15名
3. 単位がとり易そうだったから	3名
4. 受講し易い時間帯にあつたから	0名
5. 友人や先輩に勧められたから	1名
6. クラス指定または必修だったから	30名
7. その他	3名
未 未記入	0名

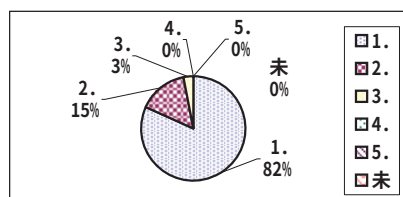
合計 98名



③ この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	80名
2. 89%～70%	15名
3. 69%～50%	3名
4. 49%～30%	0名
5. 29%以下	0名
未 未記入	0名

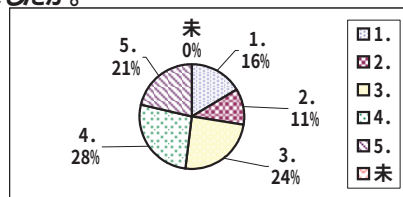
合計 98名



④ 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習 復習しましたか。

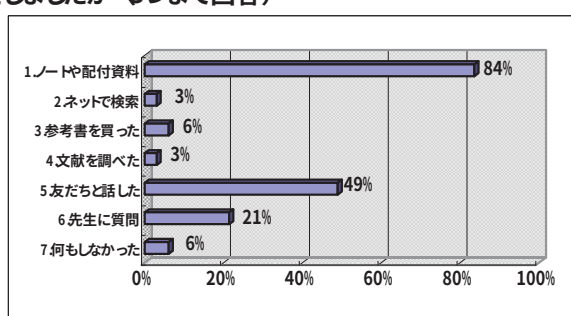
1. 3時間以上	16名
2. 2～3時間未満	11名
3. 1～2時間未満	24名
4. 30分～1時間未満	26名
5. 30分未満	21名
未 未記入	0名

合計 98名



⑤ あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

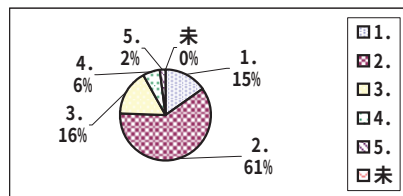
1. ノートや配付資料を復習した	82名
2. インターネットで検索した	3名
3. 参考書を買って調べた	6名
4. 図書館で文献を調べた	3名
5. 友だちと話して理解するようにした	48名
6. 先生に質問した	21名
7. 何もしなかった	6名



⑥ この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	15名
2. ある程度意欲的	59名
3. どちらとも言えない	16名
4. あまり意欲的でない	6名
5. まったく意欲的でない	2名
未 未記入	0名

合計 98名



分野	科目
非英外国語	ロシア語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	100	98	98.0%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	56名
4. かなりそうだとと言える	28名
3. どちらとも言えない	12名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	2名
未 未記入	0名

合計 98名
評価ポイント平均値 4.39

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた

5. はい	39名
4. かなりそうだとと言える	25名
3. どちらとも言えない	21名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	4名
未 未記入	0名

合計 98名
評価ポイント平均値 3.88

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	50名
4. かなりそうだとと言える	27名
3. どちらとも言えない	16名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	2名
未 未記入	0名

合計 98名
評価ポイント平均値 4.22

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	43名
4. かなりそうだとと言える	26名
3. どちらとも言えない	21名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	3名
未 未記入	0名

合計 98名
評価ポイント平均値 4.03

(11) 板書・OHPなどが見やすかった。

5. はい	27名
4. かなりそうだとと言える	27名
3. どちらとも言えない	28名
2. あまりそうとは言えない	12名
1. いいえ	4名
未 未記入	0名

合計 98名
評価ポイント平均値 3.62

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	39名
4. かなりそうだとと言える	26名
3. どちらとも言えない	29名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 98名
評価ポイント平均値 4.01

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	46名
4. かなりそうだとと言える	31名
3. どちらとも言えない	18名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	3名
未 未記入	0名

合計 98名
評価ポイント平均値 4.19

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	37名
4. かなりそうだとと言える	35名
3. どちらとも言えない	19名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 98名
評価ポイント平均値 4.03

(15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	38名
4. かなりそうだとと言える	25名
3. どちらとも言えない	31名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	2名
未 未記入	0名

合計 98名
評価ポイント平均値 3.97

(16) 授業の内容がよく理解できた。

5. はい	26名
4. かなりそうだとと言える	43名
3. どちらとも言えない	21名
2. あまりそうとは言えない	6名
1. いいえ	2名
未 未記入	0名

合計 98名
評価ポイント平均値 3.87

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	35名
4. かなりそうだとと言える	35名
3. どちらとも言えない	22名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	3名
未 未記入	1名

合計 98名
評価ポイント平均値 4.00

(18) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	46名
4. かなりそうだとと言える	31名
3. どちらとも言えない	16名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	2名
未 未記入	1名

合計 98名
評価ポイント平均値 4.21

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	54名
4. かなりそうだとと言える	27名
3. どちらとも言えない	12名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	1名
未 未記入	1名

合計 98名
評価ポイント平均値 4.34

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	53名
4. かなりそうだとと言える	30名
3. どちらとも言えない	13名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	1名
未 未記入	1名

合計 98名
評価ポイント平均値 4.38

教育改善のための学生アンケート

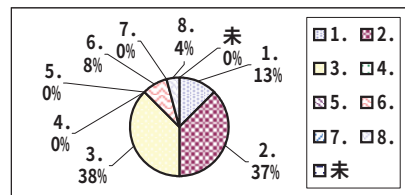
分野	科目
非英外国語	スペイン語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	58	24	41.4%

I.

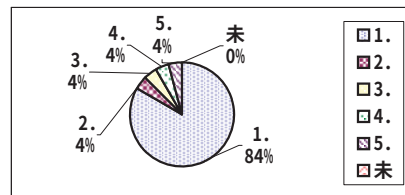
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	3名	2. 行政政策学類	9名
3. 経済経営学類	9名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	0名	6. 教育学部	2名
7. 行政社会学部	0名	8. 経済学部	1名
未 未記入	0名	合計	24名



学年 (入学してからの年数)

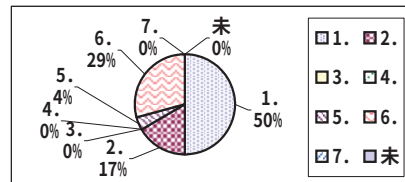
1. 1年	20名
2. 2年	1名
3. 3年	1名
4. 4年	1名
5. 5年以上	1名
未 未記入	0名
合計	24名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

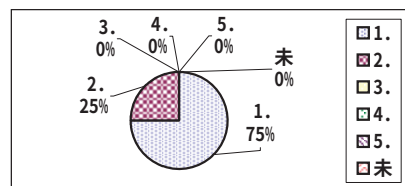
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉強面に関心があったから	12名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	4名
3. 単位がとり易そうだったから	0名
4. 受講し易い時間帯にあったから	0名
5. 友人や先輩に勧められたから	1名
6. クラス指定または必修だったから	7名
7. その他	0名
未 未記入	0名
合計	24名



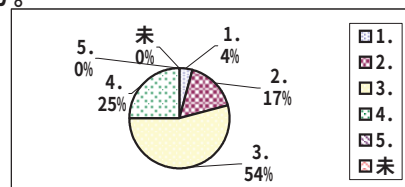
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	18名
2. 89%~70%	6名
3. 69%~50%	0名
4. 49%~30%	0名
5. 29%以下	0名
未 未記入	0名
合計	24名



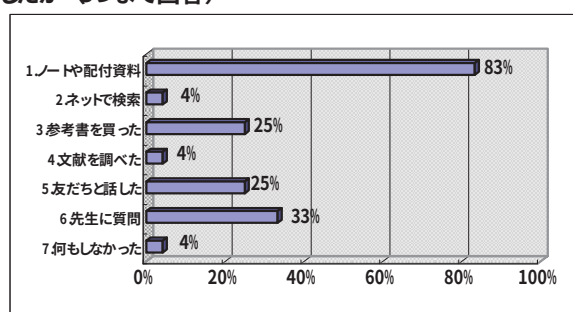
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	1名
2. 2~3時間未満	4名
3. 1~2時間未満	13名
4. 30分~1時間未満	6名
5. 30分未満	0名
未 未記入	0名
合計	24名



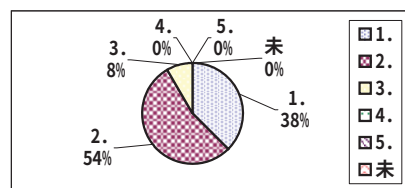
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	20名
2. インターネットで検索した	1名
3. 参考書を買って調べた	6名
4. 図書館で文献を調べた	1名
5. 友だちと話して理解しようとした	6名
6. 先生に質問した	8名
7. 何もしなかった	1名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	9名
2. ある程度意欲的	13名
3. どちらとも言えない	2名
4. あまり意欲的でない	0名
5. まったく意欲的でない	0名
未 未記入	0名
合計	24名



分野	科目
非英外国語	スペイン語 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	58	24	41.4%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	17名
4. かなりそうだとと言える	5名
3. どちらとも言えない	2名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.63

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	10名
4. かなりそうだとと言える	8名
3. どちらとも言えない	6名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.17

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	16名
4. かなりそうだとと言える	7名
3. どちらとも言えない	1名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.63

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	16名
4. かなりそうだとと言える	2名
3. どちらとも言えない	5名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.33

(11) 板書・HPなどは見やすかった。

5. はい	12名
4. かなりそうだとと言える	6名
3. どちらとも言えない	5名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.21

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	13名
4. かなりそうだとと言える	6名
3. どちらとも言えない	5名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.33

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	10名
4. かなりそうだとと言える	7名
3. どちらとも言えない	7名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.13

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	5名
4. かなりそうだとと言える	11名
3. どちらとも言えない	5名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	1名
未 未記入	0名

合計 24名
評価ポイント平均値 3.71

(15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	8名
4. かなりそうだとと言える	9名
3. どちらとも言えない	6名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.00

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	11名
4. かなりそうだとと言える	8名
3. どちらとも言えない	5名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	0名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.25

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	11名
4. かなりそうだとと言える	9名
3. どちらとも言えない	3名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	1名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.35

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	12名
4. かなりそうだとと言える	10名
3. どちらとも言えない	1名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	1名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.48

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	12名
4. かなりそうだとと言える	9名
3. どちらとも言えない	1名
2. あまりそうとは言えない	1名
1. いいえ	0名
未 未記入	1名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.39

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	12名
4. かなりそうだとと言える	10名
3. どちらとも言えない	1名
2. あまりそうとは言えない	0名
1. いいえ	0名
未 未記入	1名

合計 24名
評価ポイント平均値 4.48

教育改善のための学生アンケート

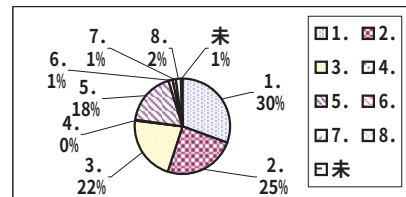
分野
共通教育科目 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	10682	7830	73.3%

I.

(1) 学部

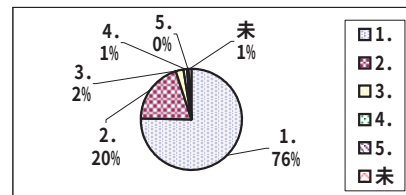
1. 人間発達文化学類	2382名	2. 行政政策学類	1925名
3. 経済経営学類	1707名	4. 現代教養コース	25名
5. 共生システム理工学類	1420名	6. 教育学部	107名
7. 行政社会学部	85名	8. 経済学部	125名
未 未記入	54名	合計	7830名



学年 入学してからの年数)

1. 1年	5885名
2. 2年	1559名
3. 3年	185名
4. 4年	101名
5. 5年以上	38名
未 未記入	62名

合計 7830名

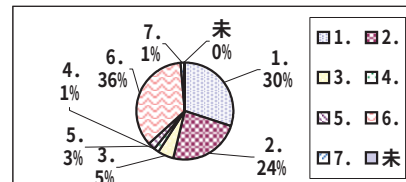


II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面に関心があったから	2347名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1881名
3. 単位がとり易そうだったから	415名
4. 受講し易い時間帯にあったから	113名
5. 友人や先輩に勧められたから	212名
6. クラス指定または必修だったから	2757名
7. その他	94名
未 未記入	11名

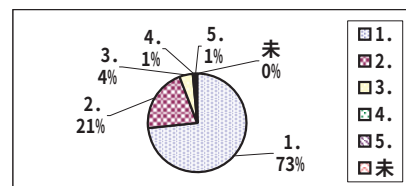
合計 7830名



(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	5737名
2. 89%~70%	1647名
3. 69%~50%	330名
4. 49%~30%	61名
5. 29%以下	44名
未 未記入	11名

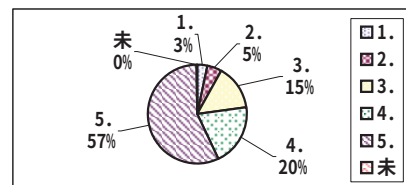
合計 7830名



(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習 復習しましたか。

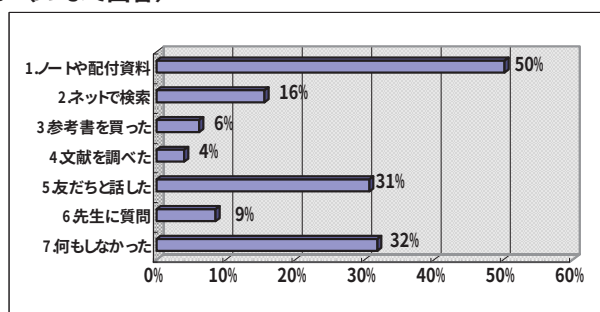
1. 3時間以上	263名
2. 2~3時間未満	365名
3. 1~2時間未満	1158名
4. 30分~1時間未満	1581名
5. 30分未満	4433名
未 未記入	30名

合計 7830名



(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

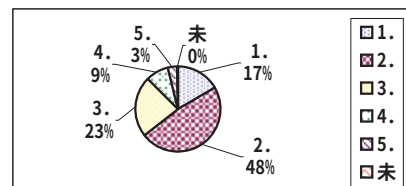
1. ノートや配付資料を復習した	3929名
2. インターネットで検索した	1221名
3. 参考書を買って調べた	483名
4. 図書館で文献を調べた	314名
5. 友だちと話して理解するようにした	2403名
6. 先生に質問した	667名
7. 何もしなかった	2494名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	1304名
2. ある程度意欲的	3751名
3. どちらとも言えない	1789名
4. あまり意欲的でない	690名
5. まったく意欲的でない	269名
未 未記入	27名

合計 7830名



分野
共通教育科目 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	10682	7830	73.3%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	3401名
4. かなりそうだとと言える	2603名
3. どちらとも言えない	1452名
2. あまりそうとは言えない	257名
1. いいえ	105名
未 未記入	12名

合計 7830名
評価ポイント平均値 4.14

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	2534名
4. かなりそうだとと言える	2148名
3. どちらとも言えない	2169名
2. あまりそうとは言えない	690名
1. いいえ	277名
未 未記入	12名

合計 7830名
評価ポイント平均値 3.76

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	3314名
4. かなりそうだとと言える	2725名
3. どちらとも言えない	1438名
2. あまりそうとは言えない	255名
1. いいえ	85名
未 未記入	13名

合計 7830名
評価ポイント平均値 4.14

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	3094名
4. かなりそうだとと言える	2346名
3. どちらとも言えない	1629名
2. あまりそうとは言えない	491名
1. いいえ	251名
未 未記入	19名

合計 7830名
評価ポイント平均値 3.97

(1.1) 板書・HPなどは見やすかった。

5. はい	2271名
4. かなりそうだとと言える	2175名
3. どちらとも言えない	1884名
2. あまりそうとは言えない	582名
1. いいえ	207名
未 未記入	711名

合計 7830名
評価ポイント平均値 3.80

(1.2) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	2751名
4. かなりそうだとと言える	2628名
3. どちらとも言えない	2020名
2. あまりそうとは言えない	231名
1. いいえ	115名
未 未記入	85名

合計 7830名
評価ポイント平均値 3.99

(1.3) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	2724名
4. かなりそうだとと言える	2581名
3. どちらとも言えない	1853名
2. あまりそうとは言えない	348名
1. いいえ	173名
未 未記入	151名

合計 7830名
評価ポイント平均値 3.96

(1.4) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	2238名
4. かなりそうだとと言える	2272名
3. どちらとも言えない	2350名
2. あまりそうとは言えない	668名
1. いいえ	275名
未 未記入	27名

合計 7830名
評価ポイント平均値 3.71

(1.5) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	2156名
4. かなりそうだとと言える	2185名
3. どちらとも言えない	2667名
2. あまりそうとは言えない	526名
1. いいえ	243名
未 未記入	53名

合計 7830名
評価ポイント平均値 3.71

(1.6) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	2214名
4. かなりそうだとと言える	2876名
3. どちらとも言えない	2004名
2. あまりそうとは言えない	506名
1. いいえ	211名
未 未記入	19名

合計 7830名
評価ポイント平均値 3.82

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	2796名
4. かなりそうだとと言える	2856名
3. どちらとも言えない	1522名
2. あまりそうとは言えない	352名
1. いいえ	176名
未 未記入	128名

合計 7830名
評価ポイント平均値 4.01

(1.8) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	3613名
4. かなりそうだとと言える	2353名
3. どちらとも言えない	1321名
2. あまりそうとは言えない	326名
1. いいえ	97名
未 未記入	120名

合計 7830名
評価ポイント平均値 4.17

(1.9) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	3892名
4. かなりそうだとと言える	2334名
3. どちらとも言えない	1146名
2. あまりそうとは言えない	245名
1. いいえ	93名
未 未記入	120名

合計 7830名
評価ポイント平均値 4.26

(2.0) 受講者数は適切であった。

5. はい	3753名
4. かなりそうだとと言える	2311名
3. どちらとも言えない	1254名
2. あまりそうとは言えない	280名
1. いいえ	107名
未 未記入	125名

合計 7830名
評価ポイント平均値 4.21

教育改善のための学生アンケート 簡易版

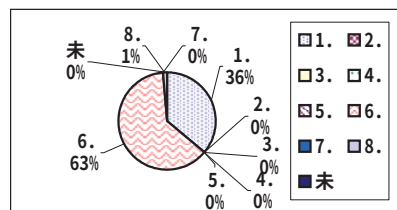
学類
人間発達文化学類 簡易版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	367	276	75.2%

I.

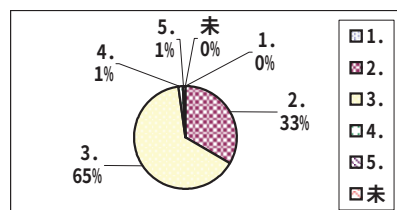
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	100名
2. 行政政策学類	0名
3. 経済経営学類	0名
4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	0名
6. 教育学部	172名
7. 行政社会学部	0名
8. 経済学部	4名
未 未記入	0名
合計	276名



(2) 学年 (入学からの年数)

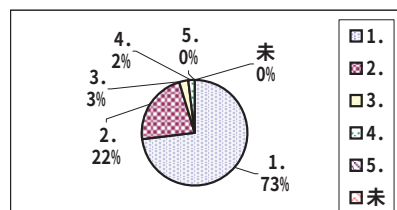
1. 1年	0名
2. 2年	92名
3. 3年	178名
4. 4年	4名
5. 5年以上	2名
未 未記入	0名
合計	276名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

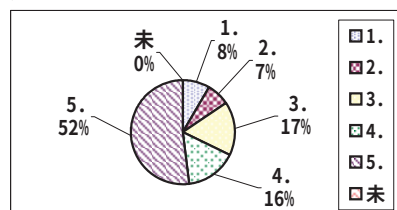
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	202名
2. 89%～70%	61名
3. 69%～50%	8名
4. 49%～30%	5名
5. 29%以下	0名
未 未記入	0名
合計	276名



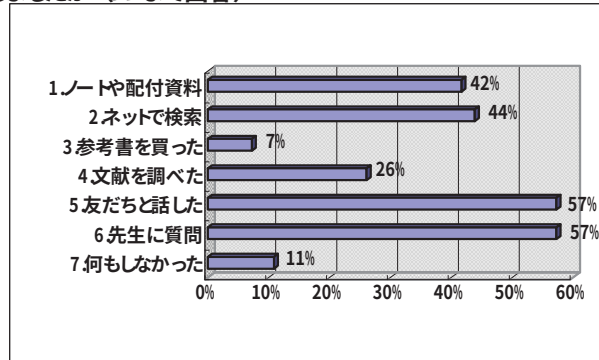
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	23名
2. 2～3時間未満	20名
3. 1～2時間未満	46名
4. 30分～1時間未満	44名
5. 30分未満	143名
未 未記入	0名
合計	276名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	115名
2. インターネットで検索した	121名
3. 参考書を買って調べた	20名
4. 図書館で文献を調べた	72名
5. 友だちと話して理解しようとした	158名
6. 先生に質問した	68名
7. 何もしなかった	30名



学類
人間発達文化学類 簡易版合計

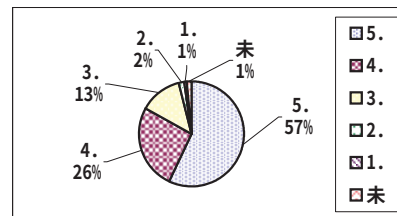
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	367	276	75.2%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

6) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

観点 授業の準備、授業への熱意、学生への対応等)

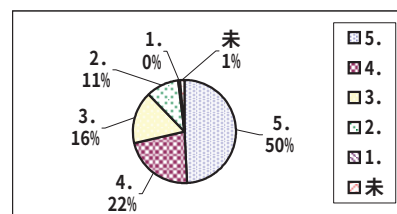
5. はい	157名
4. かなりそうと言える	72名
3. どちらとも言えない	36名
2. あまりそうとは言えない	5名
1. いいえ	2名
未 未記入	4名
合計	276名
評価ポイント平均値	4.39



6) 教育の方法は適切でしたか。

観点 わかりやすい説明、話し方、声の大きさ、質問への対応、板書の仕方、視聴覚機器の活用、発表、討論の機会、シラバスの記述内容等)

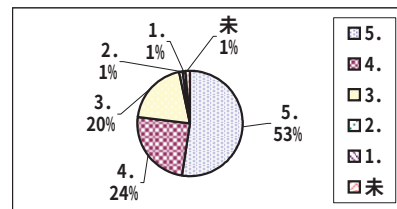
5. はい	136名
4. かなりそうと言える	61名
3. どちらとも言えない	45名
2. あまりそうとは言えない	29名
1. いいえ	1名
未 未記入	4名
合計	276名
評価ポイント平均値	4.11



7) 教育の内容は適切でしたか。

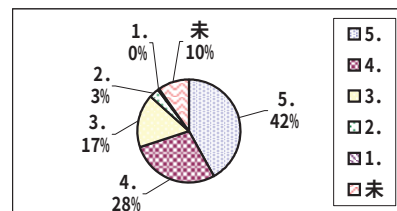
観点 魅力あるトピック、教材、教科書の適切性、参考文献の提示、授業の進度、シラバスに記述された目標の達成度

5. はい	145名
4. かなりそうと言える	67名
3. どちらとも言えない	55名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	2名
未 未記入	4名
合計	276名
評価ポイント平均値	4.29



IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	116名
4. かなりそうと言える	77名
3. どちらとも言えない	46名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	1名
未 未記入	27名
合計	276名
評価ポイント平均値	4.20



教育改善のための学生アンケート

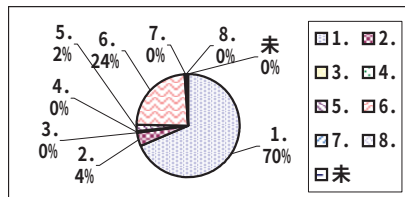
学類
人間発達文化学類 フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	6515	3809	58.5%

I.

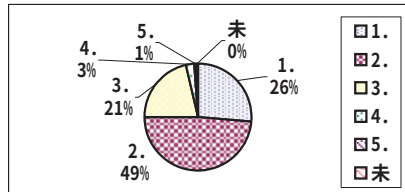
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	2617名	2. 行政政策学類	160名
3. 経済経営学類	10名	4. 現代教養コース	5名
5. 共生システム理工学類	73名	6. 教育学部	900名
7. 行政社会学部	18名	8. 経済学部	7名
未 未記入	19名	合計	3809名



学年 入学してからの年数)

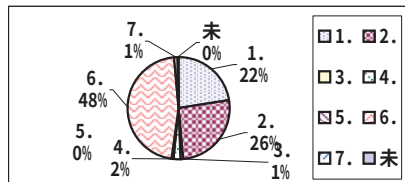
1. 1年	1006名
2. 2年	1846名
3. 3年	818名
4. 4年	100名
5. 5年以上	20名
未 未記入	19名
合計	3809名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

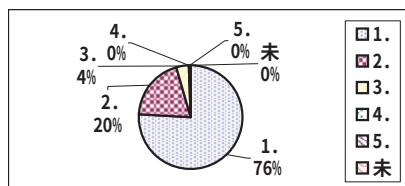
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	852名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1003名
3. 単位がとり易そうだったから	27名
4. 受講し易い時間帯にあったから	90名
5. 友人や先輩に勧められたから	15名
6. クラス指定または必修だったから	1774名
7. その他	40名
未 未記入	8名
合計	3809名



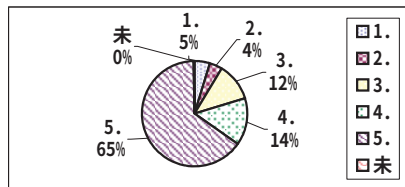
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	2884名
2. 89%~70%	761名
3. 69%~50%	138名
4. 49%~30%	14名
5. 29%以下	9名
未 未記入	3名
合計	3809名



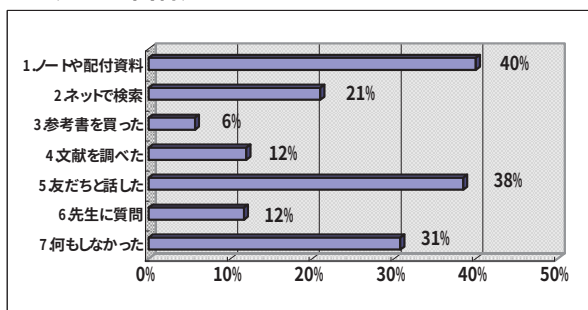
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	176名
2. 2~3時間未満	157名
3. 1~2時間未満	441名
4. 30分~1時間未満	544名
5. 30分未満	2477名
未 未記入	14名
合計	3809名



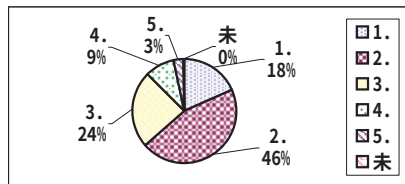
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	1524名
2. インターネットで検索した	800名
3. 参考書を買って調べた	216名
4. 図書館で文献を調べた	455名
5. 友だちと話して理解するようにした	1465名
6. 先生に質問した	444名
7. 何もなかった	1172名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	694名
2. ある程度意欲的	1731名
3. どちらとも言えない	913名
4. あまり意欲的でない	347名
5. まったく意欲的でない	112名
未 未記入	12名
合計	3809名



学類
人間発達文化学類 フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	6515	3809	58.5%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

- (7) 授業への熱意が感じられた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1705名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 1304名 |
| 3. どちらとも言えない | 655名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 96名 |
| 1. いいえ | 45名 |
| 未 未記入 | 4名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.19 |
- (8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1168名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 1086名 |
| 3. どちらとも言えない | 1030名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 379名 |
| 1. いいえ | 142名 |
| 未 未記入 | 4名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.73 |
- (9) 授業の準備がしっかりなされていた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1660名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 1280名 |
| 3. どちらとも言えない | 676名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 137名 |
| 1. いいえ | 51名 |
| 未 未記入 | 5名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.15 |
- (10) 聞き取りやすい話し方だった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1486名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 1132名 |
| 3. どちらとも言えない | 858名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 223名 |
| 1. いいえ | 103名 |
| 未 未記入 | 7名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.97 |
- (1.1) 板書・OHPなどは見やすかった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 969名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 928名 |
| 3. どちらとも言えない | 915名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 277名 |
| 1. いいえ | 125名 |
| 未 未記入 | 595名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.73 |
- (1.2) シラバスの記述は適切であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1279名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 1212名 |
| 3. どちらとも言えない | 1058名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 118名 |
| 1. いいえ | 63名 |
| 未 未記入 | 79名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.95 |
- (1.3) 教科書・参考書・資料などは適切であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1319名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 1214名 |
| 3. どちらとも言えない | 954名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 156名 |
| 1. いいえ | 72名 |
| 未 未記入 | 94名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.96 |

- (1.4) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1033名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 1059名 |
| 3. どちらとも言えない | 1168名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 374名 |
| 1. いいえ | 162名 |
| 未 未記入 | 13名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.64 |
- (1.5) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1053名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 994名 |
| 3. どちらとも言えない | 1231名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 336名 |
| 1. いいえ | 156名 |
| 未 未記入 | 39名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.65 |
- (1.6) 授業の内容はよく理解できた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1077名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 1332名 |
| 3. どちらとも言えない | 1016名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 241名 |
| 1. いいえ | 126名 |
| 未 未記入 | 17名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.79 |
- IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1220名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 1356名 |
| 3. どちらとも言えない | 876名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 194名 |
| 1. いいえ | 103名 |
| 未 未記入 | 60名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.91 |
- (1.8) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1742名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 1067名 |
| 3. どちらとも言えない | 667名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 207名 |
| 1. いいえ | 60名 |
| 未 未記入 | 66名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.13 |
- (1.9) 授業の場の大きさや設備は適切であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1856名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 1064名 |
| 3. どちらとも言えない | 523名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 230名 |
| 1. いいえ | 71名 |
| 未 未記入 | 65名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.18 |
- (2.0) 受講者数は適切であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 1869名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 1041名 |
| 3. どちらとも言えない | 607名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 163名 |
| 1. いいえ | 63名 |
| 未 未記入 | 66名 |
| 合計 | 3809名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.20 |

教育改善のための学生アンケート 簡易版

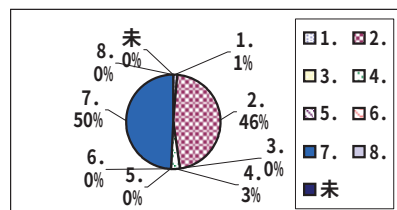
学類
行政政策学類 簡易版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	399	71	17.8%

I.

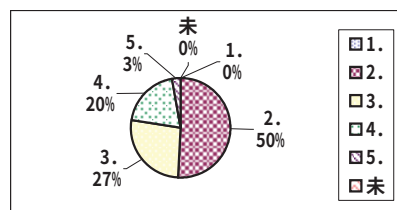
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	1名
2. 行政政策学類	33名
3. 経済経営学類	0名
4. 現代教養コース	2名
5. 共生システム理工学類	0名
6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	35名
8. 経済学部	0名
未 未記入	0名
合計	71名



(2) 学年 (入学からの年数)

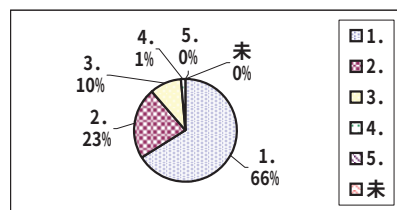
1. 1年	0名
2. 2年	36名
3. 3年	19名
4. 4年	14名
5. 5年以上	2名
未 未記入	0名
合計	71名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

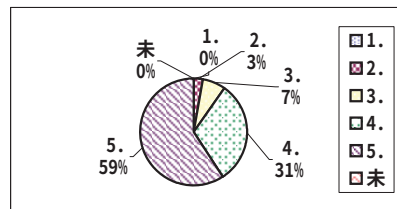
Q) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	47名
2. 89%~70%	16名
3. 69%~50%	7名
4. 49%~30%	1名
5. 29%以下	0名
未 未記入	0名
合計	71名



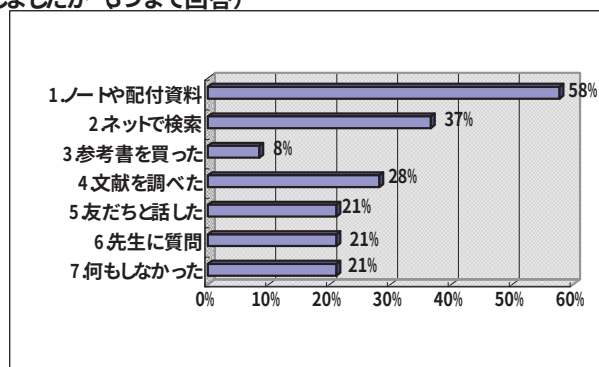
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	0名
2. 2~3時間未満	2名
3. 1~2時間未満	5名
4. 30分~1時間未満	22名
5. 30分未満	42名
未 未記入	0名
合計	71名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	41名
2. インターネットで検索した	26名
3. 参考書を買って調べた	6名
4. 図書館で文献を調べた	20名
5. 友だちと話して理解しようとした	15名
6. 先生に質問した	3名
7. 何もしなかった	15名



学類
行政政策学類 簡易版合計

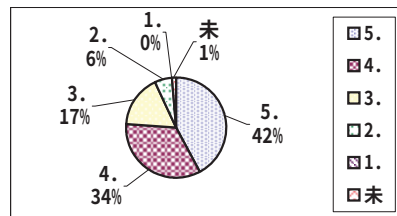
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	399	71	17.8%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

6) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

観点 授業の準備、授業への熱意、学生への対応等)

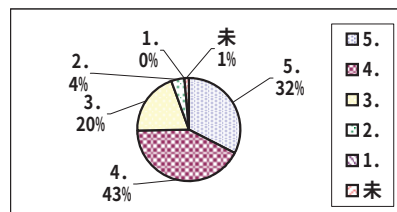
5. はい	30名
4. かなりそうと言える	24名
3. どちらとも言えない	12名
2. あまりそうとは言えない	4名
1. いいえ	0名
未 未記入	1名
合計	71名
評価ポイント平均値	4.14



6) 教育の方法は適切でしたか。

観点 わかりやすい説明、話し方、声の大きさ、質問への対応、板書の仕方、視聴覚機器の活用、発表、討論の機会、シラバスの記述内容等)

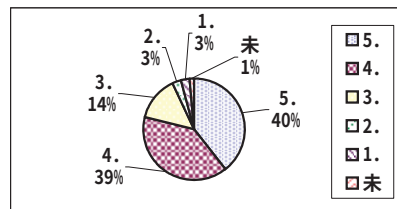
5. はい	23名
4. かなりそうと言える	30名
3. どちらとも言えない	14名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	0名
未 未記入	1名
合計	71名
評価ポイント平均値	4.04



7) 教育の内容は適切でしたか。

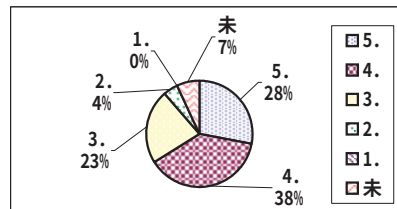
観点 魅力あるトピック、教材、教科書の適切性、参考文献の提示、授業の進度、シラバスに記述された目標の達成度

5. はい	28名
4. かなりそうと言える	28名
3. どちらとも言えない	10名
2. あまりそうとは言えない	2名
1. いいえ	2名
未 未記入	1名
合計	71名
評価ポイント平均値	4.11



IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	20名
4. かなりそうと言える	27名
3. どちらとも言えない	16名
2. あまりそうとは言えない	3名
1. いいえ	0名
未 未記入	5名
合計	71名
評価ポイント平均値	3.97



教育改善のための学生アンケート

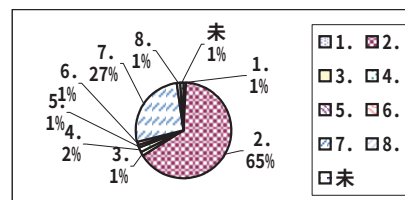
学類
行政政策学類 フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3435	1487	43.3%

I.

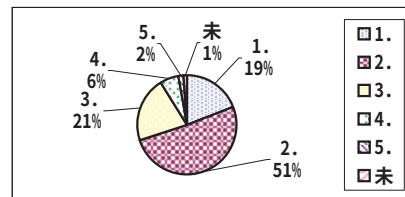
(1) 学類

1. 人間発達文化学類	11名	2. 行政政策学類	972名
3. 経済経営学類	22名	4. 現代教養コース	24名
5. 共生システム理工学類	11名	6. 教育学部	16名
7. 行政社会学部	397名	8. 経済学部	16名
未 未記入	18名	合計	1487名



学年 (入学してからの年数)

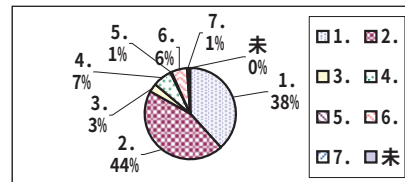
1. 1年	285名
2. 2年	755名
3. 3年	313名
4. 4年	91名
5. 5年以上	25名
未 未記入	18名
合計	1487名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

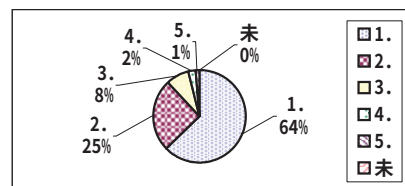
Q) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	569名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	666名
3. 単位がとり易そうだったから	47名
4. 受講し易い時間帯にあったから	98名
5. 友人や先輩に勧められたから	9名
6. クラス指定または必修だったから	82名
7. その他	12名
未 未記入	4名
合計	1487名



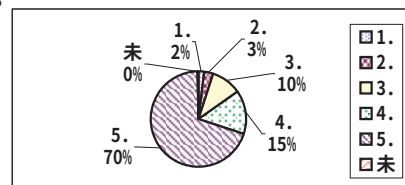
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	933名
2. 89%~70%	375名
3. 69%~50%	121名
4. 49%~30%	37名
5. 29%以下	19名
未 未記入	2名
合計	1487名



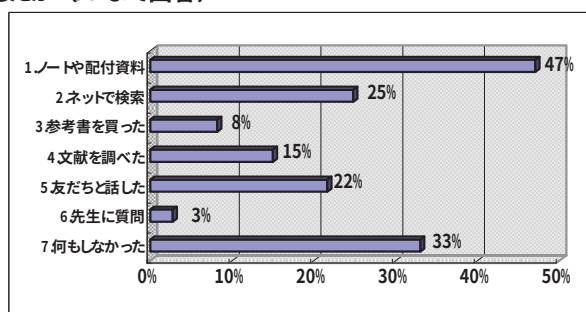
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回のどのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	30名
2. 2~3時間未満	45名
3. 1~2時間未満	151名
4. 30分~1時間未満	222名
5. 30分未満	1035名
未 未記入	4名
合計	1487名



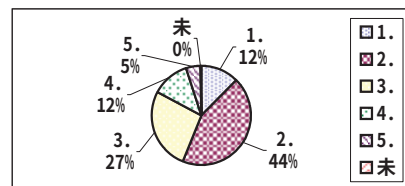
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	700名
2. インターネットで検索した	369名
3. 参考書を買って調べた	122名
4. 図書館で文献を調べた	223名
5. 友だちと話して理解するようにした	322名
6. 先生に質問した	41名
7. 何もしなかった	491名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	184名
2. ある程度意欲的	650名
3. どちらとも言えない	396名
4. あまり意欲的でない	183名
5. まったく意欲的でない	71名
未 未記入	3名
合計	1487名



学類
行政政策学類 フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3435	1487	43.3%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	726名
4. かなりそうと言える	522名
3. どちらとも言えない	194名
2. あまりそうとは言えない	27名
1. いいえ	16名
未 未記入	2名

合計 1487名

評価ポイント平均値 4.29

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	411名
4. かなりそうと言える	430名
3. どちらとも言えない	449名
2. あまりそうとは言えない	146名
1. いいえ	49名
未 未記入	2名

合計 1487名

評価ポイント平均値 3.68

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	684名
4. かなりそうと言える	549名
3. どちらとも言えない	203名
2. あまりそうとは言えない	34名
1. いいえ	15名
未 未記入	2名

合計 1487名

評価ポイント平均値 4.25

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	618名
4. かなりそうと言える	435名
3. どちらとも言えない	286名
2. あまりそうとは言えない	109名
1. いいえ	37名
未 未記入	2名

合計 1487名

評価ポイント平均値 4.00

(11) 板書・HPなどが見やすかった。

5. はい	401名
4. かなりそうと言える	359名
3. どちらとも言えない	420名
2. あまりそうとは言えない	163名
1. いいえ	50名
未 未記入	94名

合計 1487名

評価ポイント平均値 3.64

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	494名
4. かなりそうと言える	495名
3. どちらとも言えない	398名
2. あまりそうとは言えない	53名
1. いいえ	34名
未 未記入	13名

合計 1487名

評価ポイント平均値 3.92

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	586名
4. かなりそうと言える	492名
3. どちらとも言えない	316名
2. あまりそうとは言えない	61名
1. いいえ	19名
未 未記入	13名

合計 1487名

評価ポイント平均値 4.06

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	374名
4. かなりそうと言える	401名
3. どちらとも言えない	502名
2. あまりそうとは言えない	150名
1. いいえ	56名
未 未記入	4名

合計 1487名

評価ポイント平均値 3.60

(15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	400名
4. かなりそうと言える	403名
3. どちらとも言えない	494名
2. あまりそうとは言えない	116名
1. いいえ	59名
未 未記入	15名

合計 1487名

評価ポイント平均値 3.66

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	332名
4. かなりそうと言える	543名
3. どちらとも言えない	430名
2. あまりそうとは言えない	119名
1. いいえ	60名
未 未記入	3名

合計 1487名

評価ポイント平均値 3.65

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	428名
4. かなりそうと言える	616名
3. どちらとも言えない	315名
2. あまりそうとは言えない	78名
1. いいえ	28名
未 未記入	22名

合計 1487名

評価ポイント平均値 3.91

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	677名
4. かなりそうと言える	474名
3. どちらとも言えない	253名
2. あまりそうとは言えない	42名
1. いいえ	21名
未 未記入	20名

合計 1487名

評価ポイント平均値 4.19

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	702名
4. かなりそうと言える	462名
3. どちらとも言えない	221名
2. あまりそうとは言えない	55名
1. いいえ	27名
未 未記入	20名

合計 1487名

評価ポイント平均値 4.20

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	665名
4. かなりそうと言える	441名
3. どちらとも言えない	284名
2. あまりそうとは言えない	52名
1. いいえ	23名
未 未記入	22名

合計 1487名

評価ポイント平均値 4.14

教育改善のための学生アンケート 簡易版

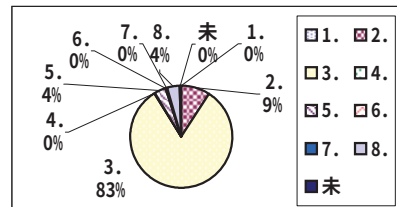
学類
経済経営学類 簡易版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1004	651	64.8%

I.

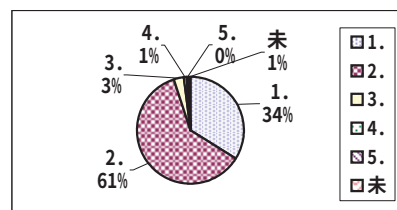
① 学部

1. 人間発達文化学類	0名
2. 行政政策学類	59名
3. 経済経営学類	534名
4. 現代教養コース	2名
5. 共生システム理工学類	24名
6. 教育学部	1名
7. 行政社会学部	2名
8. 経済学部	26名
未 未記入	3名
合計	651名



② 学年 (入学してからの年数)

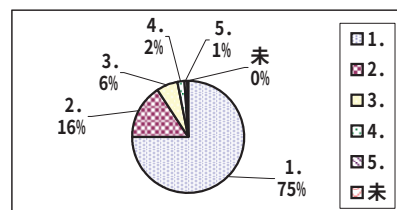
1. 1年	221名
2. 2年	398名
3. 3年	19名
4. 4年	6名
5. 5年以上	3名
未 未記入	4名
合計	651名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

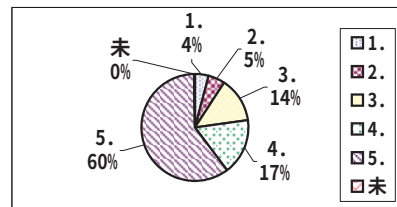
② この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	488名
2. 89%～70%	103名
3. 69%～50%	40名
4. 49%～30%	13名
5. 29%以下	6名
未 未記入	1名
合計	651名



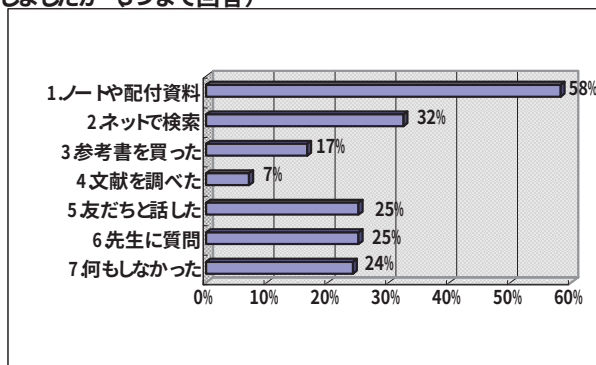
③ 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	27名
2. 2～3時間未満	32名
3. 1～2時間未満	90名
4. 30分～1時間未満	109名
5. 30分未満	392名
未 未記入	1名
合計	651名



④ あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	379名
2. インターネットで検索した	211名
3. 参考書を買って調べた	108名
4. 図書館で文献を調べた	46名
5. 友だちと話して理解するようにした	163名
6. 先生に質問した	32名
7. 何もしなかった	157名



学類
経済経営学類 簡易版合計

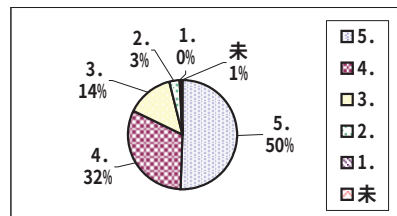
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1004	651	64.8%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

6) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

観点 授業の準備、授業への熱意、学生への対応等)

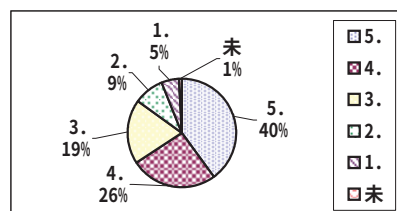
5. はい	330名
4. かなりそうと言える	206名
3. どちらとも言えない	90名
2. あまりそうとは言えない	19名
1. いいえ	2名
未 未記入	4名
合計	651名
評価ポイント平均値	4.30



6) 教育の方法は適切でしたか。

観点 わかりやすい説明、話し方、声の大きさ、質問への対応、板書の仕方、視聴覚機器の活用、発表、討論の機会、シラバスの記述内容等)

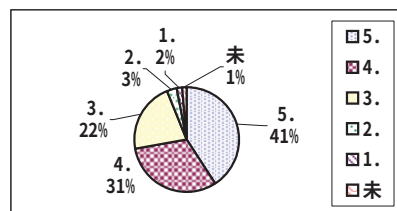
5. はい	260名
4. かなりそうと言える	169名
3. どちらとも言えない	125名
2. あまりそうとは言えない	57名
1. いいえ	35名
未 未記入	5名
合計	651名
評価ポイント平均値	3.87



7) 教育の内容は適切でしたか。

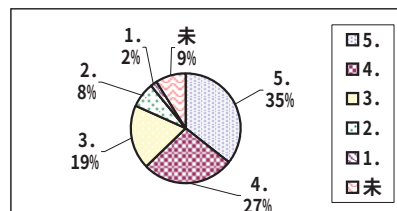
観点 魅力あるトピック、教材、教科書の適切性、参考文献の提示、授業の進度、シラバスに記述された目標の達成度

5. はい	266名
4. かなりそうと言える	205名
3. どちらとも言えない	140名
2. あまりそうとは言えない	20名
1. いいえ	11名
未 未記入	9名
合計	651名
評価ポイント平均値	4.08



IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	231名
4. かなりそうと言える	178名
3. どちらとも言えない	122名
2. あまりそうとは言えない	50名
1. いいえ	12名
未 未記入	58名
合計	651名
評価ポイント平均値	3.95



教育改善のための学生アンケート

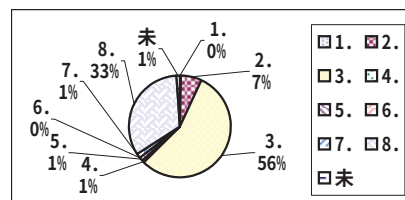
学類
経済経営学類 フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3898	2006	51.5%

I.

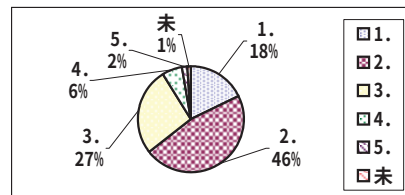
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	3名	2. 行政政策学類	136名
3. 経済経営学類	1114名	4. 現代教養コース	15名
5. 共生システム理工学類	24名	6. 教育学部	3名
7. 行政社会学部	28名	8. 経済学部	663名
未 未記入	20名	合計	2006名



学年 入学してからの年数)

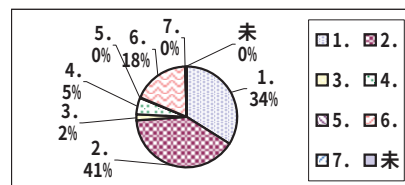
1. 1年	355名
2. 2年	935名
3. 3年	536名
4. 4年	123名
5. 5年以上	35名
未 未記入	22名
合計	2006名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

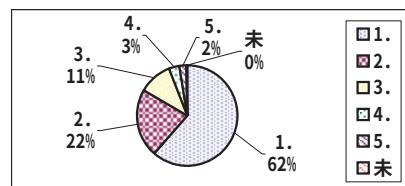
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	678名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	803名
3. 単位がとり易そうだったから	43名
4. 受講し易い時間帯にあったから	101名
5. 友人や先輩に勧められたから	5名
6. クラス指定または必修だったから	366名
7. その他	4名
未 未記入	6名
合計	2006名



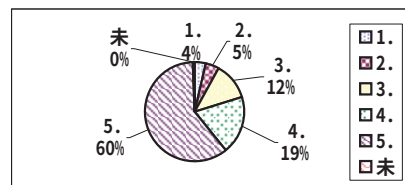
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1230名
2. 89%～70%	439名
3. 69%～50%	222名
4. 49%～30%	63名
5. 29%以下	44名
未 未記入	8名
合計	2006名



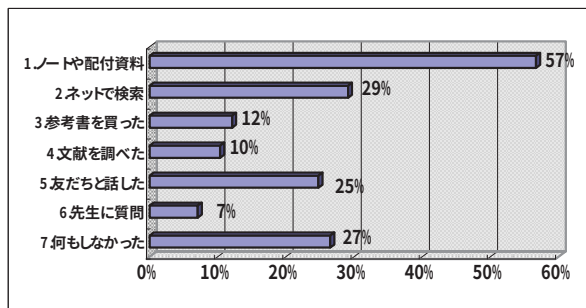
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	71名
2. 2～3時間未満	91名
3. 1～2時間未満	242名
4. 30分～1時間未満	380名
5. 30分未満	1213名
未 未記入	9名
合計	2006名



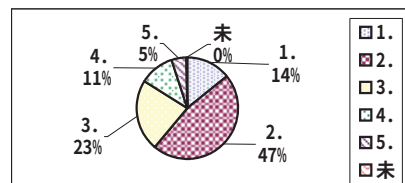
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	1137名
2. インターネットで検索した	584名
3. 参考書を買って調べた	243名
4. 図書館で文献を調べた	208名
5. 友だちと話して理解するようにした	497名
6. 先生に質問した	142名
7. 何もしなかった	532名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	286名
2. ある程度意欲的	938名
3. どちらとも言えない	461名
4. あまり意欲的でない	218名
5. まったく意欲的でない	96名
未 未記入	7名
合計	2006名



学類
経済経営学類 フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3898	2006	51.5%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

- (7) 授業への熱意が感じられた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 861名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 714名 |
| 3. どちらとも言えない | 332名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 69名 |
| 1. いいえ | 22名 |
| 未 未記入 | 8名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.16 |
- (8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 496名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 653名 |
| 3. どちらとも言えない | 601名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 187名 |
| 1. いいえ | 61名 |
| 未 未記入 | 8名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.67 |
- (9) 授業の準備がしっかりなされていた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 884名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 687名 |
| 3. どちらとも言えない | 312名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 88名 |
| 1. いいえ | 27名 |
| 未 未記入 | 8名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.16 |
- (10) 聞き取りやすい話し方だった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 749名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 661名 |
| 3. どちらとも言えない | 380名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 150名 |
| 1. いいえ | 57名 |
| 未 未記入 | 9名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.95 |
- (1.1) 板書・OHPなどは見やすかった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 544名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 545名 |
| 3. どちらとも言えない | 492名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 241名 |
| 1. いいえ | 109名 |
| 未 未記入 | 75名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.61 |
- (1.2) シラバスの記述は適切であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 668名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 664名 |
| 3. どちらとも言えない | 542名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 78名 |
| 1. いいえ | 26名 |
| 未 未記入 | 28名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.95 |
- (1.3) 教科書・参考書・資料などは適切であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 671名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 643名 |
| 3. どちらとも言えない | 527名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 92名 |
| 1. いいえ | 48名 |
| 未 未記入 | 25名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.91 |

- (1.4) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 478名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 602名 |
| 3. どちらとも言えない | 615名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 203名 |
| 1. いいえ | 91名 |
| 未 未記入 | 17名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.59 |
- (1.5) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 492名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 562名 |
| 3. どちらとも言えない | 688名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 160名 |
| 1. いいえ | 87名 |
| 未 未記入 | 17名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.61 |
- (1.6) 授業の内容はよく理解できた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 410名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 706名 |
| 3. どちらとも言えない | 574名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 201名 |
| 1. いいえ | 104名 |
| 未 未記入 | 11名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.56 |
- IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 541名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 760名 |
| 3. どちらとも言えない | 489名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 118名 |
| 1. いいえ | 43名 |
| 未 未記入 | 55名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.84 |
- (1.8) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 947名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 608名 |
| 3. どちらとも言えない | 319名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 62名 |
| 1. いいえ | 19名 |
| 未 未記入 | 51名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.23 |
- (1.9) 授業の場の大きさや設備は適切であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 937名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 569名 |
| 3. どちらとも言えない | 323名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 83名 |
| 1. いいえ | 44名 |
| 未 未記入 | 50名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.16 |
- (2.0) 受講者数は適切であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 928名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 577名 |
| 3. どちらとも言えない | 357名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 61名 |
| 1. いいえ | 32名 |
| 未 未記入 | 51名 |
| 合計 | 2006名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.18 |

教育改善のための学生アンケート

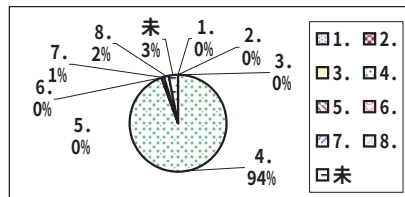
学類
現代教養コース フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1018	643	63.2%

I.

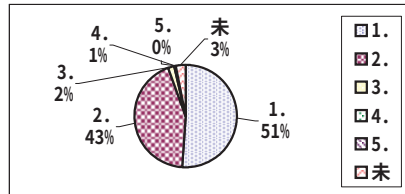
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	0名	2. 行政政策学類	0名
3. 経済経営学類	0名	4. 現代教養コース	607名
5. 共生システム理工学類	0名	6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	5名	8. 経済学部	12名
未 未記入	19名	合計	643名



学年 (入学してからの年数)

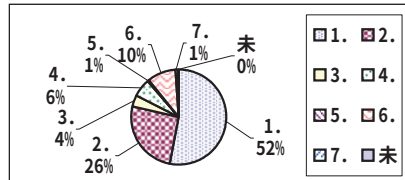
1. 1年	329名
2. 2年	278名
3. 3年	12名
4. 4年	5名
5. 5年以上	0名
未 未記入	19名
合計	643名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

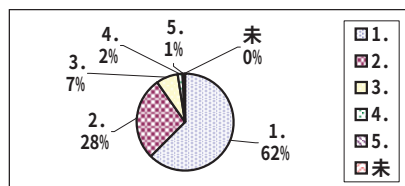
(2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉強面に関心があったから	341名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	165名
3. 単位がとり易そうだったから	25名
4. 受講し易い時間帯にあったから	39名
5. 友人や先輩に勧められたから	4名
6. クラス指定または必修だったから	62名
7. その他	6名
未 未記入	1名
合計	643名



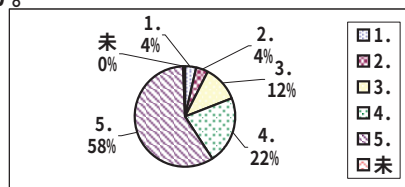
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	402名
2. 89%～70%	178名
3. 69%～50%	47名
4. 49%～30%	10名
5. 29%以下	5名
未 未記入	1名
合計	643名



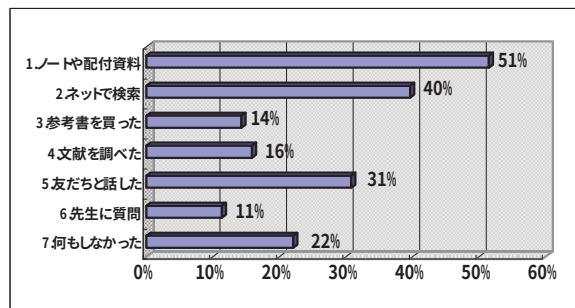
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	23名
2. 2～3時間未満	26名
3. 1～2時間未満	74名
4. 30分～1時間未満	140名
5. 30分未満	377名
未 未記入	3名
合計	643名



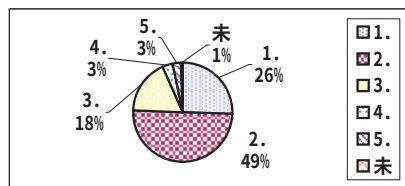
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	331名
2. インターネットで検索した	255名
3. 参考書を買って調べた	92名
4. 図書館で文献を調べた	102名
5. 友だちと話して理解するようにした	198名
6. 先生に質問した	73名
7. 何もなかった	142名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	164名
2. ある程度意欲的	322名
3. どちらとも言えない	115名
4. あまり意欲的でない	21名
5. まったく意欲的でない	17名
未 未記入	4名
合計	643名



学類
現代教養コース フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1018	643	63.2%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	348名
4. かなりそうだとと言える	206名
3. どちらとも言えない	74名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	6名
未 未記入	2名

合計 643名
評価ポイント平均値 4.38

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	227名
4. かなりそうだとと言える	180名
3. どちらとも言えない	174名
2. あまりそうとは言えない	46名
1. いいえ	14名
未 未記入	2名

合計 643名
評価ポイント平均値 3.87

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	327名
4. かなりそうだとと言える	183名
3. どちらとも言えない	105名
2. あまりそうとは言えない	19名
1. いいえ	8名
未 未記入	1名

合計 643名
評価ポイント平均値 4.25

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	308名
4. かなりそうだとと言える	156名
3. どちらとも言えない	128名
2. あまりそうとは言えない	27名
1. いいえ	23名
未 未記入	1名

合計 643名
評価ポイント平均値 4.09

(11) 板書・HPなどは見やすかった。

5. はい	219名
4. かなりそうだとと言える	162名
3. どちらとも言えない	168名
2. あまりそうとは言えない	40名
1. いいえ	18名
未 未記入	36名

合計 643名
評価ポイント平均値 3.86

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	256名
4. かなりそうだとと言える	182名
3. どちらとも言えない	166名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	12名
未 未記入	18名

合計 643名
評価ポイント平均値 4.06

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	263名
4. かなりそうだとと言える	185名
3. どちらとも言えない	146名
2. あまりそうとは言えない	22名
1. いいえ	16名
未 未記入	11名

合計 643名
評価ポイント平均値 4.04

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	187名
4. かなりそうだとと言える	173名
3. どちらとも言えない	201名
2. あまりそうとは言えない	54名
1. いいえ	25名
未 未記入	3名

合計 643名
評価ポイント平均値 3.69

(15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	184名
4. かなりそうだとと言える	168名
3. どちらとも言えない	209名
2. あまりそうとは言えない	45名
1. いいえ	30名
未 未記入	7名

合計 643名
評価ポイント平均値 3.68

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	191名
4. かなりそうだとと言える	209名
3. どちらとも言えない	163名
2. あまりそうとは言えない	51名
1. いいえ	26名
未 未記入	3名

合計 643名
評価ポイント平均値 3.76

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	245名
4. かなりそうだとと言える	226名
3. どちらとも言えない	108名
2. あまりそうとは言えない	21名
1. いいえ	14名
未 未記入	29名

合計 643名
評価ポイント平均値 4.09

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	354名
4. かなりそうだとと言える	186名
3. どちらとも言えない	66名
2. あまりそうとは言えない	7名
1. いいえ	3名
未 未記入	27名

合計 643名
評価ポイント平均値 4.43

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	367名
4. かなりそうだとと言える	160名
3. どちらとも言えない	67名
2. あまりそうとは言えない	11名
1. いいえ	11名
未 未記入	27名

合計 643名
評価ポイント平均値 4.40

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	355名
4. かなりそうだとと言える	168名
3. どちらとも言えない	68名
2. あまりそうとは言えない	9名
1. いいえ	15名
未 未記入	28名

合計 643名
評価ポイント平均値 4.36

教育改善のための学生アンケート 簡易版

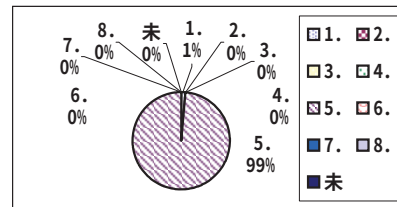
学類
共生システム理工学類 簡易版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	707	538	76.1%

I.

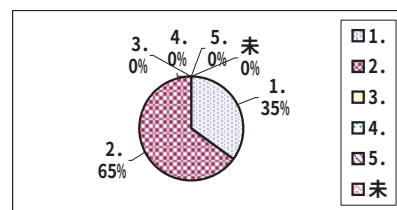
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	8名
2. 行政政策学類	0名
3. 経済経営学類	0名
4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	530名
6. 教育学部	0名
7. 行政社会学部	0名
8. 経済学部	0名
未 未記入	0名
合計	538名



(2) 学年 (入学からの年数)

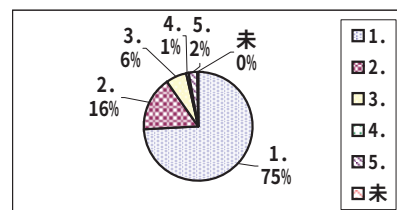
1. 1年	189名
2. 2年	349名
3. 3年	0名
4. 4年	0名
5. 5年以上	0名
未 未記入	0名
合計	538名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

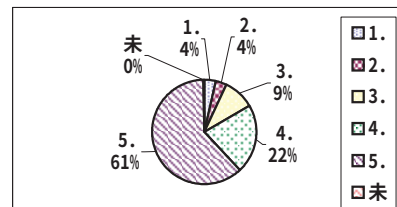
(2) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	399名
2. 89%～70%	86名
3. 69%～50%	33名
4. 49%～30%	5名
5. 29%以下	13名
未 未記入	2名
合計	538名



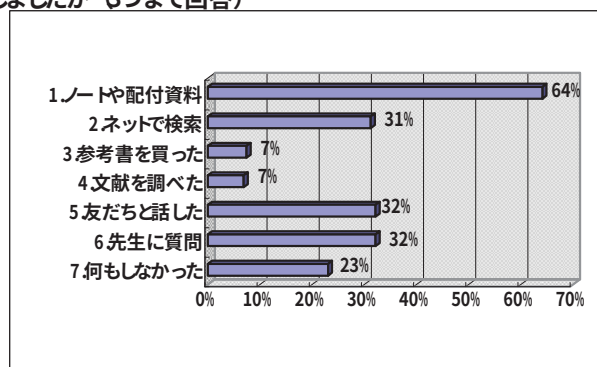
(3) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	19名
2. 2～3時間未満	19名
3. 1～2時間未満	51名
4. 30分～1時間未満	116名
5. 30分未満	331名
未 未記入	2名
合計	538名



(4) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	345名
2. インターネットで検索した	168名
3. 参考書を買って調べた	40名
4. 図書館で文献を調べた	37名
5. 友だちと話して理解しようとした	173名
6. 先生に質問した	29名
7. 何もしなかった	124名



学類
共生システム理工学類 簡易版合計

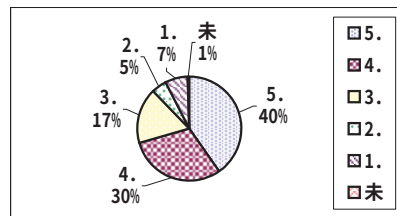
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	707	538	76.1%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

6) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

観点 授業の準備、授業への熱意、学生への対応等)

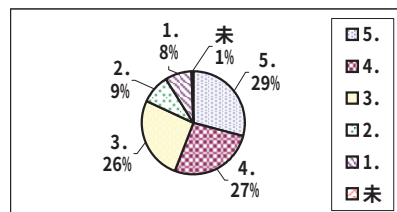
5. はい	217名
4. かなりそうと言える	163名
3. どちらとも言えない	92名
2. あまりそうとは言えない	26名
1. いいえ	37名
未 未記入	3名
合計	538名
評価ポイント平均値	3.93



6) 教育の方法は適切でしたか。

観点 わかりやすい説明、話し方、声の大きさ、質問への対応、板書の仕方、視聴覚機器の活用、発表、討論の機会、シラバスの記述内容等)

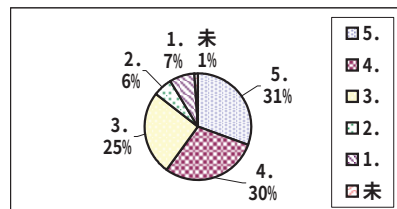
5. はい	157名
4. かなりそうと言える	143名
3. どちらとも言えない	141名
2. あまりそうとは言えない	49名
1. いいえ	45名
未 未記入	3名
合計	538名
評価ポイント平均値	3.59



7) 教育の内容は適切でしたか。

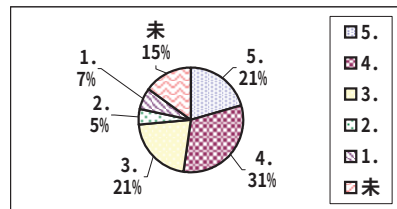
観点 魅力あるトピック、教材、教科書の適切性、参考文献の提示、授業の進度、シラバスに記述された目標の達成度

5. はい	164名
4. かなりそうと言える	159名
3. どちらとも言えない	137名
2. あまりそうとは言えない	32名
1. いいえ	40名
未 未記入	6名
合計	538名
評価ポイント平均値	3.70



IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	111名
4. かなりそうと言える	170名
3. どちらとも言えない	115名
2. あまりそうとは言えない	25名
1. いいえ	37名
未 未記入	80名
合計	538名
評価ポイント平均値	3.64



教育改善のための学生アンケート

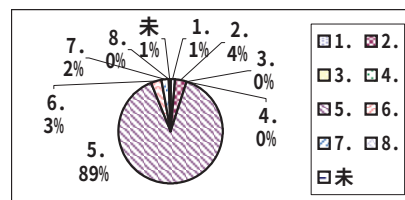
学類
共生システム理工学類 フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	2672	1582	59.2%

I.

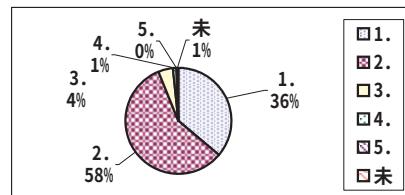
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	23名	2. 行政政策学類	57名
3. 経済経営学類	1名	4. 現代教養コース	0名
5. 共生システム理工学類	1406名	6. 教育学部	49名
7. 行政社会学部	38名	8. 経済学部	0名
未 未記入	8名	合計	1582名



学年 入学してからの年数)

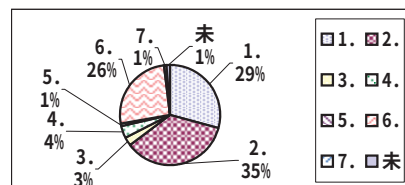
1. 1年	573名
2. 2年	913名
3. 3年	69名
4. 4年	17名
5. 5年以上	2名
未 未記入	8名
合計	1582名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

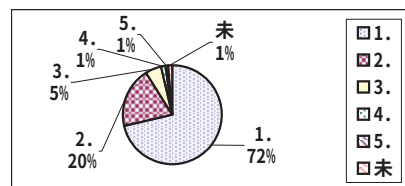
Q2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	462名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	563名
3. 単位がとり易そうだったから	45名
4. 受講し易い時間帯にあったから	61名
5. 友人や先輩に勧められたから	10名
6. クラス指定または必修だったから	409名
7. その他	13名
未 未記入	19名
合計	1582名



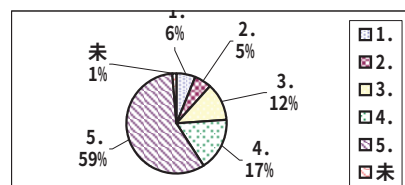
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1129名
2. 89%~70%	311名
3. 69%~50%	86名
4. 49%~30%	21名
5. 29%以下	14名
未 未記入	21名
合計	1582名



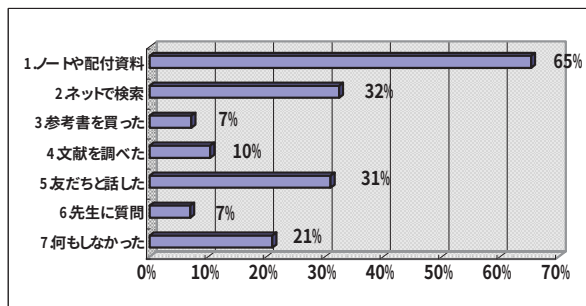
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	98名
2. 2~3時間未満	86名
3. 1~2時間未満	193名
4. 30分~1時間未満	268名
5. 30分未満	917名
未 未記入	20名
合計	1582名



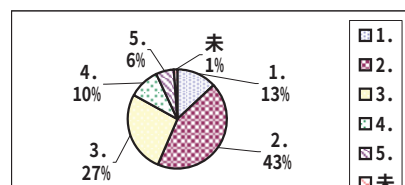
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	1033名
2. インターネットで検索した	513名
3. 参考書を買って調べた	113名
4. 図書館で文献を調べた	164名
5. 友だちと話して理解するようにした	490名
6. 先生に質問した	110名
7. 何もしなかった	332名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	206名
2. ある程度意欲的	685名
3. どちらとも言えない	422名
4. あまり意欲的でない	158名
5. まったく意欲的でない	92名
未 未記入	19名
合計	1582名



学類
共生システム理工学類 フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	2672	1582	59.2%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

- (7) 授業への熱意が感じられた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 574名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 610名 |
| 3. どちらとも言えない | 307名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 47名 |
| 1. いいえ | 26名 |
| 未 未記入 | 18名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.06 |
- (8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 347名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 499名 |
| 3. どちらとも言えない | 515名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 143名 |
| 1. いいえ | 60名 |
| 未 未記入 | 18名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.59 |
- (9) 授業の準備がしっかりなされていた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 658名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 545名 |
| 3. どちらとも言えない | 305名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 35名 |
| 1. いいえ | 21名 |
| 未 未記入 | 18名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.14 |
- (10) 聞き取りやすい話し方だった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 500名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 507名 |
| 3. どちらとも言えない | 374名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 118名 |
| 1. いいえ | 64名 |
| 未 未記入 | 19名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.81 |
- (11) 板書・OHPなどは見やすかった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 356名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 460名 |
| 3. どちらとも言えない | 451名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 193名 |
| 1. いいえ | 80名 |
| 未 未記入 | 42名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.53 |
- (12) シラバスの記述は適切であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 418名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 536名 |
| 3. どちらとも言えない | 518名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 56名 |
| 1. いいえ | 25名 |
| 未 未記入 | 29名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.82 |
- (13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 388名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 501名 |
| 3. どちらとも言えない | 496名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 102名 |
| 1. いいえ | 62名 |
| 未 未記入 | 33名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.68 |

- (14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 274名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 461名 |
| 3. どちらとも言えない | 548名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 181名 |
| 1. いいえ | 97名 |
| 未 未記入 | 21名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.41 |
- (15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 311名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 440名 |
| 3. どちらとも言えない | 609名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 130名 |
| 1. いいえ | 62名 |
| 未 未記入 | 30名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.52 |
- (16) 授業の内容はよく理解できた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 228名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 495名 |
| 3. どちらとも言えない | 573名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 166名 |
| 1. いいえ | 95名 |
| 未 未記入 | 25名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.38 |
- IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 342名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 591名 |
| 3. どちらとも言えない | 436名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 105名 |
| 1. いいえ | 44名 |
| 未 未記入 | 64名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.71 |
- (18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 573名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 509名 |
| 3. どちらとも言えない | 333名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 73名 |
| 1. いいえ | 31名 |
| 未 未記入 | 63名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 4.00 |
- (19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 603名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 471名 |
| 3. どちらとも言えない | 300名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 108名 |
| 1. いいえ | 37名 |
| 未 未記入 | 63名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.98 |
- (20) 受講者数は適切であった。
- | | |
|----------------|-------|
| 5. はい | 584名 |
| 4. かなりそうだとと言える | 479名 |
| 3. どちらとも言えない | 320名 |
| 2. あまりそうとは言えない | 100名 |
| 1. いいえ | 35名 |
| 未 未記入 | 64名 |
| 合計 | 1582名 |
| 評価ポイント平均値 | 3.97 |

教育改善のための学生アンケート 簡易版

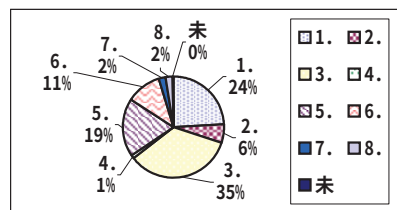
学類
専門教育科目 簡易版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	2494	1550	62.1%

I.

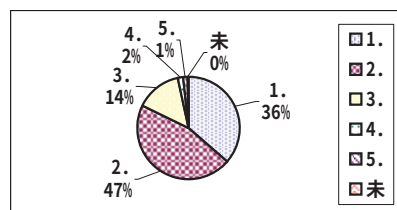
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	375名
2. 行政政策学類	92名
3. 経済経営学類	534名
4. 現代教養コース	14名
5. 共生システム理工学類	288名
6. 教育学部	173名
7. 行政社会学部	37名
8. 経済学部	34名
未 未記入	3名
合計	1550名



(2) 学年 (入学からの年数)

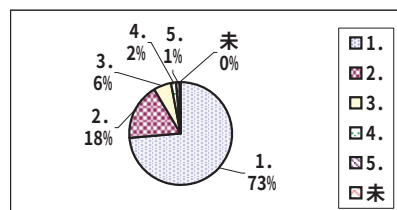
1. 1年	563名
2. 2年	711名
3. 3年	224名
4. 4年	28名
5. 5年以上	20名
未 未記入	4名
合計	1550名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

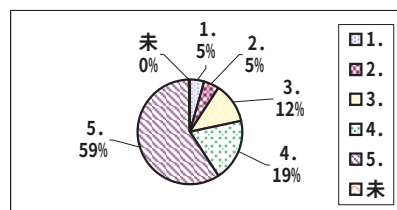
(1) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1143名
2. 89%~70%	272名
3. 69%~50%	88名
4. 49%~30%	24名
5. 29%以下	19名
未 未記入	4名
合計	1550名



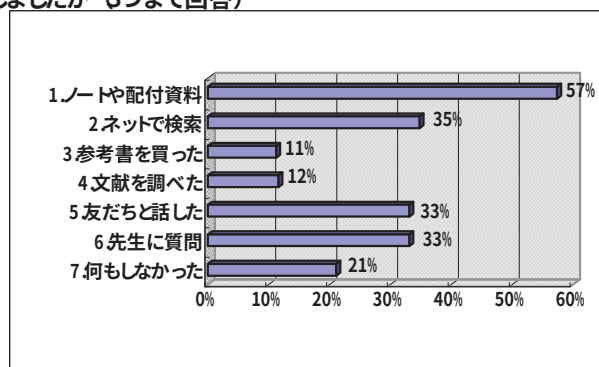
(2) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習・復習しましたか。

1. 3時間以上	71名
2. 2~3時間未満	73名
3. 1~2時間未満	193名
4. 30分~1時間未満	296名
5. 30分未満	914名
未 未記入	3名
合計	1550名



(3) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	889名
2. インターネットで検索した	539名
3. 参考書を買って調べた	174名
4. 図書館で文献を調べた	180名
5. 友だちと話して理解するようにした	513名
6. 先生に質問した	133名
7. 何もしなかった	327名



学類
専門教育科目 簡易版合計

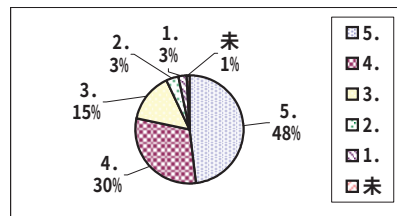
科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	2494	1550	62.1%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答え下さい。

6) 教員の授業に対する姿勢はよかったですか。

観点 授業の準備、授業への熱意、学生への対応等)

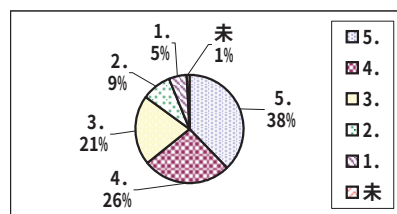
5. はい	747名
4. かなりそうと言える	466名
3. どちらとも言えない	230名
2. あまりそうとは言えない	54名
1. いいえ	41名
未 未記入	12名
合計	1550名
評価ポイント平均値	4.19



6) 教育の方法は適切でしたか。

観点 わかりやすい説明、話し方、声の大きさ、質問への対応、板書の仕方、視聴覚機器の活用、発表、討論の機会、シラバスの記述内容等)

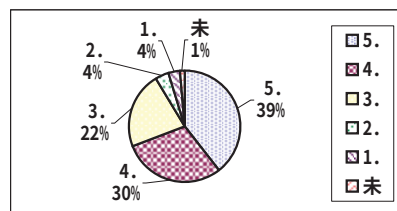
5. はい	586名
4. かなりそうと言える	407名
3. どちらとも言えない	325名
2. あまりそうとは言えない	138名
1. いいえ	81名
未 未記入	13名
合計	1550名
評価ポイント平均値	3.83



7) 教育の内容は適切でしたか。

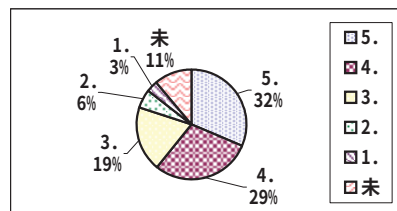
観点 魅力あるトピック、教材、教科書の適切性、参考文献の提示、授業の進度、シラバスに記述された目標の達成度

5. はい	612名
4. かなりそうと言える	462名
3. どちらとも言えない	344名
2. あまりそうとは言えない	57名
1. いいえ	55名
未 未記入	20名
合計	1550名
評価ポイント平均値	3.99



IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	487名
4. かなりそうと言える	454名
3. どちらとも言えない	299名
2. あまりそうとは言えない	87名
1. いいえ	50名
未 未記入	173名
合計	1550名
評価ポイント平均値	3.90



教育改善のための学生アンケート

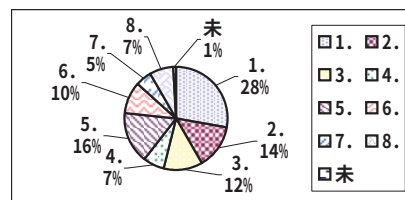
学類
専門教育科目 フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	17538	9527	54.3%

I.

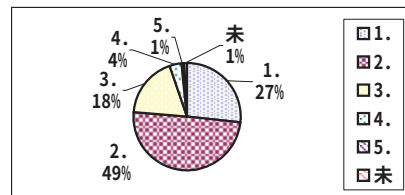
(1) 学部

1. 人間発達文化学類	2654名	2. 行政政策学類	1325名
3. 経済経営学類	1147名	4. 現代教養コース	651名
5. 共生システム理工学類	1514名	6. 教育学部	968名
7. 行政社会学部	486名	8. 経済学部	698名
未 未記入	84名	合計	9527名



学年 入学してからの年数)

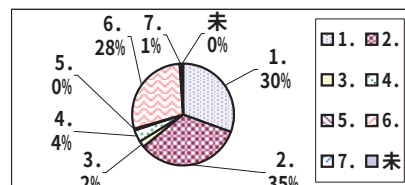
1. 1年	2548名
2. 2年	4727名
3. 3年	1748名
4. 4年	336名
5. 5年以上	82名
未 未記入	86名
合計	9527名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

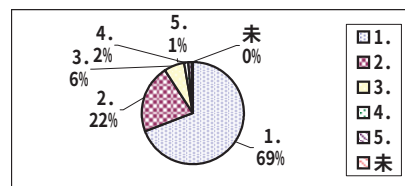
Q2) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

1. 勉学面で関心があったから	2902名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	3200名
3. 単位がとり易そうだったから	187名
4. 受講し易い時間帯にあったから	389名
5. 友人や先輩に勧められたから	43名
6. クラス指定または必修だったから	2693名
7. その他	75名
未 未記入	38名
合計	9527名



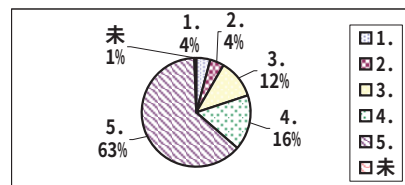
(3) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	6578名
2. 89%～70%	2064名
3. 69%～50%	614名
4. 49%～30%	145名
5. 29%以下	91名
未 未記入	35名
合計	9527名



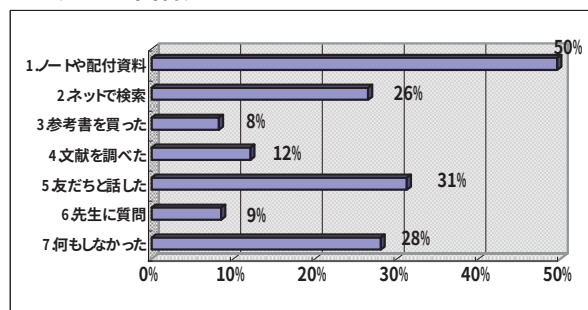
(4) 授業時間以外にこの授業に関して平均して毎回どのくらい予習 復習しましたか。

1. 3時間以上	398名
2. 2～3時間未満	405名
3. 1～2時間未満	1101名
4. 30分～1時間未満	1554名
5. 30分未満	6019名
未 未記入	50名
合計	9527名



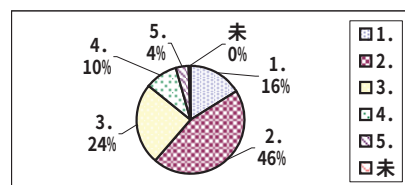
(5) あなたはこの授業をよく理解するためにどのような努力をしましたか (3つまで回答)

1. ノートや配付資料を復習した	4725名
2. インターネットで検索した	2521名
3. 参考書を買って調べた	786名
4. 図書館で文献を調べた	1152名
5. 友だちと話して理解するようにした	2972名
6. 先生に質問した	810名
7. 何もしなかった	2669名



(6) この授業に対するあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	1534名
2. ある程度意欲的	4326名
3. どちらとも言えない	2307名
4. あまり意欲的でない	927名
5. まったく意欲的でない	388名
未 未記入	45名
合計	9527名



学類
専門教育科目 フル版合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	17538	9527	54.3%

III. この授業及び担当教員について次の項目を評価し、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. はい	4214名
4. かなりそうだとと言える	3356名
3. どちらとも言えない	1562名
2. あまりそうとは言えない	246名
1. いいえ	115名
未 未記入	34名

合計 9527名
評価ポイント平均値 4.19

(8) 学生との間で適切なコミュニケーションがとれていた。

5. はい	2649名
4. かなりそうだとと言える	2848名
3. どちらとも言えない	2769名
2. あまりそうとは言えない	901名
1. いいえ	326名
未 未記入	34名

合計 9527名
評価ポイント平均値 3.69

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. はい	4213名
4. かなりそうだとと言える	3244名
3. どちらとも言えない	1601名
2. あまりそうとは言えない	313名
1. いいえ	122名
未 未記入	34名

合計 9527名
評価ポイント平均値 4.17

(10) 聞き取りやすい話し方だった。

5. はい	3661名
4. かなりそうだとと言える	2891名
3. どちらとも言えない	2026名
2. あまりそうとは言えない	627名
1. いいえ	284名
未 未記入	38名

合計 9527名
評価ポイント平均値 3.95

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. はい	2489名
4. かなりそうだとと言える	2454名
3. どちらとも言えない	2446名
2. あまりそうとは言えない	914名
1. いいえ	382名
未 未記入	842名

合計 9527名
評価ポイント平均値 3.66

(12) シラバスの記述は適切であった。

5. はい	3115名
4. かなりそうだとと言える	3089名
3. どちらとも言えない	2682名
2. あまりそうとは言えない	314名
1. いいえ	160名
未 未記入	167名

合計 9527名
評価ポイント平均値 3.93

(13) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. はい	3227名
4. かなりそうだとと言える	3035名
3. どちらとも言えない	2439名
2. あまりそうとは言えない	433名
1. いいえ	217名
未 未記入	176名

合計 9527名
評価ポイント平均値 3.92

(14) 学生の理解度や達成度を見ながら進められた。

5. はい	2346名
4. かなりそうだとと言える	2696名
3. どちらとも言えない	3034名
2. あまりそうとは言えない	962名
1. いいえ	431名
未 未記入	58名

合計 9527名
評価ポイント平均値 3.59

(15) 時間外学習の情報提供 指示が十分であった。

5. はい	2440名
4. かなりそうだとと言える	2567名
3. どちらとも言えない	3231名
2. あまりそうとは言えない	787名
1. いいえ	394名
未 未記入	108名

合計 9527名
評価ポイント平均値 3.62

(16) 授業の内容はよく理解できた。

5. はい	2238名
4. かなりそうだとと言える	3285名
3. どちらとも言えない	2756名
2. あまりそうとは言えない	778名
1. いいえ	411名
未 未記入	59名

合計 9527名
評価ポイント平均値 3.65

IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. はい	2776名
4. かなりそうだとと言える	3549名
3. どちらとも言えない	2224名
2. あまりそうとは言えない	516名
1. いいえ	232名
未 未記入	230名

合計 9527名
評価ポイント平均値 3.87

(18) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. はい	4293名
4. かなりそうだとと言える	2844名
3. どちらとも言えない	1638名
2. あまりそうとは言えない	391名
1. いいえ	134名
未 未記入	227名

合計 9527名
評価ポイント平均値 4.16

(19) 授業の場の大きさや設備は適切であった。

5. はい	4465名
4. かなりそうだとと言える	2726名
3. どちらとも言えない	1434名
2. あまりそうとは言えない	487名
1. いいえ	190名
未 未記入	225名

合計 9527名
評価ポイント平均値 4.16

(20) 受講者数は適切であった。

5. はい	4401名
4. かなりそうだとと言える	2706名
3. どちらとも言えない	1636名
2. あまりそうとは言えない	385名
1. いいえ	168名
未 未記入	231名

合計 9527名
評価ポイント平均値 4.16

平成19年1月実施 教育改善のための学生アンケートⅡ相関係数表

■ 簡易版

人間発達文化学類 教育各部専門科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.819	1.000		
(7)内容	0.810	0.822	1.000	
IV総合満足度	0.422	0.506	0.460	1.000

行政政策学類 行政社会学部専門科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.737	1.000		
(7)内容	0.797	0.660	1.000	
IV総合満足度	0.106	0.158	0.057	1.000

経済経営学類 経済学部相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.642	1.000		
(7)内容	0.585	0.650	1.000	
IV総合満足度	0.383	0.467	0.441	1.000

現代教養コース科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.439	1.000		
(7)内容	0.189	0.432	1.000	
IV総合満足度	0.113	-0.013	0.390	1.000

共生システム理工専門科目相関係数

	(5)姿勢	(6)方法	(7)内容	IV総合満足度
(5)姿勢	1.000			
(6)方法	0.785	1.000		
(7)内容	0.752	0.744	1.000	
IV総合満足度	0.383	0.397	0.387	1.000

■ フル版

共通領域 共通教育科目相関係数

	Ⅲ. この授業及び教員の評価										Ⅳ. 総合満足度	Ⅴ. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)ノウハウ	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	IV総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.657	1.000												
(9)授業準備	0.643	0.588	1.000											
(10)話し方	0.584	0.635	0.614	1.000										
(11)板書	0.258	0.263	0.254	0.302	1.000									
(12)ノウハウ	0.468	0.452	0.539	0.486	0.321	1.000								
(13)教科書	0.450	0.460	0.460	0.452	0.362	0.510	1.000							
(14)進め方	0.550	0.677	0.532	0.578	0.277	0.488	0.535	1.000						
(15)時間外学習	0.503	0.539	0.491	0.496	0.248	0.482	0.464	0.629	1.000					
(16)授業理解度	0.531	0.591	0.522	0.582	0.305	0.474	0.506	0.657	0.564	1.000				
IV総合満足度	0.483	0.549	0.470	0.508	0.225	0.394	0.398	0.540	0.446	0.582	1.000			
(18)学習雰囲気	0.449	0.442	0.459	0.441	0.199	0.386	0.357	0.448	0.401	0.434	0.588	1.000		
(19)設備	0.362	0.346	0.389	0.362	0.189	0.342	0.313	0.358	0.335	0.360	0.508	0.746	1.000	
(20)受講者数	0.344	0.337	0.371	0.342	0.175	0.339	0.288	0.363	0.337	0.345	0.482	0.731	0.849	1.000

人間発達文化学類 教育各部専門科目相関係数

	Ⅲ. この授業及び教員の評価										Ⅳ. 総合満足度	Ⅴ. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)ノウハウ	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	IV総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.610	1.000												
(9)授業準備	0.641	0.554	1.000											
(10)話し方	0.529	0.655	0.599	1.000										
(11)板書	0.189	0.277	0.173	0.346	1.000									
(12)ノウハウ	0.436	0.432	0.474	0.455	0.282	1.000								
(13)教科書	0.404	0.441	0.446	0.459	0.305	0.523	1.000							
(14)進め方	0.527	0.695	0.509	0.597	0.290	0.470	0.526	1.000						
(15)時間外学習	0.492	0.596	0.495	0.517	0.234	0.484	0.470	0.702	1.000					
(16)授業理解度	0.520	0.616	0.511	0.590	0.292	0.446	0.484	0.693	0.602	1.000				
IV総合満足度	0.500	0.550	0.470	0.498	0.214	0.383	0.371	0.521	0.437	0.591	1.000			
(18)学習雰囲気	0.419	0.455	0.371	0.413	0.180	0.331	0.337	0.432	0.385	0.413	0.595	1.000		
(19)設備	0.322	0.320	0.317	0.321	0.156	0.292	0.280	0.327	0.320	0.329	0.499	0.721	1.000	
(20)受講者数	0.332	0.315	0.318	0.318	0.158	0.289	0.280	0.333	0.307	0.323	0.492	0.732	0.852	1.000

行政政策学類 行政社会学部専門科目相関係数

	III. この授業及び教員の評価										IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)シラハス	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	IV総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.591	1.000												
(9)授業準備	0.625	0.552	1.000											
(10)話し方	0.586	0.601	0.620	1.000										
(11)板書	0.279	0.314	0.308	0.357	1.000									
(12)シラハス	0.472	0.516	0.533	0.537	0.289	1.000								
(13)教科書	0.522	0.521	0.560	0.535	0.308	0.621	1.000							
(14)進め方	0.511	0.715	0.502	0.608	0.341	0.523	0.574	1.000						
(15)時間外学習	0.499	0.573	0.482	0.510	0.259	0.570	0.547	0.649	1.000					
(16)授業理解度	0.476	0.608	0.494	0.587	0.337	0.493	0.549	0.675	0.579	1.000				
IV総合満足度	0.423	0.521	0.437	0.486	0.262	0.415	0.455	0.558	0.460	0.644	1.000			
(18)学習雰囲気	0.375	0.378	0.350	0.365	0.214	0.370	0.399	0.406	0.378	0.419	0.568	1.000		
(19)設備	0.304	0.295	0.314	0.320	0.203	0.331	0.334	0.316	0.294	0.337	0.482	0.767	1.000	
(20)受講者数	0.343	0.328	0.312	0.326	0.179	0.358	0.372	0.348	0.329	0.351	0.485	0.776	0.841	1.000

経済経営学類 経済学部相関係数

	III. この授業及び教員の評価										IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)シラハス	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	IV総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.592	1.000												
(9)授業準備	0.638	0.497	1.000											
(10)話し方	0.577	0.585	0.580	1.000										
(11)板書	0.376	0.432	0.357	0.476	1.000									
(12)シラハス	0.510	0.425	0.526	0.459	0.404	1.000								
(13)教科書	0.492	0.459	0.543	0.487	0.434	0.620	1.000							
(14)進め方	0.500	0.600	0.472	0.535	0.438	0.500	0.560	1.000						
(15)時間外学習	0.512	0.550	0.525	0.501	0.428	0.539	0.548	0.686	1.000					
(16)授業理解度	0.516	0.565	0.466	0.532	0.450	0.483	0.526	0.659	0.586	1.000				
IV総合満足度	0.463	0.466	0.390	0.449	0.343	0.349	0.409	0.484	0.451	0.560	1.000			
(18)学習雰囲気	0.381	0.320	0.374	0.368	0.236	0.340	0.361	0.332	0.350	0.350	0.570	1.000		
(19)設備	0.269	0.254	0.273	0.300	0.199	0.283	0.291	0.246	0.304	0.268	0.457	0.751	1.000	
(20)受講者数	0.281	0.253	0.279	0.295	0.181	0.288	0.300	0.253	0.302	0.272	0.462	0.756	0.866	1.000

現代教養コース科目相関係数

	III. この授業及び教員の評価										IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)シラハス	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	IV総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.486	1.000												
(9)授業準備	0.611	0.533	1.000											
(10)話し方	0.557	0.503	0.605	1.000										
(11)板書	0.231	0.269	0.292	0.386	1.000									
(12)シラハス	0.358	0.444	0.421	0.413	0.300	1.000								
(13)教科書	0.432	0.474	0.466	0.484	0.349	0.550	1.000							
(14)進め方	0.447	0.560	0.466	0.561	0.295	0.478	0.580	1.000						
(15)時間外学習	0.456	0.504	0.455	0.520	0.337	0.535	0.586	0.714	1.000					
(16)授業理解度	0.445	0.508	0.417	0.556	0.348	0.417	0.549	0.669	0.644	1.000				
IV総合満足度	0.311	0.422	0.296	0.380	0.275	0.230	0.269	0.355	0.347	0.429	1.000			
(18)学習雰囲気	0.225	0.259	0.305	0.268	0.166	0.176	0.214	0.206	0.194	0.224	0.503	1.000		
(19)設備	0.189	0.223	0.262	0.213	0.126	0.158	0.169	0.157	0.157	0.186	0.430	0.858	1.000	
(20)受講者数	0.175	0.245	0.253	0.230	0.160	0.177	0.169	0.182	0.218	0.211	0.450	0.795	0.852	1.000

共生システム理工専門科目相関係数

	III. この授業及び教員の評価										IV. 総合満足度	V. 教育環境評価		
	(7)熱意	(8)コミュニケーション	(9)授業準備	(10)話し方	(11)板書	(12)シラハス	(13)教科書	(14)進め方	(15)時間外学習	(16)授業理解度	IV総合満足度	(18)学習雰囲気	(19)設備	(20)受講者数
(7)熱意	1.000													
(8)コミュニケーション	0.704	1.000												
(9)授業準備	0.659	0.642	1.000											
(10)話し方	0.663	0.695	0.663	1.000										
(11)板書	0.497	0.510	0.522	0.588	1.000									
(12)シラハス	0.548	0.585	0.609	0.558	0.557	1.000								
(13)教科書	0.532	0.554	0.573	0.564	0.493	0.663	1.000							
(14)進め方	0.610	0.697	0.568	0.639	0.545	0.625	0.663	1.000						
(15)時間外学習	0.582	0.623	0.561	0.576	0.465	0.604	0.620	0.690	1.000					
(16)授業理解度	0.554	0.609	0.541	0.587	0.528	0.571	0.594	0.700	0.649	1.000				
IV総合満足度	0.492	0.530	0.456	0.496	0.457	0.454	0.469	0.557	0.514	0.602	1.000			
(18)学習雰囲気	0.441	0.438	0.405	0.427	0.346	0.408	0.384	0.414	0.466	0.440	0.675	1.000		
(19)設備	0.378	0.349	0.374	0.328	0.305	0.382	0.342	0.337	0.417	0.367	0.586	0.805	1.000	
(20)受講者数	0.370	0.334	0.383	0.328	0.299	0.373	0.339	0.344	0.406	0.370	0.583	0.798	0.907	1.000



福島大学 FD プロジェクト要項

○福島大学 FD プロジェクト要項

制定 平成13年5月8日

改正 平成14年3月19日 平成16年4月1日 平成16年9月21日 平成17年4月1日

(趣旨)

第1条 この要項は、福島大学（以下「本学」という。）の教育水準の向上を図り、かつ本学の目的及び社会的使命を達成するため、本学の教育内容及び教授方法の改善（以下「FD」という。）を推進するため、必要な事項を定めるものとする。

(FD プロジェクト)

第2条 教育研究評議会の議に基づき、本学に、FD プロジェクト（以下「プロジェクト」という。）を置く。

2 プロジェクトは次の各号に掲げる事項を処理する。

- 一 教授方法改善等のための調査及び研究に関する事項
- 二 教授方法改善等の目標決定及び改善方法に関する事項
- 三 教授方法改善等のための企画及び実施に関する事項
- 四 教授方法改善等のための学生による授業評価に関する事項
- 五 その他教授方法改善等に関する事項

(組織)

第3条 プロジェクトは、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- 一 副学長のうち学長が指名した者（以下「副学長」という。）
- 二 各学類の教員 各2名 計8名

2 前項第2号の教員は、当該学類教員会議において選出し、学長が任命する。

(メンバーの任期)

第4条 前条第1項第2号のメンバーの任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠のメンバーの任期は、前任者の任期の残余の期間とする。

(責任者)

第5条 プロジェクトに責任者を置き、第3条第1項第1号の委員のうち学長が指名した者をもって充てる。

2 責任者に事故あるときは、あらかじめ責任者の指名した者がその職務を代行する。

(ワーキングチーム)

第6条 プロジェクトは、FDの内容等により、必要かつ適当な員数のFDワーキングチーム（以下「ワーキング」という。）を編成することができる。

2 ワーキングのメンバーは、プロジェクトの依頼に基づいて当該学類の長が推薦し、当該学類教員会議の了承を得ることとする。

(FD 報告書の作成)

第7条 プロジェクトは、FD 報告書を作成し、教育研究評議会に提出する。

(事務)

第8条 プロジェクトの事務は、教務課において処理する。

附 則

この要項は、平成13年5月8日から施行する。

附 則

この要項は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

1 この要項は、平成16年10月1日から施行する。

2 この要項の施行の日の前日に現に委員である者は、この要項により選出されたものとみなし、その任期はなお従前の例による。

附 則

1 この要項は、平成17年4月1日から施行する。

2 この要項の施行後、共生システム理工学類から新たに選出される第3条第1項第2号の委員のうち1人の任期は、第4条の規定にかかわらず平成18年3月31日までとする。

平成18年度 FDプロジェクトメンバー名簿

所属部局等	委 員 名
副学長（教育）	森 田 道 雄
副学長（学務）	中 井 勝 己
人間発達文化学類	菅 家 礼 子
人間発達文化学類	金 谷 昌 治
行政政策学類	近 藤 雄 大
行政政策学類	中 山 庸 子
経済経営学類	真 田 哲 也
経済経営学類	佐 野 敦 至
共生システム理工学類	柴 原 哲 太 郎
共生システム理工学類	董 彦 文

福島大学 FD プロジェクトメンバー
学務担当副学長 中井 勝己

今年度から FD プロジェクトの担当が、学務担当副学長から教育担当副学長に変更になったことにともない、報告書の「あとがき」を書くのが私の役目になりました。

今年度の FD 活動を振り返ってみると、森田教育担当副学長の強力なリーダーシップと FD プロジェクトメンバーのフットワークの良さ、さらに 10 月に着任された FD 部門専任教員の板橋先生の加入により、様々な FD 活動が精力的に展開されてきました。

まず最初に、授業公開も昨年度を上回り 4 学類すべてで、総計 9 回実施されました。開催時期や公開授業の曜日が集中したことなど運営上の改善すべきことはありますが、総じて、授業公開に快く協力いただいた先生方と、各授業公開の設営にあたっていただいた FD プロジェクトメンバーの尽力により、昨年以上の実績が残せたことに心より感謝いたします。

次に特筆すべきことは、森田副学長の発案・企画により、学生主導のキャンフェスと教員企画の全学教育研究集会を連動させた学生と教職員の集いが開催されたことです。同集会は、12 月 6 日に開催され、教職員 110 名が参加しました。FD 活動に関係した授業アンケートはじめ、教務上の様々な問題に対しても、参加学生から厳しい意見も寄せられ、私たち教職員もそれらの意見に真摯に耳を傾け、一層の授業改善を図っていかねばならないことを痛感しました。また、各セメスター末に実施している授業アンケートに対しても、今年度、一定の改善（簡易化）も図られました。

福島大学における教育改善の一環としての FD 活動が始まり数年が経ち、毎年着実な成果を上げてきていますが、他方で、まだまだ教職員全員が FD 活動を自覚し、意識的に取り組むものとはなっていないのも事実です。この種の課題は、いかにして教育改善に取り組む人の意識改革を図ることにありますが、容易なことではありません。その意味で、FD プロジェクトの存在と活動が、福島大学の教育改善に欠かせないものであり、これまでの活動に敬意を表するとともに、次年度の活動にも期待したい。

平成18年度（2006年度）
福島大学FDプロジェクト活動報告書
～教育改善の追及～

平成19年3月発行
編集：福島大学FDプロジェクト
発行：福島大学